

第Ⅵ章 98-1～7区発掘調査の年代測定と微化石分析

緒言 八尾市小阪合遺跡(98-1～7区)調査地における古環境復元の基礎試料を得るとともに、発掘調査の掘削深度より下位の層準における人間活動の可能性を確かめることを目的として、放射性炭素年代測定、花粉分析、植物珪酸体分析が、それぞれ地球科学研究所(Beta Analytic INC.)、パリノ・サーヴェイ、古環境研究所に委託された。測定・分析試料は、発掘調査で検出された古墳時代以後の遺構のベースをなす埋没流路とその氾濫原の堆積物、これらに侵食されるかたちでベースをなす泥質堆積物の累重中から採集された。試料採取層準を図181に示す(Loc.1,3,8は次章の記載で用いる地点名)。また、同図に6試料の年代測定結果を示す。98-2区(b)の埋没流路を充填する堆積物からは、おもに弥生時代後期から奈良時代までの土器が出土している。したがって、98-2区(a)および98-7区の堆積層の年代は、弥生時代後期以前と予想された。

98-2区(a)の柱状上端と98-7区の柱状下端は約50cmの高度差があるが、ともに暗灰色のシルト質粘土で、同一ないしは近接した堆積層準で、2つの柱状は埋没流路のベースをなす一連の累重と考えられる。ただ、98-7区の柱状上部は、流路活動期の河岸から後背湿地にかけての堆積物の可能性が高い。

年代測定によって、98-2区(a)と98-7区下部(T.P.5.5m付近まで)が縄文時代晩期、98-7区柱状の中部が弥生時代前期から中期の堆積層であると推定された。98-2区(b)では、杭(材化石、試料6)が、弥生時代前期の年代を示したが、より下位の堆積層から弥生時代後期の土器が出土しているため、この扱いには注意を要する。その上位の材化石(試料5)が古墳時代前期の年代を示し、出土遺物の年代と調和的である。

花粉分析の結果、上述の縄文時代の層準では、アカガシ亜属にともなって、やや寒冷な気候を示唆する温帯針葉樹の花粉化石が多産し、同時期の北半球の寒冷期ともおおむね一致することから、調査地において、花粉層序と年代層序が整合的であることが確かめられた。いっぽう、弥生時代中期以後の層準では、花粉化石の産出量はひじょうに少なく、花粉化石の保存にかかわる水田耕作や氾濫原の堆積条件などが検討課題とされた。

植物珪酸体分析は、98-7区の試料で行われた。後節では、調査地とその近傍の植生および稲作の可能性について報告されるが、一連の層序の中で2つの大きな変化がみとめられる。(1)縄文時代晩期あるいは弥生時代前期の層準(T.P.5.5m付近、試料4、5)で、とくにヨシ属の珪酸体化石が減少し、イネが増加する。(2)弥生時代中期と後期の境目にあたる層準(T.P.6.1m、試料10、11)で、イネの珪酸体化石が減少し、ススキ属型、ヒエ属型化石が増加する。また、ネザサ属、クマザサ属型もやや増加傾向を示す。すなわち要約していえば、調査地は縄文時代晩期には後背湿地で、弥生時代になり水田が営まれ、弥生時代後期には河道の発達とその氾濫堆積によって、後背湿地とより乾燥した自然堤防に変遷したと推測される。この土地条件の変遷は、上述した花粉化石の保存状態に影響すると思われる。また、弥生時代前期から中期の堆積層には、踏み込みによる層界の乱れや、遺構の一部をなす掘り込み、盛土状の擾乱が見られ、イネ科草本と思われる植物片の炭が多量に含まれていたことから、水田遺構が分布する可能性はひじょうに高い。

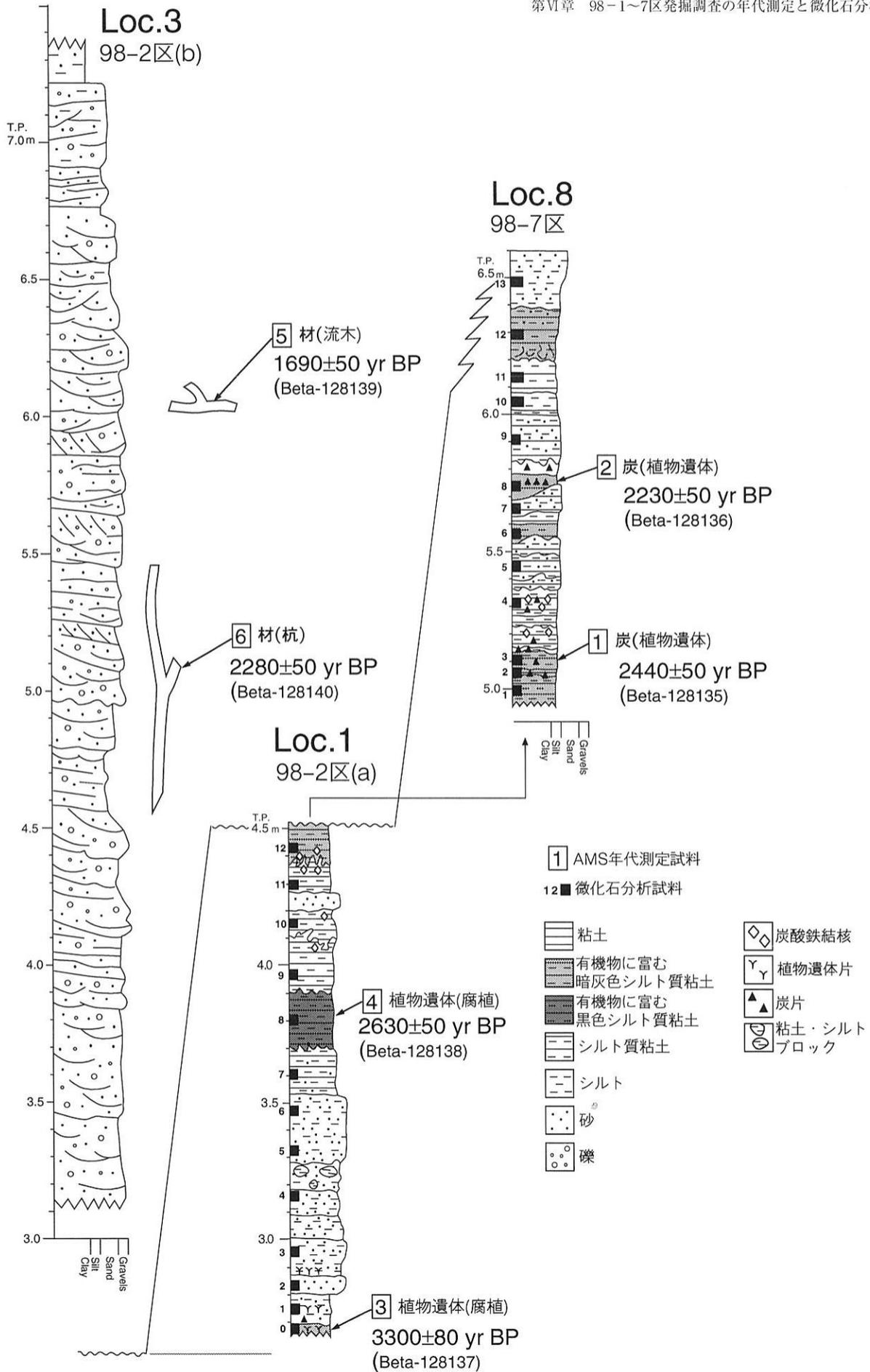


図181 年代試料および微化石分析試料採取層準

第1節 放射性炭素年代測定結果

株式会社 地球科学研究所

1. 報告内容の説明

^{14}C age (y BP) : ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(1950年AD)から何年前(BP)かを計算した年代。
半減期として5568年を用いた。

補正 ^{14}C age (y BP) : 補正 ^{14}C 年代値

試料の炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)を測定して試料の炭素の同位体分別を知り $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。

$\delta^{13}\text{C}$ (Permil) : 試料の測定 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比。

この安定同位体比は下式のように標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表現する。

$$\delta^{13}\text{C} (\text{‰}) = \frac{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C}) [\text{試料}] - (^{13}\text{C}/^{12}\text{C}) [\text{標準}]}{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C}) [\text{標準}]} \times 1000$$

ここで、 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ [標準] = 0.0112372である。

暦年代：過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。

具体的には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。(Stuiver *et al.*, 1993; Vogel *et al.*, 1993; Talma and Vogel, 1993)

ただし、この補正は約10,000y BPより古い試料には適用できない。

2. 測定方法などに関するデータ

測定方法 AMS：加速器質量分析

Radiometric：液体シンチレーションカウンターによる β 線計数法

処理・調製・その他：試料の前処理、調製などの情報

前処理acid-alkali-acid：酸—アルカリ—酸洗浄

acid washes：酸洗浄

acid etch：酸によるエッチング

none：未処理

調整、その他

Bulk-Low Carbon Material：低濃度有機物処理

Bone Collagen Extraction：骨、歯などのコラーゲン抽出

Cellulose Extraction：木材のセルロース抽出

Extended Counting：Radiometricによる測定の際、測定時間を延長する

分析機関：BETA ANALYTIC INC.

4985 SW 74 Court, Miami, FL33155, U.S.A

3. 年代測定結果

試料データ	^{14}C 年代 (y BP) (Measured ^{14}C age)	$\delta^{13}\text{C}$ (permil)	補正 ^{14}C 年代 (y BP) (Conventional ^{14}C age)
Beta-128135 試料名 (11181) 1 測定方法、期間 Standard-AMS 試料種、前処理など organic sediment acid washes	2360 ± 50	20.4	2440 ± 50
Beta-128136 試料名 (11182) 2 測定方法、期間 Standard-AMS 試料種、前処理など charred material acid washes	2030 ± 50	-12.6	2230 ± 50
Beta-129137 試料名 (11183) 3 測定方法、期間 Standard-AMS 試料種、前処理など organic sediment acid washes	3240 ± 80	-21.6	3300 ± 80
Beta-128138 試料名 (11184) 4 測定方法、期間 Standard-AMS 試料種、前処理など organic sediment acid washes	2590 ± 50	-22.4	2630 ± 50
Beta-128139 試料名 (11185) 5 測定方法、期間 Standard-AMS 試料種、前処理など wood acid-alkali-acid	1740 ± 50	-28.1	1690 ± 50
Beta-128140 試料名 (11186) 6 測定方法、期間 Standard- AMS 試料種、前処理など wood acid-alkali-acid	2280 ± 50	-31.1	2180 ± 50

年代値はRCYBP (1950ADを0年とする) で表記。モダンリファレンススタンダードは、国際的な慣例として、NBS Oxalic AcidのC14濃度の95%を使用し、半減期はリビーの5568年を使用した。エラーは1シグマ (68%確率) である。

5. 暦年代へのキャリブレーション

Variables:	C13/C12 = -20.4 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128135
Conventional radiocarbon age:	2440 ± 50 BP
Calibrated results:	cal BC 780 to 395 (Cal BP 2730 to 2345)
1 sigma, 95% probability:	
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age with calibration curve:	cal BC515 (Cal BP 2465)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal BC 760 to 635 (Cal BP 2710 to 2585) and cal BC 560 to 410 (Cal BP 2510 to 2360)
Variables:	C13/C12 = -12.6 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128136
Conventional radiocarbon age:	2230 ± 50 BP
Calibrated results:	cal BC395 to 170 (Cal BP 2345 to 2120)
(2 sigma, 95% probability)	
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age with calibration curve:	cal BC 360 (Cal BP 2310) and cal BC 280 (Cal BP 2230) and cal BC 240 (Cal BP 2190)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal BC 380 to 200 (Cal BP 2330 to 2150)
Variables:	C13/C12 = -21.6 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128137
Conventional radiocarbon age:	3300 ± 80BP
Calibrated results:	cal BC1750 to 1415 (Cal BP3700 to 3365)
(2 sigma, 95% probability)	
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age with calibration curve:	cal BC 1540 (Cal BP 3490)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal BC 1680 to 1500 (Cal BP 3630 to 3450)
Variables:	C13/C12 = -22.4 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128138
Conventional radiocarbon age:	2630 ± 50 BP
Calibrated results:	cal BC845 to 775 (Cal BP 2795 to 2725)
(2 sigma, 95% probability)	
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age	

with calibration curve:	cal BC 805 (Cal BP 2755)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal BC 820 to 790 (Cal BP 2770 to 2740)
Variables:	C13/C12 = -28.1 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128139
Conventional radiocarbon age:	1690 ± 50BP
Calibrated results: (2 sigma, 95% probability)	cal AD 240 to 440 (Cal BP 1710 to 1510)
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age with calibration curve:	cal AD 385 (Cal BP 1565)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal AD 265 to 290 (Cal BP 1685 to 1660) and cal AD 325 to 415 (Cal BP 1625 to 1535)
Variables:	C13/C12 = -31.1 : lab mult. = 1
Laboratory Number:	Beta-128140
Conventional radiocarbon age:	2180 ± 50 BP
Calibrated results: (2 sigma, 95% probability)	cal BC380 to 80 (Cal BP 2330 to 2030)
Intercept data:	
Intercept of radiocarbon age with calibration curve:	cal BC200 (Cal BP 2150)
1 sigma calibrated results (68% probability) :	cal BC 360 to 280 (Cal BP 2310 to 2230) and cal BC 240 to 170 (Cal BP 2190 to 2120)

References:

Calibration Database

Editorial Comment

Stuiver, M., van der Plicht, H., 1998, Radiocarbon 40 (3) , pxii-xiii

INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration

Stuiver, M., et al., 1998, Radiocarbon 40 (3) , p1041-1083

Mathematics

A Simplified Approach to calibrating C14 Data

Talma, A.S., Vogel, J.C., 1993, Radiocarbon 35 (2) , p317-322

第2節 大阪府小阪合遺跡の花粉分析結果

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

小阪合遺跡は河内平野南東部の沖積地に位置する。今回の発掘調査では、弥生時代の遺物、古墳時代前期（庄内・布留式期）の遺構、埋没河道が検出されている。この埋没河道は弥生時代後期の急激な下刻と埋積、側方侵食と砂礫の累重によって形成されたものと考えられており、その変遷を捉えることが弥生時代以降の遺構の分布を考える上でも重要視されている。

このように本遺跡では人間の活動状況を捉える上で、遺跡が位置する地域の古地理や古環境を復元することが重要な課題と考えられている。そこで、今回は埋没河道が形成される以前の古環境、とりわけ遺跡周辺の植生および低地の環境に関する情報を得ることを目的として花粉分析を実施する。

1. 試料

調査地点は98-2区と98-7区の2箇所である。各調査区の堆積物の層序は図181を参照。

98-2区は調査区東部に位置する。本調査区では埋没河道埋積物（b）と、埋没河道ベースおよび流路側壁をなす堆積物（a）の断面が認められる。堆積年代は、流路充填堆積物中の遺物より、流路の埋積が弥生時代後期から奈良時代まで、流路側壁をなす堆積物が放射性炭素年代測定値より縄文時代晩期から弥生時代初頭と推定されている。

98-7区は調査区西部に位置し、埋没河道西岸に当たる。本地点では河道充填堆積物は認められず、堆積層の下部は調査区で検出された河道以前の後背湿地堆積物、標高6.3mより上位は河川地形発達後半の自然堤防を含む河岸の堆積物と考えられている。堆積物の時代観は放射性炭素年代測定から縄文時代晩期から弥生時代初頭と推定されている。

試料は、目的等を考慮して98-2区（a）から泥質堆積物13点（試料番号0～12）、98-7区の泥質堆積物13点（試料番号1～13）の計26点を分析に用いる。試料採取層位などの詳細は図181にまとめられている。

2. 分析方法

花粉・孢子化石の抽出方法は以下の手順で行った。各試料を湿重で約10g秤量し、水酸化カリウム処理、篩別（250 mm）、重液分離（臭化亜鉛，比重2.3）、フッ化水素酸処理、アセトリシス処理（無水酢酸：濃硫酸=9：1）の順に物理・化学的処理を行い花粉・孢子化石を分離・濃集する。処理後の残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製した後、光学顕微鏡下でプレパラートを走査し、出現する全ての種類（taxa）について同定・計数を行う。

結果は同定・計数結果の一覧表および主要花粉化石群集の変遷図として表示する。図中の各種類の割合は、木本花粉が木本花粉総数を、草本花粉とシダ類孢子が総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数とした百分率で算出する。なお、図表中で複数の種類をハイフン（-）で結んだものは種類間の区別が困難なものを示す。

表7 98-2区 (a) の花粉分析結果

種 類	試料番号	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
木本花粉														
マキ属		9	-	-	3	20	-	-	-	5	9	5	7	8
モミ属		17	-	-	10	9	1	-	-	42	38	46	47	48
ツガ属		24	-	-	20	10	-	-	-	40	13	14	17	10
トウヒ属		-	-	-	-	1	-	-	-	2	2	1	-	-
マツ属単維管束亜属		1	-	-	4	-	-	-	-	1	-	2	-	-
マツ属複雑維管束亜属		8	-	-	5	4	-	-	-	6	7	7	9	5
マツ属 (不明)		1	-	-	5	4	-	-	-	5	2	1	3	8
コウヤマキ属		26	1	1	16	98	-	-	1	25	14	10	20	44
スギ属		13	-	-	9	16	-	-	-	14	5	17	14	5
イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科		13	-	-	2	2	-	-	-	9	2	5	15	3
ヤナギ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヤマモモ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
クルミ属		-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	2	1	-
クマシデ属-アサダ属		3	-	-	3	2	-	-	-	3	3	4	6	1
カバノキ属		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
ハンノキ属		2	-	-	2	-	-	-	-	3	1	2	1	-
ブナ属		2	-	-	2	2	-	-	-	1	-	4	5	-
コナラ属コナラ亜属		23	-	1	11	25	-	-	-	17	10	20	18	11
コナラ属アカガシ亜属		61	3	3	94	25	-	-	2	54	56	80	60	12
クリ属		1	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
シノキ属		7	-	-	14	-	-	-	-	7	7	1	12	1
ニレ属-ケヤキ属		3	1	-	3	2	-	-	-	6	4	1	5	4
エノキ属-ムクノキ属		2	-	-	7	-	-	-	-	2	2	3	2	-
ユズリハ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
アカメガシワ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
シラキ属		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
モチノキ属		-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-
カエデ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
トチノキ属		-	-	-	3	-	-	-	-	1	2	-	2	-
ブドウ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
ツタ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ノブドウ属		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ウコギ科		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-
ツツジ科		-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
ハイノキ属		-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
エゴノキ属		-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
イボタノキ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
テイカカズラ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ガマズミ属		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本花粉														
ガマ属		-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	2	1
サジオモダカ属		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イネ科		154	-	-	11	44	-	-	-	10	7	18	23	29
カヤツリグサ科		13	-	-	9	20	-	-	-	11	5	2	9	5
ミズアオイ属		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クワ科		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
サナエタデ節-ウナギツカミ節		-	-	-	4	23	-	-	-	1	-	1	2	1
アカザ科		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ナデシコ科		6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コオホネ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
アブラナ科		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
ワレモコウ属		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
バラ科		-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
マメ科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
フウロソウ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
セリ科		-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	1	2	2
ミツガシワ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
オミナエシ属		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴキツル属		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨモギ属		28	1	-	1	51	-	-	-	2	3	2	4	117
キク亜科		-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	3
不明花粉		8	1	1	15	13	-	-	-	6	8	7	17	27
シダ類孢子														
ヒカゲノカズラ属		6	-	1	10	1	-	-	2	2	5	1	1	1
イワヒバ属		7	4	-	9	1	-	-	-	2	5	7	4	3
ゼンマイ属		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
イノモトソウ属		41	11	-	32	10	6	2	14	22	25	5	15	1
ミズワラビ属		11	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
サンショウモ		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1
他のシダ類孢子		374	30	81	303	266	13	7	103	97	177	66	144	771
合 計														
木本花粉		219	5	5	221	225	1	0	3	254	181	231	252	162
草本花粉		211	1	0	31	148	0	0	1	27	17	26	43	167
不明花粉		8	1	1	15	13	0	0	0	6	8	7	17	27
シダ類孢子		439	45	82	354	280	20	9	119	124	212	80	165	778
総計 (不明を除く)		869	52	87	606	653	21	9	123	405	410	337	460	1107

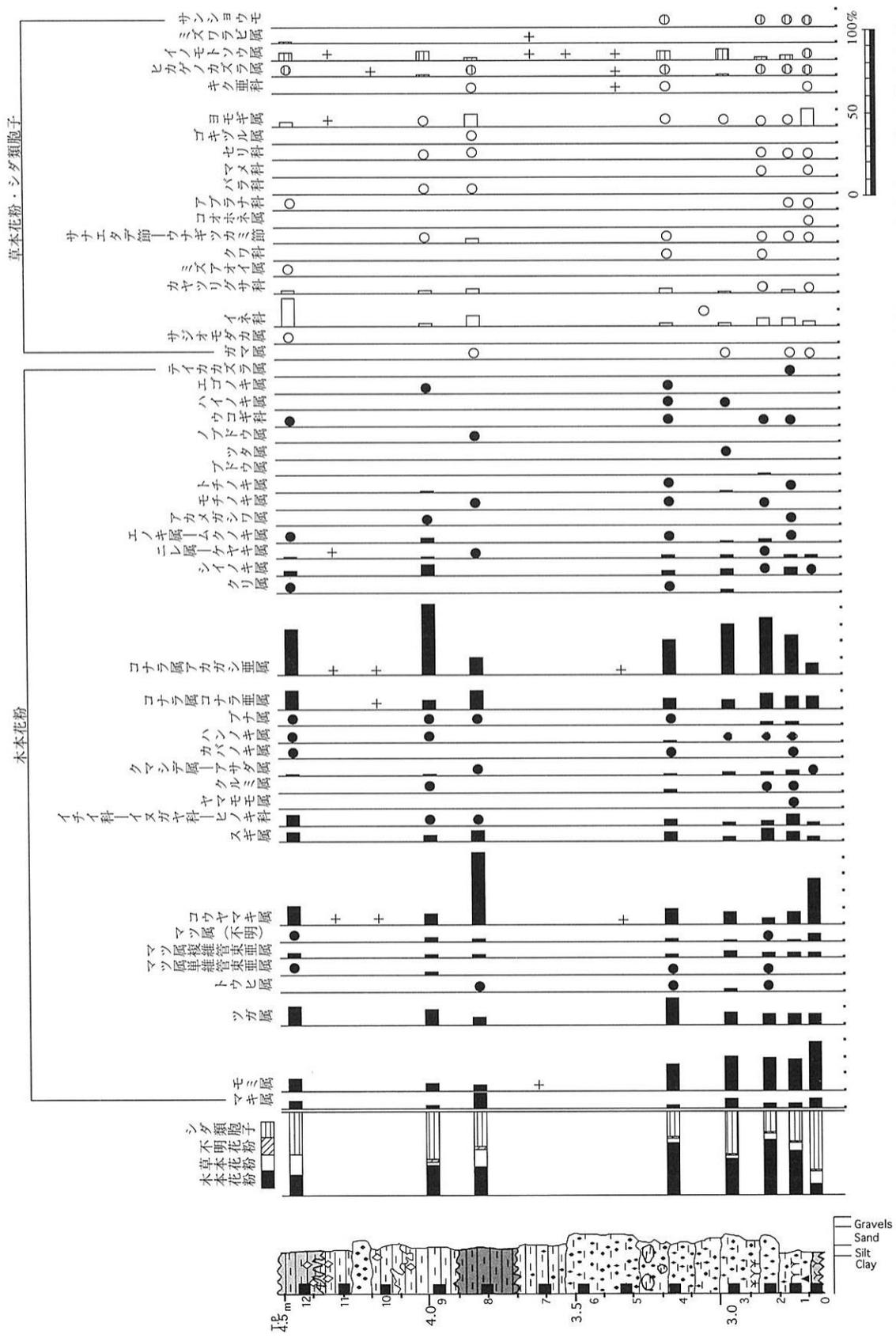


図182 98-2区 (a) の主要花粉化石の層位分布
 出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉はシダ類胞子を総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。
 なお、○●は1%未満、+は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

表8 98-7区の花粉分析結果

種 類	試料番号	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木本花粉														
マキ属		-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-
モミ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
ツガ属		-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	2	-
マツ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
コウヤマキ属		-	-	1	-	1	1	-	6	5	3	2	-	5
スギ属		-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
ブナ属		-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-
コナラ属コナラ亜属		-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	2	-
コナラ属アカガシ亜属		-	2	-	1	1	-	-	-	-	2	4	4	1
ニレ属-ケヤキ属		-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-
エノキ属-ムクノキ属		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
シナノキ属		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
草本花粉														
イネ科		-	8	-	-	1	1	3	3	1	1	4	2	-
カヤツリグサ科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
サナエタデ節-ウナギツカミ節		-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-
ナデシコ科		-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-
アブラナ科		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヨモギ属		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
キク亜科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
不明花粉		-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-
シダ類孢子														
ヒカゲノカズラ属		-	5	1	-	11	3	7	2	-	1	4	1	1
イワヒバ属		-	-	-	1	-	1	1	1	1	3	2	3	-
ゼンマイ属		-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
イノモトソウ属		-	33	14	23	81	40	33	16	23	26	36	20	12
ミズワラビ属		-	-	-	-	1	1	1	-	3	-	1	-	-
他のシダ類孢子		1	43	25	64	165	116	115	104	36	92	97	91	49
合 計														
木本花粉		0	3	1	1	3	3	1	11	7	9	13	17	8
草本花粉		0	9	1	0	2	1	3	6	2	6	4	5	1
不明花粉		0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
シダ類孢子		1	81	40	88	258	161	157	124	63	123	140	115	62
総計(不明を除く)		1	93	42	89	263	165	161	141	72	138	157	137	71

3. 結果

・98-2区 (a)

結果を表7、図182に示す。プレパラート内の状況は、炭化した植物片が多く認められ、とくに植物遺体に富む地層の試料番号0、8、12の各試料では非常に多い。全体的に保存が悪く、シダ類孢子の占める割合が高い。花粉・孢子化石の中には外膜が溶けて薄くなっているものも多く混ざっている。特に試料番号5、6、7、10、11の各試料ではその傾向が強く、花粉化石の産出が非常に少ない。比較的花粉化石が多産する試料における花粉化石群集の特徴を以下に述べる。

木本花粉化石では、モミ属、ツガ属、コウヤマキ属など針葉樹花粉の割合が比較的高い。モミ属とコウヤマキ属は試料によって出現率が高いものが存在するが、これは花粉化石の保存状態が悪い試料で高い傾向がある。広葉樹花粉では、アカガシ亜属の割合が高く、コナラ属やシノキ属なども伴っている。草本花粉は全体的に種類数・出現率ともに低い傾向にある。その中でもイネ科やヨモギ属がやや多く検出される。また、水生植物由来の花粉やシダ類孢子（ガマ属、サジオモダカ属、コオホネ属、ミズワラビ属、サンショウモなど）も少量ながら検出される。

・98-7区

結果を表8に示す。顕微鏡下の観察では何れの試料においても炭化した植物片が非常に多く認められ、花粉・孢子化石の産出は少ない。産出した花粉・孢子化石のほとんどはシダ類孢子である。花粉化石では、木本花粉のマキ属、モミ属、ツガ属、マツ属、コウヤマキ属、コナラ亜属、アカガシ亜属など、草

本花粉のイネ科、サナエタデ節-ウナギツカミ節、ヨモギ属などを産出するがいずれも数は少ない。

4. 考察

今回の調査で得られた縄文時代晩期～弥生時代初頭の花粉化石群集は、本遺跡の立地および層相等を考慮すると、基本的には碎屑物とともに本地点に再堆積した異地性の群集と考えられる。すなわち、花粉化石群集が反映している植生は生駒山水系や大和川水系およびその周辺山地・丘陵部などの広い範囲を想定しておく必要がある。

98-2区 (a) で得られた縄文時代晩期～弥生時代初頭の花粉化石群集は、木本花粉の占める割合が高く、常緑広葉樹のアカガシ亜属と共に温帯性針葉樹やその種を含むモミ属・コウヤマキ属・ツガ属・スギ属などが多産することが特徴である。

ところで、同時期の花粉化石群集は、平野に位置する遺跡、山地・丘陵を開析する谷底低地でも確認されている。平野部では河内平野中央部の宮ノ下遺跡（辻本ほか, 1996 大見ほか, 1996）、亀井遺跡（那須ほか, 1980）などがあり、いずれの遺跡の花粉化石群集も今回の化石群集の特徴と類似する。一方、山地・丘陵を開析する谷底低地では、泉北丘陵に位置する小阪遺跡（パリノ・サーヴェイ, 1992）、生駒山山麓では西ノ辻遺跡（未公表）・北島遺跡（パリノ・サーヴェイ株式会社, 1996）などで確認されている。これらの遺跡で得られている花粉化石群集は木本花粉の占める割合が極めて高く、その中でアカガシ亜属が優占する点で平野部の群集の特徴と一致するが、温帯性針葉樹の種類の出現率が低地堆積物に比較して低率である点で多少異なっている。このような違いは、花粉化石群集の成因の違い（花粉の比重の違い、花粉の散布形態、花粉生産量と母集団との距離、堆積物粒度の挙動など）、堆積後の分解度の違いなど、複数の要因が関係していると考えられる。今回の花粉化石群集は保存状態が悪かったことから、堆積後の風化作用の影響による分解が関係している可能性がある。すなわち、花粉の風化に対する抵抗性が広葉樹花粉に比較して針葉樹花粉の方が強いことから、針葉樹花粉の出現率が相対的に高くなっている可能性がある。いずれにしても、本時期の花粉化石群集は木本花粉の多産と、アカガシ亜属の優占が特徴であり、河内平野周辺の広い範囲において照葉樹林が成立していたことが窺える。ここでのアカガシ亜属の種類は、花粉化石から特定することができないが、小阪遺跡ではイチイガシ・アラカシの種実や葉が認められていることから、これらの種類が含まれていた可能性がある。

以上のことから、当時の後背丘陵や山地域には、暖温帯のカシ類やシイを主体とする照葉樹林が存在し、その分布域より標高の高い場所にはスギ、ヒノキ、コウヤマキ、モミ、ツガなどの中間温帯針葉樹が分布していたことが推定される。なお、一部の堆積層では花粉・孢子化石の産出が少ない試料（試料番号5、6、7、10、11）がみられたが、これらの試料で僅かに認められた種類は、いずれも比較的保存のよい試料で多産している種類であることから、おそらく同様な植生が続いていたことが推定される。

大阪平野における完新世の植生変遷は、大きくは7,500～6,000年前にナラ類からなる落葉広葉樹林からシイ・カシなどの照葉樹林へと遷移し、6,000年以降照葉樹林の安定時代に入る。そして、約3,000～2,000年前にスギ、ヒノキ、コウヤマキ、モミ、ツガなどの針葉樹が増加する（Maeda, 1976；前田, 1977；古谷, 1979；大阪文化財センター, 1980；那須, 1989）。縄文時代後期・晩期における針葉樹の増加は宮ノ下遺跡（辻本ほか, 1996）・北島遺跡（パリノ・サーヴェイ株式会社, 1996）・田井中・志紀遺跡（辻本・田中, 1997）などでも認められている。これらの針葉樹は、照葉樹林帯とそれより高い（北方の）山地にあるブナ帯の間を埋める中間温帯林（温帯針葉樹林）の構成要素であり、これらの要素が

大阪平野周辺の山地に増加したことは、気候が悪化したこと、とりわけ多雨化したことを意味しているとされる（那須, 1989）。

この気候の悪化について、那須（1989）は次のように述べている。縄文晩期に始まり、弥生時代まで続く海水準の低下は、日本列島の各地から知られ、「弥生の小海退」（古川, 1972）とよばれている。同様の現象は世界各地で知られ、アラスカやアイスランドの氷河が一時的に拡大した時期ともほぼ一致し、氷河性海水準変動によるものと考えられている。古気候学的にはヒブシサーマル期以後における冷涼な時代はネオグレイシャル期、その中の一時的に氷河が拡大した時期はネオグレイシエーション（Denton and Karlen, 1973）とよばれている。そして、日本列島で「弥生の小海退」が起きた時期に相当する冷涼期は、気候悪化期と呼ばれており、ネオグレイシエーションにあたる考えられている。

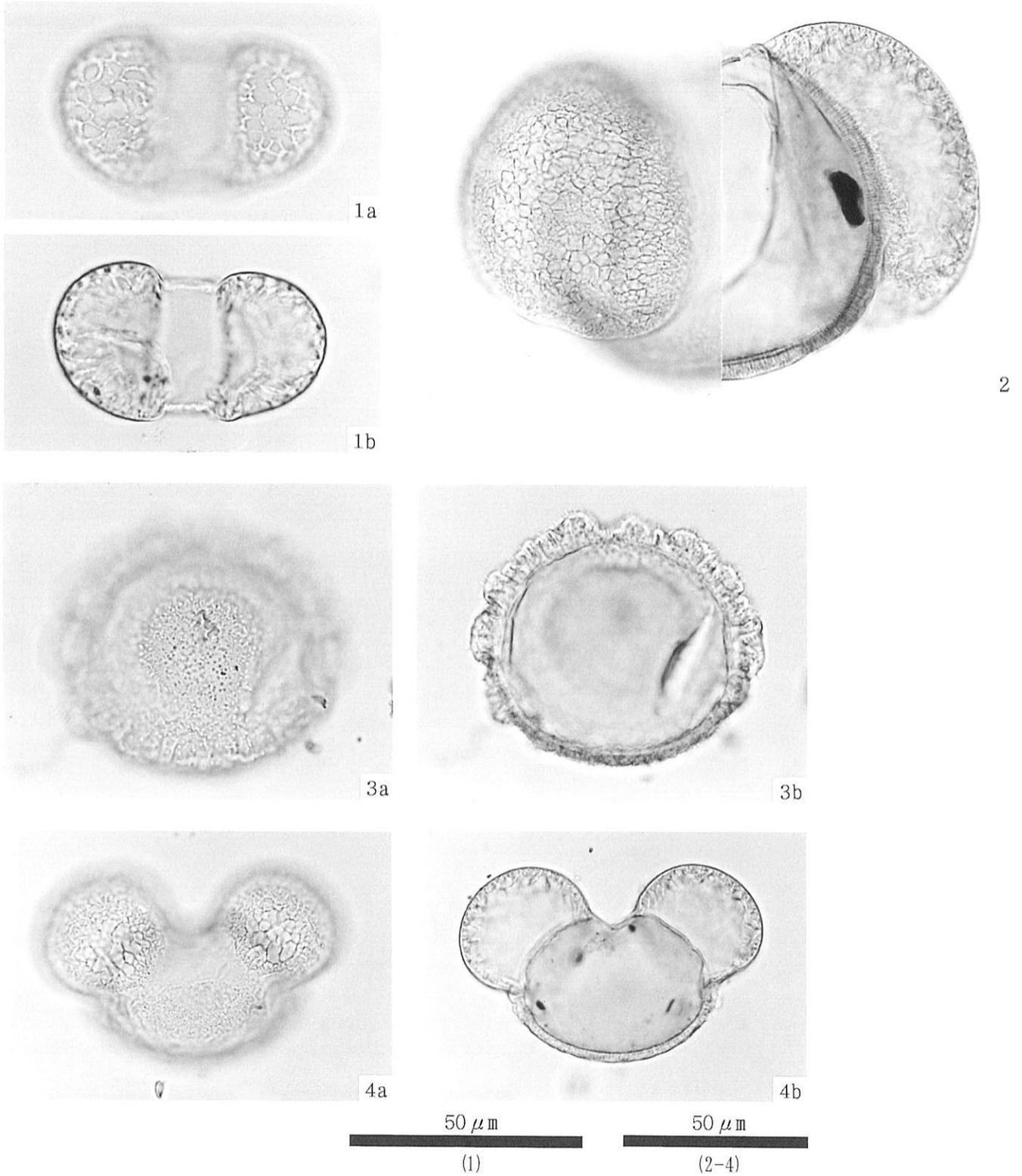
本時期の草本花粉の組成をみると、ガマ属、ミズアオイ属、コオホネ属、ゴキヅル属、ミズワラビ属、サンショウモなどの水域の環境を示す花粉・胞子化石が検出される。河川周辺に生育していた水生植物に由来すると思われるが、草本花粉が占める割合が全体的に低く、うっそうとした草地が広がっていたとは考えにくい。

98-2区（a）の上位にあたる98-7区では、花粉化石の保存が著しく悪かった。腐植質堆積物の層準でも著しく悪かったことから、この時期は風化作用の影響を受け易かった、例えば乾・湿の繰り返しが起こっていた可能性がある。検出された花粉化石には水生植物のミズワラビ属なども僅かながら認められたが、これは自然堤防が発達する段階で取り込まれたものと考えられる。おそらく、堆積速度の関係で花粉化石が取り込まれにくかった事に加え、自然堤防形成後に花粉・胞子化石が分解・消失しやすい酸化的状態に何度もさらされて、大部分が消失した可能性がある。わずかながら産出する種類をみると、98-2区（a）で多産した分類群が検出されている。これまで大阪平野で行われた花粉化石群集をみると、弥生時代後期から古代にかけて、カシ類と温帯性針葉樹花粉の多産で特徴づけられていることが多い（Furutani, 1989など）。このことから、当時の森林植生も98-2区で検討したものと、同様な森林植生が推定される。なお、下半部は水田層の可能性も指摘されているが、花粉分析の成果からは明らかではない。比較的風化に強い、植物珪酸体などの成果を用いて、今後検討してゆく必要があると思われる。また、大阪平野では約1,500年前から、マツ属の花粉化石が増加する傾向にあり、アカマツ二次林や植林が成立したとされる（中村, 1967；塚田, 1974；那須, 1980）。今回の結果では明確に現れてはいないが、98-7区の上部は、この時代に相当している可能性もある。

引用文献

- Denton, G. H. and Karlen, W. (1973) Holocene climatic variations: their pattern and possible cause. *Quaternary Research*, 3, p. 155-205.
- 古谷正和 (1979) 大阪周辺地域におけるウルム氷期以降の森林植生変遷. 第四紀研究, 18, 3, p. 121-141.
- Furutani, M. (1989) Stratigraphical Subdivision and Pollen Zonation of the Middle and Upper Pleistocene in the Coastal Area of Osaka Bay, Japan. *Journal of Geoscience Osaka City University*, 32, p. 91-121.
- 古川博恭 (1972) 「濃尾平野の沖積層 — 濃尾平野の研究 その1」『地質学論集』7号, p.561-582
- 前田保夫 (1977) 大阪湾の自然史 — 潜函でとらえた海と森の変遷 —. 科学, 47, 9, p. 514-523.
- Maeda, Y. (1976) Palynological study of the forest history in the coastal area of Osaka Bay since 14,000 BP. *Journal of Geosciences, Osaka City University*, 20, 4, p.59-92.

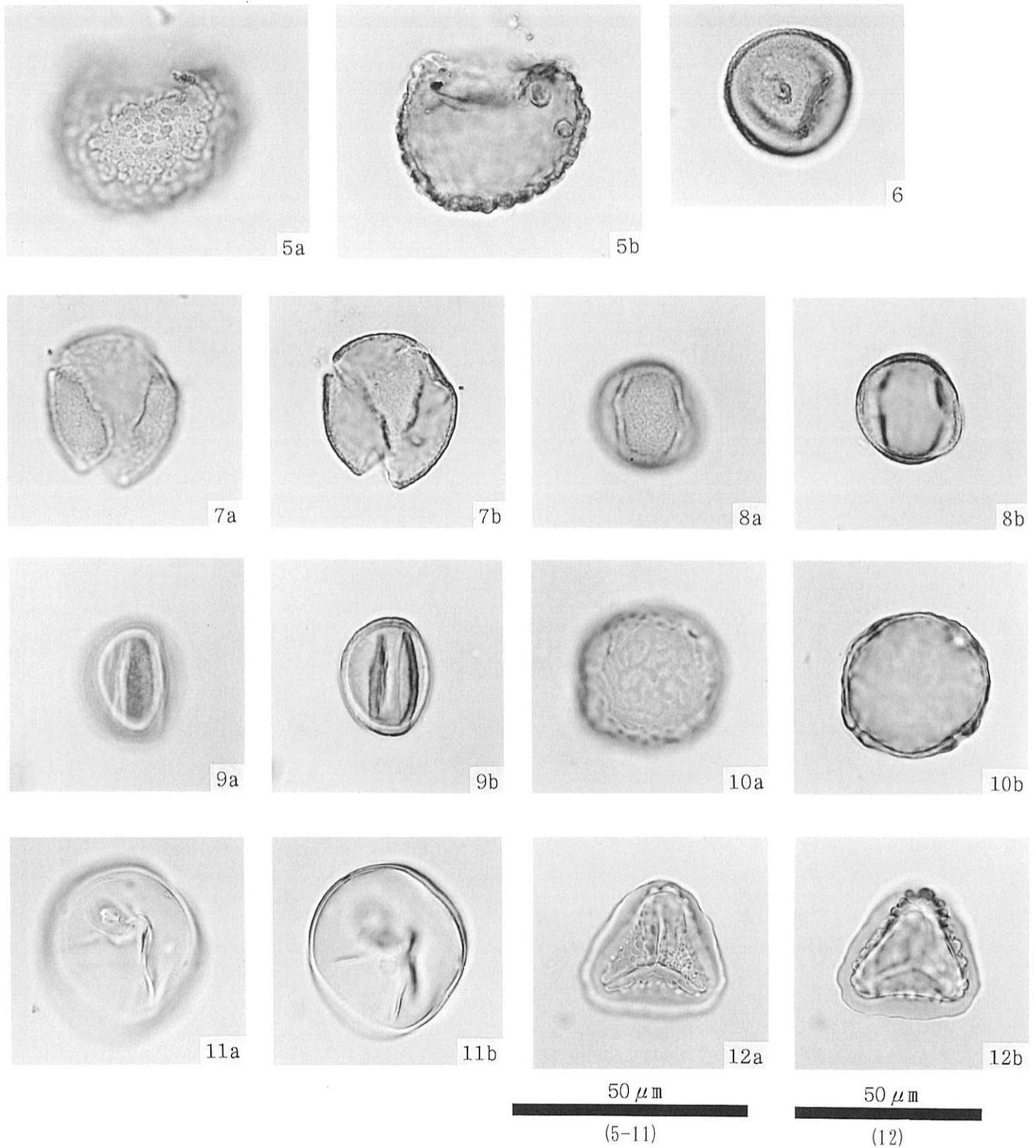
- 中村 純 (1967) 「花粉分析」, pp. 232. 古今書院.
- 那須孝悌 (1980) 花粉分析からみた二次林の出現. 関西自然保護機構会報, 4, p. 3-9.
- 那須孝悌 (1989) 活動の舞台: 概論. 「弥生文化の研究 1 弥生人とその環境」, 永井昌文・那須孝悌・金関 恕・佐原 眞 編集, p. 119-129, 雄山閣.
- 那須孝悌・坂本清子 (1980) 花粉分析. 「亀井・城山-寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場改築工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書」, p. 423-431. (財)大阪文化財センター.
- 大見元子・伊藤良永・馬場健司 (1996) 第三章 古環境 「布施駅北口駐車場及び寝屋川流域調整池建設工事に伴う宮ノ下遺跡第2次発掘調査報告書」, p. 21-46. (財)東大阪市文化財協会.
- 塚田松雄 (1974) 「生態学講座27-b 古生態学Ⅱ-応用論-」, pp. 231. 共立出版.
- 辻本裕也・伊藤良永・馬場健二 (1996) 古環境. 「宮ノ下遺跡第1次発掘調査報告書—第2分冊—」, p. 27-55. 東大阪市教育委員会・(財)東大阪市文化財協会.
- 辻本裕也・田中義文 (1997) 田井中遺跡95-2区・志紀遺跡95-2区における古環境復元. 「田井中遺跡(1~3次)・志紀遺跡(防1次)陸上自衛隊八尾駐屯地内施設建設事業に伴う発掘調査報告書」, p. 242-277 (財)大阪府文化財調査研究センター調査報告書第23集.
- パリノ・サーヴェイ株式会社 (1996) 珪藻化石・植物化石・樹種による古環境復元. 「北島遺跡の耕作地跡と古環境—寝屋川南部流域植付ポンプ場土木工事に伴う北島遺跡第1次発掘調査報告書—」, p. 71-130. (財)東大阪市文化財協会.
- パリノ・サーヴェイ株式会社 (1992) 小阪遺跡における珪藻・花粉・植物珪酸体からみた古環境. 「小阪遺跡自然科学考察編」, p. 561-582. (財)大阪文化財センター.



- 1. マキ属 (98-2区(a);3)
- 3. ツガ属 (98-2区(a);12)

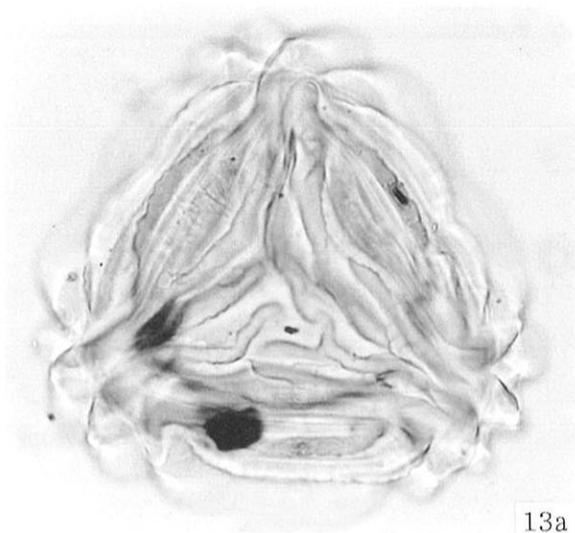
- 2. モミ属 (98-2区(a);1)
- 4. マツ属複維管束亜属 (98-2区(a);12)

写真5 花粉化石 (1)

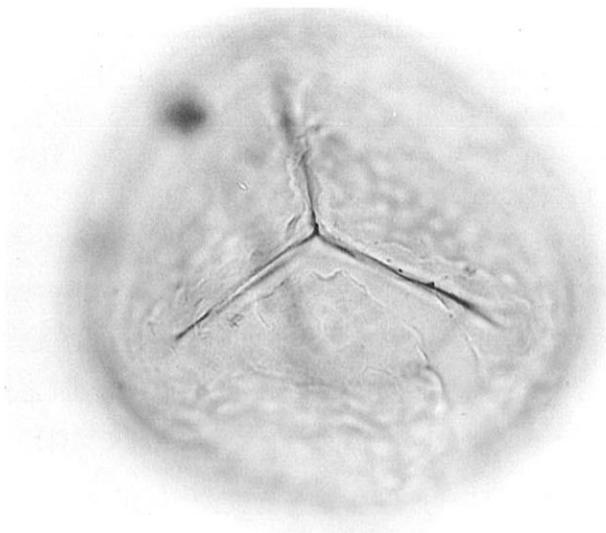


- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 5. コウヤマキ属 (98-2区(a);1) | 6. スギ属 (98-2区(a);4) |
| 7. コナラ亜属 (98-2区(a);4) | 8. アカガシ亜属 (98-2区(a);4) |
| 9. アカガシ亜属 (98-2区(a);12) | 10. ニレ属-ケヤキ属 (98-2区(a);2) |
| 11. イネ科 (98-2区(a);12) | 12. イノモトソウ属 (98-2区(a);4) |

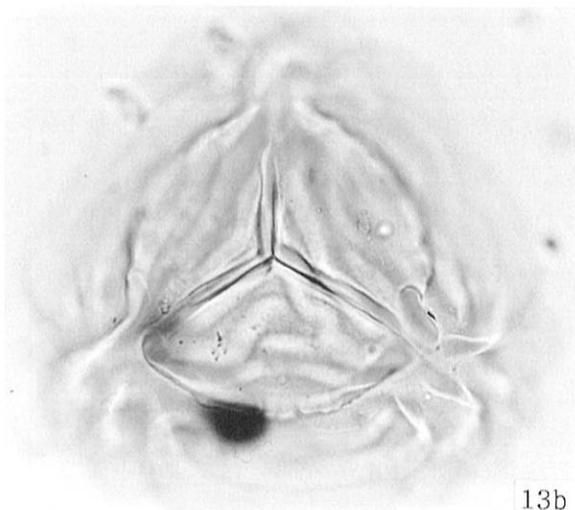
写真6 花粉化石 (2)



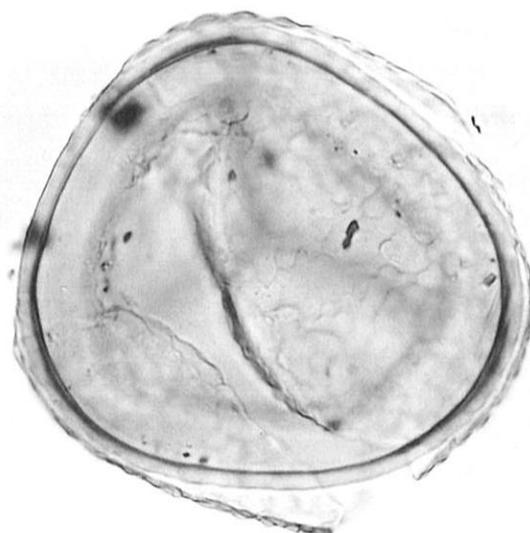
13a



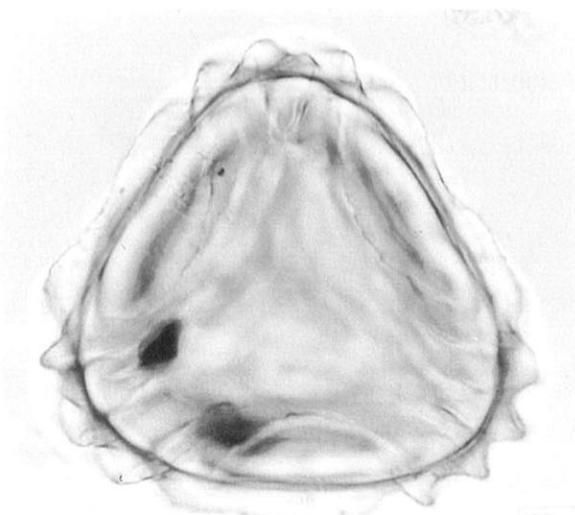
14a



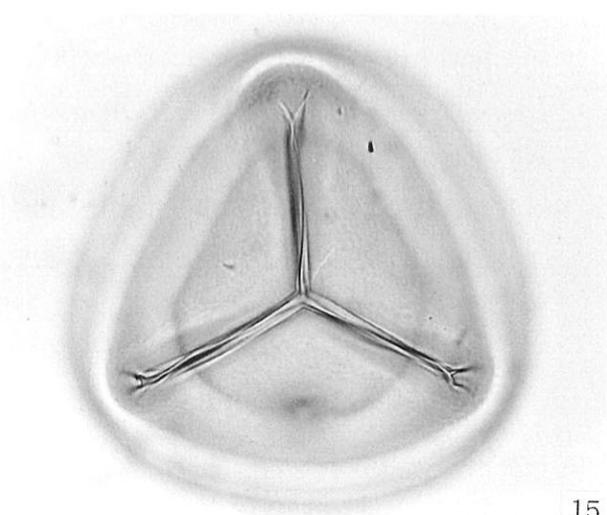
13b



14b



13c



15

50 μ m

13. ミズワラビ属 (98-2区(a);12)

14. 三条溝型胞子: カニクサ属? (98-2区(a);0)

15. 三条溝型胞子: カニクサ属? (98-2区(a);0)

写真7 花粉化石 (3)

第3節 大阪府小阪合遺跡の植物珪酸体化石分析結果

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

植物珪酸体は、ガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が植物の細胞内に蓄積したものであり、植物が枯死した後も微化石〈プラント・オパール〉となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出し、その組成や量を明らかにする方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている。ここでは、小阪合遺跡において採取された試料について植物珪酸体分析を行い、水田跡の探査を行った結果について報告する。

2. 試料

調査地点は、98—7区である。分析試料は、下位より暗灰色シルト質粘土 (試料1)、炭化物混じり暗灰色シルト質粘土 (試料2、試料3)、炭化物と炭酸鉄結核混じりシルト (試料4)、砂混じりシルト質粘土 (試料5)、炭化物と植物遺体混じり暗灰色土 (試料6)、砂混じりシルト質粘土 (試料7)、炭化物混じり暗灰色土 (試料8)、砂混じりシルト質粘土 (試料9)、シルト質粘土 (試料10、試料11)、暗灰色シルト質粘土 (試料12)、砂混じりシルト (試料13) の計13点である。なお、これらはいずれも遺跡の調査担当者によって採取され当研究所に送付されてきたものである。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、「プラント・オパール定量分析法」(藤原, 1976) をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料土の絶乾 ($105^\circ\text{C} \cdot 24$ 時間)
- 2) 試料土約 1 g を秤量、ガラスビーズ添加 (直径約 $40\ \mu\text{m}$, 約 0.02 g)
※電子分析天秤により 1 万分の 1 g の精度で秤量
- 3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- 4) 超音波による分散 ($300\text{W} \cdot 42\text{kHz} \cdot 10$ 分間)
- 5) 沈底法による微粒子 ($20\ \mu\text{m}$ 以下) 除去、乾湿
- 6) 封入剤 (オイキット) 中に分散, プレパラート作成
- 7) 検鏡は、おもにイネ科植物の機動細胞 (葉身にのみ形成される) に由来する植物珪酸体 (以下、植物珪酸体と略す) を同定の対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。

検鏡結果は、計数値を試料 1 g の中植物珪酸体個数 (試料 1 g あたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズの個数の比率を乗じて求める) に換算して示した。また、おもな分類群については、この値に試料の仮比重 (1.0 と仮定) と各植物の換算係数 (機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重, 単位: $10 \sim 5\ \text{g}$) を乗じて、単位面積で層厚 1 cm あたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネ (赤米) は 2.94、ヨシ属 (ヨシ) は 6.31、ススキ属 (ススキ) は 1.24、ネザサ節

は0.48、クマザサ属（チシマザサ節）は0.75である。

4. 分析結果

採取された試料はすべてについて分析を行った結果、イネ、キビ族（ヒエ属型）、ヨシ属、ウシクサ族（ススキ属型）、タケ亜科（ネザサ節型、クマザサ属型、その他）の植物珪酸体が同定された。これらの分類群について定量を行い、その結果を表9と図183に示した。なお、主要な分類群については顕微鏡写真（写真8）を示した。

5. 考察

（1）稲作の可能性について

イネの植物珪酸体は、下位より試料2、試料3、試料5、試料6、試料8、試料9、試料10、試料11、試料12の9試料である。このうち、試料6、試料8、試料9および試料10では、植物珪酸体密度がそれぞれ2,900個/g、4,400個/g、2,700個/g、4,000個/gであり、稲作跡の判断基準値である3,000個/g程度あるいはそれ以上である。また、試料6、試料8さらに試料10では植物珪酸体密度が直上層より高いいわゆるピークが認められることから、上層からの混入の危険性は考えにくい。したがって、これら4試料の採取された層準については稲作跡である可能性が高いと判断される。これら以外の試料2、試料3、試料5、試料11および試料12の層準については、植物珪酸体密度が1,000個/g以下と低いことから、試料採取地点あるいは近傍において稲作が行われていたものと考えられる。

（2）植物珪酸体分析から推定される植生・環境

ススキ属やタケ亜科は比較的乾燥した土壤環境に生育する植物であり、ヨシ属は湿地に生育する植物である。したがって、これらの植物の出現傾向から堆積当時の乾湿環境を推定することが可能である。

主な分類群の推定生産量（図の右側）をみると、試料2、試料3さらに試料4でヨシ属が高い密度で検出されているが、タケ亜科やススキ属型はそれほど高くはない。したがって、これらの層準の堆積時は調査地は湿地かそれに近い環境であったと推定される。また、試料1、試料5～8、試料10、試料12からも低密度ではあるがヨシ属が検出されていることから、それぞれの堆積時には近傍に湿地的な場所があったと推定される。一方、タケ亜科は高い密度ではないがすべての試料より検出されていることから、各層準とも周辺にはネザサなどのタケ亜科が生育していたと考えられ、試料8を除く各層準ではススキ属も周辺にみられたと推定される。

なお、試料11と試料12からはヒエ属型とみられる植物珪酸体が検出されている。現時点では、植物珪酸体の形状からヒエ属の栽培種と野生種を明確に識別できるまでには至っていない。また、ヒエ属とキビ属の間には一部に極めて形態の近似するものがある（杉山ほか，1988）。したがって、ここで検出されたものが栽培種のヒエである可能性については積極的に肯定することはできない。

6. まとめ

小阪合遺跡において採取された試料について植物珪酸体分析を行い、水田跡の可能性について検討した。その結果、試料6、試料8、試料9さらに試料10の層準において稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、採取地での可能性には疑問があるものの、試料2、試料3、試料5、試料11およ

び試料12の層準においても稲作が行われていた可能性が認められた。

参考文献

- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用—古代農耕追求のための基礎資料として—, 考古学と自然科学, 20:81-92.
- 藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—, 考古学と自然科学, 9:15-29.
- 藤原宏志（1979）プラント・オパール分析法の基礎的研究（3）—福岡・板付遺跡（夜臼式）水田および群馬・日高遺跡（弥生時代）水田におけるイネ（*O. sativa* L.）生産総量の推定—, 考古学と自然科学, 12:29-41.
- 藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究（5）—プラント・オパール分析による水田址の探査—, 考古学と自然科学, 17:73-85.

表9 大阪府、小阪合遺跡の植物珪酸体分析結果

検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群 \ 試料	98-7区												
	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イネ科													
Gramineae (Grasses)													
イネ													
<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	7	7	7	40	27	44	29	7	7	10	10		
ヒエ属型	7	7											
<i>Echinochloa</i> type													
ヨシ属	7	7	7	7	7	6	7	7	7	26	20	19	7
<i>Phragmites</i>													
ススキ属型	19	14	7	7	7	20	7	7	7	17	20	19	27
<i>Miscanthus</i> type													
タケ亜科													
Bambusoideae (Bamboo)													
ネザサ節型	32	129	97	46	109	70	115	79	85	103	117	165	109
<i>Pleiblastus</i> sect. <i>Nezasa</i> type													
クマザサ属型	19	7	35	7	20	6	7	7	21	9	10	39	20
<i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>) type													
その他	7	7	7	7		14				9		19	7
Others													
未分類等	101	353	277	259	150	152	203	371	213	353	342	620	212
Unknown													
プラント・オパール総数	171	529	436	371	313	279	358	500	342	517	517	891	383

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

イネ	0.20	0.20	0.20	1.17	0.80	1.31	0.84	0.21	0.29	0.28			
<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)													
ヒエ属型	0.57	0.58											
<i>Echinochloa</i> type													
ヨシ属	0.43		0.42		0.40	0.43	0.45	0.45	1.63	1.23	1.22	0.43	
<i>Phragmites</i>													
ススキ属型	0.24	0.17	0.09	0.08	0.08	0.25	0.09	0.09	0.21	0.24	0.24	0.34	
<i>Miscanthus</i> type													
ネザサ節型	0.15	0.62	0.47	0.22	0.52	0.33	0.55	0.38	0.41	0.50	0.56	0.79	0.52
<i>Pleiblastus</i> sect. <i>Nezasa</i> type													
クマザサ属型	0.14	0.05	0.26	0.05	0.15	0.05	0.05	0.16	0.06	0.07	0.29	0.15	
<i>Sasa</i> (except <i>Miyakozasa</i>) type													

※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

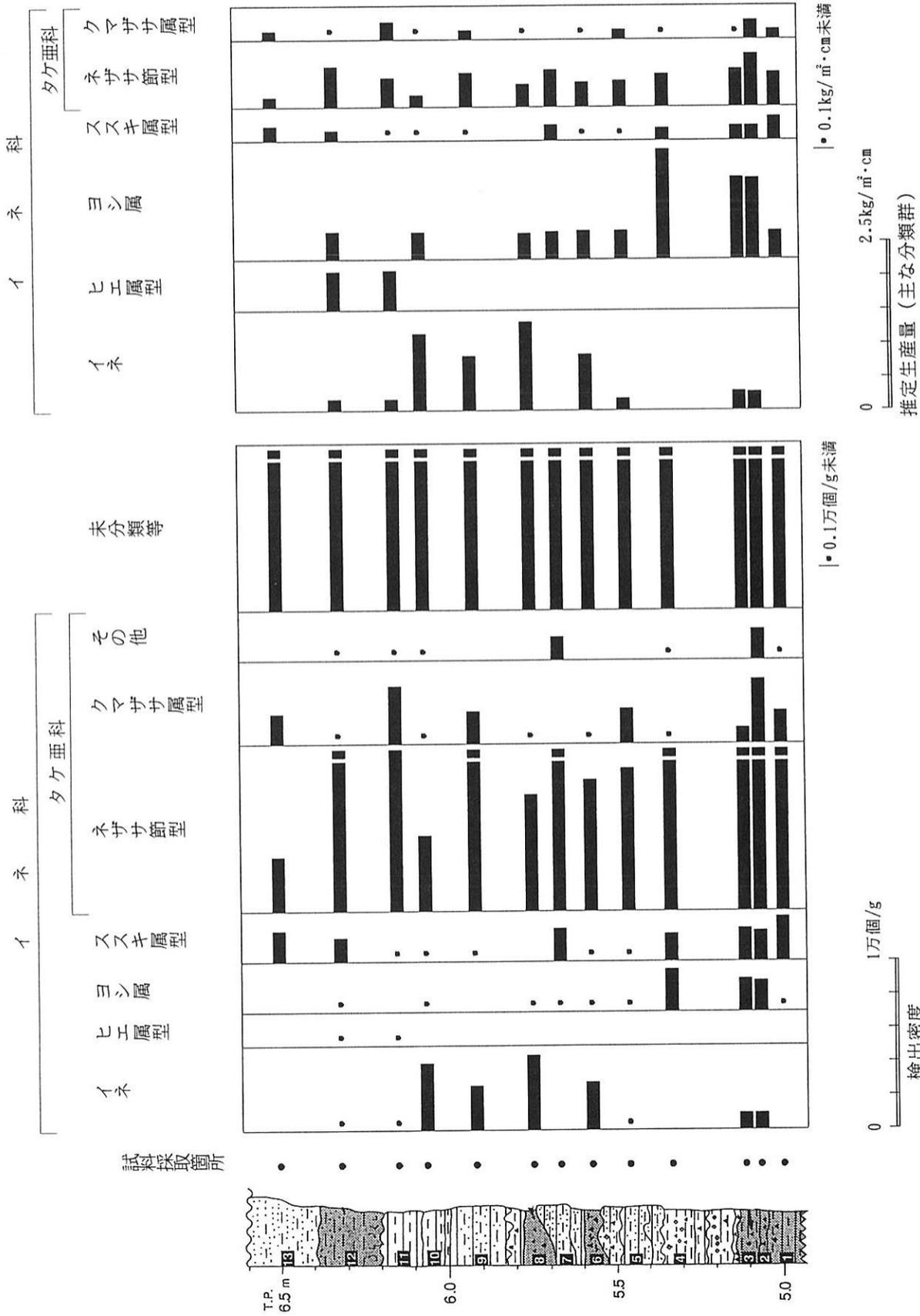


図183 小阪合遺跡98-7区の植物珪酸体分析結果
※主な分類群について表示

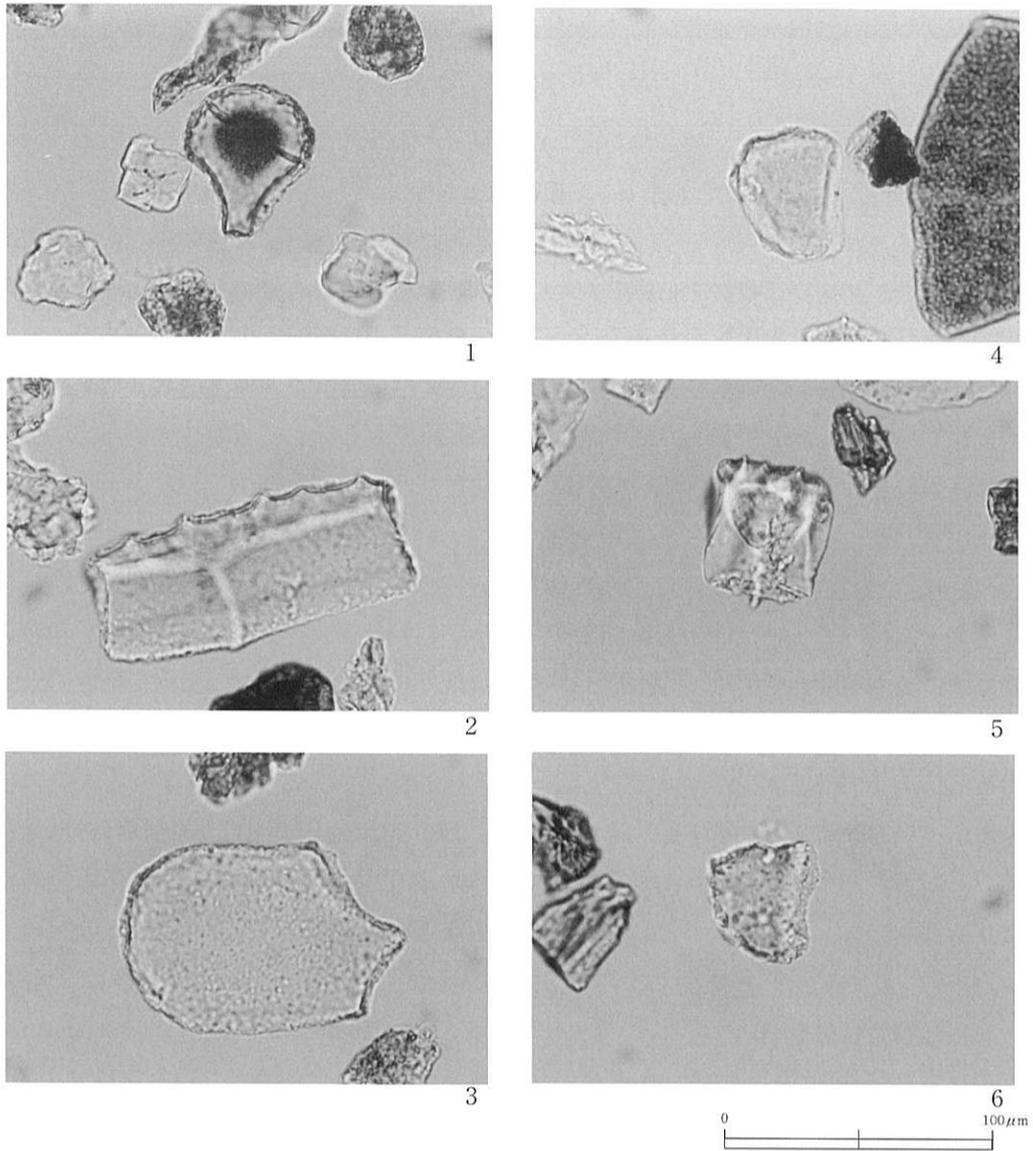


写真8 植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真

No.	分類群試料名	
1	イネ	試料 6
2	キビ族（ヒエ属型）	試料12
3	ヨシ属	試料 4
4	ウシクサ族（ススキ属）	試料 7
5	タケ亜科（ネザサ節型）	試料 2
6	タケ亜科（クマザサ属型）	試料 2

第Ⅶ章 考 察

緒言 小阪合遺跡の調査では、第Ⅴ章で記した奈良～平安時代の遺構・遺物以外にも、いくつか特徴的な資料が見つかった。「小阪合分流路跡」(本文中の「旧楠根川」をさす)、第Ⅲ面住居865埋土上層に営まれた土器棺、主として奈良～平安時代土器に付着した布目痕、動植物遺体などがそうである。そこでそれぞれの専門家諸氏にご検討を依頼したところ、快諾をいただき玉稿を賜ることができた。

松田順一郎氏(財団法人東大阪市文化財協会)は、堆積学・地形学的観点から調査区のほぼ全域で検出した「小阪合分流路跡」の地形発達・埋没過程について検討された。その結果、この河川は弥生時代後期に付近の河川から分流したのち、側方侵食・堆積作用を繰り返し、古墳時代前期末には砂州が形成され自然堤防が発達する。その後古墳時代中期～後期にかけて放棄流路化したが、奈良時代～平安時代に一時的な放棄流路の再活動を明らかにされた。

角南聡一郎氏(奈良大学大学院)は、第Ⅲ面住居865埋土上層検出の土器棺について検討された。氏は、一般に弥生時代～古墳時代の土器棺かどうか疑わしいもの(土器棺もどき)を、土器が入れ子状で出土、装身具・威儀具などが出土、石が出土、食物が出土、動物(遺体)が出土、何も出土しないの6類型に分類する。その結果土器棺もどきから土器棺を抽出する基準として、蓋の有無と埋葬状態に求め、小阪合遺跡例は土器棺の可能性が高いとする。

安部みき子氏(大阪市立大学医学部)は、第Ⅲ面川200・719から出土した動物遺体の同定とコメントをいただいた。河川内出土のため出土状況は良好とはいえないが、計139点の資料の内訳は、約1割がウシ、残りはウマであった。また出土した動物遺体には肋骨・椎骨がまったくなかったため、調査担当者間では人為的な解体を示すものではないかと考えていたが、これらの骨が腐食しやすいので一概には言い切れない旨のご教示をいただいた。

なお本節は当初久保和士氏((財)大阪市文化財協会)に分析をお願いした。氏は笑顔で快諾され、多忙な本務の傍ら作業を進めておられたが、1999年6月急に御他界された。その後安部みき子氏に事情を説明し改めて分析をお願いしたところ、快くお引き受けくださった。故久保和士氏ならびに安部みき子氏のご厚意に対し、衷心より御礼申し上げる。

立花るりこ((財)大阪府文化財調査研究センター)は、古墳時代～平安時代の土器(資料数11点)に付着した布目痕(組織痕)を検討した。正倉院宝物にみられる奈良時代の布帛の織密度と、奈良時代の土器に付着した組織痕の織密度を比較すると、後者は前者の中でも品質の高い部類に入り、特に製塩土器に付着する組織痕は絹に匹敵する品質という。このような背景として、租税として徴収された布帛が土器製作者に支給され、完成した土器が納められたと推測する。

山口誠治((財)大阪府文化財調査研究センター)は、弥生時代～平安時代の遺構あるいは包含層から出土した植物遺体について、裸子植物3種類、被子植物7種類、双子葉植物2種類を同定分類した。これらはイネ・モモ・スモモ、ウメ、マクワウリ・ヒョウタンなど食用となるものであった。

なお上記論考を掲載するにあたっては原文を尊重したが、調査区名・層名・遺構名、時期などは事実報告に合わせ、図・表・写真番号も報告書内の通し番号とした。

第1節 八尾市小阪合遺跡における弥生時代～古代の河川堆積作用と地形発達

財団法人 東大阪市文化財協会 松田 順一郎

1. はじめに

大阪府河内平野南部では、平野南東隅から流入し、先史・歴史時代に流下・埋没した旧大和川の分流路が、考古遺跡の発掘調査によってしばしば検出され、局地的にはそれらの位置や規模が知られている（たとえば阪田,1988）。小阪合遺跡98-1～7区の発掘調査では、調査地の大部分に分布する砂礫層の最上部から直上にかけて、古墳時代前期以後の遺構が検出された。この砂礫層はおもに流路充填堆積物と考えられ、最大層厚約4mであった。遺構検出層準の断面と、さらに砂礫層以下の遺構・遺物の所在を調べるために掘削されたトレンチあるいは側溝の断面で、埋没流路の充填堆積物とこれに近接する氾濫原堆積物の累重が観察され、弥生時代後半から古代までの河川地形の発達が推測できた。

本遺跡で検出された埋没流路については、すでに財団法人 八尾市文化財調査研究会（たとえば高萩,1987; 坪田,1988; 岡田,1990）や藤岡（1996）によって、流路の位置や発達時期が調査・論及されているが、本稿では堆積学・地形学的な観点から流路充填堆積物の堆積相、累重様式、および年代にもとづき、

この流路の地形発達・埋没過程を検討する。

2. 調査地周辺の微地形、表層地質

小阪合遺跡は河内平野沖積低地の南東部、八尾市中央部に位置し、現地表面の標高は約8～9mである（図184、Koは調査地の位置）。本遺跡は、中・近世に発達したと考えられる旧大和川の分流路玉串川と長瀬川の、自然堤防、人工堤防、流路跡やこれらに隣接するクレバススプラーなどからなる2本の帯状の高まりに挟まれた比較的低い領域の一面を占める。しかし、空中写真や地図上の高度分布を判読すると、南方約2kmの八尾木で長瀬川筋から分岐し、本遺跡を通過して南北方向にのびる堤状の高まりが、北北西に流下する楠根川と斜交して、その流路の東側を北方にのび、東大阪市若江遺跡（W）や瓜生堂遺跡（U）から、さらにその北方に連続している。この高まりは、長瀬川、玉串川の流路・堤防跡の高まりほど明瞭ではなく、両川発達以前に

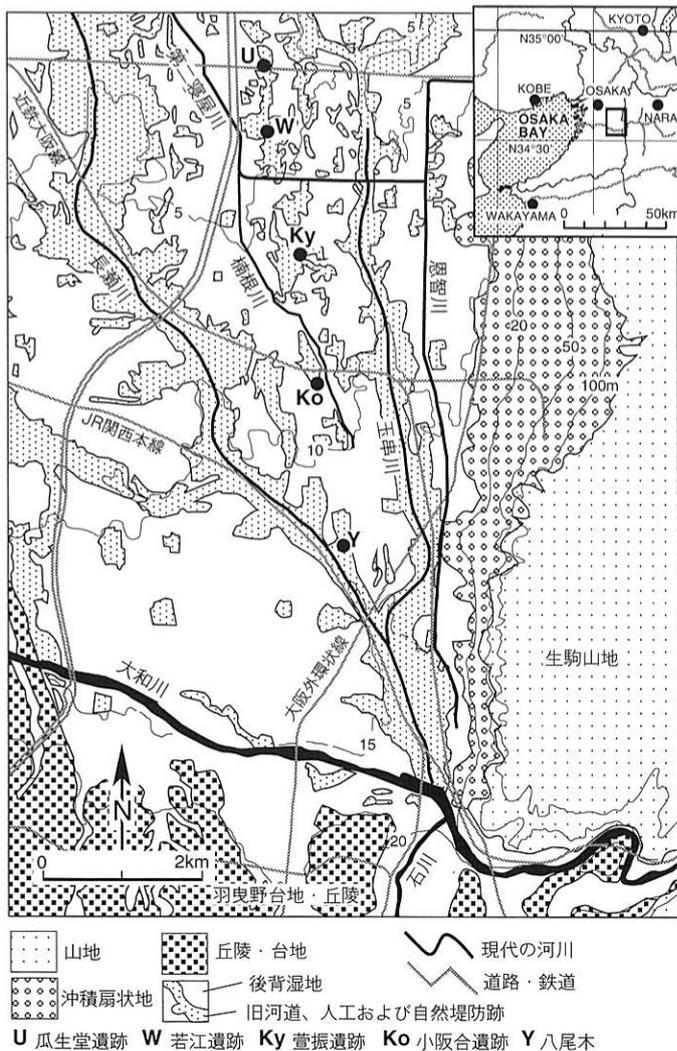


図184 調査地の位置と河内平野南東部の地形分類

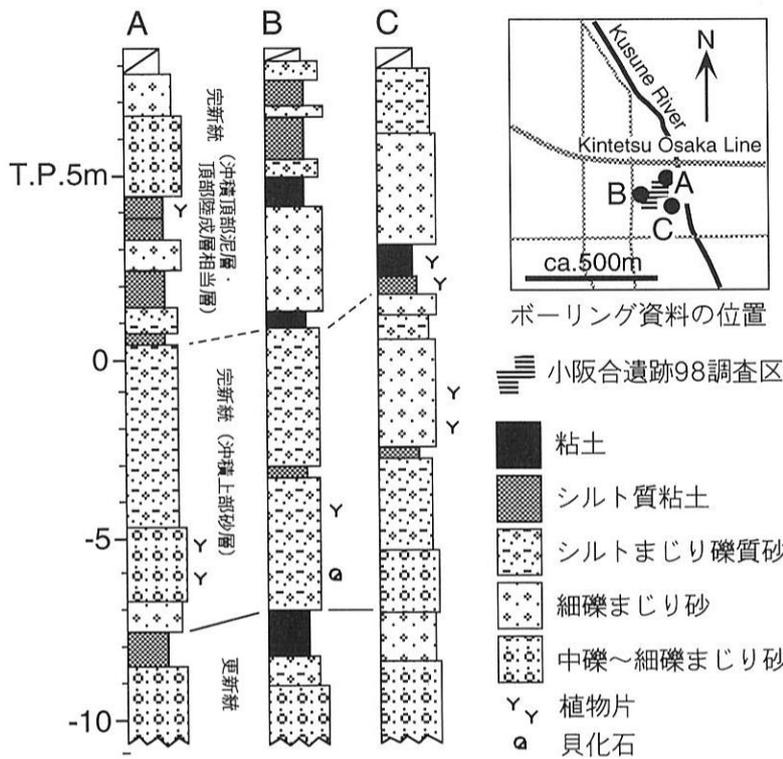


図185 調査地近隣のボーリング柱状図

の跡がわずかに残存する。本遺跡の埋没流路は旧大和川から直接分岐した分流路で、後背湿地を流域とする楠根川とは性質が異なる。したがって、埋没流路を「旧楠根川」ではなく、たとえば「小阪合分流路跡」などと呼ぶべきであろう。排水流路としての楠根川が、中世からはほぼ同じ位置を流下していたことが、八尾市文化財調査研究会の調査で明らかにされている（たとえば高萩, 1989, 1999; 坪田, 1993）。

調査地とその隣接地の表層地質に関しては、同地の住宅地造成に際して行われたと思われるボーリング調査結果を「大阪地盤図」（日本建築学会近畿支部・土質工学会関西支部, 1966）から得た。その柱状断面図を図185に示す。柱状図AとCは調査地の東部、柱状図Bは西部の堆積層の累重を示す。ボーリング地点はたがいに100mあまりの間隔があると思われる。N値や層相、「新編 大阪地盤図」（土質工学会関西支部・関西地質調査業協会, 1987）に記載された周辺のボーリング資料との照合から、更新統の上面は、T.P.-8.5mの泥層および礫まじり砂層の上面にもとめられる。これより上方のT.P.0~1.5mでは、砂礫層の累重が卓越し、部分的に泥層が挟まれる。T.P.-5m付近の砂礫層の一部には貝化石が含まれ、縄文海進高海水準期の堆積層に相当する。この層準より上位の砂礫層は、いわゆる沖積上部砂層に相当し、その上面には扇状地斜面を示唆するような高度差（C-A間）がみられる。原（1980）は大和川・石川合流点付近から萱振遺跡南辺部付近までの現地表面を「扇状地性低地」として地形分類をおこなったが、表層地質を構成する堆積層の傾斜や粒径組成もこの領域の特徴を示している。図示していないが調査地の北方約50m、近鉄大阪線の北側隣接地では、層厚1~2mの貝化石を含む砂質シルト層および粘土質シルト層がT.P.-5m付近に明瞭に連続しており、潮間帯の堆積層と考えられる。その一部は更新統の上面を侵食するかたちで載っている。この海成層の上位にはしばしば礫をまじえる砂層が比較的薄い泥層を挟みながら累重し、河成堆積が北方に前進していったことを示している。縄文海進高海水準期には、それ以前の水域に河川堆積作用が及んでいたと考えられる。

T.P.1.5~0mより上位の完新統では泥質の氾濫原堆積物と砂礫質の流路堆積物が同一層準で側方に分

埋没したより古い分流路とその自然堤防であり、本調査で掘削・調査された埋没流路に相当する。調査地の北方200~300m付近、八尾市萱振遺跡付近（Ky）、若江遺跡付近では、高まりの幅が広がり、流路が分岐したか、クレバスプレーが発達しているように見える。本遺跡の東縁を北流する楠根川は、上述した分流路・自然堤防跡と玉串川筋の高まりに挟まれた低湿地の排水流路である。遺跡北方で本遺跡の埋没流路と斜交する部分では、人工的に開削された直線流路をなす。その下流区間の東大阪市域には、緩やかな蛇行流路

布する状況が読みとれる。これらの堆積層は、沖積上部砂層の上部と頂部泥層および頂部陸成層に相当する。柱状図Cには約1.5mの泥層の上に現地表面直下まで、砂礫層およびシルトまじりの砂礫層が約5mの厚みで累重しており、本調査で検出された埋没流路の堆積物に相当すると考えられる。柱状図Aにも、同じ流路の堆積物で、堆積の中心からややはずれると思われる層厚約3.2mの砂礫層が泥層の上位に載る。柱状図Bの同じ層準には泥層の累重に、砂層や礫まじりの砂層が薄く挟まれる。これらは流路に侵食された基盤堆積物、あるいは流路と同時異相の氾濫原堆積物と考えられる。同柱状図のT.P.1.5～4.0mまでにも砂礫層がみとめられ、他のより古い埋没流路が埋没していることを示している。柱状図AのT.P.3m付近の砂礫層も同じ流路の堆積物であろう。上述した砂礫からなる扇状地面や、その上位の流路堆積物に隣接する河岸から後背湿地上面に相当する層準は過去の地表面に近接していると考えられ、縄文時代以来の人間活動の痕跡が残存している可能性が高い。

3. 堆積物の観察・分析方法

発掘調査区のうち、東西の延長約120m、南北30～35mの98-1～4区では、各区の中央に東西方向に残されたあぜの断面と、これに沿って掘削された深いトレンチの断面で流路充填堆積物が観察された。これらの南西に隣接する東西幅40～60mの98-5～7区では、流路充填堆積物の下底深度が比較的浅く、そのほとんどが掘削除去されたので、各区縁辺の断面でその累重が観察された。流路充填堆積物から読みとれる古流向は、おおむね北～北西方向で、観察を行った断面は、流路に直交する。98-2区の特レンチでは、流路形成以前に堆積し、その後侵食され流路側壁および基底をなす泥層の累重が見られた。また、流路充填堆積物が分布しない調査地南西部の井戸遺構の掘り方側壁には、より新しい流路の河岸をなす泥層の累重がみられた。現地では、これらの断面のスケッチや柱状図を作成し、写真記録をとるとともに、年代測定、微化石分析、粒度分析用の試料を採集した。前二者については、大阪府文化財調査研究センターから各分析者に委託実施していただいた。その結果は、前章に掲載した。

粒度分析では、砂礫ときわめてわずかな泥からなる試料は、泥を63 μ mの試験篩を通して除去し、その減少量を秤量したのち、礫を試験篩、砂を沈降管によって1 ϕ ごとの粒径頻度分布を調べた。泥がちな試料は、礫を2mmの試験篩で取り出し、1 ϕ ごとに秤量したのち、残分をピペット法でシルト（4～8 ϕ ）と粘土（8 ϕ 以上）の量比を調べ、さらに泥を試験篩を通して除去し、沈降管によって砂の1 ϕ ごとの粒径頻度分布を調べた。

調査地全体のわたる層理とその累重関係については、柱状図を対比するとともに、一部の断面は写真記録をトレースし検討した。以上の作業を経て、後述する堆積相と堆積ユニットを認定した。

4. 流路充填堆積物の岩石種

奈良盆地から狭隘な溪谷を通過して、河内平野に流入する大和川と、金剛・葛城山地溪流とその下流域に分布する大阪層群の丘陵を流下し、大和川に合流する石川の両川の運搬砂礫の岩石種は異なり、時期によっても変動するはずだが、いまだ確実なことはわかっていない。とりあえず、旧大和川の分流路の流路充填堆積物の岩石種がどのような組成をなすか、今後の比較検討のため粗略ではあるが本遺跡の流路充填堆積物の岩石種組成を調べた。

細粒の中礫（fine pebbles, 8～4mm, -3～-2 ϕ ）から極粗粒の中礫（very coarse pebbles, 64～32mm, -6～-5 ϕ ）までの礫約2760gの岩石種の割合を図186-aに示す。花こう岩類37%、閃緑岩類12%、

安山岩6.3%、砂岩36.1%、チャート7.3%、その他（流紋岩、凝灰質砂岩）1.5%の割合であった。この組成を、同じく旧大和川の分流路とされる八尾市大竹西遺跡の埋没流路中、弥生時代前期の堆積層から採集した礫の組成（図186-b、松田、作成中）と比較してみた。大竹西遺跡の組成に対して、本遺跡の砂礫は、砂岩と安山岩の量比がやや大きいことを除けば、類似した組成を示す。また、詳述しないが、小阪合遺跡の試料は大竹西遺跡のそれより全体に粗粒なことと、試料が少なかったことなどが影響して、運搬中に破碎され細粒化しやすい花こう岩と、円磨されるが上流域からの粒径を残す砂岩の違いがきわだっているとも思われる。いずれにせよ、小阪合遺跡の岩石種組成は、大和川の分流路ではふつうにみられるものと考えられる。大和川と石川それぞれの土砂流出量の変化を調べたり、分流路間で比較するには、今後、現世河川においても上流・下流の岩石種の差、粒径頻度分布についてやや詳細な調査が必要である。

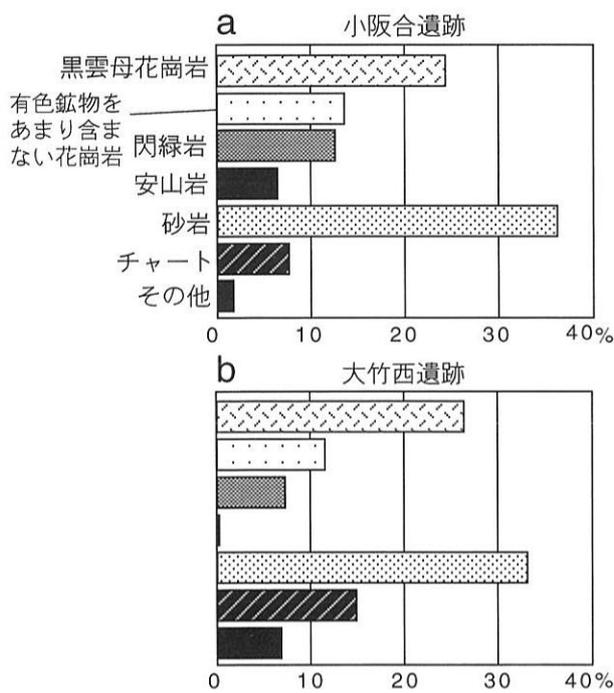


図186 小阪合遺跡と大竹西遺跡の流路充填堆積物の岩石種組成

5. 堆積相と堆積ユニット

5.1 堆積物の粒径頻度分布と堆積相

調査地で検出された埋没流路とその縁辺の堆積物は、中粒の中礫（medium pebbles, 16~8mm, -4 ~ -3 φ）以細の礫と、極粗粒砂（very coarse sand, 2~1 mm, -1 ~ 0 φ）および粗粒砂（coarse sand, 1~0.5mm, 0 ~ 1 φ）を主とする砂からなる、いわゆる「混合砂礫」がほとんどを占める。部分的には、極粗粒の中礫までの礫を含み、かなり礫がちな層もみられた。現地の断面では、この混合砂礫の粒径組成の変異を把握しにくかったので、柱状図を作成した地点のうち4地点で堆積物試料を採取し、粒度分析を行った。その結果を図187に示す。

各試料の粒径頻度分布を表すヒストグラムの凹凸を見ると、礫と砂の粒径階にそれぞれピークをもつ（双峰分布する）ものが多い。このような、堆積物が運搬・堆積機構の異なる2つの粒子集団から構成されている砂礫は、いっばんに河川の上・中流の河床勾配の大きな区間に分布し、勾配が減少する下流側の遷急点を境に、砂集団が卓越し、単峰分布に変化することが知られている（Yatsu, 1955）。調査区の流路充填堆積物では、砂部分にピークをもつものが多いが、著しく礫がちで、ピークを礫部分にもつ砂礫層がしばしば挟まれる。この様子を図188の各地点の柱状図に並べて示した。礫がちの堆積層は、後述する堆積ユニットの下底部分に多い。また、礫1、2個分の厚みの葉層で、後述する堆積相GShをなすものがある。

上述した砂礫とともに、浮流する泥の割合が、過去の河川の流況を反映すると考えられる。この点で

は、流路の基盤をなす泥質堆積物の分析が必要だが、今回はその作業を怠った。ただ、分析を行った砂礫がちの堆積物の粒径頻度分布にも泥分の垂直的な変化が読みとれ、層相の特徴として扱える。

礫の量比にちがいがみられる粒径頻度分布の特徴をふまえて設定した、堆積相コードを次に挙げる。これらは、Miall (1985) の河成堆積相のコードに変更・追加したものである。ベッドフォームに関してはSimons *et al.* (1965)などを参照した。

GSt: トラフ型斜交葉理・層理をなす砂礫で、ひじょうに礫がちである。極粗粒の中礫以細の礫を含むが、細礫 (granules, 4~2 mm, -2~-1 φ) と極粗粒砂 (very coarse sand, 2~1 mm, -1~0 φ) が卓越する。セット高は10~60cmで、デューンをつくって堆積したものと考えられる。セット内では



図187 流路充填堆積物の粒径頻度分布

おおむね級化成層をなすが、淘汰は悪い。多くは砂のマトリクスサポートで、まれに透かし礫層をなす。礫のインプリケーションもまれにみられる。

GSh: 水平ないしわずかに傾斜 (10° 以下) する葉層ないし薄層をなす礫がちの砂。デューンより低流速で生じる層流シート (Kuhnle, 1996; 松本ほか, 1993) を含む。幅 2 ~ 3 m、深さ 15cm 以下のトラフ型斜行葉理をとともなうことがある。これらは、デューンとシートの中間のベッドフォームとする見方がある (Todd *et al.*, 1988)。

GSp: プラナー型 (あるいは平板状) 斜交層理・斜交葉理をなす砂礫で、ひじょうに礫がちである。セット高は 10 ~ 70cm で、セット内の淘汰は悪く、砂のマトリクスサポートをなす。デューンをなして堆積したと考えられる。

St(c): トラフ型斜交層理・斜交葉理をなす砂礫で、極粗粒の中礫以細の礫を含むが、おもに細礫 ~ 中粒砂からなる。セット高は数 cm ~ 40cm で、デューンが卓越しリップルをとともなうベッドフォームを形成したと考えられる。

St(f): トラフ型斜交層理・斜交葉理をなす砂で細礫を含むが、おもに粗粒砂 ~ 極細粒砂からなる。また、粗粒のシルトを含むことがある。層理のセット高は数 cm ~ 30cm で、デューンおよびリップルをなして堆積したものと考えられる。

Sp: プラナー型 (あるいは平板状) 斜交層理・斜交葉理をなす砂礫で、中粒の中礫以細の礫を含むが、極粗粒砂 ~ 中粒砂が卓越する。セット高は数 cm ~ 40cm。デューンおよびリップルをなして堆積したものと考えられる。

Sr: リップル葉理をなす細礫まじりあるいはシルト質の粗粒砂 ~ 極細粒砂。砂の淘汰は良い。リップルの波長は数 cm ~ 20cm 前後、高さは 5 cm 以下である。

Sh: 水平ないし低角度 (10° 以下) の平行葉理をなす砂からなり、細粒の中礫 (fine pebbles, 8 ~ 4 mm, $-3 \sim -2 \phi$) 以細の礫がしばしばまじる。幅 1 ~ 3 m、深さ 15cm 以下のひじょうに浅いトラフ型斜交葉理をとともなうことがある。おもに極粗 ~ 中粒砂からなり、しばしば細礫を含む。本相は、低流領域および高流領域に生じる平滑なベッドフォームを含む。現地の断面観察では両者を区別することが困難であった。

SFl: おおむね水平葉理をなすシルト質の中粒砂 ~ 極細粒砂で、有機物に富む泥や、植物片の葉層が挟まれることがある。砂と泥の葉層の互層をなすことがある。浅く幅の狭いトラフ型斜交葉理やリップル葉理をまれにとともなう。

Fl: おおむね水平の葉理をなす、有機物に富む砂質シルト ~ シルト質粘土で、中粒砂 ~ 極細粒砂の葉層が挟まれることがある。また、しばしば植物片の葉層が挟まれたり、葉理の互層をなす。流水-静水が交替する堆積環境下での堆積相と考えられるが、上記の SFl に薄層として挟まれることがある。これまでに述べた Sh、SFl、Fl は、泥・砂の割合で、Sh、St(f) は堆積構造の違いで区別した。

Fm: 塊状でしばしば有機物に富む砂まじりシルト質粘土。塊状を呈するのは、おもに生物の擾乱による。

ATF: 盛土で、ふつう大礫 ~ 中礫クラスのブロック土 (偽礫) からなる。ブロック土は砂混じりの泥などからなり、近傍の堆積物が材料となっていることが多い。

図 187 の粒度分析試料のヒストグラムには、上記の堆積相を記載した。

5.2 堆積ユニット

ここでいう堆積ユニットは、一連のトラフ型斜交層理や平行層理のグループからなり、侵食面や再活動面に境されるコセット (coset) を堆積層断面の層理から検出し、さらにそれらを、一時期の河川堆積地形あるいは堆積的アーキテクチャをなすと考えられるコセットのグループ (側方の同時異相を含む composite set: McKee and Weir (1953) の定義による) としてまとめたものである。各堆積ユニットは、いくつかの堆積相の組み合わせからなる、より大きなスケールでの堆積相や流路形態の特徴を示す。また、これらは $10^0 \sim 10^1$ 年に1回の流況や流路形態の変化で区分される第3オーダー、あるいは $10^2 \sim 10^3$ 年に1回の変化で区分される第4オーダーの堆積ユニットに相当する (Miall, 1996: p.62, table 3.2)。なお、堆積ユニットの主要部分をなす流路充填堆積物の下底部には、下位の堆積ユニットを切る流路底の明瞭なコセットの連なりがみられる。ここでは便宜的に、直上の各堆積ユニットと同じ番号をもつ流路底 (CHB=channel base) の呼称を与えた。図188は、調査区の東西方向の断面で復元された6つの堆積ユニットの累重関係を示す。図189では、柱状図の含まれる断面に加え、98-1区と98-5区の断面で観察された層理のスケッチを示す。

各堆積ユニットの年代は、放射性炭素年代と出土遺物の相対年代によった。ただし、Loc. 2～3間の堆積ユニット2から採取した杭の放射性炭素年代が 2180 ± 50 年B.P.で弥生時代前期末を示しているのに対し、98-2区トレンチの掘削に際してT.P.4.7m以上で採集された土器片2100点あまりは、古式土師器を約26%、弥生時代後期の土器を15.3%含んでいた。また、T.P.4.7m以下で採集された約390点の土器片は古式土師器をまったく含まず、弥生時代後期の土器を20.8%含み、堆積ユニット1と2は、弥生時代後期以後に堆積したことを示している。層序を無視した採集方法だが、ここでは遺物の相対年代を採用することにした。Loc. 3近傍の堆積ユニット3から採取した材化石の年代は、先のT.P.4.7m以上の出土遺物の年代と調和的である。

以下に各堆積ユニットの堆積相と推測される流況や流路形態、堆積年代などについて述べる。

堆積ユニット1

流路充填堆積物の累重の最下部を構成する本堆積ユニットは、98-2区のトレンチ下部T.P.4.1mより下方の狭い範囲でのみ観察された (図189-b, Loc. 2, 3)。流路の下底 (CHB1) は、泥からなり、T.P.約2.6mである。同トレンチ東寄りには、 $45 \sim 60^\circ$ 傾斜する右岸側壁が検出され、砂礫の充填に際して形成されたと考えられる奥行き5～15cmのノッチが数条壁面の異なる高さにとめられる。流路底はおおむね平坦だが、直上の斜交層理にそって浅くトラフ形にくぼんだり、グループマークをともなう。側壁の上部は充填堆積物とともに堆積ユニット2に切られている。側壁の水平方向の伸び、下底のグループマークの方向、充填堆積物のフォーセット葉理の傾斜方向から、この流路の古流向は $N60^\circ W$ 以下で、上位の流路充填堆積物が示す古流向に対して著しく西偏している。

観察された領域では、GSt, GSp, GSh, St(c)をなし、一時期の滲筋の充填堆積物を構成するコセットが多位的 (multi-storey) に累重する。基盤の泥を侵食しつつ側方堆積する層厚1mあまりのコセットや、それより規模が小さい洗掘溝 (scour) が、トラフ型の層理が切り合わず相似的に縮小するような、非対称の埋積パターンをなすコセットがみられる。開析された流路底付近の砂礫は、泥の偽礫をわずかに含む。

堆積ユニット1で充填された開析谷の幅は、不確かだが、98-5区からCHB3, 2に連続すると考えら

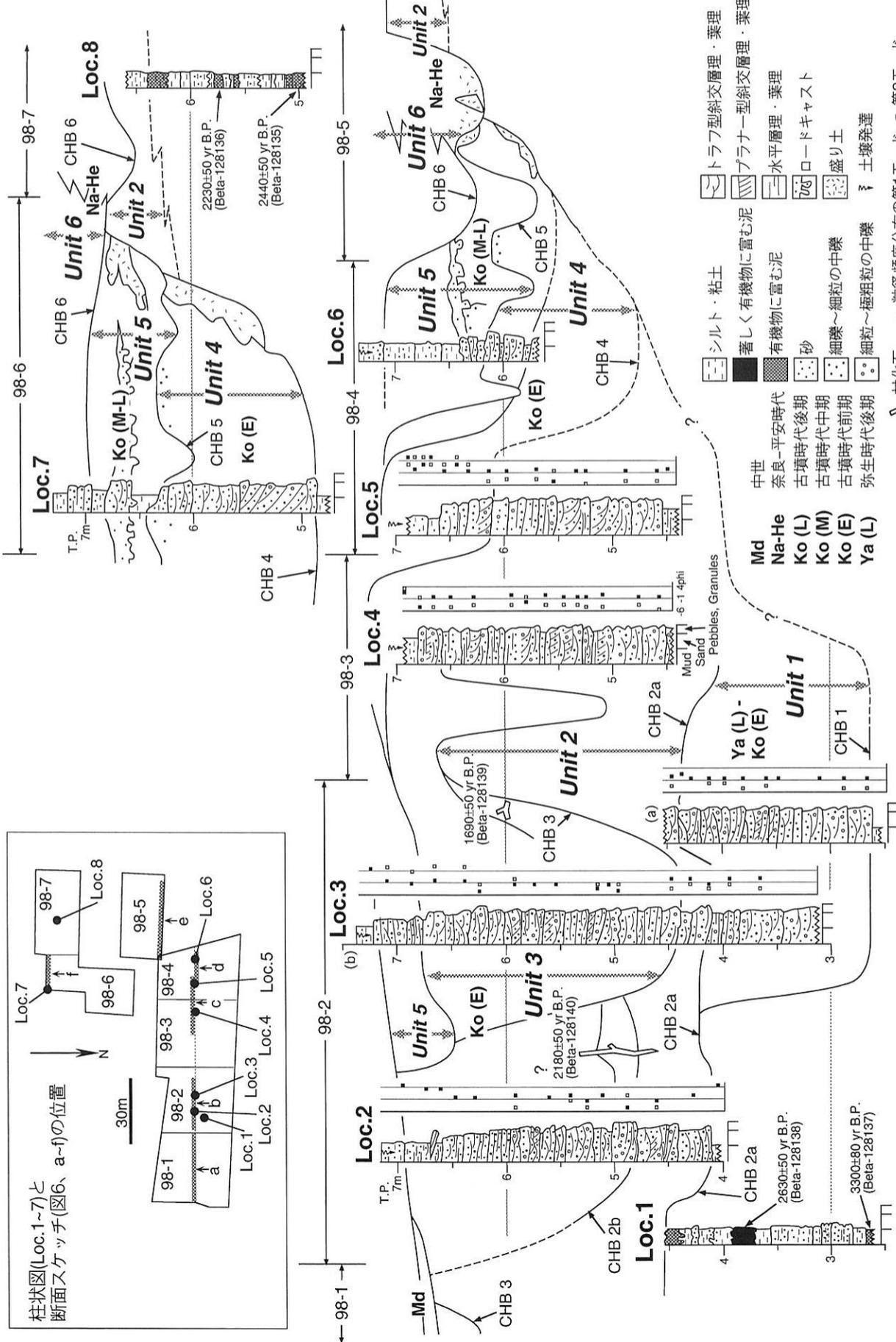


図188 流路充填堆積物柱状断面の層序対比と堆積ユニット

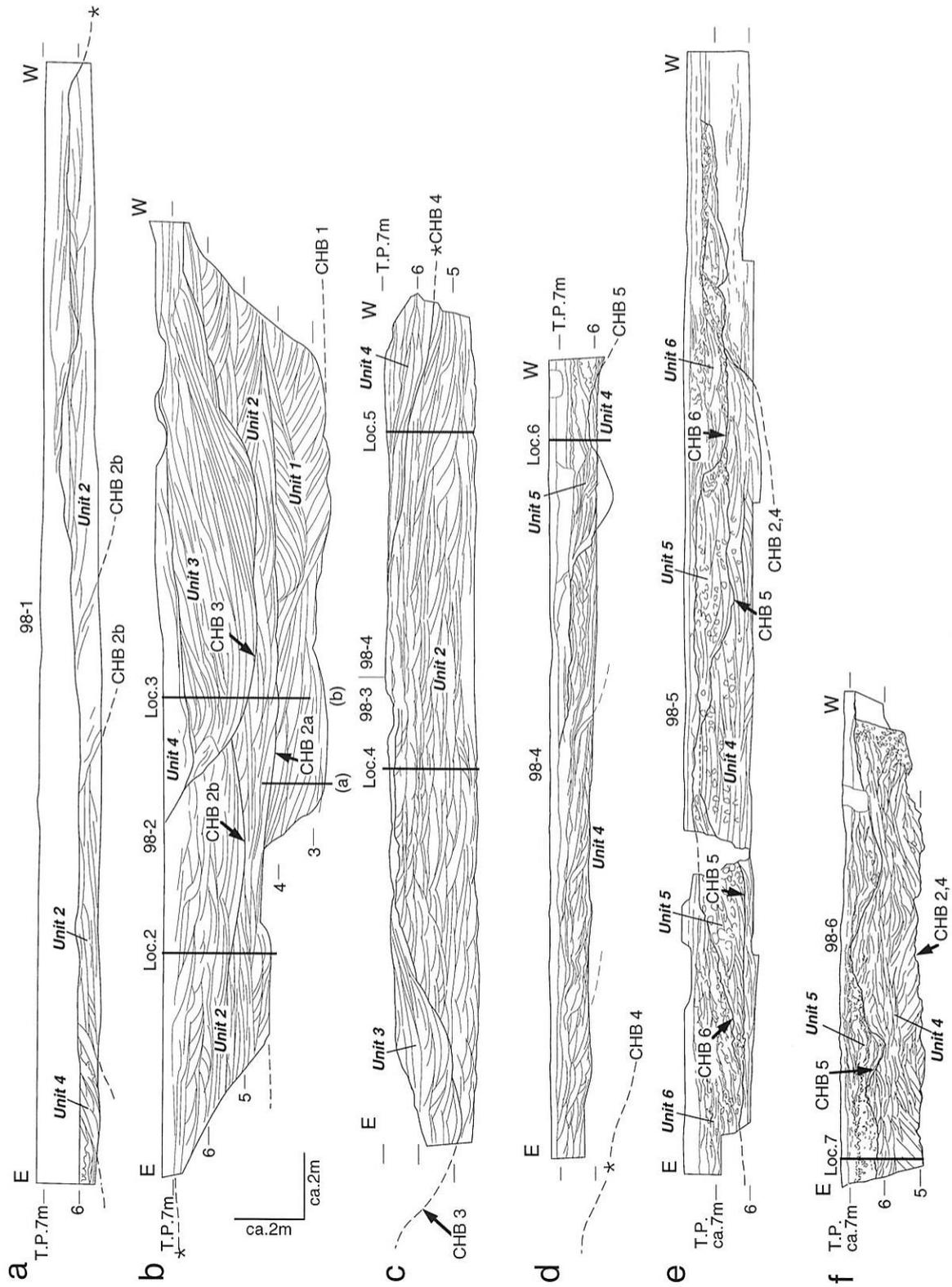


図189 流路充填堆積物横断面の層理のスケッチ

れる基盤泥層の傾斜面とCHB 2の高さまで延長すると、98-5区、Loc. 4付近に至る。この地点と98-2区の左岸側壁の距離に、断面の伸び方向と流路の斜交関係を考慮すると、約30mの流路帯幅が想定される。

本堆積ユニットからの出土遺物およびLoc. 8の泥層の年代から、この開析谷は、弥生時代後期のある時期に、泥質の堆積物からなる氾濫原の上面を下刻し始め、洗掘を繰り返して河床を3mあまり低下させ、おそらく古墳時代前期までに充填され始めていたと考えられる。開析谷底が平坦面をなすことから、下刻中にも砂礫が供給されて側壁の侵食が進み、同時に蛇行した流路が形成されたと思われる(Schumm *et al.*, 1987)。流路側壁の伸びが上位堆積ユニットの古流向と異なるのは、このためであろう。本堆積ユニットの堆積相で、古流向と斜交して下流側へ付加される層理や、上に凸な層理面は、砂州が発達していたことを示し(Bridge, 1993)、開析谷内の滯筋は分岐するとともに曲流して、頻繁に位置を変える網状流路であったと考えられる。小規模な洗掘溝は、滯筋の合流点に生じるくぼみ(hollow)、あるいは一時的に生じる分岐流路とみなせる(Miall, 1996: p.163-167)。当初の下刻から、堆積ユニット1の充填までの時間は100数十年と推測される。

堆積ユニット2

本堆積ユニットの下底(CHB2a)は、98-2区の断面(図189-b)で、累重の中・上部は98-1区の断面(図189-a)と98-3・4区トレンチ断面(図189-c)で観察された。98-2区のトレンチでは、本堆積ユニットが、堆積ユニット1の開析谷側壁をなす泥と開析谷内の充填堆積物の上部を侵食して累重する。下底はT.P.4.2~4.8mである。泥の上面にみられたグループマークの伸びの方向は、N20°Wで、その直上のフォーセット葉理の傾斜方向はN0~10°W、さらに上位のT.P.6m付近のプラナー型およびトラフ型斜交層理の傾斜方向はN20°E~N26°Wである。

98-2区トレンチの堆積ユニット2の下部、T.P.5m付近のCHB 2bまでの堆積物は、St(c)、GStをなし、部分的にSpをなす。幅1.5~4m、深さ30~40cmの比較的大きなトラフを非対称に充填する平行するトラフ型斜交層理からなるコセットが多位的(multistoried)に累重する。同トレンチの西端部では、このような層相はT.P.6m付近までみられる。トラフ間には、セット高10~20cmのSpをなす部分や、St(c)、GStをなす層理の上部を切るかたちで発達したSh、GShをなす部分と、これに低いセット高のGp、Spをとまなう部分がある。98-3・4区トレンチ東半部(Loc.4以東)のT.P.4.5~6.5m、西部(Loc.5)のT.P.4.9m以下の堆積ユニット2でも、斜交層理の規模は小さいが、同様の累重パターンがみられる。

堆積ユニット2の上部にあたるLoc.2柱状の上部(CHB 2b以上)、Loc.4柱状の上部とLoc.5柱状の中部では、流路側壁にGSt、St(c)をなし、滯筋側に傾斜するコセットが、2、3枚の再活動面を挟んで連続的に付加されている。これは側方堆積作用によって流路の充填が進んだことを示す。これらの累重とともに流路縁から外側には、流路側にわずかに傾くか、ほぼ水平のSh、GSh、部分的に浅く幅の広い葉理からなるSt(c)をなす堆積相が累重する。これらは、増水時の滑走斜面をなすと考えられる。また、Sh、GShの平行葉理の累重中には洗掘溝らしい、幅数10cm、深さ5~10cmの孤立したトラフが部分的にみられる。Loc.2のCHB 2bは、98-1区断面の中央部から西方の傾く層理に連続し、同断面東部の層相は本堆積ユニット下部に相当すると考えられる。側方堆積作用を示す層理には氾濫の減水時にドレイプした泥の葉理がしばしば挟まれる。Loc.2の柱状上部の滯筋付近の累重は、多位的なコセットで構成されるが、緩やかに上方細粒化し、最上部はFSh、Shをなす。

堆積ユニット1による初期の開析谷底の充填がある程度進んだ後に、流路が側方侵食によって拡大し、堆積ユニット2の累重が開析谷を充填したと考えられる。堆積ユニット下部の堆積相は、複数の滯筋が生じるか、頻繁にその位置を変える網状流路帯を開析谷底に形成したことを示す。滯筋間には、低角度に傾くGSh, Shが側方に数m連続する場所があり、下位のGSt, St(c)を切るとともに、低いセット高のGp, Spをとまなう部分のあることから、分岐の密度が低く、不明瞭な低い砂州が発達していたと推測される(Rust, 1984; Hein and Walker, 1977)。開析谷側壁までの側壁までの流路帯を想定すると、川幅水深比は増大し、河川は土砂供給量が多く、河床勾配が大きい不安定な状態で(Schumm, 1981; Schumm *et al.*, 1987) あったと考えられる。

上部の層理の切り合いと堆積相は、下部の累重がいったんT.P.6.5mを越える高さに達した後、これを切るかたちで側方堆積作用の卓越する流路が形成されたことを示す。下部から上部への変化は、これらを区分できる層理面が側方に連続しないことから、漸移的であったと思われる。上部では網状流路によって累重した堆積物を浅く侵食して流下し、側方に移動しながら曲流の内側に砂州を形成する流路が発達したのであろう。98-1区西部から2区東部の層理をひとつながりとする、流路の規模は、河岸満水状態で幅20~30m、深さ約1.5mと見積もられ、蛇行しやすくなる川幅水深比(山本, 1994)である。しかし、砂州は頻繁に侵食され、安定したポイントバーはできなかったと思われる。曲流の外側の攻撃斜面は、砂礫で構成されているために崩れやすく、その形跡はみつけにくいようだ。

Loc. 8柱状の流路基盤をなす、泥質堆積物からなる累重中の最上部T.P.6.0~6.5m(放射性炭素年代値が実際より古い年代だとすれば、5.5m付近より上方ともいえる)の、SFIで部分的にSt(f), Shをなす泥は、本堆積ユニット上部の同時異相で、上述した流路から供給された氾濫堆積物であろう。河岸の顕著な土壌発達を観察されなかった。しかし、この層準の堆積物はシルトを多く含むにもかかわらず、針葉樹以外の花粉化石はほとんど産出しないのは、洪水時以外は比較的乾燥した場所であったとも考えられる。花粉粒子は乾燥した地表環境下で破壊されやすいといわれる(Delcourt and Delcourt, 1980)。植物珪酸体化石の出現頻度や、堆積速度との関係をさらに検討する必要がある。

98-5区断面(図189-e)の西端付近の同層準で、堆積ユニット3と5に切られている基盤の泥層にも同様の氾濫原の層相がみられ、西に向かって細粒化することから、この場所が東側の流路からの氾濫の影響を受けていたと考えられる。また、98-1区断面では、上部を中世の耕作土層に切られているが、西方への流路移動にともなって、T.P.7m付近の高度には自然堤防が形成されていたと思われる。以上の堆積ユニット2にとまなう河川地形は、古墳時代前期の間の100年足らずの期間に急激に発達した。なお、CHB2bの直上には、その時期の河床に打ち込まれ、基盤の泥層に達する杭列がLoc.2から約2.5m西で検出された。上述した自然堤防や流路近傍の湿地とともに、流路内も人間の活動域であったことを示している。

堆積ユニット3

本堆積ユニットは、98-2区(図189-b)、98-3区(図189-cの東端部)で観察され、それぞれの場所で流路充填堆積物の累重がみられた。流路の下底(CHB3)は連続していないが、少なくとも下位の堆積ユニットを明瞭に侵食しており、出土遺物の相対年代から、ほぼ同時期の堆積物と考えられる。流路は断面での幅10~15m、深さ2~3mで、洗掘溝ともいえる規模である。充填堆積物の堆積相は、おもSt(c), St(f), Shからなり、充填終末期の層準では流路内の狭い範囲でFl, Fmをなす。また、2つの流路は

ともに左岸側から、コセットが下位堆積物を切って載り、非対称に充填が進んで流路断面積が縮小している。流路縁にあたる部分では、各セットがリッジを作り、それぞれドレイブした泥に覆われている。この上位には、岸側に緩やかに傾くFl, Shをなすコセットが載る。

堆積ユニット3は、すでに開析谷内を充填した堆積ユニット2の上面にほぼ同時に生じた複数の流路のうち、その後発達せず充填（放棄）された流路で、流路内の充填様式から、流路の下刻の後、充填が進むにつれ、掃流物質がさかんに氾濫した状況がうかがわれる。流路規模が縮小していることから、土砂供給量が減少したと推測される。このような流路の変化を、Warner (1994) は現世河川について検討し、Dietrich *et al.* (1989) は水路実験によって確かめた。本堆積ユニットの累重と相前後して、調査区西部では、次に述べる堆積ユニット4の流路が発達したと考えられる。

堆積ユニット4

本堆積ユニットは、98-4区東部（図189-c、西端上部、Loc.5最上部）から、98-4, 5, 6区（図189-d, e, f）で観察された。また、98-1区東端部（図189-a東端部）でも同様の堆積相がみられた。調査区西部では、観察された断面が分散しているが、一本の流路充填堆積物で、堆積ユニット2, 3で形成された流路帯の西辺に位置する。左岸側の流路側壁が98-5, 6区で検出され、これに続く流路底（CHB4）は、同区と4区の一部で検出された。検出範囲では流路底、側壁の基盤はともに侵食された泥や砂質泥からなり、流路底の高度は、T.P.約4.9mである。98-6区南辺および北辺断面でみられた流路底は、わずかに流路中央部が流路の伸びに沿ってくぼむが、おおむね平坦面をなす。

流路右岸側のCHB4と充填堆積物は、Loc.5付近から下位の堆積ユニットを切り、西方に側方堆積する流路側に傾く層理が、98-4区断面（図189-e）東から中央部を経て、Loc.6付近まで連続する。同断面の下部は、Fl, St(f), GSt, St(c), GSh, ごくまれにSp, GSpをなす。岸側上方の流路縁から河岸にあたる断面上部の累重はFl, SFl, Sh, St(f), GSh, GStをなし、Sr, Spが部分的にみられる。GSt, GShの礫は、わずかな極粗粒の中礫と粗粒の中礫以細の礫である。側方に比較的広範囲にみられるこの累重を構成する10ないし11のコセットはすべて逆級化成層をなし、その上部の粗粒部分では、厚さ10~30cmの掃流シートよりも厚く、塊状をなすところがある。これは高密度懸濁流による堆積物と考えられる（Lowe, 1982）。コセットの最下部の泥層は、河岸と緩やかな流路縁の斜面に連続的し、滯筋側に漸次粗粒化したり、滯筋側の砂礫に切られている。

98-6区南辺断面（図189-f）下部の累重は、GSp, Sp, St(c)をなし、上部はGSt, GSh, St(f), SFlをなす。まれにSpがみられる。GSp, GSt, GShの礫は、わずかに極粗粒の中礫と粗粒の中礫以細の礫からなる。累重の下部には、GSpが顕著にみられ、最大のセット高は約70cmで、層理の傾斜方向は、左岸側壁付近では、N30~60°W、断面東部から同区南東部では、N30~60°Eである。同区北部では高さ約30cm、波長1.2~1.5mのデューンがみとめられ、そのフォーセット葉理の傾斜方向はN10~35°Eである。上述した2方向の古流向を示すGSpは、舌状の縦断砂州（longitudinal bar）と考えられる（Smith, 1974）。下流側のデューンは、砂州の前方に運搬された砂礫で作られた様子が観察された。

上述したCHB4に直接載る堆積相から推測すると、本堆積ユニットの調査区上流側から順に、舌状の砂州が発達する区間、デューンが形成される区間、さらに下流で、間欠的に起こる急激な流出によって発達し、低水時は比較的流速が小さかったと考えられるポイントバーの区間が想定される。古流向から、滯筋は南南西→北→北北西と緩やかに曲流しており、短い区間だが流速が変化し、砂州が発達するとと

もに、淵・瀬の変化に近い河床の起伏をなす流路形態であったと考えられる。右岸側のもっとも新しいコセットにみられる流路縁と、泥質堆積物を侵食して生じた左岸流路縁の位置、および検出された流路底の高度から、河岸満水時の流路幅は25～30m、深さは2m以下と推定される。

本堆積ユニットの上部では、下位の河床形態が侵食あるいは部分的に充填され、リップルやデューンは生じるが、全体として平坦な河床となり、充填が進んだと考えられる。98-5区断面（図189-e）中央部の本堆積ユニットの上下も比較的明瞭な再活動面に境されている。

本堆積ユニットは、出土遺物の相対年代から、古墳時代前期後半の数10年間に累重したと推定される。この期間に、調査区東端部をのぞき、98-1～4区の中央部には上述した流路の自然堤防が発達し、土壌化が進んだようである。この領域では継続的な人間活動が可能な場所と思われ、考古学的層序でいう98-2区「2面」で古墳時代前期の遺物を多く含む土坑が検出されたことと調和的である。左岸の流路側壁には、泥質堆積物からなるATFがみられ、また98-5区の本堆積ユニット上部にも、同じく泥と流路内の砂を材料とするATFが自然の層理と混在していた。

堆積ユニット5

本堆積ユニットは、堆積ユニット4の分布領域の一部と重複して累重する。98-4区断面西端部（Loc.6付近）では、T.P.5.5～6.0mに、下位層を洗掘した滯筋が2本みられる。また、98-6区南辺断面（Loc.7以西）にも同様のくぼみがある。平面的な発掘調査の結果、これらは一連の流路底（CHB5）をなし、下流側にやや深さを増して、3本に分岐した状態で検出された。東端の滯筋は調査区北部で浅くなり消滅していた。これらは、比較的短期間に相前後して形成されたと思われる。98-6区では、左岸側壁がわずかに侵食されている。このCHB5以上の流路充填堆積物は、Fl, FmとSFl, St(f)が互層をなし、ATFが部分的にみられる。98-5区では、おもにSt(c), St(f), SFlをなし、部分的なATFが混在する。T.P.6.3～6.8mの、泥葉層を含む層厚20～30cmの砂層は、ロード構造をなしていた。この層準は、98-5区では、不明瞭である。流路の幅は、堆積ユニット4の流路とほとんど変わらないが、水深は減じており、先述の洗掘溝下底の最深部で深さ約1.6mと推定される。

発掘された流路の形態や上述の堆積相から、本堆積ユニットは堆積ユニット4の流路の移動が停止し、エピソード的な洗掘を経て、流水がほとんど途絶えた放棄流路の堆積相と考えられる。一時的な砂礫の流入にともない、氾濫堆積物が河岸の高度をいくらか上昇させている。調査区西部の流路充填堆積物と同時異相の氾濫堆積物で、Fl, Fmをなす砂質泥層が98-2区の堆積ユニット3の上位で、流路跡の凹地を充填している。

出土遺物の相対年代から、本堆積ユニットは古墳時代中期から後期に累重した推測される。流路とその近傍で人間が活動していたことは、流路左岸のATF相からも知られる。また、調査地周辺では、本流から分岐した小規模な流路が、後の歴史時代にもたびたび発達した。

堆積ユニット6

本堆積ユニットは、98-5区北辺断面では、堆積ユニット5の分布域にはほぼ重複し、西縁の一部は、下位の泥質堆積物の基盤を新たに削り込んでいる。断面のほとんどの部分はATFをなし、一部にSt(c), Sh相が擾乱されたと考えられる砂のマトリクスをとともなう。同断面西部の流路は、幅10m、深さ1mで、河岸および流路底は人工的に加工されており、流水で砂礫が移動する状況下で西半部が埋め戻されてい

る。さらに東半部にもATF相が部分的にみとめられる。断面東部の充填堆積物はより新しいが、堆積ユニット5を侵食して生じた浅い流路を同様な状況下で埋め立てたように見える。これらのATFをなす堆積物は、より東のSt(c), Sh, Sp, SFlをなす自然の流路堆積物と指交して累重している。この流路堆積物の分布は図示していないが、堆積ユニット5の分布領域の上位にはほぼ重なり、最上部はさらに広い範囲でFl, SFlが薄く累重する。この流路充填堆積物の古流向はN30°Wで、厚さ60~70cmである。砂礫は東方に向かって薄くシート状に分布しており、Loc.6の最上部ではそのSFl相がみとめられる。上述した西部の流路はこの自然の流路とは伸びの方向が異なり、N5°Wであった。この流路は南方で、輪郭や厚みが不明瞭になり、98-7区南辺断面では、これに連続すると思われる溝状のくぼみがみとめられた。このくぼみは、砂質泥によって充填されているが、東方へはLoc.7のT.P.7m付近の砂層と指交し、同時異相とみなされる。

以上のことから、奈良時代から平安時代にかけて、本流から放棄流路に土砂が流入し、これにともない調査区北部の左岸が人工的に改変されたものと推測される。和同開珎は上述したATF相から出土した可能性が高い。放棄流路のくぼみが充填された後、調査地西部はFl, Fmをなす泥が堆積し、後背湿地の環境に変化したと思われる。

6. まとめと課題

堆積ユニット1から6までの検討から推定される河川堆積作用と地形の変化は以下のようにまとめられる。

- (1) 堆積ユニット1 (CHB1) : 弥生時代後期 (後半?) の氾濫原後背湿地の急激な下刻、開析谷の形成、谷底の側方侵食 (図190-a,b)。
- (2) 堆積ユニット1 : 弥生時代後期末までの開析谷の充填、網状流路の発達 (図190-b)。
- (3) 堆積ユニット2下部 : 古墳時代前期 (前半) の側方侵食による開析谷の拡幅および充填、引き続き網状流路の発達 (図190-c)。
- (4) 堆積ユニット2上部 : 古墳時代前期 (中頃) までに充填された流路上部での、網状流路から緩やかな屈曲流路 (sinuous channel) への変化、側方堆積作用の卓越、氾濫原の堆積作用 (図190-d)。
- (5) 堆積ユニット3 : 古墳時代前期後半の洗掘 (再下刻) と急速な充填。土砂流出量の減少 (図190-e)。
- (6) 堆積ユニット4 : 古墳時代前期末の、再下刻された流路の曲流と側方移動、間欠的な堆積物重力流 (土石流) の発生、流路内の砂州 (あるいは緩やかな瀬・淵) の形成、自然堤防の発達、人為的な河岸改変の始まり (図190-e)。
- (7) 堆積ユニット5 : 古墳時代中期~後期の河床の洗掘、放棄流路化、流路の移動停止、エピソード的な砂礫の流入、河岸の改変 (図190-f)。
- (8) 堆積ユニット6 : 奈良-平安時代の一時的な放棄流路の再活動、盛土・切土による流路改変、平安時代以後の放棄流路と後背湿地 (図190-g,h)。

図190では、人間活動に関しては盛土・切土のみを表現したが、eないしfより新しい時代には、河岸や後背湿地は居住地や耕作地として利用された。また、より古い時代にもこれらは活動可能な領域とみなせる。

小阪合遺跡で観察された河川地形発達の特徴は、弥生時代後期のある時期から、古墳時代前期末までの期間に、急激な下刻と埋積が起こったことである。この下刻の原因を、海水準・湖水準低下とする証

拠は現在みあたらない。むしろこの時期には、河内平野の低地中央部では、広範囲に亜泥炭層が発達し、湖水準は停滞していたと考えられる。本遺跡北方4kmの、基準面により近いと考えられる瓜生堂遺跡で検出された下流側の流路底は、T.P.0mを数10cm下回る程度であった（松田, 1999）。堆積ユニット2の堆積が古墳時代前期の100年たらずの期間に起こっている。このように開析谷の充填速度が速いことは、河床縦断形の平衡が急速に回復されたことを示している。その間に供給される堆積物の粒径や、流路形態はあまり変化がなく、開析谷は河床勾配を維持するかたちで埋積されたと考えられる。

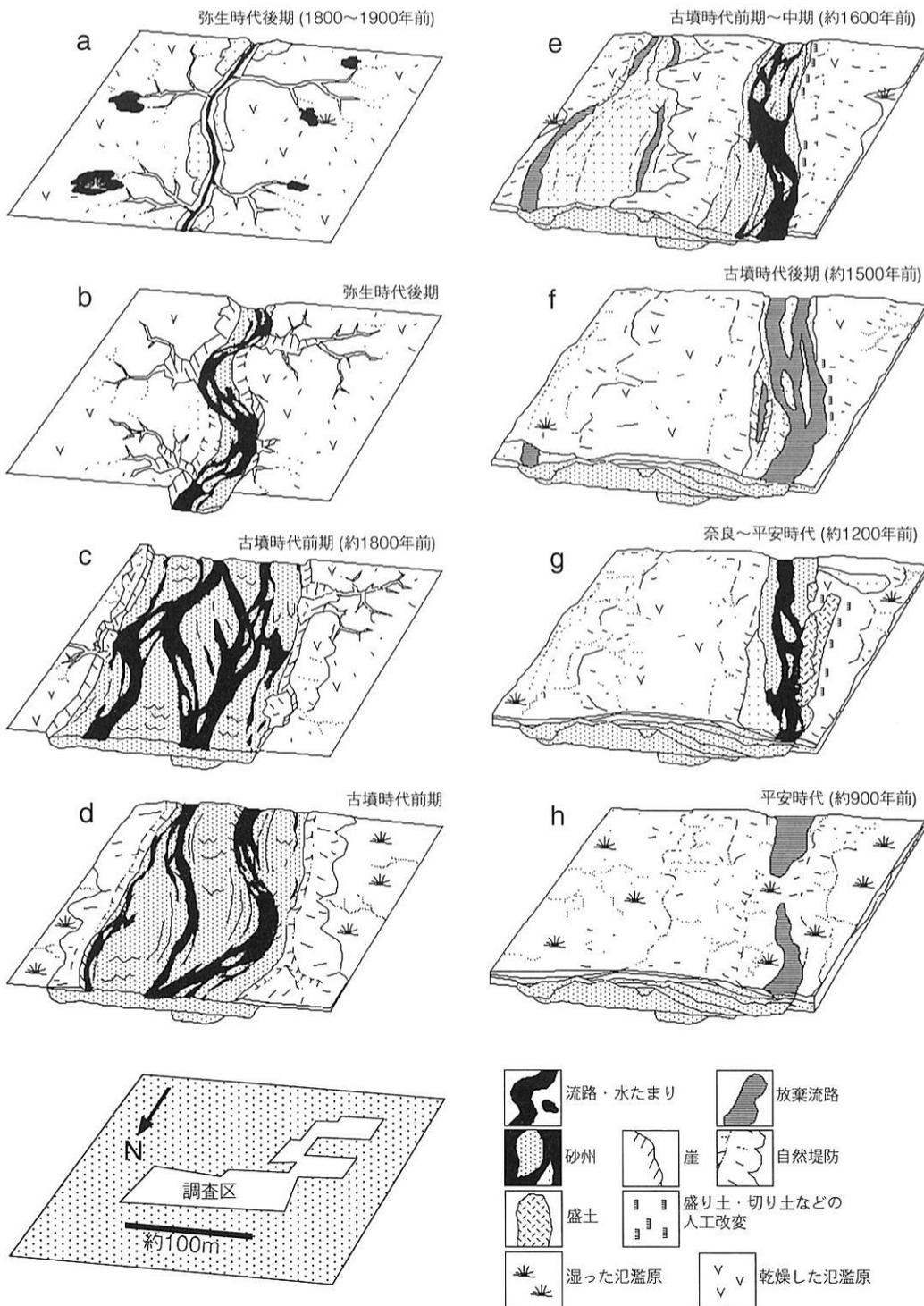


図190 小阪合遺跡の河川地形の変遷模式図

以上のことから下刻の原因は、それまでの幹線流路からの氾濫堆積作用によって、調査地周辺の氾濫原が局地的に高まっていたか、流路変更の直前に調査地より上流側で河床が急激に高まったかのどちらかだろう。前者の場合、上流域で堆積作用によって上昇した河床をくりかえし下刻する扇状地的な河川のふるまいが想定される。その下流側では堆積作用が卓越するはずである。実際に、古墳時代前期の流路の下流区間にあたる瓜生堂遺跡の同時期の流路では、それまでよりやや粗粒な充填堆積物が垂直的(aggradational)に累重するとともに、泥質堆積物からなる氾濫原の高度を急速に上昇させている(松田, 1998)。上流側の自然な流路変更によって、後背湿地に流路が新たに形成される場合、荷重と流量の増加にともない、河川は、おもに氾濫堆積物によって河岸を上昇させるか、おもに基盤を側方および下方に掘り込んで流路断面積(河岸満水流量)を増大させる(Brakenridge, 1988)。このような点で、小阪合遺跡の古墳時代の河川は前者のふるまいを下流側で、後者を上流側でとったことになる。上流からの流出量、土砂供給量の変化については、さらに検討を要する。

上流側の地盤の上昇の原因には、地震活動が想定される。河内平野南部では、弥生時代中期末・後期初頭と古墳時代前期の庄内式期にかなり強い地震が発生したと推定される(たとえば、寒川, 1993; 松田, 1995)。地盤の上昇が下刻の原因であれば、この地域の他の河川でも同様な応答がみられるはずで、それを検証してゆく必要がある。河川地形学の分野では、開析谷の形成や、河川の変容と地盤運動の関係についてSchumm *et al.* (1988) やSchumm *et al.* (2000) の論考がある。

調査地で検出された埋没流路は、断面での観察のため、幾分かの推測を要するとはいえ、それぞれの堆積ユニットにおける古水文・水理学的なパラメータを得やすい。たとえば河岸満水幅および深さ、流路の断面形や潤辺長、堆積物の粒径と河床形態などである。これらを用いて、定量的な河川の変遷を復元する試みは、すでに多くなされており(たとえばWilliams, 1988; Warner, 1994)、小阪合遺跡の埋没流路も興味深い研究対象になると思われる。

謝辞

財団法人 大阪府文化財調査研究センターの赤木克視、小林義孝両氏には本稿をまとめる機会を与えていただいた。同センターの駒井正明、本間元樹両氏には、現地調査と原稿執筆にあたって多くのご援助、ご教示を賜った。財団法人 八尾市文化財調査研究会の高萩千秋、原田昌則、成海佳子、岡田清一、樋口薫の各氏からは本遺跡の発掘成果についてご教示を賜った。また、現地調査では辻康男氏(関西大学大学院文学研究科)の協力を得るとともに河川地形について意見交換を行った。以上の方々に心よりお礼申し上げます。

文献

- 岡田清一 (1990) 八尾の古代河川. 財団法人 八尾市文化財調査研究会「八尾市文化財調査研究会立十周年記念誌、10年のあゆみ」, 33-35.
- 阪田育功 (1988) 河内平野の形成と河川の変遷 — 長瀬川流域を中心に. 大阪府教育委員会・財団法人 大阪文化財センター「佐堂(その2) -I- 近畿自動車道天理吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書」, 146-155.
- 寒川旭 (1993) 志紀遺跡で検出された地層の流動と遺構の変形跡. 宮野淳一・中村清美「志紀遺跡発掘調査概要 III」. 大阪府教育委員会, 59-63.
- 高萩千秋 (1987) 「小阪合遺跡 — 八尾市都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査 — 昭和58年度第2次調

- 査・第3次調査報告書」, 財団法人 八尾市文化財調査研究会報告11, 11-12.
- 高萩千秋 (1989) 「小阪合遺跡 — 八尾市都市計画事業小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査 — 昭和60年度第6次調査報告書」, 財団法人 八尾市文化財研究会報告18, p.22.
- 高萩千秋 (1999) 小阪合遺跡第36次調査 (KS97-36), 「財団法人 八尾市文化財調査研究会報告62」, 59-66.
- 坪田真一 (1988) 小阪合遺跡第26次調査 (KS93-26), 「財団法人 八尾市文化財調査研究会報告61」, 1-40.
- 坪田真一 (1993) 小阪合遺跡第23次調査 (KS92-23), 「財団法人 八尾市文化財調査研究会報告39」, 63-71.
- 土質工学会関西支部・関西地質調査業協会編著 (1987) 「新編 大阪地盤図」, コロナ社, p.115, 125, 248, 271.
- 日本建築学会近畿支部・土質工学会関西支部編著 (1966) 「大阪地盤図」, コロナ社, p.307, 312.
- 原秀禎 (1980) 自然地理的背景, 寺川史郎・尾谷雅彦「亀井・城山 — 寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造治閉連埋蔵文化財発掘調査報告書」, 財団法人 大阪文化財センター, 2-6.
- 藤岡達也 (1996) 河内平野南部における古環境復元の基礎的研究 — 大阪府八尾市小阪合遺跡及び近辺の遺跡群と楠根川変遷との関連, 歴史地理学, 179, 25-42.
- 松田順一郎 (1996) 若江北遺跡第5次発掘調査地でにみられたさまざまな地震痕跡, 市本芳三・三好孝一「巨摩・若江北遺跡発掘調査報告 — 第5次 — 都市計画道路大阪中央環状線巨摩橋交差点南行斜線跨道橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」, 財団法人 大阪府文化財調査研究センター, 141-159.
- 松田順一郎: 大竹西遺跡の弥生-古墳時代埋没河道堆積物と河川地形, 財団法人 八尾市文化財調査研究会「大竹西遺跡第3次発掘調査報告書」, (仮題、作成中)
- 松本英次・池田宏・伊勢屋ふじこ・児玉芳敬・飯島英夫 (1993) 閉管路を用いた混合砂礫の運搬・堆積機構に関する研究, 平成2・3・4年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書, 79-81.
- 山本晃一 (1994) 「沖積河川学 — 堆積環境の視点から」, 山海堂, pp.158-159.
- Brakenbridge, G.R. (1988) River flood regime and floodplain stratigraphy. Baker, V.R., Kochel, R.C., and Patton, P.C. (eds.) *Flood Geomorphology*. Wiley, pp.139-156.
- Bridge, J.S. (1993) The interaction between channel geometry, water flow, sediment transport and deposition in braided rivers. In Best J.L. and Bristow, C.S. (eds.) Braided Rivers. *Geological society Special Publication* No. 75, pp.13-71.
- Delcourt, P.A. and Delcourt, H.R. (1980) Pollen preservation and Quaternary environmental history in the southwestern United States. *Palynology*, 4, 215-231.
- Dietrich, W.E., Kirchner, J.W., Ikeda, H., and Iseya, F. (1989) Sediment supply and the development of the course surface layer in gravel-bedded rivers. *Nature*, 340, 215-217.
- Hein, F.J. and Walker, R.G. (1977) Bar evolution and development of stratification in the gravelly, braided, Kicking Horse River, British Columbia. *Canadian Journal of Earth science*, 14, 562-570.
- Kuhle, R.A. (1996) Unsteady transport of sand and gravel mixtures. In Carling, P.A. and Dawson, M.R. (eds.) *Advances in Fluvial Dynamics and Stratigraphy*. Wiley, pp.183-201.
- McKee, E.D. and G.W. Weir (1953) Terminology for stratification and cross-stratification in sedimentary rocks. *Geological Society of America, Bulletin*, 64, 381-389.
- Miall, A.D. (1996) *The Geology of Fluvial Deposits: Sedimentary Facies, Basin Analysis, and Petroleum Geology*. Springer, 582p.
- Miall, A.D. (1985) Architectural-element analysis: a new method of facies analysis applied to fluvial deposits. *Society of Economic Paleontologists and Mineralogists Short Course*, No.19, pp.33-81.
- Lowe, D.R. (1982) Sediment gravity flows II: Depositional models with special reference to the deposits of high-density turbid-

- ity currents. *Journal of Sedimentary Petrology*. 52, 279-297.
- Rust, B.R. (1984) Proximal braided plain deposits in the Middle Devonian Molbaie Formation of eastern Quebec, Canada. *Sedimentology*, 31, 675-695.
- Schumm, S.A. (1981) Evolution and response of the fluvial system: sedimentological implications. *Society of Paleontologists and Mineralogists Special Publication*, No.31. pp.19-29.
- Schumm, S.A., M.P.Mosley, and W.E.Weaver (1987) *Experimental Fluvial Geomorphology*. Wiley, pp.129-250.
- Schumm, S.A., Harvey, M.D., and Watson, C.C. (1988) *Incised Channels: Morphology, Dynamics and Control*. Water Resource Publication, 200p.
- Schumm, S.A., Dumont, J.F., and Holbrook, J.M. (2000) *Active Tectonics and Alluvial Rivers*. Cambridge, 276p.
- Simons, D.B., Richardson, E.V., and Nordin, C.F. (1965) Sedimentary structures generated by flow in alluvial channels. In Middleton, G.V. (ed.) *Primary Sedimentary Structures and Their Hydrodynamic Interpretation*. *Society of Economic Paleontologists and Mineralogists Special Publication*, No.12. pp.34-52.
- Smith, N.D. (1974) Sedimentology and bar formation in the upper Kicking Horse River, a braided outwash stream. *Journal of Geology*. 82, 205-224.
- Todd, S.P., Williams, B.P.J., and Hancock, P.L. (1988) Lithostratigraphy and structure of the Old Red Sand stone of the northern Dingle Peninsula, Co. Kerry, southwest Ireland. *Geological Journal*. 23,107-120.
- Warner, R.F. (1994) A theory of channel and floodplain responses to alternating regimes and its application to actual adjustments in Hawkesbury River, Australia. In Kirkby, M.J. (ed.) *Process Models and Theoretical Geomorphology*. Wiley, pp.173-200.
- Williams, G.P. (1988) Paleofluvial estimates from dimensions of former channels and meanders. In Baker, V.R., Kochel, R.C., and Patton, P.C. (eds.) *Flood Geomorphology*. Wiley, pp.321-334.
- Yatsu, E. (1955) On the longitudinal profile of the graded river. *Transaction, American Geophysical Union*. 36, 4, 211-219.

第2節 土器棺と土器棺もどき

－原始・古代の土器埋納と土器棺の対比－

(財)元興寺文化財研究所 角南 聡一郎

I.はじめに

大阪府八尾市小阪合遺跡では、弥生時代終末～古墳時代初頭の埋没住居865を切って壺で壺を蓋した状態で埋置されていた。土器は横位になっており、これと蓋の存在が単なる偶然の所産ではなく意識的に埋置されたことの根拠となろう。

一般的に、このような出土状況を呈する場合で、最も用途としての可能性が高いのは土器を転用した棺、つまり土器棺であろう。しかし、土器棺には遺体が遺存していることはほとんどなく、副葬品を伴う場合も僅少である。このため、これまで土器棺とされてきた資料のうち、その可能性が疑問視される資料がかなりある。そこで、本節では、弥生・古墳時代の土器棺と、その他の遺構を区別するために、土器棺かどうか疑わしいもの（例えば土器埋納など）を土器棺もどきと呼び、いくつかの事例を提示し比較を試みる。この結果をもとに、小阪合遺跡出土の当遺構について位置付けをするべく、若干の検討をおこなってみたい。

II.土器埋納とは何か

日本の原始・古代社会では、埋納、特に土器を用いた埋納はどういった背景でおこなわれたのだろうか。また、このような遺構はどのように解釈されているのだろうか。この二つの点について検討する前に、若干の用語と概念の整理をおこなっておく。日本考古学では、埋納はヨーロッパ考古学のデポという概念に類似すると考えられてきた。

まず、埋納という語の定義をここでおこなっておきたい。各種の考古学辞典類をめぐってみた。すると、デポとして記載があったのは以下の一冊のみであった。

デポ でぼ depot 埋納遺構，ないしは遺跡。フランス語のdepotに由来する。一時的な貯蔵のために隠匿されたものや、その施設。ほかの遺構に伴わずに単独で出土する状態で発見される。住居の床面や墓の副葬品として発見されるものは該当しない（大塚・戸沢編 1996）。

佐原眞は、ヨーロッパ考古学における「デポ」の概念を、単数あるいは複数問わず、意識的に遺物を埋め納めること、その遺跡、遺物であり、墓への副葬は除くと定義した。この概念は日本考古学にも、デポ＝埋納という図式で採用可能であり、佐原によれば、「銅鐸・武器形祭器がこれに相当し、そして沖ノ島の祭祀遺跡がこれにあたり、また経塚もその一種としてよい。いまや、日本考古学においても埋納遺跡を遺跡の種類のひとつとして認知すべき」であると考えた（佐原 1985）。佐原の定義によると、土器埋納遺構も広義の埋納行為としてとらえることが可能であるといえよう。しかし、この定義では土器埋納は単独で検出される場合に採用されるべきであるということになる。土器棺と対比すると、土器棺のみ単独で検出される場合、これと類似しているといえよう。しかし、デポの定義からは外れるものの、後生の地鎮・鎮壇の際の土器埋納は、単独で立地するとは限らず建物など他の遺構に付随するものが多い。本章ではこうした背景で土器が埋納されたと考えられる事例と土器棺として扱うには疑問がある事例をひとまとめにして、「土器棺もどき」として取り扱い検討をおこなっていく。

Ⅲ.土器棺もどきの諸例

「土器棺もどき」には、私見によると大別して以下の6つの出土類型が存在しているようだ。ここでは、具体的な資料を提示しながら土器棺もどきについてみていきたい。

(1) 土器が入れ子状で出土する事例 (図191)

住居跡から出土する場合と、それ以外に大別される。前者の事例は、愛媛県西条市池の内遺跡第Ⅲ地区1号住居から出土した甕がある。弥生時代中期後葉の甕は住居跡の北西隅で横倒しの状態で検出された。完形の甕にやや小型の甕が納められており、報告者は住居内での土器の収納状況を知る上でも貴重な資料であるとしている(米澤ほか 1989)。また、熊本県球磨郡錦町夏女遺跡2号住居跡では、弥生時代後期の小型の甕が住居跡の北東隅から出土した。この甕内にはミニチュアの壺と甕が計3個組み合わせられていた(園村 1993)。一方、住居址以外からの事例としては、愛知県安城市桜林遺跡4-12区西南隅で、完形で出土した古墳時代前期の台付甕があげられる。甕の中には、台付甕の脚台部4個が入れ子のような状態で納められていた(岡安ほか 1998)。福岡県糟屋郡久山町一ノ井出B遺跡第3土壙からは、古墳時代前期の甕が出土した。この甕は横位に置かれ、中に土師器杯3個を重ねて入れてあった。当該期の遺構・遺物は唯一これのみで、付近に集落の存在が考え難いことから、特殊目的の埋納遺構であると報告されている(中間 1995)。

各報告の際、住居跡の事例では、日常に使用していた土器が収納された状態で埋没したと解釈されており、埋納と報告されることは少ない。しかし、単独で土器が入れ子状で出土した場合は、一ノ井出B遺跡のように埋納遺構として報告されるようである。また、桜林遺跡例の方は、調査時に明確な遺構が確認されておらず、台付甕の脚台部という非実用的土器が収められていることに特異さを覚える。この事例も祭祀的土器埋納である可能性は高い。

(2) 装身具・威儀具などが出土する事例 (図192, 193)

この類で最も古いのは、濱田耕作による神戸市夢野村出土の弥生土器壺・高杯についての報告であろう。この壺は単独で出土し、脚部が欠損した高杯で蓋をされた状態で出土したという。壺内には36個以上の貝輪が納められており、土器の時期は、提示された図から弥生時代中期後葉頃と考えられる。濱田は、貝輪が貴重品として貯蔵されていたと考え、これを一種のデポであるとした(濱田 1920)。

静岡県三島市中手乱遺跡では、弥生時代中期前葉の壺に鹿角製短剣が納められた状態で出土した。壺は流路内に倒れた状態で出土し、土器内面には周辺の覆土と同様の砂礫が充填されていた。短剣は壺の中に切先を下方に向け、基部が土器の頸部内面に接した状態で出土した(岩本 1998)。

土器内に青銅器を伴う事例は比較的多いようだ。福岡県小郡市小郡若山遺跡では、P94内に弥生時代中期後葉の甕が体部に焼成後穿孔をした後伏せた状態で出土し、この中に多紐細文鏡が2面、鏡面を合わせた状態で納められていた(速水 1994)。福岡県朝倉郡夜須町三並ヒエデ遺跡では、弥生時代中期後葉～末の中細銅戈17本が円筒形土器に収められた状態で出土した。この円筒土器は日常の生活用具ではなく、銅戈の铸造及びその使用に関係した可能性が高いとされる(伊崎 1999)。

大阪府八尾市矢作遺跡SD13の溝底近くより、古墳時代前期の壺が伏せられた状態で出土し、その下には 製鏡1面が置かれていた(米田 1987)。

小郡若山遺跡例や矢作遺跡例はいずれも鏡を置きその上から逆さに土器を被せている点で共通している。このように装身具・威儀具などが出土した場合には、意識的に埋納されたと解釈される場合が多いようである。

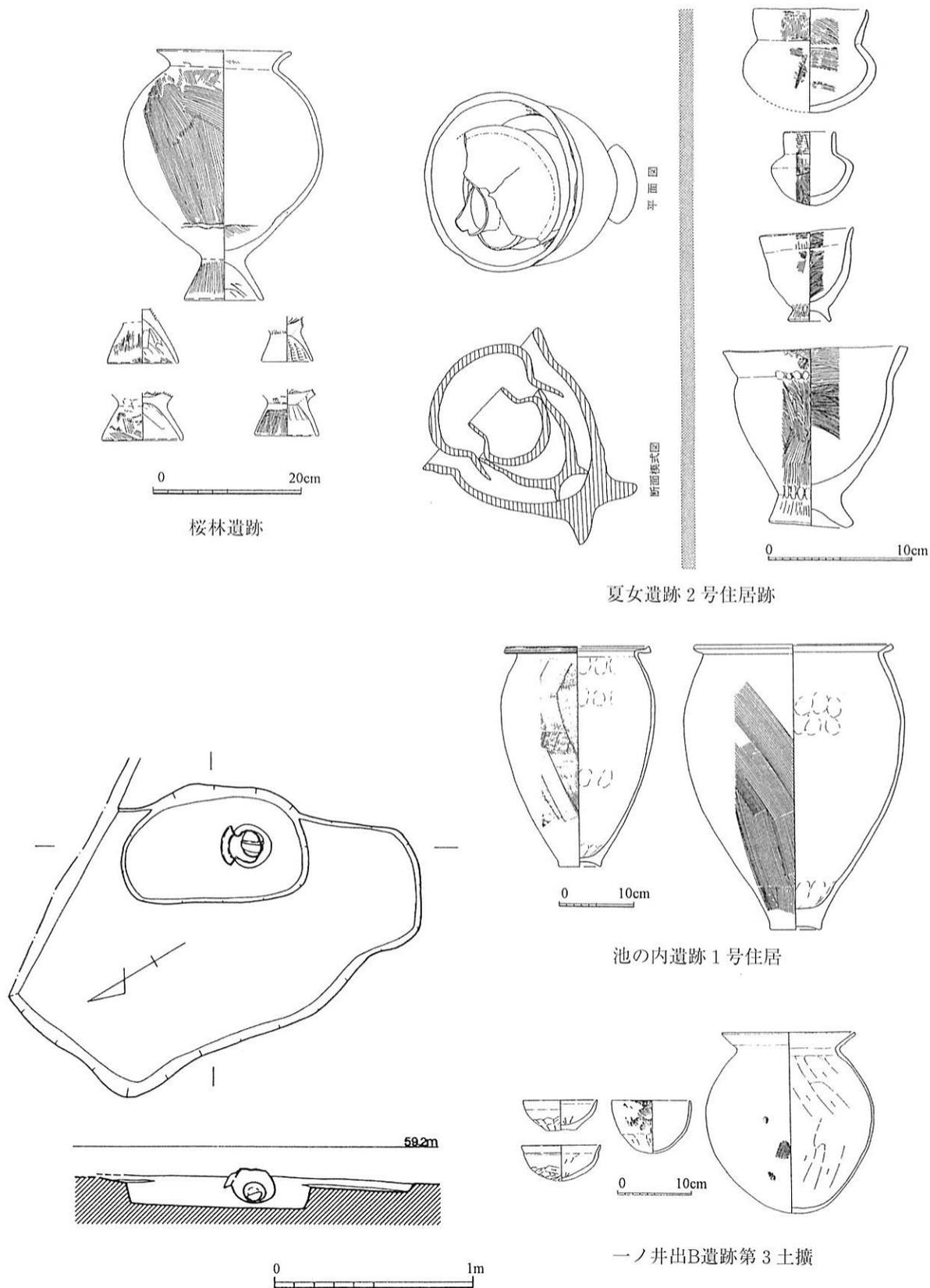


図191 土器棺もどき（入れ子）

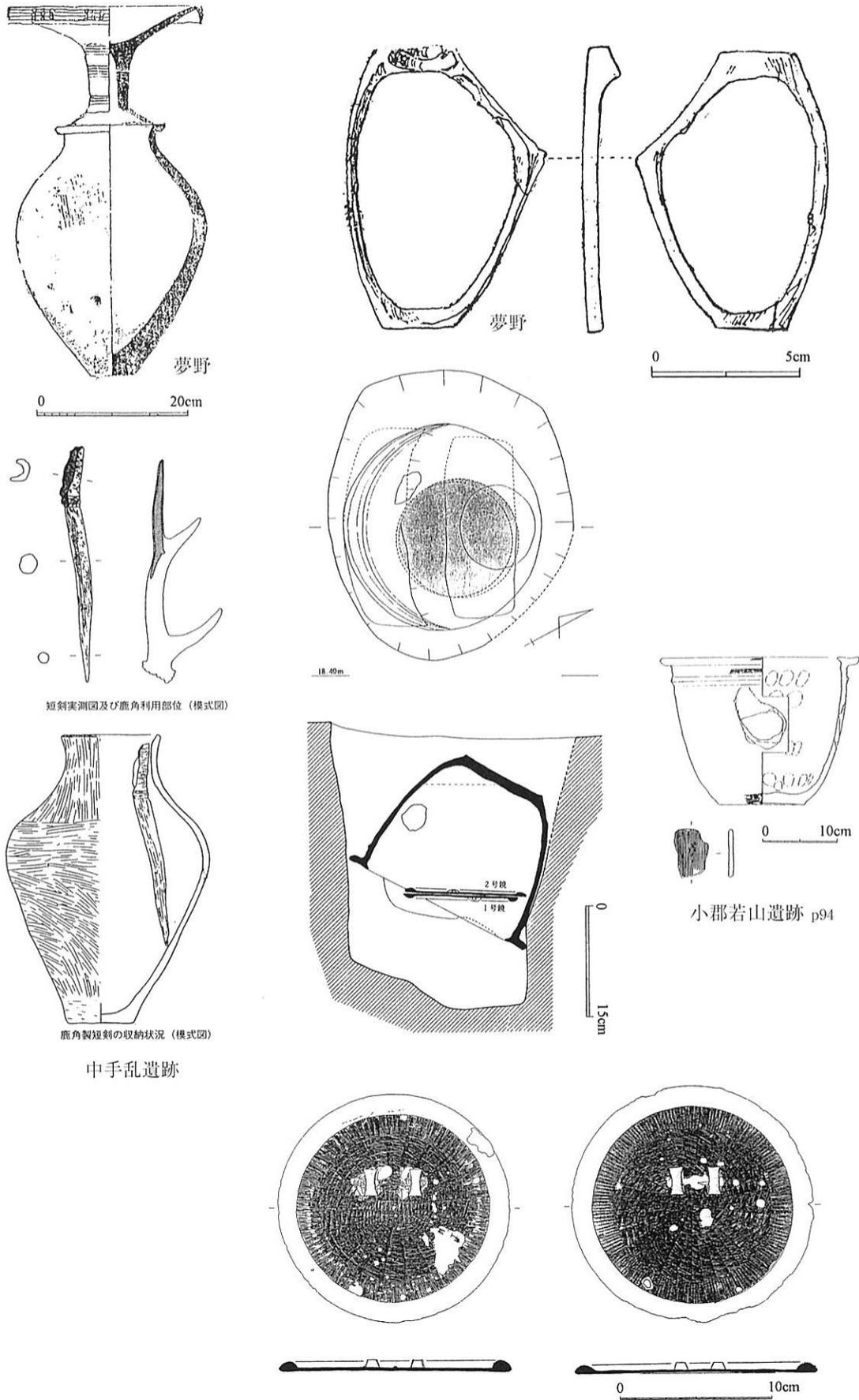


図192 土器棺もどき (装身具・威儀具 1)

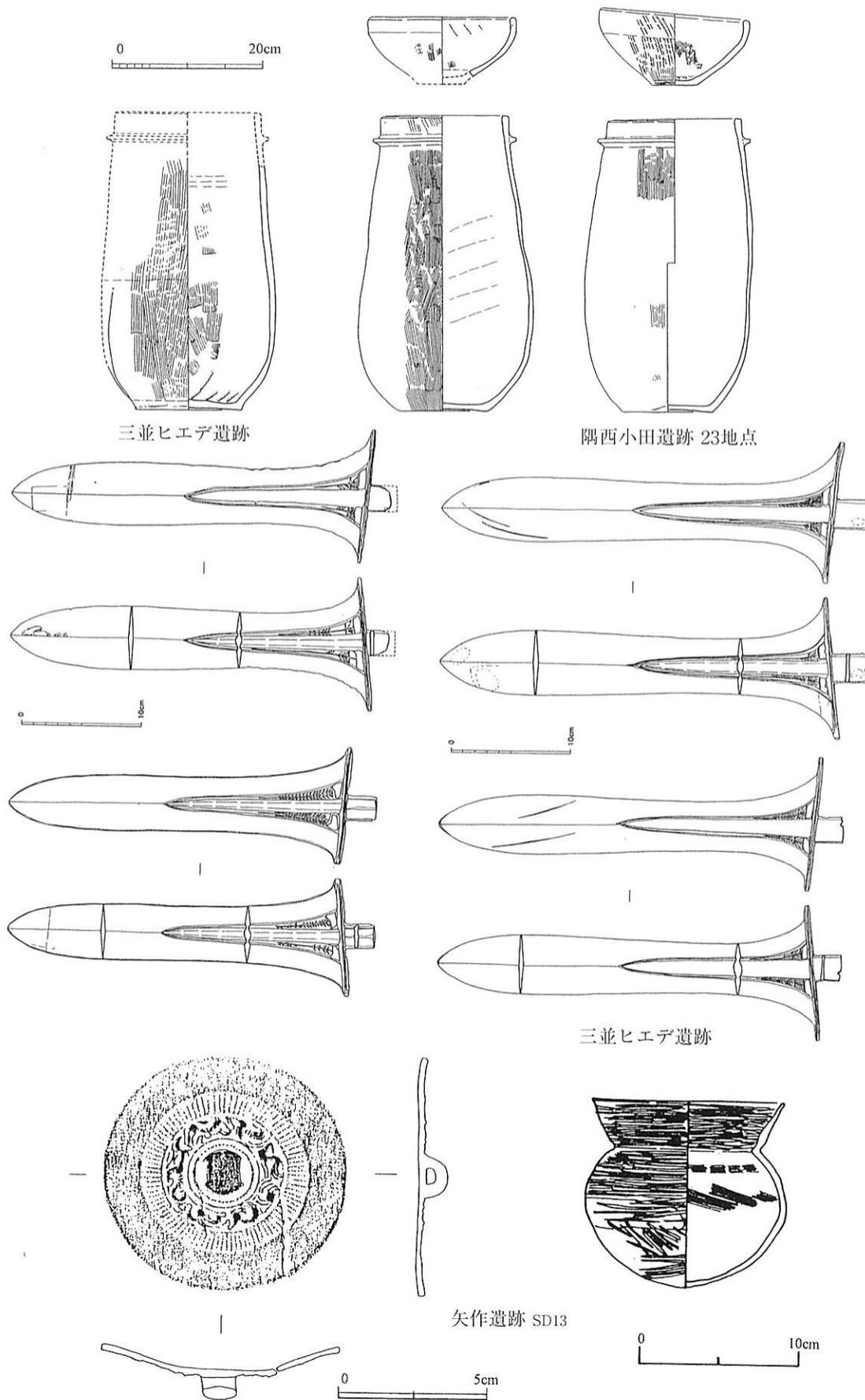


図193 土器棺もどき（装身具・威儀具 2）

(3) 石が出土する事例 (図194, 195)

群馬県高崎市倉賀野万福寺Ⅱ遺跡では、古墳時代前期の16号方形周溝墓周溝西側の北西隅に程近い場所で、完形の壺が横位で出土した。壺の中には2~8cm程度の石が35個入っていた。壺は口縁部をやや下に向けた状態で出土していることから、石が後から混入したとは考えにくく、壺を置いた際に小石を中に入れたとみられる(関口・鷲谷 1994)。岡山県津山市有本遺跡土器棺10は、弥生時代終末~古墳時代初頭の壺を棺身に用いて、別個体の壺・高杯などで蓋をしている。底部から長さ4.2~6.4cmの円礫が四個出土した。出土状況から埋設時に内部に入れられていたもので、後からの流入とは考えられないとされる(小郷 1998)。この事例は、土器棺の埋設状態としてはいささか違和感を覚え、埋葬施設ではない可能性が高い。

大阪府高槻市岡本山東地区遺跡では、古墳時代後期の須恵器甕内部に石が充填されたものが検出された。また、土器内からは須恵器鉢と鉄鎌が出土した。この遺構について調査者は、壺(甕)の内部に遺体を入れその上に積み石をおこない、更に集石の上に須恵器や鉄器を副葬した土器棺であると推定した(西谷 1966)。これに類似した事例が大阪府和泉市B2地点遺跡でも発見されており、報告では土器棺墓とされている(白石・乾 1992)。また、鳥根県八東郡鹿島町奥才34号墳の中心主体として検出された壺には、内部に径5cm前後の礫が肩部まで詰めこまれていた。その上面には石釧1、捩文鏡1、碧玉製勾玉1、琥珀製勾玉1が置かれていた。礫上面には赤色顔料が塗布されていた。土器は直位に置かれ、蓋に壺下半部を使用する。報告者は、これを土器棺ではなく土器埋納であると考えている(赤沢ほか 1985)。

岡本山東地区遺跡などのように、礫が土器内に充填されている場合には、性格をめぐって土器棺であるという見解と埋納遺構であるという見解の両者が存在していることがわかる。

(4) 食物が出土する事例 (図196)

滋賀県長浜市加田B・C遺跡SX-01から、弥生時代終末~古墳時代初頭にかけての壺が、田も網の上に横倒しに置かれた状態で遺構基底部から出土した。壺の口縁部は打ち欠かれているらしい。この壺内部からは、モモの種子が出土した。報告者はこれを土器棺であると考えている(宮崎 1986)。モモの種子が出土した例は、大阪府八尾市亀井北遺跡でも知られる。SP8104は庄内式期の二重口縁壺を納め、底部を別の壺底部で塞いでいた。口縁部付近からモモの種1個と土器の外から骨片2点出土した。土器棺墓としての可能性があるが断定できないとある(小野ほか 1986)。

また、鳥取県東伯郡羽合町長瀬高浜遺跡10E貝殻出土遺構は、古墳時代前期の甕が逆位に置かれた状態で検出された。土器の内部からイガイが1枚と、残りが良くないタガイが数枚重なった状態で出土した。報告者は、この貝は、貝殻を利用する目的で甕の中に納めていたものとの見解を示している(野島・名越ほか 1983)。この事例は、単に貯蔵を目的とした可能性と、貝を祭祀後に埋納した遺構とも理解されよう。

食物が出土する場合にも、土器棺の副葬品と埋納遺構の双方の可能性が指摘されているようだ。

(5) 動物が出土する事例 (図196)

奈良県桜井市大福遺跡では、弥生時代中期の溝Ⅰ中央部から、この溝が埋没した後に埋設されたと考えられる弥生時代後期の壺が口を上にして出土した。この壺内からイヌの骨が一体分出土した。イヌの遺体を納めるには壺の容量が小さいことから、この骨は、死後一旦埋められた後、掘り出され主な骨だけを集めて壺の中に納め、再度埋められたものであろうとされる。他に壺内からはイノシシの基節骨が1点出土している(亀田編 1978)。このように動物が出土する事例と、前述の食物が出土する事例の区別

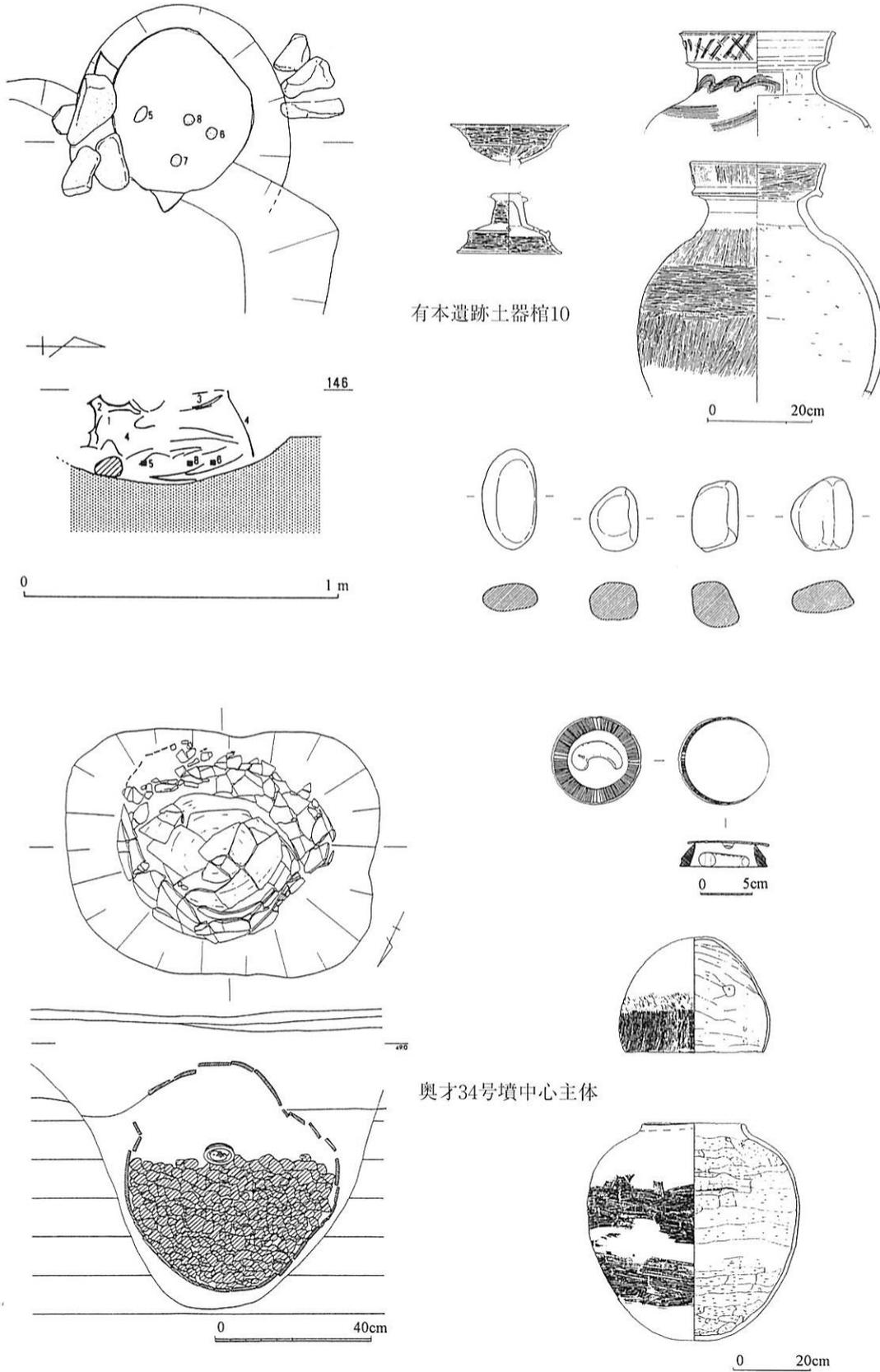


図194 土器棺もどき（石1）

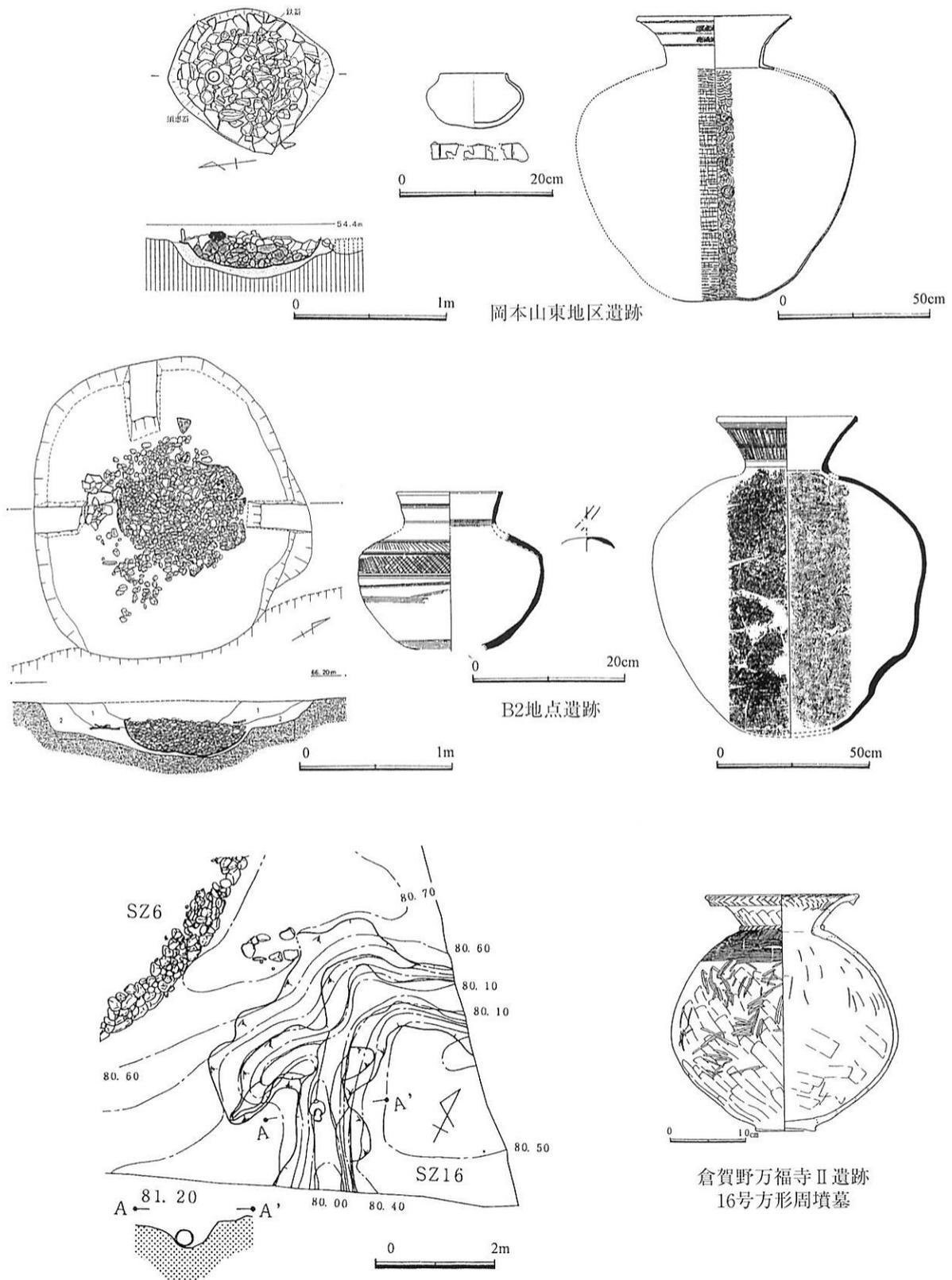


図195 土器棺もどき (石2)

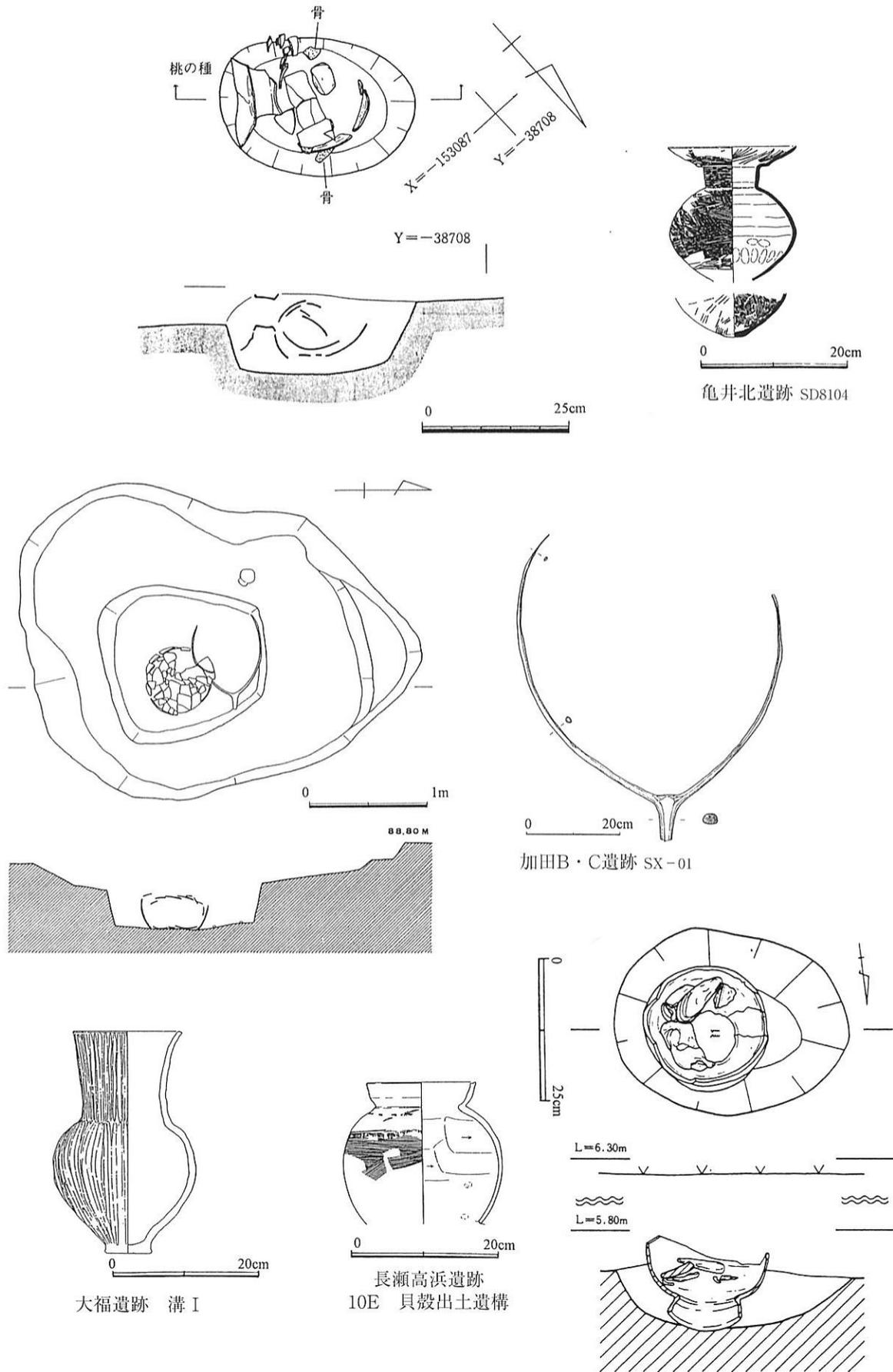


図196 土器棺もどき（食物・動物）

を付けることは、困難が伴うであろう。例えば台湾花蓮市所在の、新石器時代と考えられる花崗山遺跡B4甕棺内からは、7・8歳と考えられる人骨と共に、魚骨が出土している（葉 1996）。このように人骨に伴って動物遺体が出土する場合は、食用のもので遺体に副葬したであろうことが想定できる。しかし、大福遺跡例では人骨は壺内からは出土しておらず、動物のみが収骨されたことがわかる。そこで本例は、食用以外の可能性が想定されるため（4）とは区別して扱った。

（6）何も出土しない事例（図197）

土器内から何も出土しない例のうち、特に蓋・身の問題に留意して事例をみていきたい。鳥取県東伯郡三朝町丸山遺跡SX-10は、古墳時代中期の長頸壺を直位に据え、その上から甕を被せる。報告者はこの遺構について、祭祀的性格が強いとしている（伊達編 1984）。また、鳥取県倉吉市不入岡遺跡3号墳の周溝内で検出された4号埋葬施設は、古墳時代中期の土師器高杯を逆さに置き、土師器甕を被せている。報告者はこれを合わせ口の「土器棺墓」としている（竹宮ほか 1995）。土器棺の蓋とするには高杯の合わせ方が不自然ではないだろうか。このような不自然な蓋の類例は近畿地方にも存在している。滋賀県近江八幡市蛇塚遺跡SK-04は、古墳時代前期の壺が倒立した状態で出土した。蓋には小型丸底壺を使用している。報告者は、合わせ口の「壺棺」としているが、壺が倒立している点から疑問も残ると考えている（宮崎 1985）。

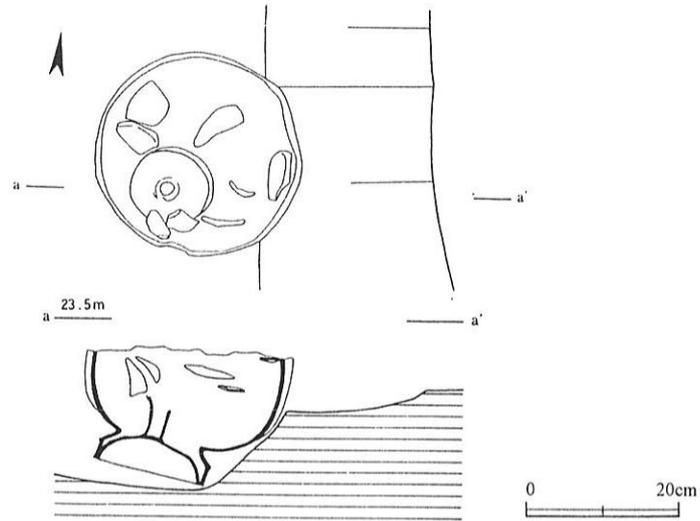
以上のように、倒立した状態で、且つ下にある土器が上の土器よりも小さい場合には、遺体を埋葬した棺とするには容量的に疑問視されることが多く、土器棺ではなく埋納遺構・祭祀関係遺構的な扱いを受けているようだ。

IV-1. 土器棺もどきから土器埋納・土器棺葬を考える

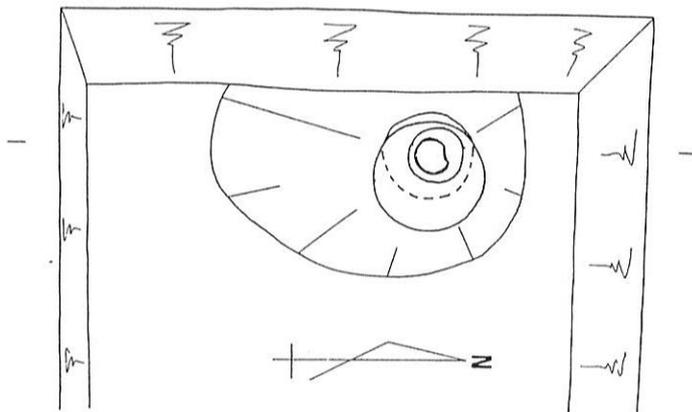
前章で例示した「土器棺もどき」には土器棺、土器埋納、それ以外の三つが含まれていると考えられる。そこで、土器棺・土器埋納のいずれとも考えられない事例を抽出してみたい。そこで、先の土器埋納の定義を想起すると、埋納は埋納遺構単独で立地することが多いとされる。また、土器棺は単独で出土する場合もあるが、墓域から見つかることが多い。これらの点を勘案すると、居住域出土の「土器棺もどき」が除外の対象になると考えられる。池の内遺跡例・夏女遺跡例はいずれも住居跡から入れ子状態で土器が出土しており、これらは住居内における土器収納の所産であると考えられる。しかし、入れ子状に土器が置かれた土坑が単独で立地している一ノ井出B遺跡例のようなものもあり、入れ子がすべて収納の結果とは考えられない。これを土器埋納とするか土器棺の副葬品とするかは、今後、入れ子状土器の資料を更に検索し、改めて検討する必要があるだろう。

これと関係して、秋山浩三は池上曾根遺跡で検出された土器埋設遺構について検討をし、埋設された土器は底を意図的に抜いた状態で出土しており、これらが井戸枠として利用されていたことを明らかにした。また池上曾根遺跡で、以前土器棺とされた遺構も底は存在せず、土器井戸の可能性が高いことを指摘した（秋山 1999）。この場合は土器の底部が抜けているという決定的な相違があるために、土器埋納・土器棺との区別は容易であろう。

つぎに、具体的に土器埋納と土器棺を比較してみたい。まず土器のサイズについてはどうだろう。土器棺には大小様々あるが、土器埋納使用土器は、土器棺と比較して全体的に小さい傾向が看取される。使用された器種については、土器埋納と考えられるものは壺が多いことが指摘できよう。土器の埋置状態は、土器棺は直位・斜位・横位・逆位があるが、土器埋納とされるものは逆位や直位が目立っている。

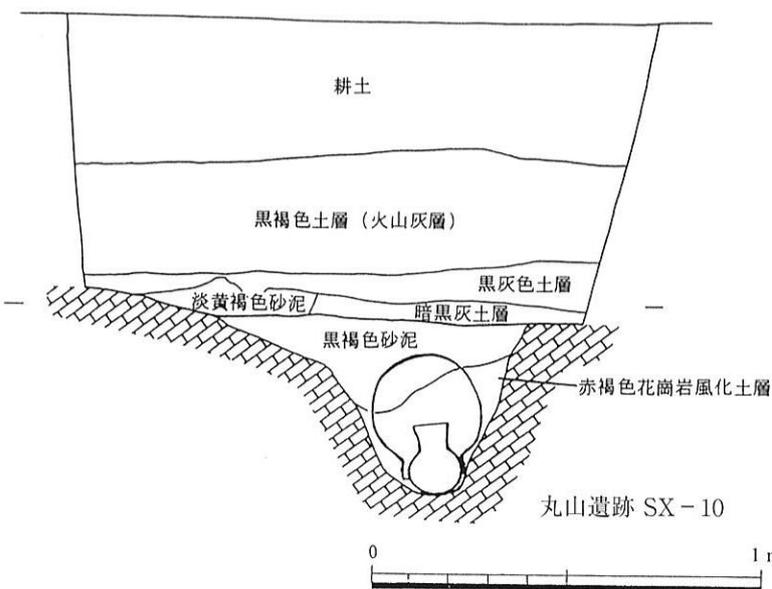


不入岡遺跡3号墳周溝



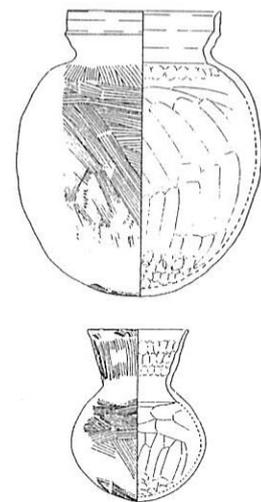
蛇塚遺跡 SK-04

0 10cm



丸山遺跡 SX-10

0 1m



0 20cm

図197 土器棺もどき (何も出土しない)

時期についてみると、弥生時代前期はないが中期後半以降土器埋納は増加し、古墳時代を通じて存在しているようだ。立地は先の定義では、単独で立地すれば土器埋納ということになるが、「土器棺もどき」には溝、河道といったところから出土しているものも多く土器棺が単独で埋設される場合も多いため、判断基準にはなりにくい。

掘り方の状態については、土器棺の掘り方は土器に沿うようにしてきっちりと掘られ小さい。これに対して土器埋納遺構の場合は掘り方は土器よりもかなり大きいようだ。

土器の内容物と副葬品を有する土器棺との比較をおこなってみたい。土器棺内から出土する副葬品と、土器埋納の内容物との区別はきっちり付けられるのだろうか。

岡本山東地区遺跡例やB2地点遺跡例、そして奥才34号墳例のように土器内に礫が充填されたものは墓とするべきなのか、はたまた埋納遺構とするべきなのか。奥才34号墳例については、土器埋納遺構とする説（赤沢ほか 1985、松本 1986、東森 1994）と土器棺とする説（清水 1998）があり、筆者もこの事例については見解を保留した（角南 1999）。その後、古墳時代後期にも岡本山東地区遺跡例やB2地点遺跡例といったよく類似したものが存在していることを知った。また、兵庫県三木市和田神社遺跡では、弥生時代終末～古墳時代前期の土器棺が群を構成して検出されており、この中のSX-07は底部に礫が充填されていた（兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所 1996）。結論から先に述べてしまうと、奥才34号墳例は墓と考えるべきではなかろうか。奥才34号墳例は土器を古墳群の中のマウンドのほぼ中心に埋設されており、土器埋納の定義からすると墓に所在する例となり、土器内から出土したものは副葬品と考える方がよい。弥生時代終末～古墳時代には遺体が極めて小さい場合や、二次葬の遺体を埋葬する場合に、土器内に礫を充填しその上に遺体を埋設する、もしくは逆に遺体を置きその上から礫を充填するという葬法が存在した可能性がある。

和歌山県和歌山市太田・黒田遺跡の土器棺内から、砥石が一個出土している（栗本 1996）。これは副葬品というよりは、砥石が抱かせ石として転用された可能性が高い。しかし、この土器棺は壺のみ使用した単棺であり、棺蓋は存在しない。土器棺ではない可能性も考えておく必要があろう。

威儀具が伴う場合の土器棺は、先の奥才34号墳例以外には鳥取県鳥取市美和37号墳第2主体から古墳時代前期の珠文鏡が出土した例がある（山田 1994）。この事例の場合は棺蓋と身に壺を使用している。装身具を伴う場合の土器棺は、愛媛県松山市祝谷六丁目遺跡の壺棺例がある。この棺に使用された土器は弥生時代中期後葉のもので、棺内から貝輪が2個出土した。また棺内には小児骨が遺存していたことから、これが埋納ではなく土器棺の副葬品であることを決定付けている。当例も棺蓋と身に壺を使用している（梅木編 1994）。植物遺体を伴う事例は、兵庫県神戸市玉津田中遺跡の2例があげられる。SP46001とSP46002はいずれも弥生時代中期後葉の甕を棺身として使用し、SP46001は甕と鉢で蓋を、SP46002は甕で蓋をしている（深井ほか 1996）。動物が伴う事例のうち、イヌの骨が出土した大福遺跡例は、縄文時代にみられる土坑にそのままイヌを埋葬した墓というよりも、二次葬の可能性が高く蓋は確認されていない。また壺内からはイノシシの基節骨が出土しており、二次的にイヌやイノシシが土器埋納されたと理解する方がよく、墓よりも土器埋納と考えるべきだ。

このように、土器内から出土したものが土器棺へ埋葬された人の副葬品と考えられる事例では、きっちりとした蓋を有する場合が多い傾向が認められる。しかし、土器埋納の場合は、土器棺のようにきっちりと蓋をするものは少ないようである。密閉を意図して蓋をきっちりとするか否かが、両者を区別する最大のメルクマールになる可能性は大きい。土器埋納と考えられる事例でも蓋をするものがあるが、

これは前述したように下の土器よりも上の土器が大きく、土器棺が一般的に斜位や横位をとるのに対して、ほとんどが直位に設置されている点が特徴的であろう。しかし、この類として例示した不入岡遺跡例は古墳の周溝内に埋置されており、逆位に埋置された土器棺の可能性が残される。

ではこうした、土器埋納遺構の内容物は何であったか。有機物であった可能性が最も高いだろうが、むしろ当初から何も収納していなかったものもあるのではないか。つまり、「氣」のようなものを封じ込める意図としての土器埋納もこの頃には存在したのではないか。

しかし、青銅器を中心とした威儀具の土器埋納には蓋を伴う場合がある。三並ヒエデ遺跡・福岡県筑紫野市隈西小田遺跡7地点では、特殊な円筒形土器の中に、鉢で蓋をし銅戈を納めていた。この円筒土器が埋納のための専用のものかどうか性格は不明である。また、青銅器埋納に逆位の土器が伴う場合もある。銅鐸埋納という行為について、酒井龍一は銅鐸の内的意味を重視する立場から、銅鐸の文様帯は、外部と結界された内なる概念が封じ込められたとの解釈をおこなっている（酒井 1978）。このように威儀具としての青銅器の内的意味を重視するならば、土器で蓋をする、覆うことによって、青銅器を封じ込める意味があったのではなかろうか。このため、わざわざ土器を被せた埋納がおこなわれたのではないか。いずれにせよ、青銅器の土器埋納は他の土器埋納とは様相を異にしている。

IV-2. 小阪合遺跡住居865出土埋設土器の検討（図198）

これまで検討してきた結果をもとに、小阪合遺跡住居865出土埋設土器について報告に基づきながら再び注目してみよう。この資料は完形の壺をほぼ水平に寝かせ、別個体の破片でその口縁部を覆った状態で出土した。この壺には体部下半に焼成後穿孔がある。問題とする土器は、住居865の南西柱穴とおぼしきピット926の真上にあり、住居865出土土器とこの土器はともに弥生時代終末～古墳時代初頭に帰属することから、埋設土器は住居廃絶後それほど時間を経ないうちに窪みに据えられた土器棺の可能性が高いとされる。土器内からは何も検出されていない。

先に注目したように蓋の有無という点では、小阪合遺跡例はきっちりとした蓋がされており、土器棺的である。また、埋葬状態は横位でありこちらも土器棺の様相に酷似している。これらの点から小阪合遺跡の埋設土器は、土器埋納ではなく土器棺である可能性が高いといえよう。つまり、調査担当者の見解のとおり、住居865が廃棄されて間もなく土器棺が埋設されたことが支持できる。

V. 小結

以上、土器が単体で出土した事例を「土器棺もどき」として紹介し、これらを土器棺と土器埋納、その他に区別する基準を模索してみた。ここで注目した区分の基準は蓋の有無と埋葬状態で、この点からは小阪合遺跡例は土器埋納ではなく土器棺の可能性が高いことを示した。しかし、現状では土器埋納の定義が曖昧であり、研究も「祭祀行為」という認識がされる程度で、正面からこのテーマに取り組んだものは律令期以前の原始・古代ではほとんど皆無であるようだ。これからの更なる研究が期待される。

派生する意味・問題として、土器棺でも土器埋納でもないと思われるものの性格が注目される。特に住居跡内から入れ子状態で土器が出土する事例は、今後、家屋内の土器収納や空間配置の問題へアプローチすることが可能ではないだろうか。

謝辞 本稿を執筆する機会を頂いた、小阪合遺跡調査担当者の駒井正明・本間元樹両氏に先ず深く感謝したい。また、次の方々にも資料収集などで御教示・御協力頂いた。記して感謝したい。

岸本一宏、忽那敬三、狭川真一、佐藤亜聖、関口 修、林 麻穂、藤澤典彦

【引用・参考文献】

- 赤沢秀則ほか『奥才古墳群』1985 鹿島町教育委員会
- 秋山浩三「池上曾根遺跡の弥生時代井戸諸態」『みずほ 30』1999 大和弥生文化の会
- 伊崎俊秋「福岡県夜須町出土の銅戈」『甘木歴史資料館報1』1999 甘木歴史資料館
- 葉 美珍「花崗山遺址甕棺の研究」『台湾考古百年記念検討会会議論文及工作報告』1996 中央研究院歴史言語研究所
- 岩本 貴「鹿角製短剣について」『御殿川流域遺跡群 IV』1998 (財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 梅木謙一編『道後北遺跡群 II』1994 松山市教育委員会・(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
- 大塚初重・戸沢充則編『最新日本考古学用語辞典』1996 柏書房
- 岡安雅彦ほか『桜林遺跡』1998 安城市教育委員会
- 小郷利幸『有本遺跡・男戸嶋古墳・上遠戸嶋遺跡』1998 津山市土地開発公社・津山市教育委員会
- 小野久隆ほか『亀井北(その1)』1986 大阪府教育委員会・(財)大阪文化財センター
- 栗本美香「太田・黒田遺跡第24次調査」『和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 3』1996 (財)和歌山市文化体育振興事業団
- 酒井龍一「銅鐸・その内なる世界」『摂河泉文化資料 10』1978 北村文庫会
- 佐原 眞「ヨーロッパ先史考古学における埋納の概念」『国立歴史民俗博物館研究報告 7』1985 国立歴史民俗博物館
- 清水真一「西日本の土器棺」『弥生人のタイムカプセル』1998 福岡市立博物館
- 白石耕治・乾 哲也『和泉丘陵の古墳』1992 和泉丘陵内遺跡調査会
- 角南聡一郎「土器棺の副葬品」『文化財学報 17』1999 奈良大学文化財学科
- 関口 修・鷲谷亨信『倉賀野万福寺Ⅱ遺跡発掘調査報告書』1994 高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会
- 園村辰実『夏女遺跡』1993 熊本県教育委員会
- 竹宮亜也子ほか『不入岡遺跡群発掘調査報告書』1995 倉吉市教育委員会
- 伊達宗泰編『丸山遺跡発掘調査報告書』1984 三朝町教育委員会
- 中間研志『比原遺跡群 III』1995 久山町教育委員会
- 西谷 正『紅茸山及岡本山東地区遺跡の調査』1966 高槻市教育委員会
- 野島珠美・名越智津子ほか『長瀬高浜遺跡発掘調査報告書 VI』1983 (財)鳥取県教育文化財団
- 濱田耕作「貝輪を容れた素焼壺」『人類学雑誌 36-8』1920 日本人類学会
- 速水信也『小郡若山遺跡 3』1994 小郡市教育委員会
- 東森市良「出雲地方における古墳時代前期墓制について」『山陰地域における日朝交流の史的展開』1994 鳥根史学会
- 『和田神社遺跡説明会資料』1996 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
- 深井明比呂ほか『玉津田中遺跡 5』1996 兵庫県教育委員会
- 松本岩雄「墳丘出土の大形土器」『山陰考古学の諸問題』1986
- 宮崎幹也『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 XII-2』1985 滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
- 宮崎幹也「Ⅲ.長浜市加田B・C, 阿弥陀寺遺跡」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 X III-4』1986
- 滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
- 渡部徹也「鹿児島県指宿市向吉遺跡出土の祭祀遺構について」『人類史研究 9』1997 人類史研究会

山田真宏『平成4・5年度美和古墳群発掘調査報告書』1994 (財)鳥取市教育福祉振興会

米澤俊二編『一般国道11号西条市バイパス埋蔵文化財調査報告書』1989 (財)愛媛県埋蔵文化財調査センター

米田敏幸「矢作遺跡発掘調査概要」『八尾市内遺跡昭和61年度発掘調査報告書Ⅱ』1987 八尾市教育委員会

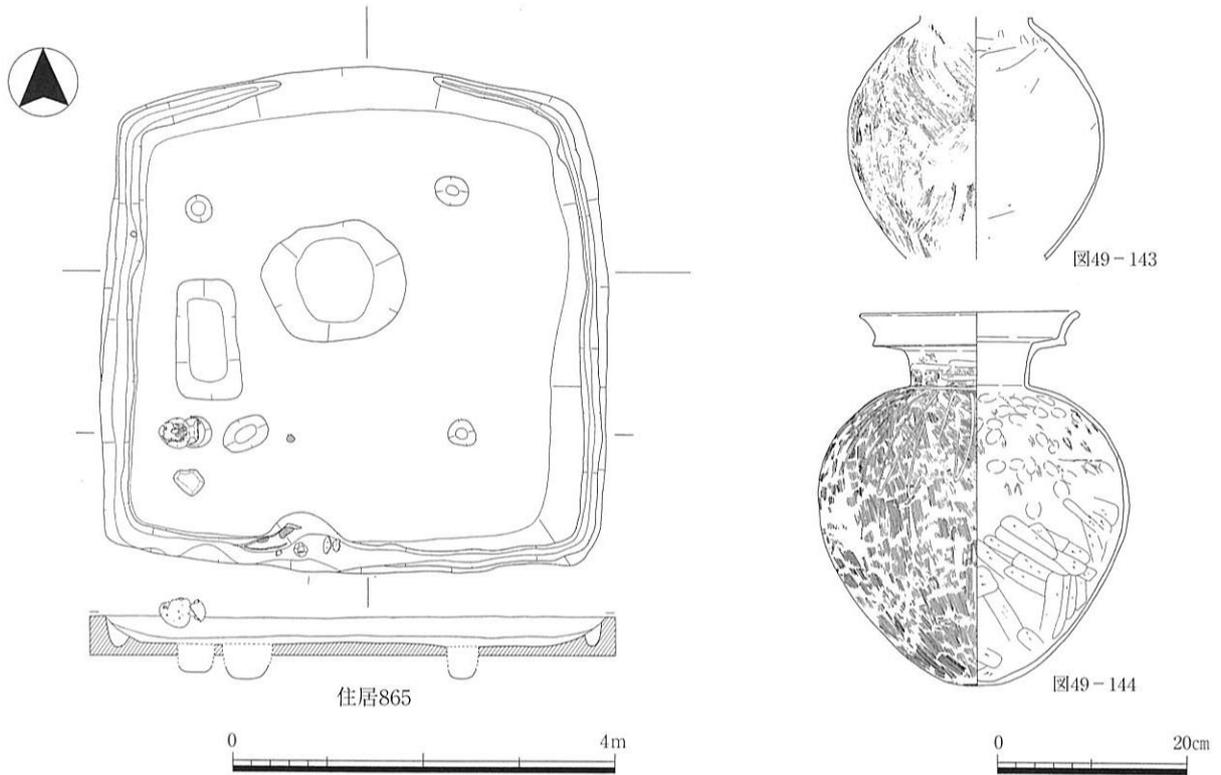


図198 小阪合遺跡の土器棺

第3節 土器に付着した組織痕について

(財)大阪府文化財調査研究センター 立花 りりこ

小阪合遺跡より出土した土器に細かい布目の痕跡(組織痕)が確認出来るものがあったので報告する。なお文中に於いて「経糸×緯糸(本数/cm²)」という表現を用いたが、これは布帛を比較する上で1cm²の範囲に経緯糸がそれぞれ何本ずつあるか(織密度;おりみつど)を数える方法があるので、これに倣ったものである。一般に数値が高くなるほど品質も高い事を示しているが、これらに絶対的な基準はなく、あくまで相対的に比較する上で必要なものであり、また土器は製作時に収縮するので数値は必ずしも元の数値を示しているとは限らない場合がある事を断っておきたい。

土師器坏C(485) 底部外面のほぼ全面に、現状の織密度でおよそ20×20本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。布目方向はほぼ一定を向いているので使用された布帛は1種類だったと考えられる。

土師器坏C(487)・土師器坏C(478)・土師器皿C(482) (487)・(478)は指紋との判別が困難であったり指紋と布目痕が混在している部分などがあり、観察しづらいが、底部外面のほぼ全面に、現状の織密度でおよそ14~20×14~20本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。布目方向はほぼ一定を向いているので使用された布帛は1種類だったと考えられる。

土師器皿A(533) 底部外面のほぼ全面に、現状の織密度でおよそ20×10本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。布目は必ずしも一定方向を向いていないが、織密度はいずれも殆ど同程度なので使用された布帛は1種類だったと考えられる。

土師器坏A(472) 経糸あるいは緯糸が目立つが、底部外面のほぼ全面に、現状の織密度でおよそ30×20~30本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。布目方向はほぼ一定を向き、使用された布帛は1種類だったと考えられる。



写真9 土師器皿A(533)組織痕

土師器高坏(934) 脚裾部内面のほぼ全面に、現状の織密度でおよそ10×10本/cm²を測る組織(平織)がくっきりと残されている。用いられた布は糸に撚りがかかった太い織糸の布だったと思われる。脚内面にも現状の織密度でおよそ14×14本/cm²程度の組織痕も見られる様だが、確実なのは前者の1種類。

製塩土器(880) 体部内面のほぼ全面に3種類の組織痕が確認出来る。現状の織密度はそれぞれ、およそ1)10×10本/cm²・2)6×18本/cm²・3)30×30(以上)本/cm²を測り、1)・3)は平織、2)については簾状組織で緯糸の幅が3.5mmを測る。1)・2)の痕跡はくっきりしているが、3)については2)が上に重ねられたらしく判りにくい。最近の発掘では駒ヶ谷遺跡から出土した製塩土器にも2)と同じ組織痕を伴うものがある。

土師器碗A(560) 底部外面のほぼ全面に、現状の織密度がおよそ20×20本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。指紋と混在してやや判りづらいが、布目方向はほぼ一定を向き、使用された布帛は1種

類だったと考えられる。

須恵器坏 (339) 現存する部分での底部内面に、現状での織密度がおよそ 30×30 本/cm²を測る組織痕(平織)、底部外面にはおよそ $20 \sim 30 \times 20 \sim 30$ 本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来る。外面の痕跡は摩滅しているため確認しづらいが、両面とも織密度は同程度で布目方向はほぼ一定を向くので、確認された範囲に限って使用された布帛は1種類と考えられる。

土師器甕 (1507) 底部外面のほぼ全面に、織密度 $20 \times 15 \sim 20$ 本/cm²を測る組織痕(平織)が確認出来、緯糸と考えられる布目方向のエッジがやや目立つ。布目方向は定まっていないが確認された範囲での織密度は同程度なので1種類と思われる。

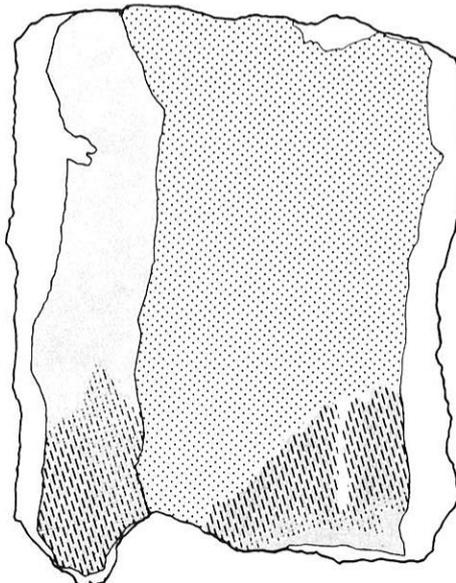
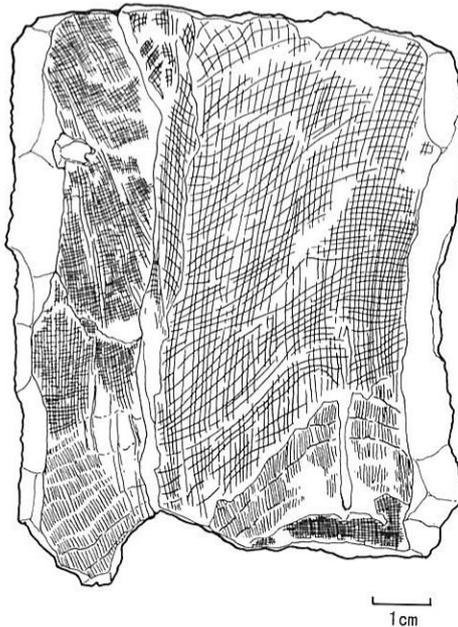
組織痕を伴う資料は加工レベルや仕上がりが似た様な皿や坏であるが、いずれも現状での織密度が



写真10 土師器壺A (560) 組織痕



写真11 須恵器坏 (339) 組織痕



-  織密度(現在) 10×10 本/cm²
-  織密度(現在) 6×18 本/cm²
-  織密度(現在) 30×30 本/cm²

図199 製塩土器 (880) 内面の組織痕 (左) とその模式図 (右)

20×20本/cm²程度に収まっており、仮に土器が製作段階で1～2割収縮したとすると、元の織密度はおよそ18～16×18～16本/cm²くらいになる。この内製塩土器は特異な様相を示しており、数種類の布が確認出来る上に他と比較して織密度が高いものも含まれている。

この点に留意して、組織痕が残された理由というより品質に着目してみたい。

対象資料の年代はおよそ奈良時代と考えられているが、この時代の土器と布帛の関係は『続修東大寺正倉院文書』・『延喜式』等の瓦・土器或いは漆工など生産に関する記事中に、「絶」・「調布」・「細布」・「商布」・「帛」という表現が登場している事から窺える。また、それぞれの布帛は各製作工程で使い分けられるなど品質的に差があった様であり、ランク的には商布が一番下だったらしい。しかしそれらの実態を把握するとなると手掛かりはかなり乏しくなる。古墳時代までの繊維製品の調査では主として古墳から出土した金属製品等に鏽着した資料が対象にされるが、小阪合遺跡のものとはほぼ同時期の布帛と考えられるもので、特に上記に挙げた様な「絶」・「調布」・「細布」・「商布」・「帛」そのものになると、正倉院宝物中に現存する「調布」或いは「商布」と呼ばれているものを参考にするしかない。

それらは直に調査できない為、専門研究者による既存データを参照にしたが(表10)、数値が当時の標準的なものを示しているのかどうか不明とはいえ、少なくともその中では小阪合遺跡の組織痕は品質の高い部類に入っている。そこで疑問となるのは、日用品としての土器や破壊する事を前提とした製塩土器の様なものに、何故比較的上質の布帛が使用されたのかという事だろう。

小阪合遺跡に限らず他の遺跡でも、特に奈良時代以降の製塩土器表面に細かい組織痕が残されているという報告がある。例えば長岡京・平城京・布留遺跡出土のものでは現状での織密度がおよそ45×46本/cm²、駒ヶ谷遺跡出土のものではおよそ50×50本/cm²、秋篠・山陵遺跡出土のものではおよそ85×86本/cm²を測るものがある。これらの織密度になると製作段階で土器が収縮して若干密度が高くなったとしても、元の布の材質に絹を比定する事が充分出来るくらいの品質と言える。或いは小阪合遺跡のそれも同様に考えて良いのではないかと思うが、ここで言いたいのは材質より品質、即ち織密度の高さである。何故上質の布帛が使用されたのだろうか。

この理由として庸・調等で徴収された布帛が土器製作者に支給され、完成した土器が納められたという循環を推測している。前述に示したそれぞれの織密度は、表10と比較してそれほどかけ離れた数値を示したものはなく、今回の調査対象資料の年代は奈良時代のものが殆どなので時期的にも合致している。また先の漆紙文書の例がある。即ち「公の反古」的な「布」が一部の民間に支給される場合があったのではないかと思うのである。仮に一般家庭より出た端切れが転用されたと考えれば、資料の織密度が平均的である点の説明や、今回出土した製塩土器の様な特殊な資料に残された組織痕の説明がつけにくくなる。また仮に市で取引された製品を制作者が購入して用いたと考えれば、特に仕上がりの良さを求められていない土器に、敢えて品質の良い布帛を用いるだろうかという疑問が残る。

全ての土器・全ての地域で、かつ恒常的にリサイクル的な循環が存在したかどうかは判らないが、社会制度が変化していった奈良時代の背景を映したものではないかと記しておきたい。

表10 正倉院宝物に見られる奈良時代の布帛の織密度

資料名	経糸本数	緯糸本数	材質	産出	備考
白布12号	11	9	苧麻	佐渡国の調	屏風袋残欠其他のうち第4項
布袴11号	8	8	〃	〃	
白布4号	11	10	〃	上野国の調	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布28号	9	9	〃	〃	雑59
楷布屏風袋乙号	9	8	〃	上野国の庸	西宝庫、北倉45
白布、21号	10	9	〃	下野国の調	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布	10	8	〃	〃	函装57
鐘乳床囊布	10	9	-	常陸国の調	西宝庫、北倉81
臈蜜布袋	11	9	-	〃	西宝庫、北倉98
人参布袋	12	9	-	〃	西宝庫、北倉94
馬鞍1号腹帯布	11	10	苧麻	〃	西宝庫、南倉12
太孤児面袋14号	11	9	〃	〃	西宝庫、南倉5
白布袋	11	7	-	〃	西宝庫、南倉144の14
白布9号	11	9	苧麻	〃	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布10号	12	8	〃	〃	〃
白布27号	9	9	〃	〃	〃
白布30号	13	10	-	〃	雑61
白布45号	12	9	大麻	〃	屏風袋残欠其他のうち第4項
屏風芯袋	7	7	苧麻	常陸国の交易	
白布13号	8	8	苧麻	武蔵国の調	屏風袋残欠其他のうち第4項
楷布屏風袋11号	9	8	〃	武蔵国の庸	屏風袋残欠其他のうち第4項
楷布屏風袋55号	9	8	-	〃	
楷布屏風袋60号	8	8	苧麻	〃	
縹布(細)	19	12	〃	上総国の調	函装1
紅赤布(貴)	22	21	〃	〃	〃
茶布(貴)	15	14	〃	〃	〃
白布9号(細)	15	13	〃	〃	雑40
白布	10	7	〃	上総国の庸	函装5
白布29号	9	9	大麻	〃	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布30号	12	8	〃	〃	〃
屏風芯袋19号	7	7	苧麻	上総国の勅使交易	
白布19号	12	11	大麻または苧麻	下総国の調及び庸	
白布23号	13	13	苧麻	〃	屏風袋残欠其他のうち第4項
両口布袋7号	11	8	〃	〃	
白布10号	13	11	〃	信濃国の調及び庸	雑41
布袴	11	8	-	信濃国の調	西宝庫、南倉136の8
芥子袋(布袋1号)	10	8	-	信濃国中男作物	
布袋	8	7	-	信濃国交易	西宝庫、北倉146
白布24号	12	8	苧麻	相模国の調	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布8号	12	11	〃	相模国の調及び庸	雑39
白布34号	9	9	〃	〃	屏風袋残欠其他のうち第4項
白布36号	11	8	大麻	相模国六座郡の調及び庸	屏風袋残欠其他のうち第4項
楷布屏風袋52号	9	8	-	相模国の庸	
白布29号(細)	15	15	苧麻	安房国平羣郡の調	雑60
布袍51号	10	8	〃	駿河国の調	
赤絶紐芯布	7	7	〃	伊豆国の商	函装50
橡絶	52	40	絹	紀伊国の調	126号櫃、雑24
赤絶櫃覆町形帯	56	40	〃	播磨国の調	南倉147-9-1
碧絶赤絶合縫	52	34	〃	丹後国の調	函装20
黄絶白絶袷覆	64	56	〃	阿波国の調	南倉145-7
白絶	45	26	〃	讃岐国の調	西宝庫、南倉148-38号
醉胡従面袋裏貼り白絶	55	32	〃	讃岐国小川郷の調	西宝庫、南倉5-9号
茶絶	48	36	〃	遠江国の調	軸装93
黄絶	50	25	〃	伊豆国の調	西宝庫、南倉148-36号
緋絶の紐	50	40	〃	甲斐国巨麻郡の調	西宝庫、南倉148-35
大幡芯緑絶	42	29	〃	土佐国の調	函装19
白絶	60	48	〃	伯耆国の調	軸装217

(布目順郎著『絹と布の考古学』(雄山閣、1988年) 卷末資料より再作表)

第4節 小阪合遺跡出土の動物遺体

大阪市立大学医学部 安部 みき子

奈良時代から平安時代前期(8世紀~10世紀)とされる小阪合遺跡から出土した動物遺体の保存状態はあまり良くなかった。出土骨片のうち種の同定ができた骨の約1割がウシで、残りはすべてウマであった。

ウマは歯の残存が比較的良く、未萌出の歯も出土しているが、歯以外の部位の出土は少なかった。最小個体数は右上顎第2小白歯と右上顎第2大白歯の6であった(表12)が、右上顎第2小白歯は未萌出の歯を含んでいる。未萌出の歯は若い個体であることを示唆しているため、右上顎第2大白歯の6個体とを考え合わせると、この遺跡のウマの最小個体数は7となる。四肢骨の中で、踵骨、距骨と基節骨の保存が良く最大長が計測でき、この計測値より、林田ら(1957)の推定法を用いて体高の推定を行った(表13)。資料番号397の踵骨から推定した体高は約119cmで、トカラウマのオス程度の大きさである。距骨は2個体計測でき、資料番号396は3通りの推定式の平均値が116.78cmで資料番号397小型のウマと同程度の大きさと考えられるが、資料番号397の3通りの推定式の平均値は131.71cmで前者より大きく、ミサキウマ程度の大きさであったと推察される。基節骨は前肢と後肢の特定が出来なかったので、それぞれの場合について推定した。基節骨が前肢の場合は約119cmであるが、後肢の場合は約125cmとやや大きな値であった。しかし、いずれもトカラウマの大きさの範囲内であり、小型ウマであると推定される。

一方、ウシの出土量は少なく、最小個体数は左脛骨の2であった。部位の特定はできなかったが、ウシも未萌出の上顎大白歯が出土し、若い個体の存在が推測される。

参考文献

林田 重幸 『馬における骨長より体高の推定法 鹿児島大学農学部学術報告』1957 6:146-15

表11 小阪合遺跡出土のウマとウシの同定表

資料番号	種名	左右	出土部位	残存部位	計測値	備考
120	不明	不明	骨片	4		
368	不明	不明	長骨片	1		
382	ウマ	不明	臼歯片	3		
384	ウマ	不明	前肢または後肢の基節骨		最大長 76.30	
392	ウマ	左	大腿骨	骨幹		
392	ウマまたはウシ	不明	下顎骨片	2		
392	ウマまたはウシ	不明	骨端の関節部	1		
392	ウマまたはウシ	不明	骨片	1		
392	ウマまたはウシ	不明	長骨片	8		
393	不明	不明	長骨片	1		
395	ウシ	左	下顎第2大白歯		頬舌径 14.67 近遠心径 (34.48)	遊離歯
395	ウマ	左	下顎第3大白歯		頬舌径 12.70, 近遠心径 29.48	遊離歯
395	ウマ	不明	臼歯			
395	ウマ	右	上顎第3小白歯		頬舌径 25.74	遊離歯
395	ウマ	右	大腿骨	遠位端破損		
395	ウマ	不明	中手骨	骨幹	栄養孔位前後径 23.71 横径 32.16	解体痕?
395	不明	不明	骨片	1		
396	ウマ	左	距骨		最大長 54.02 横径 56.38	
396	ウマ	不明	上顎または下顎切歯	1		遊離歯

資料番号	種名	左右	出土部位	残存部位	計測値	備考
396	ウマ	右	桡骨	骨幹		破損大
396	ウマまたはウシ	右	脛骨	骨幹		破損大
396	不明	不明	長骨片	5		
397	ウシ	左	下顎骨	おとがい孔から第3大臼歯歯槽部の前半分残存		歯全て脱落
397	ウシ	左	楔状骨			
397	ウシ	不明	中足骨	骨幹	骨幹中央前後径 27.38 横径 28.66	
397	ウマ	左	下顎第1大臼歯または第2大臼歯		頬舌径 13.96 近遠心径 (22.93)	遊離歯
397	ウマ	右	下顎第1大臼歯または第2大臼歯			遊離歯、エナメル質破損
397	ウマ	左	距骨		最大長 60.08 横径 61.36	
397	ウマ	右	脛骨		遠位端前後径 48.52 横径 69.16	
397	ウマ	左	肩甲骨	関節窩より肩甲棘中央まで残存	関節窩最大長 89.40、関節窩高長 56.00、肩甲鎖長 65.65	
397	ウマ	右	上顎第2小臼歯		頬舌径 23.47 近遠心径 35.10	遊離歯
397	ウマ	右	上顎第2大臼歯		頬舌径 25.87 近遠心径 (27.97)	遊離歯
397	ウマ	左	踵骨		最大長 98.38 横径 47.52	
397	ウマ	不明	中足骨	骨幹	栄養孔位前後径 31.31、横径 33.45、	
397	ウマまたはウシ	不明	臼歯片	3		
397	ウマまたはウシ	左	脛骨	骨幹		破損大
397	ウマまたはウシ	不明	骨片	15		
397	ウマまたはウシ	不明	上腕骨	骨幹		カットマーク?
397	ウマまたはウシ	不明	長骨片	2		
397	不明	不明	骨片	多数		
398	ウマまたはウシ	右	肩甲骨	関節窩より肩甲棘の後半のみ残存		
398	不明	不明	多数			
401	ウシ	右	下顎第2大臼歯		頬舌径 15.48 近遠心径 27.28	遊離歯
403	ウマ	左	上顎第2大臼歯		頬舌径 25.24 近遠心径 23.57	遊離歯
403	ウマ	右	上顎第2大臼歯		頬舌径 24.72 近遠心径 23.91	遊離歯
403	不明	不明	長骨片	1		
404	ウシ	左	脛骨	骨体のみ	骨幹中央前後径 32.39、横径 45.32	
404	ウマ	左	下顎第1切歯または第2切歯		頬舌径 11.16 近遠心径 12.23	遊離歯
404	ウマ	右	脛骨	近位端破損	骨幹中央前後径 37.07、横径 39.49、遠位端横径 67.41	
404	ウマ	右	上顎第2大臼歯		頬舌径 23.89 近遠心径 29.42	同一個体、一部下顎骨あり
404	ウマ	左	上顎第3大臼歯		頬舌径 23.88 近遠心径 31.66	遊離歯
404	ウマ	右	上顎第3大臼歯		頬舌径 22.12 近遠心径 26.81	遊離歯
404	ウマ	右	上顎第3大臼歯		頬舌径 23.25 近遠心径 33.42	同一個体、一部下顎骨あり
610	ウマ	不明	中手骨または中足骨	骨幹		
611	ウマ	左	上顎第3小臼歯		頬舌径 26.02 近遠心径 30.77	遊離歯
611	ウマ	右	上顎第2大臼歯			遊離歯、破損大
613	ウシ	左	脛骨	近位端破損	骨幹中央前後径 33.68、横径 44.61、遠位端前後径 50.99、横径 65.89、	
614	ウシ	左	下顎骨	下顎枝中央より上部のみ残存		
614	ウマ	右	下顎骨	第3大臼歯は釘植。下顎体は第2大臼歯の歯槽から枝の一部残存		
614	ウマ	右	下顎第3大臼歯		頬舌径 (16.31)、近遠心径 (40.47)	釘植
614	ウマ	右	上顎第2小臼歯		頬舌径 22.16、近遠心径 34.72	遊離歯
614	不明	不明	骨片	多数		
615	ウマ	左	上顎第2大臼歯?		頬舌径 26.43 近遠心径 27.35	遊離歯
615	ウマまたはウシ	右	寛骨	寛骨臼の坐骨部		
623	ウシ	右	上顎大臼歯	一部破損	近遠心径 31.91	遊離歯、未萌出
623	ウマ	左	上顎第1大臼歯		頬舌径 25.45、近遠心径 23.95	遊離歯
623	ウマ	右	上顎第2小臼歯		頬舌径 23.21、近遠心径 35.99	遊離歯
623	ウマ	左	上顎第4小臼歯		頬舌径 27.06、近遠心径 27.60	遊離歯
623	ウマ	不明	中手骨	骨幹		

資料番号	種名	左右	出土部位	残存部位	計測値	備考
623	ウマ	不明	中手骨または中足骨	骨幹中央から遠位端	遠位端前後径 32.80 横径 45.18	
623	ウマ	左	桃骨	近位端一部破損, 遠位端破損	近位端前後径 42.09, 骨幹中央横径 37.36	
623	ウマ	左	桃骨	近位端破損, 遠位端一部破損	骨幹中央前後径 28.02, 横径 37.35	カットマーク?
623	不明	不明	骨片	6		
626	ウシ	右	距骨		最大長 58.64 横径 41.26	
626	ウマ	右	上顎第3小臼歯		頬舌径 26.04 近遠心径 28.71	遊離歯
626	ウマ	右	上顎第4小臼歯		"頬舌径 26.27, 近遠心径 27.74"	遊離歯
702	ウシ	左	上顎第2大臼歯		頬舌径 24.80 近遠心径 28.77	遊離歯
702	ウマ	右	下顎第3切歯			遊離歯
702	ウマ	左	下顎第3小臼歯または第4小臼歯		頬舌径 15.61 近遠心径 27.51	遊離歯
702	ウマ	左	下顎第1切歯または第2切歯			遊離歯
702-2	ウマ	右	下顎第1大臼歯		頬舌径 15.36, 近遠心径 25.81	遊離歯
702-3	ウマ	左	下顎第2大臼歯		頬舌径 14.17, 近遠心径 23.91	遊離歯
702-5	ウマ	左	下顎第3大臼歯		頬舌径 12.24, 近遠心径 33.55	遊離歯
747	不明	不明	長骨片	3		
828	不明	不明	長骨片	多数		
983	ウシ	不明	臼歯片	1		
990	ウマ	不明	下顎臼歯片	2		
1091	ウマ	左	下顎第2小臼歯		頬舌径 13.53 近遠心径 32.64	遊離歯
1091	ウマ	左	上顎第2大臼歯		頬舌径 22.15 近遠心径 27.88	遊離歯
1091	ウマ	左	上顎第1大臼歯または第2大臼歯	頰側破損		遊離歯
1091	ウマ	右	下顎第3大臼歯	破損		遊離歯, 未萌出
1091	ウマ	右	上顎第2小臼歯	破損		遊離歯, 未萌出
1091	ウマ	左	下顎第2小臼歯	破損		遊離歯, 未萌出
1091	ウマ	左右	臼歯片	多数		
1092	ウマ	不明	臼歯片	多数		
1124	不明	不明	骨片	2		
1322	ウマ	左	上顎第3切歯		頬舌径 10.34 近遠心径 16.71	遊離歯
1479	ウマまたはウシ	不明	臼歯片	2		
1503	ウマ	不明	下顎臼歯片	2		
1504	ウマ	左	下顎臼歯			
1505	ウマ	左	上顎臼歯			
1509	骨?		鉄器?			
1511	ウマ	左	下顎第2大臼歯		頬舌径 15.29 近遠心径 28.54	遊離歯, 未萌出
1511	ウマ	右	下顎第2大臼歯		頬舌径 14.63 近遠心径 30.93	遊離歯
1511	ウマ	右	下顎第1大臼歯?		頬舌径 16.91 近遠心径 29.22	遊離歯
1511	ウマ	右	下顎第2大臼歯?		頬舌径 16.38 近遠心径 27.63	遊離歯
1511	ウマ	右	下顎第3大臼歯			遊離歯
1511	ウマまたはウシ	不明	下顎骨片	多数		
1512	ウマ	左	下顎臼歯			
1513	ウマ	左	下顎臼歯	1		
1513	ウマ	右	下顎切歯	破片		
1513	ウマ	左	上顎第2切歯		頬舌径 11.52 近遠心径 16.40	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第2切歯		頬舌径 11.40 近遠心径 16.70	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第3切歯	破片	1	
1513	ウマ	右	上顎第3切歯		頬舌径 10.83 近遠心径 18.19	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第1大臼歯		頬舌径 24.11 近遠心径 22.57	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第1大臼歯		頬舌径 25.10 近遠心径 22.96	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第2小臼歯		頬舌径 24.02 近遠心径 34.13	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第2小臼歯		頬舌径 21.34 近遠心径 34.93	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第2小臼歯		頬舌径 22.19 近遠心径 32.27	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第2大臼歯		頬舌径 24.48 近遠心径 23.53	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第2大臼歯		頬舌径 24.01 近遠心径 23.27	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第2大臼歯		近遠心径 23.69	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第3小臼歯		頬舌径 26.84 近遠心径 26.74	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第3小臼歯		頬舌径 26.95 近遠心径 25.46	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第3大臼歯		頬舌径 20.91 近遠心径 24.69	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第3大臼歯		頬舌径 22.20 近遠心径 23.92	遊離歯
1513	ウマ	左	上顎第4小臼歯		頬舌径 23.50 近遠心径 26.04	遊離歯
1513	ウマ	右	上顎第4小臼歯		頬舌径 25.18 近遠心径 26.37	遊離歯
1513	ウマまたはウシ	不明	臼歯片	1		

資料番号	種名	左右	出土部位	残存部位	計測値	備考
1513	ウマまたはウシ	不明	骨片	6		
1513	ウマまたはウシ	不明	長骨片	7		
1701	ウマ	左	下顎骨	第2小臼歯から第4小臼歯までの下顎体と歯残存	下顎体高(第2小臼歯の歯槽前方) 54.28	
1701	ウマ	左	下顎第1大臼歯?		近遠心径(22.47)	遊離歯
1701	ウマ	左	下顎第2小臼歯		頬舌径 15.07 近遠心径 29.12	釘植
1701	ウマ	左	下顎第3小臼歯		頬舌径 17.60 近遠心径 27.18	釘植
1701	ウマ	左	下顎第4小臼歯		頬舌径 19.46 近遠心径 26.49	釘植
1701	ウマ	右	下顎第4小臼歯?		頬舌径 16.11 近遠心径 28.26	遊離歯
1701	ウマまたはウシ	不明	骨片	多数		

残存部位の数値は骨片数
計測値で()内の数字は、一部破損しているため誤差が大きい

表12 ウマとウシの出現頻度表

出土部位	ウマ		ウシ	
	左	右	左	右
上顎第2切歯	1	1		
上顎第3切歯	2	1		
上顎第2小臼歯	1	5(1)		
上顎第3小臼歯	2	3		
上顎第4小臼歯	2	2		
上顎第1大臼歯	2	1		
上顎第2大臼歯	3	6*	1	
上顎第3大臼歯	2	3		
下顎骨	1	1	1	
下顎第3切歯		1		
下顎第2小臼歯	1(1)			
下顎第3小臼歯	1			
下顎第4小臼歯	1			
下顎第1大臼歯		1		
下顎第2大臼歯	2(1)	1	1	1
下顎第3大臼歯	2	2(1)		
肩甲骨	1			
腕骨	2	1		
中手骨		2		
大腿骨	1	1		
脛骨		2	2*	
距骨	2			1
踵骨	1			
楔状骨			1	
中足骨	1			1
前肢または後肢の基節骨	1			

()ないの数字は未萌出の歯
*は最小個体数、中手骨・中足骨・基節骨は左右不明

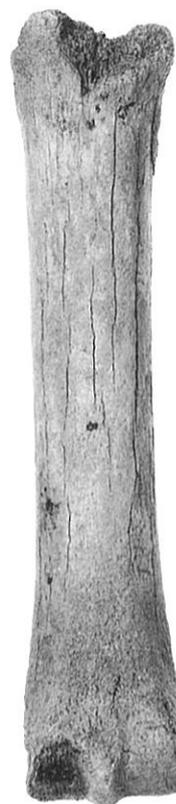
表13 ウマの体高の推定値

資料番号	部位	計測値	I式	II式	III式	3つの式の平均
384	基節骨(前肢の場合)	7.63	119.94	120.64	116.51	119.03
	基節骨(後肢の場合)	7.63	123.68	125.15	124.74	124.52
397	踵骨	9.838	117.27	120.00	119.09	118.79
396	距骨	5.402	115.93	—	117.63	116.78
397	距骨	6.008	128.93	—	134.49	131.71

I・II・III式は林田(1957)による



(397) ウマ左肩甲骨 外側面



(395) ウマ左右不明中手骨 前面



(395) ウマ右大腿骨 前面



(404) ウマ左脛骨 前面



(396) ウマ左距骨 前面



(384) ウマ左右不明
手または足の基節骨 前面



写真12 小阪合遺跡出土動物遺体 (1)



(392) ウシ左下顎骨 外側面



(613) ウシ左脛骨 前面



(623) ウマ右橈骨 前面



(404) ウマ右上顎第2・第3大臼歯



(623) ウマ左橈骨 後面

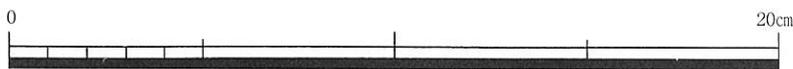


写真13 小阪合遺跡出土動物遺体 (2)

第5節 小阪合遺跡植物遺体

(財)大阪府文化財調査研究センター 山口 誠治

1. はじめに

小阪合遺跡から検出された植物遺体について報告する。同定分類した植物遺体は、以下の通りである。

[裸子植物]

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. マツ科 Pinaceae | クロマツ <i>Pinus thunbergii</i> |
| 2. スギ科 Taxodiaceae | スギ <i>Cryptomeria japonica</i> |
| 3. ヒノキ科 Cupressaceae | ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i> |

[被子植物]

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. イネ科 Gramineae | イネ (炭化米) <i>Oryza sativa</i> |
| 2. クルミ科 Juglandaceae | クルミ属 <i>Juglans sp.</i> |
| 3. ブナ科 Fagaceae | コナラ属 <i>Quercus sp.</i> |
| 4. クワ科 Moraceae | ヤマグワ <i>Morus australis</i> |
| 5. バラ科 Rosaceae | スモモ <i>Prunus salicina</i> |
| 6. バラ科 Rosaceae | モモ <i>Prunus persica</i> |
| 7. センダン科 Meliaceae | センダン <i>Melia azedarach</i> |

[双子葉植物]

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. ウリ科 Cucurbitaceae | マクワウリの仲間 <i>Cucumis melo</i> |
| 2. ウリ科 Cucurbitaceae | ヒョウタンの仲間 <i>Lagenaria leucantha</i> |

2. 同定結果について

同定結果は、一覧表にして報告する。

表14 植物遺体同定結果一覧

No.	トレンチ	出土遺構	同定内容	時期
3	98・5	北辺側溝全層	モモ核1個	弥生後期～平安時代
212	98・1	X=-152.480ライン側溝 第・層以下	モモ核1個	古墳時代
396	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核破片4個	奈良～平安前期
397	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核4個、半分1個	〃
403	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核2個	〃
612	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核半分1個	〃
613	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核3個	〃
615	98・5	第Ⅲ面川200	モモ核半分1個	〃
623	98・5 拡	第Ⅲ面川200	モモ核3個、破片3個	〃
628	98・5 拡	第Ⅲ面川200	モモ核1個	〃
689	98・2	第Ⅳ面落ち込み310	モモ核1個	古墳中期
702	98・5 拡	第Ⅳ面土坑321	スモモ核2個、半分2個	奈良時代
951	98・2	第Ⅴ層	モモ核1個	古墳時代

1059	98・6	第Ⅴ層	モモ核半分1個	古墳時代
1179	98・3	第Ⅲ面土坑502	モモ核3個、破片1個	平安後期
1197	98・3	第Ⅲ面ピット527	ヒョウタンの仲間種子20個、果皮片34個、炭化米1個	古墳時代
1198	98・3	第Ⅲ面井戸528	モモ核1個、半分1個、破片3個	平安後期
1237	98・3	第Ⅲ層	ヒョウタンの仲間種子95個、果皮片23個	古墳時代
1317	98・7	第Ⅱ面井戸560	クロマツ毬果1個	平安後期
1322	98・7	第Ⅱ面井戸565	モモ核1個	平安前期
1324	98・7	第Ⅱ面井戸567	モモ核2個	平安後期
1479	98・7	第Ⅱ面	モモ核1個	平安時代
1504	98・7	第Ⅲ面川719	モモ核1個	奈良～平安前期
1508	98・7	第Ⅲ面川719	モモ核1個	〃
1510	98・7	第Ⅲ面川719	モモ核10個	〃
1511	98・7	第Ⅲ面川719	モモ核3個、半分1個	〃
1512	98・7	第Ⅲ面川719	クロマツ毬果1個、クルミ属1個、モモ核3個、コナラ属果皮片1個	〃
1513	98・7	第Ⅲ面川719	モモ核2個、センダン1個、破片1個、マクワウリの仲間1個	〃
1658	98・7	第Ⅴ面井戸866	モモ核3個、半分5個	古墳前期
1675	98・7	第Ⅲ面井戸788	モモ核1個	古墳～平安時代
1696	98・7	第Ⅷ面土坑919	モモ核破片1個	弥生時代

表15 出土木製遺物の樹種鑑定結果

	出土遺構	遺物内容	鑑定内容	時期
1	第Ⅲ面井戸723	井戸杵	ヒノキ	奈良中期
2	第Ⅲ面川719 ①	護岸用杭	マツ科	護岸用杭
3	第Ⅲ面川719 ②	〃	スギ	〃
4	第Ⅲ面川719 ③	〃	ヤマゲワ	〃
5	第Ⅲ面川719 ④	〃	ヤマゲワ	〃
6	第Ⅲ面川719 ⑤	〃	ヒノキ	〃

3. まとめ

今回の植物遺体は、食用になる植物イネ、モモ、スモモ、ウメ、マクワウリの仲間、ヒョウタンの仲間などが出土したことにより、食料残渣と考えられる。これらの植物遺体調査結果から局地的な古環境推定を試みたので、箇条書きで次に示す。

- (1) 炭化米は少ないが、水田耕作の存在を明らかにしている。
- (2) 遺跡付近に水田とは別に畑作地の可能性も高い。
- (3) その畑では栽培植物のウメ、モモ、マクワウリ、ヒョウタンなどが植えられていたと考えている。
- (4) 暖温帯以南に分布するセンダンが出土することにより、当時（特に奈良から平安時代前期）の気候として温暖な時期であったことも想像できる。
- (5) モモ核の計測から次のようなことが判明した。

今回出土した特徴的なモモ核46個体について、ノギスでモモ核の長さ、幅、厚さを測定し体積を出し体積変動をヒストグラムで表した。(図200に示す。)

表16 小阪合モモ核計測値 (単位: cm)

	長 さ	幅	厚 さ	体 積
1	3.705	2.630	2.024	10.32
2	2.200	2.077	1.635	3.91
3	2.217	1.909	1.471	3.26
4	2.828	2.019	1.617	4.83
5	2.434	1.894	1.528	3.69
6	2.027	1.989	1.624	3.43
7	2.365	1.699	1.424	2.99
8	2.574	1.974	1.516	4.03
9	2.232	1.928	1.559	3.51
10	2.338	1.842	1.670	3.76
11	2.585	2.247	1.818	5.53
12	2.402	1.766	1.532	3.40
13	2.371	1.720	1.429	3.05
14	2.674	2.044	1.575	4.51
15	2.449	1.783	1.568	3.58
16	2.576	1.951	1.508	3.97
17	1.767	1.536	1.287	1.83
18	2.582	1.945	1.434	3.77
19	2.604	2.023	1.408	3.88
20	2.608	1.886	1.426	3.67
21	3.573	2.517	1.606	7.56
22	2.363	1.724	1.434	3.06
23	2.350	2.085	1.848	4.74
24	3.410	2.688	1.972	9.46
25	2.271	1.926	1.576	3.61
26	2.271	2.194	1.746	4.55
27	2.970	1.880	1.507	4.40
28	2.634	1.990	1.513	4.15
29	2.343	1.838	1.514	3.41
30	2.364	2.112	1.594	4.16
31	2.552	2.009	1.588	4.26
32	2.505	1.744	1.250	2.86
33	2.548	1.966	1.508	3.95
34	2.290	2.102	1.571	3.96
35	2.260	1.948	1.581	3.64
36	2.283	1.607	1.315	2.52
37	2.620	1.937	1.545	4.10
38	2.529	1.818	1.446	3.48
39	2.138	1.784	1.457	2.91
40	2.739	2.436	1.940	6.77
41	2.547	1.866	1.508	3.75
42	2.187	1.809	1.606	3.33
43	2.014	1.790	1.416	2.67
44	2.131	1.873	1.540	3.22
45	2.600	2.186	1.714	5.10
46	2.293	2.098	1.615	4.07

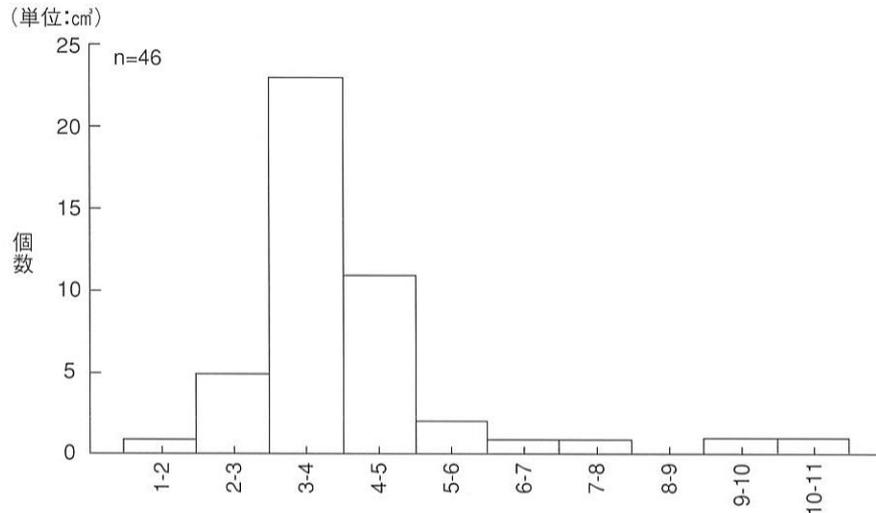


図200 小阪合遺跡出土モモ核体積のヒストグラム

その結果、モモ核の長さ3.71cm、幅2.69cm、厚さ2.02cmで体積10.32/cm³と大きなモモが存在したことが判明した。ほかに、長さ1.77cm、幅1.54cm、厚さ1.25cmで体積1.83cm³と小さいものも存在する。なお、ヒストグラムの棒一群がモモの一品種を示すとすれば、小阪合遺跡では9品種のモモを弥生時代から平安時代まで品種改良をしながら栽培していたと考えられる。

(6) 樹種鑑定の結果、針葉樹のマツ、スギ、ヒノキに広葉樹のヤマグワと近くに森林でもありそうな結果であるが、これらの木材は河川の護岸の杭や井戸杵材に使用される木材で建築材を転用したものと考えている。ヤマグワに関しては、遺跡付近に植栽されたものではないかと考えている。

なお、小阪合遺跡は河内平野南部、旧大和川の一支流域（現楠根川）に位置し、古墳時代初頭の集落遺跡として知られている。今回の発掘調査で、この自然河川のほとりに弥生時代中・後期の水田跡をはじめ、弥生時代終末期から古墳時代中期にかけて、ほとんど途絶えることなく存続した集落の存在を検出している。以上の点からしても人間活動が盛んであったこと、食料供給としての水田耕作と果樹栽培の農耕が盛んであったことをこれらの植物遺体が物語っている。

〔参考文献〕

1. 植物分類に関しては、以下の文献に従っている。
大井次三郎、北川政夫『新日本植物誌 顕花編』1983 至文堂
2. 樹種鑑定の参考文献
島地謙・伊東隆夫『日本の遺跡出土木製品総覧』1988 雄山閣

第Ⅷ章 まとめ

今回実施した小阪合遺跡の調査は、庄内～布留式期の集落遺跡からやや外れていたため、従前の認識とは異なる部分が目立った。そのため特に古墳時代中期以降の資料は、一括性の有無に関わらず極力掲載するよう心がけ、今後基礎資料として耐えうるよう努めた。最後に今一度、今回の調査成果の概略をまとめておく。

小阪合遺跡の展開は、付近の河川から弥生時代後期に分流し始めた「小阪合分流路跡」（本文中の「旧楠根川」）の動向と軌を一にする。「小阪合分流路跡」分流以前は、98-7区第Ⅶ面で検出した弥生時代中～後期の水田跡が示すように、一帯は水田地帯であったようだ。プラントオパール分析によれば、第Ⅶ面以下50cm～1m下層にも水田跡が存在した可能性があるという。

「小阪合分流路跡」分流後まもなくの庄内式期後半、98-7区に2棟の竪穴住居が営まれた。この頃の集落の中心は、約0.5km南に位置する小阪合遺跡あるいは約0.5km西の東郷遺跡であり、位置関係や立地環境からみて東郷遺跡の集落内に包括される可能性が高いという。

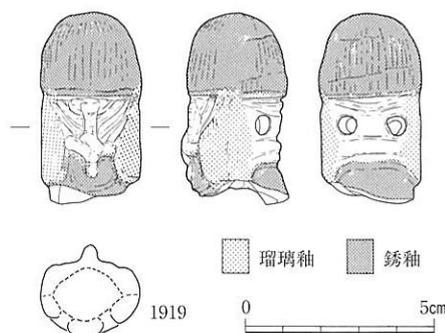
古墳時代前期以降「小阪合分流路跡」内の砂州の形成や自然堤防の発達により、いち早く98-2区周辺で小規模な集落活動が営まれたが、5世紀初頭に出現した初期須恵器を伴う集落は、遺物の出土量からみても、それらをはるかに凌駕するものであった。しかし「小阪合分流路跡」の放棄流路化とともに5世紀後半以降集落は急速に衰退し、8世紀に至るまでほとんどその痕跡を残さなかった。

7世紀中葉調査区の北側に東郷廃寺が建立され、同西側には建立氏族居宅が営まれた。その中間に位置する98-5・7区は、奈良～平安時代前期の一時的な放棄流路の再活動とともに、ある時は水辺の祭祀を執り行う場として、ある時は土器の廃棄場として利用された。これらの遺物から、当該期の極めて中央指向の強い寺院建立氏族の姿が明らかとなった。しかし11世紀以降東郷廃寺の変質とともに、当地の景観は一変した。

平安時代後期以降近世に至るまでの様子を具体的に示す資料は、農地であったことを物語る東西方向あるいは南北方向に掘られた耕作溝や井戸などである。

最後に取り壊された公団住宅の基礎から出土した遺物を紹介しておこう（図201）。これは、19世紀中葉に作られた肥前三川内焼の瑠璃鉄釉虚無僧根付で、深編笠・袈裟に鉄（銹）釉を、衣に瑠璃釉を塗布する。基部は欠損するが、『平戸焼細工物』^註に掲載された同種の根付は高さ5.3cmとあり、本来当資料も同程度の大きさだったと考える。正面には深編笠を被り、両手でもった尺八を咥えた虚無僧が表現されており、背面には紐を通す穴が2つ穿孔される。内面には指頭痕が、同側面に接合痕が残ることから、型に粘土を詰めて貼り合わせて製作したのだろう。

『平戸焼細工物』によれば、尺八と両手が十字架を表現し、隠れキリシタンの偽装信仰対象物だったとするが、当資料は正面の形状や背面の衣の弛みなど、洒落で男根を表現しようとしたではなかろうか。



註 野田敏雄『平戸焼細工物』 1997 創樹社美術出版

図201 瑠璃鉄釉虚無僧根付

資 料 編

表17 大阪府下出土奈良・平安時代文字資料集成

内容の項で用いた記号類は表5の凡例に準じる

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考
摂津	大里遺跡	須恵器坏	口縁部外面	墨書	記号(渦巻文)	包含層	1	
		須恵器皿A	口縁部内面	墨書	記号「一」字状)	I区-No.2 溝1		
		土師器坏	口縁部外面	墨書	「西殿」	C地区条里溝		
	屋組遺跡	曲物	側板外面	墨書	「田中西」	井戸8	3	
		曲物	蓋外面	墨書	「定□」	井戸8		
	法蓮坂遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「□」		4	
	印章		鑄造	「當氏之印」				
	九ノ坪遺跡	土師器皿	底部外面	墨書	「□」	土坑51	5	
		黒色土器A 碗	底部外面	墨書	「畠中」	包含層		
	野間遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「□」	奈良時代ビット群	6	
		土師器		墨書	「□奈麻□」	H地区大溝		
		土師器		墨書	「□」	H地区大溝		
	尾道遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「出」	包含層	8	
		須恵器坏B	底部外面	墨書	「厨」	包含層		
		須恵器坏A	底部外面	墨書	「□東」	包含層		
	梶原南遺跡	土師器坏A	底部外面	墨書	「當」の異体字	井戸3	9	「當」を丸で囲む
		須恵器坏A	底部外面	墨書	「當」	井戸3		
		須恵器坏A	底部外面	墨書	「□」〔大カ〕	溝15		
		白磁皿	底部外面	墨書	「上」	方形土坑		
	嶋上郡衙跡	土師器甕	体部外面	墨書	「上郡」	井戸	10	2点出土
		土師器坏?		墨書	「上郡」	井戸		
		? 坏	底部外面	墨書	「□」	溝1		
		土師器坏	底部外面	墨書	「稻」	井戸2		
		土師器皿	底部内面	墨書	「中央土公水神王」 「西方土公水神王」 「東方土公水神王」 「南方土公水神王」 「北方土公水神王」 口縁部内面に「封」を横に 12文字並べる	井戸		
	土師器皿	底部内面	墨書	「天座大神王」 「十二神王」	井戸	14		
	平瓦	凹面	刻印	「西寺」	包含層			
	灰釉陶器碗	底部外面	墨書	「巫」	旧水路跡			
	芥川庵寺	土師器坏	底部外面	墨書	「□」	井戸2	16	
		平瓦	凸面	刻書	「何□」	瓦溜		
	郡家今城遺跡	平瓦	凹面	刻印	「西寺」	瓦溜	18	
須恵器坏		底部外面	墨書	「大」	井戸1			
須恵器坏A		底部内面	墨書	「饒」	井戸1			
須恵器坏A		底部外面	墨書	「富饒」	井戸1			
土師器坏		底部外面	墨書	記号	井戸1			
須恵器壺		底部外面	墨書	「四□□」	山陽道整地土			
須恵器坏B		底部外面	墨書	「東」	SD1			
土師器高坏		脚部内面	墨書	記号(渦巻文)	井戸1			
須恵器坏		底部外面	墨書	記号(*)	井戸1			
須恵器坏		底部外面	墨書	「膏」〔嘗カ〕	井戸1			
土師器坏B		底部外面	墨書	「玄□」				
土師器皿		底部外面	墨書	「替」				
土師器坏		底部外面	墨書	「出井」				
土師器坏		底部外面	墨書	「豊」				
土師器皿		底部外面	墨書	「林」				
土師器坏		底部外面	墨書	「大」				
黒色土器A 坏		底部外面	墨書	「大」				
土師器		外面	墨書	「吉」				
土師器坏	口縁部外面	墨書	記号「(や)字状」					
土師器		墨書	「□」〔佐カ〕					
安満遺跡	土師器坏		墨書	「益田」	井戸2	13		
	土師器坏		墨書	「益田」	井戸2			
	土師器坏		墨書	「益」	井戸2			
	土師器皿		墨書	「阿」	井戸2			
	須恵器坏	底部外面	墨書	「馬主」	井戸2			
	須恵器坏		墨書	「益田」	井戸2			
	須恵器蓋		墨書	「阿奴」	井戸2			
	須恵器蓋		墨書	「阿奴兵」	井戸2			
	須恵器高坏	脚部内面	墨書	「阿奴」	井戸2			
	須恵器坏A	底部外面	墨書	「阿」	井戸2			
須恵器		墨書	「益」					
総持寺遺跡	須恵器甕	口縁部外面	刻書	「調」	溝E-2	24		
	土師器碗A	底部外面	墨書	「□」	井戸E-3			
	土師器坏A	底部外面	墨書	記号	ビット(掘立柱建物)			
	土師器碗B	底部外面	墨書	記号カ	井戸22280			
	土師器碗A	底部外面	墨書	「周防」	井戸23658			
	土師器坏?	底部外面	墨書	「大」	井戸23876			
土師器坏?	底部外面	墨書	「□」〔記号(+)カ〕	井戸23876				
溝咋遺跡	須恵器坏A	底部外面	墨書	「奈胡□」	包含層	26		
郡遺跡	須恵器壺	底部外面	刻書	「大」	井戸-3			
中条小学校	黒色土器A 碗	底部外面	刻書	記号(×カ)		28		
宮の前遺跡	須恵器		墨書	「寺」〔寿カ〕				
新免遺跡	須恵器坏A	底部外面	墨書	「米那」	SK-9	30		

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考		
拱 津 国	山ノ上遺跡	須恵器壺	底部外面	刻書	「と」	包含層	31			
	利倉遺跡	須恵器環A	底部外面	墨書	記号(井カ)	採集	32			
	利倉西遺跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「秋」		18			
	椎堂の前遺跡	須恵器環B	底部外面	墨書	記号(波線)	SE-1	33			
		土師器皿	底部外面	墨書	「十二」	SE-1				
	桜井谷窯跡群	須恵器蓋	外面	刻書	「大」	灰原	34	6点出土		
		須恵器環	底部外面	刻書	「大」	灰原		6点出土		
		須恵器	?	刻書	「大」	灰原				
		須恵器蓋	外面	刻書	「西」	灰原		3点出土		
		須恵器環	底部外面	刻書	「西」	灰原		4点出土		
		須恵器環	底部外面	刻書	「口」	灰原		5点出土		
	桜井谷窯跡群	須恵器環	底部外面	刻書	「利」	2-19窯跡	35			
	吉志部瓦窯跡	土師器環A	底部外面	墨書	「福」	包含層(Ⅱ層)	36			
	五反島遺跡	須恵器甕	口縁部内面	刻書	「大有」	河道Ⅰ	37			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	河道Ⅶ				
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号	河道Ⅶ				
		土師器環A	底部外面	墨書	「南」	河道Ⅶ				
		土師器皿A	底部外面	墨書	「官」	河道Ⅶ				
		土師器碗B	口縁部外面	墨書	「田中」	河道Ⅶ				
		土師器環A	底部外面	墨書	「口」	河道Ⅶ				
		土師器皿A	底部外面	墨書	「口口」	河道Ⅶ				
		須恵器環A	底部外面	墨書	「口家」	河道Ⅶ				
		須恵器環B	底部外面	墨書	「繩家」	河道Ⅶ				
		須恵器環B	底部外面	墨書	「龍」	河道Ⅶ				
		須恵器碗	底部外面	墨書	「栗家」	河道Ⅶ				
		須恵器碗	底部外面	墨書	「西」	河道Ⅶ				
		須恵器碗	口縁部外面	墨書	「大夕」	河道Ⅶ				
		須恵器碗?	口縁部外面	墨書	「田」	河道Ⅶ				
		須恵器環A	口縁部外面	墨書	「豊」	河道Ⅶ				
		垂水南遺跡	土師器環A	底部外面	墨書	「七」			18	
			土師器環A	底部外面	墨書	「田口」				
	土師器環A		底部外面	墨書	「長」		2点出土			
	土師器環A		底部外面	墨書	「高」					
	土師器環A		底部外面	墨書	「大一」					
	須恵器環B		底部外面	墨書	記号		2点出土			
	土師器環		底部外面	墨書	「口」(本カ)					
	土師器環B		底部外面	墨書	記号					
	土師器		外面	墨書	「垂庄」					
	土師器		外面	墨書	「中」					
	土師器		外面	墨書	「南口」					
	土師器つまみ		頂部	墨書	「中」					
	土師器		内面	墨書	□集欠伏□ □毛利□□□□					
	土師器		外面	墨書	□部山伏□					
	土師器		外面	墨書	「川口」					
	土師器		外面	墨書	「口」(奈カ)					
	土師器			墨書	?					
	土師器			墨書	?					
	大坂城跡	土師器環A	底部外面	墨書	「垂庄」		38			
		須恵器環A	底部外面	墨書	「藏」					
		土師器環A	底部外面	墨書	「中庄」					
		土師器環A	底部外面	刻書	記号					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(「十」字状)					
		土師器環A	底部外面	刻書	記号(「十」字状)					
		土師器環A	底部外面	刻書	記号(「三」字状)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号カ					
		土師器環A	底部内面	墨書	記号(「一」字状)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		土師器環A	底部内面	墨書	記号(「一」字状)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		土師器環A	底部外面	墨書	記号(*)					
		大坂城下町跡	土師器環A	底部外面	墨書	「口」			39	
			土師器環A	底部外面	墨書	「口」				
	土師器環A		底部外面	墨書	記号(*)					
	土師器環A		底部外面	刻書	記号(×)					
	土師器皿A		底部外面	刻書	記号	SE301				
	土師器環A		底部外面	墨書	「十上」	SE301				
	大坂城跡	土師器環C	底部内面	刻書	記号	SE301	38			
		土師器環B	底部外面	刻書	記号(螺旋文)	SE301				
		土師器	底部外面?	墨書	「拱」	SE301				
		須恵器蓋	つまみ	墨書	「服部」	包含層				
	大坂城下町跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片?	包含層	40			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第4層)				
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第4層)				
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第4層)				
	土師器環A	底部外面	墨書	「口」	包含層(第4層)					

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考	
国	大坂城下町跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第3層)	40		
		土師器		墨書	「□」				
	難波宮跡	土師器		墨書					
		土師器皿	底部外面	墨書	「入□」				
		土師器坏	底部外面	墨書	「米家」				
		重圈文軒丸瓦	瓦当	瓦范	「右」			18 逆字	
		重圈文軒丸瓦	瓦当	瓦范	「右」				
		重廓文軒平瓦	凸面	刻書	「右瓦也」				
	森の宮遺跡	隅切瓦	凸面	刻書	「□」即作田稲自□□				
		土師器碗	外面	墨書	人面墨書(4面)			41	
	津	細工谷遺跡	須恵器蓋	外面	墨書	落書		42	
			土師器	底部外面	墨書	「□□尼」(□齊尼カ)	SD603		総数100点近い墨書
			須恵器坏A	底部外面	墨書	「□」(本カ)	SD603		
			土師器	底部外面	墨書	「得」	SD603		
			土師器甕	体部外面	墨書	「僧寺」	SD604		
			土師器	底部外面	墨書	「知」	SD604		
			土師器坏A	底部外面	墨書	「百尼寺」	SD501		
			土師器坏A	底部外面	墨書	記号(「の」字状)	SD501		
			土師器坏A	底部外面	墨書	四月八日	SD501		
			土師器坏A	底部外面	墨書	「盤」	SD501		
			須恵器坏B	底部外面	墨書	「□月」(四カ)	SD501		
			須恵器坏A	底部外面	墨書	「□」(百カ)	SD501		
			須恵器坏B	体部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「尼寺」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「尼」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」(尼カ)	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「寺」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□寺」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」(寺カ)	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「倭家」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「盤」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」(可カ)	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「十」(記号(+))カ)	SD501		
			須恵器	底部外面	墨書	「秋」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「行」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器甕		墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器甕	体部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」(尼カ)	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD501		
			土師器	底部外面	墨書	記号(○○カ)	SD502		
			土師器	底部外面	墨書	「□」(俘カ)	SD502		
			土師器	底部外面	墨書	「□」	SD503		
			土師器坏A	底部外面	墨書	「尼寺」	SK504		
			土師器	底部外面	墨書	「寺」	SE505		
			土師器坏A	底部外面	墨書	「尼寺」	SE507		
			土師器坏A	底部外面	墨書	「百尼」	SE507		
	土師器坏A	底部外面	墨書	「百□」	SE507				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「百尼」と葉の絵	SE507				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「券」	SE507				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「尼寺」	SE507				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「酢殿」+線刻	SE507				
	土師器皿A	底部外面	墨書	「東井」「福」	SE507				
	土師器皿A	底部外面	墨書	記号(絵画カ)	SE507				
	土師器甕	体部外面	墨書	「百濟尼」	SE507				
	土師器甕	体部外面	墨書	「百尼」	SE507				
	須恵器	底部外面	墨書	「□寺」(尼カ)	SE507				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「十」(記号(+))カ)	SE507				
	土師器	底部外面	刻書	「□」(林カ)	SE507				
	土師器坏B	底部外面	墨書	「百」	包含層(第5層)				
	須恵器蓋	内面	墨書	「廣」	包含層(第5層)				
	土師器	底部外面	墨書	「□」(百カ)	包含層(第5層)				
	須恵器	底部外面	墨書	「百尼□」	包含層(第5層)				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「□□□」	包含層(第5層)				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「百」	包含層(第5層)				
	土師器	底部外面	墨書	「□西」	包含層(第5層)				
	須恵器蓋	外面	墨書	「盤」	包含層(第5層)				
	土師器	底部外面	墨書	「盤」	包含層(第5層)				
	土師器	底部外面	墨書	「□」	包含層(第5層)				
	土師器	底部外面	墨書	「□」	包含層(第5層)				
	今橋遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(4面)			44	
	四天王寺旧境内遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(4面)				
		土師器坏A	底部外面	墨書	「米屋」	SE01			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「東」	SE01			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「申」	SE01		45	
		土師器坏	底部外面	墨書	「二」	SE01			
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「□」	SE01				

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考	
摂津国	四天王寺旧境内遺跡	土師器坏A	底部外面	墨書	「酒十」	SE01	45		
		土師器坏	底部外面	墨書	「酒十」	SE01			
		須恵器蓋	内面	墨書	「多」	SE01			
		須恵器坏B	底部外面	墨書	「口」	SE01			
		須恵器坏	底部外面	墨書	「口」	SE01			
	御勝山古墳	須恵器坏A	底部外面	墨書	「大」	包含層(第7層)	46		
	玉出遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(3~4面)		18		
	住吉遺跡	軒丸瓦	瓦当	瓦范	「法楽寺」	Bトレ SE-01	47		
	桑津遺跡	須恵器坏A	底部外面	墨書	「田口」	包含層(桑津3層)	48		
	藤田山遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(数面)	包含層(第8層)	49		
	禁野本町遺跡	須恵器坏	底部外面	墨書	「金」	SE-1	50		
		土師器皿	底部外面	墨書	「口」(土カ)	SE-3001	51		
		土師器皿	底部外面	墨刻	「中口」+線刻記号	SE-3001			
		須恵器坏	底部外面	墨書	記号	SE-3002			
	九頭神遺跡	平瓦	凹面?	刻印	「西寺」		52	数種類出土、牧野坂瓦窯産	
		平瓦	凹面	刻印	「西寺」		53	西寺跡・牧野坂瓦窯跡でも出土	
		平瓦	凹面	刻印	「西浄」				
	津田トッパナ遺跡				墨書	「采女」		54	
					墨書	「宣」			
招提中町遺跡	土師器鍋	口縁部外面	刻書	「口口」		18,55			
		底部外面	刻書	「大田口口麻呂」					
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「稻持」					
	土師器		墨書	「口口」					
高柳遺跡	土師器坏	底部外面	墨書	「伊奈持」		56			
	土師器甕	体部外面	刻書	「口口人麻呂」					
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「口宅」	包含層(Ⅲ層)	57	2点出土		
	土師器	底部外面	墨書	「宅」	包含層(Ⅲ層)				
黒色土器A碗	口縁部内面	刻書	記号	90-2区土器群					
黒色土器A碗	底部外面	刻書	記号	90-2区土器群					
池田西遺跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「葛二」	溝1	58	5点出土		
	土師器皿A	底部外面	墨書	「葛二」	溝1				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「東」	溝1				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「東家」	溝1				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「口」	溝1				
	土師器皿A	底部外面	墨書	「東」	溝1				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「太太」〔太成カ〕	溝1				
大庭北遺跡	須恵器坏B	底部外面	刻印	「美濃」	自然堤防上の落込	59			
八雲遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書		18			
北新町遺跡	須恵器坏	外面	刻印	「美濃」	包含層	60			
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「口福」	SE-31	61			
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「西」	SE-31				
	土師器碗B	底部外面	墨書	「廣口」〔正カ〕	SE-11				
	須恵器蓋	外面	墨書	記号(○の中に×)	SE-18				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	記号(○の中に×)	SE-18				
	黒色土器A碗	底部外面	刻書	「廣」	SP-436				
	平瓦	凹面	刻印	「東大寺」	SK-06				
須恵器坏B	底部外面	墨書	「白麻呂」	SR-02下層					
寺川遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「白麻呂」	SR-02下層	62			
	須恵器	外面	墨書	「白麻呂」	SR-02下層				
	須恵器	外面	墨書	「栗(粟カ)大」	SR-02下層				
正法寺跡	土師器碗A	底部外面	墨書	「正口寺」〔罔カ〕	土坑1	63			
雁屋遺跡	土師器	外面	墨書	人面墨書片	自然河川	64			
讃良寺跡	重弧文軒平瓦	凹面	刻書	「六」		18			
岡山南遺跡	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「口口宅」		65	「田口急」(内マタハ由カ)2点出土		
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「高田宅」	SE-01				
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「高田宅」	SE-01				
	黒色土器A碗	底部外面	墨刻	「福万宅」+線刻記号	SE-01				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「大」	河川2				
	土師器坏C	底部外面	墨書	「大」	河川2			66	
須恵器坏A	底部外面	墨書	記号カ	河川2					
河内寺跡	平瓦	凸面	刻書	「口瓦」		18			
神感寺跡	平瓦	凹面	刻書	「大」					
法通寺	丸瓦	凸面	刻書	「ハ六月口」		67			
弥刀遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(2面)		18			
		底部外面	刻書	「可/自可」					
北島遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(1面)		44			
	土師器碗B	底部外面	墨書	「十」(記号(+))カ	包含層	68			
鬼塚遺跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「氏」	井戸2	69	6点出土		
	土師器盤B	底部外面	墨書	「氏氏」	井戸2				
	土師器	底部外面	墨書	「氏氏」	井戸2				
	土師器碗C	底部外面	墨書	「氏」	井戸2	8点出土			
	土師器碗C	体部内面	墨書	記号カ	井戸2				
	土師器碗C	底部外面	墨書	「氏」	井戸2				
	土師器	底部外面	墨書	「口口」〔氏氏カ〕	井戸2	7点出土			
	土師器	底部外面	墨書	「氏」	井戸2				
	土師器	底部外面	墨書	「氏氏」	井戸2				
	土師器碗C	底部外面	墨書	「口」〔氏カ〕	井戸2				
	土師器坏B	底部外面	墨書	「氏」	井戸2				
	土師器碗C	底部外面	墨書	「氏氏」	井戸2				
	土師器碗C	底部外面	墨書	「氏」	井戸2				
土師器坏C	底部外面	墨書	「口」	井戸2					
土師器碗C	底部外面	墨書	「口」	井戸2					
須恵器蓋	内面	墨書	「万」	井戸2	2点出土				

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考
河	鬼塚遺跡	須恵器		墨書	「王」	井戸2	69	
		須恵器環B	底部外面	墨書	「□」	井戸2		
		須恵器		墨書	「長」	井戸2		
		土師器	外面	墨書	「□」	井戸2		
		土師器	内面	墨書	「□」	井戸2		
		土師器碗A	体部外面	墨書	記号カ	井戸2		
		土師器碗A	底部外面	墨書	記号カ	井戸2		
		土師器碗A	底部外面	墨書	「家」	井戸2		
		土師器碗A	体部外面	墨書	記号カ	井戸2		
		土師器	底部外面	墨書	「万」	井戸2		
		土師器	外面	墨書	「万」	井戸2		
		土師器碗C	底部外面	墨書	「田入」	井戸2		
		土師器碗C	底部外面	墨書	「祭品」	井戸2		
		土師器碗C	底部外面	墨書	「□」(含カ)	井戸2		
		土師器碗C	体部内面	墨書	人面カ	井戸2		
		土師器碗C	底部外面	墨書	「□」	井戸2		
		土師器碗A	体部外面	墨書	「□」	井戸2		
		須恵器環A	底部外面	墨書	「王」	井戸2		
		土師器碗C	体部外面	墨書	記号カ	井戸2		
		土師器	外面	刻書	記号	井戸2		
	土師器環B	底部外面	刻書	記号	井戸2			
	土師器皿A	底部外面	刻書	記号	井戸2			
	土師器碗A	底部外面	墨書	「田」	井戸3			
	西堤遺跡	須恵器環B	底部外面	墨書	「新□」		70	
	水走遺跡	土師器碗B	底部外面	墨書	「大中」	土坑	71	
		須恵器環	外面	墨書	「□」(秦カ)	土坑		
	神並遺跡	井戸枳材		墨書	「南」	井戸3	72	
		須恵器蓋	内面	墨書	「長福」	井戸3		
		土師器皿	底部外面	墨書	「長□」(福カ)	井戸3		
土師器皿		底部外面	墨書	「池」	井戸3			
土師器碗		底部外面	墨書	「池」	井戸3			
須恵器環B		底部内面	刻書	「×」	井戸3			
須恵器環B		底部外面	刻書	「×」	井戸3			
西ノ辻遺跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「式」(式カ)	包含層(第9層)	73		
	土師器		墨書	「大満」	土坑			
	土師器		墨書	「大満」	土坑			
	土師器		墨書	「知」	土坑			
	須恵器蓋	つまみ	墨書	「五月」	包含層			
	須恵器環A	底部外面	墨書	「□□」	包含層			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「長□」	包含層			
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「賀」	溝1			
	須恵器	外面	墨書	「□□」	溝1			
	土師器環A	底部外面	刻書	記号(×)	包含層			
若江遺跡	平瓦	凹面	刻書	「廣刀自」		18		
	平瓦	凹面	刻印	「中臣カ」				
	丸瓦	凸面	刻書	「□平十二年」(天カ)				
	平瓦	凸面	刻書	「□」	整地層			
芝ヶ丘遺跡	土師器	底部外面	墨書	「東」		77		
	須恵器壺	体部外面	墨書	小田	SP-23			
宮山遺跡	土師器環B	底部外面	墨書	「長□」	包含層	79		
	土師器碗A	底部外面	墨書	「□□」	包含層			
瓜生堂遺跡	土師器環A	底部外面	墨書	記号カ		80		
	土師器環B	底部外面	墨書	記号カ				
	須恵器蓋	内面	墨書	「若」				
	土師器環A	底部外面	墨書	記号(「一」字状)				
美園遺跡	須恵器蓋	内面	墨書	「十」(記号(+))カ	井戸1	81		
	土師器環	底部外面	墨書	「小四」	溝状遺構			
	土師器碗	底部外面	墨書	「四□」	同上			
	土師器碗	底部外面	墨書	記号カ	包含層			
	土師器		墨書	記号カ	包含層			
	土師器環A	底部外面	墨書	「□」	包含層			
	土師器環A	底部外面	墨書	「□」	包含層			
	土師器環A	底部外面	墨書	「□」	包含層			
池島・福万寺遺跡	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「日下宅」	ビット列	85		
	土師器		墨書	「□」				
	土師器環A	底部外面	墨書	記号(「ヤ」字状)	土器埋納ビット1			
	土師器環A	底部外面	刻書	記号(「二」字状)	土器埋納遺構2			
	土師器	底部外面?	墨書	「□」	包含層(14~16-1層)			
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「□」	包含層(第8層)			
	土師器碗A	底部外面	墨書	「□」	土器埋納遺構			
	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「□□□」	ビット45			
	土師器環A	口縁部内面	墨書	記号(破線)	SE6001			
	土師器環A	底部外面	墨書	「□」(七カ)	SD6001			
萱振遺跡	土師器碗A	底部外面	墨書	「西」	NR6001	91		
	土師器環C	底部外面	墨書	「川□」	NR6001			
	土師器鉢	体部外面	墨書	「林」	NR6001			
	土師器環・皿	底部外面	墨書	「夫」	NR6001			
	土師器環・皿	底部外面	墨書	「□□」(有求カ)	NR6001			
	土師器環・皿	底部外面	墨書	「□」(東カ)	NR6001			
	須恵器環A	体部外面	墨書	「十日」	NR6001			
	須恵器環A	体部外面	墨書	「龍」	NR6001			
	須恵器蓋	外面	墨書	「石尾」	NR6001			
	須恵器環A	底部外面	墨書	「□」	NR6001			
	須恵器環	底部外面	墨書	「□」	NR6001			
	須恵器蓋	外面	墨書	「石尾」	NR6001			
	須恵器蓋	外面	墨書	「石尾」	NR6001			
	須恵器蓋	外面	墨書	「石尾」	NR6001			

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考	
河内国	長原遺跡	土師器	底部外面	刻書	記号(格子)	包含層(長原6A層)			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(3面)	包含層(長原5層)			
		須恵器	外面	墨書	「□」〔兵カ〕	SP318			
		須恵器	外面	墨書	「中」	SP411			
		土師器	外面	墨書	「師」	SP356			
		土師器	外面	刻書	記号	SP411			
		土師器	底部外面	墨書	「信」の周りを囲む	SD004			
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号(○)	SD007		114	
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号(○)	SD007			
		土師器碗A	底部外面	墨書	「申」	SE001			
		土師器	外面	墨書	記号(○)	SE001			
		土師器碗A	底部外面	刻書	「十」〔記号「+」カ〕	SE001			
		土師器碗A	底部外面	刻書	「十」〔記号「+」カ〕	SE001			
		土師器碗A	底部外面	墨書	「□□」	SE001			
		須恵器環B	底部外面	墨書	記号「井」字状、2ヶ所	SE001			
		須恵器環B	底部外面	墨書	「井」	SE001			
		須恵器環B	底部外面	墨書	「何原」			115	
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号(○)	SE01			
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号(○)	SE01		116	
		土師器環	底部外面	墨書	記号(×)	包含層(長原5層)			
		土師器環	底部外面	墨書	「上総」	SD602		117	
		須恵器環	底部外面	墨書	「古市里」			118	
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第6層)			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層(第6層)			
		土師器皿A	底部外面	墨書	「有」	包含層(第6層)		119	
		喜連東遺跡	須恵器環B	口縁部外面	墨書	「真」	SD07		
		太子堂遺跡	須恵器環B	底部外面	墨書	「西」	SE-201		
			土師器高環	脚底部内面	墨書	「高環」	SE-201		
			井戸杵材		墨書	「西一」	SE-201		
			井戸杵材		墨書	「南一」	SE-201		120
	井戸杵材			墨書	「北一」	SE-201			
	須恵器			墨書	「□」〔寿カ〕	SO-101			
	木の本遺跡	土師器環C	底部外面	墨書	「信」	SO-101			
		土師器環B	底部外面		「木」			121	
	田井中遺跡	黑色土器A碗	底部外面	墨書	「賣」				
		土師器皿	底部外面	墨書	「石」〔右カ〕	包含層		122	
	弓削遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書			123	
	神宮寺跡	須恵器壺	底部外面	墨書	「大住」「南」			124	
		須恵器壺	底部外面	墨書	人面墨書(2面)			125	
	船橋遺跡	須恵器壺	底部外面	墨書	記号(格子状)				
		土師器鍋	口縁部外面	墨書	「玉井家」			126	
		土師器環A	底部外面	墨書	「水田他□□□」				
		須恵器環B	底部外面	墨書	「北家」				
		須恵器蓋	外面	墨書	「土」				
		須恵器蓋	外面	墨書	「大家」	表採			
		須恵器蓋	外面	墨書	「家」	表採			
		須恵器蓋	外面	墨書	「一」〔記号「-」カ〕				
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片			18	
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片				
		船橋廃寺	土師器	底部外面	墨書	「田井」	包含層(6層)		128
			土師器	底部内面	墨書	「□□」			
	大泉遺跡	平瓦		刻書	「山下」			129	
		平瓦		刻書	「山下」				
		土師器鍋	体部外面	墨書	「大里寺」	井戸-1上層		130	
		土師器皿	底部外面	墨書	「井門家」	井戸		131	
		土師器皿	底部外面	墨書	「三」			18	
		土師器碗	底部外面	墨書	「?				
		土師器碗B	底部外面	墨書	「尾」	井戸			
		土師器碗B	口縁部外面	墨書	「山下脊川」			132	
	太平寺遺跡	土師器碗B	底部外面	墨書	「張」	井戸			
		土師器甕	体部外面	墨書	記号〔人面墨書カ〕	包含層		133	
	安堂遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(2面)	井戸-1			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	井戸-1			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	井戸-1			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	井戸-1			
		土師器	外面	墨書	人面墨書片カ	井戸-1		134	
		土師器	外面	墨書	人面墨書片カ	井戸-1			
		須恵器環B	底部外面	墨書	「大乃」	溝状遺構		10数点出土	
		須恵器環B	底部外面	墨書	「井」	溝状遺構			
	高井田遺跡	土師器		墨書	「大□」〔乃カ〕	溝状遺構			
		土師器		墨書	「大」	溝状遺構			
		土師器		墨書	山田	溝状遺構			
		須恵器環	底部外面	墨書	坂本	包含層(第4層)		136	
	高井田遺跡	土師器環	底部外面	墨書	「三味」	溝-5		137	
		須恵器環B	底部外面	墨書	「下八」	谷1			
		土師器皿	底部外面	墨書	「大小□」	谷1		138	
		須恵器環B	底部外面	墨書	「間」	谷2			
		平瓦	凸面	刻書	「玉作□飛鳥評」〔部カ〕			18	
		土師器	底部外面	墨書	「寺」				
		土師器	底部内面	墨書	「寺」			139	
		土師器	底部外面	墨書	「寺」				
	土師器碗	体部外面	墨書	「鳥坂寺」					
	土師器環・皿	底部外面	墨書	「三味」			7点出土		

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考
河	高井田遺跡	土師器坏・皿	底部外面	墨書	「玉麦」(王寺カ)		139	2点出土
		土師器鉢	底部外面	墨書	「鳳」			
		土師器坏	底部外面	墨書	「大」			
		土師器坏	底部外面	墨書	「京」の異体字			
		土師器鉢	底部外面	墨書	「十」			
		土師器皿	底部外面	墨書	「美家」			
		土師器	底部外面	墨書	「園□」			
		土師器坏	体部外面	墨書	「渚氏カ」			
		土師器	底部外面	墨書	「油□」			
		土師器	底部外面	墨書	記号カ			
河	片山廃寺	埴		刻書	南下上三		140	
		埴		刻書	「東」			
		埴		刻書	「東六七」			
		埴		刻書	「南」			
		埴		刻書	「北西下中□十二」(五カ)			
		埴		刻書	「南六三」			
		埴		刻書	「北西下上□」			
		埴		刻書	「東下五」			
		埴		刻書	「五」			
		埴		刻書	「南三」			
河	円明遺跡	土師器坏	底部外面	墨書	「仲」		18	
		土師器坏	底部外面	墨書	「大」			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「本」			
		土師器皿	底部外面	墨書	「安寺」			
		土師器皿	底部外面	墨書	「倉」			
		土師器皿	底部外面	墨書	「上」			
		土師器皿A	底部外面	墨書	「郡田」			
		土師器碗B	底部外面	墨書	「上」			
		土師器碗B	底部外面	墨書	「南一」			
		土師器碗B	底部外面	墨書	「南中」			
河	五十村廃寺	瓦塔	外面	刻書	「北」		141	
		須恵器蓋	内面	墨書	「船」	井戸1		
河	大津道	土師器坏	底部外面	墨書	「□□」	井戸1	141	
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(4~5面)	井戸1		
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書(2面)	井戸1		
内	南新町遺跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「咋」	井戸	142	2点出土
		土師器坏A	底部外面	墨書	「□□」	AトレンチSD05		
	大和川今池遺跡	黒色土器A碗	底部外面	墨書	「□碗」	AトレンチSK03	143	
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	第4面水田内	143	
		土師器坏A	底部外面	墨書	「十」	SK37	144	
		土師器甕?	体部外面	墨書	人面墨書片	SK55	144	
		土師器皿A	底部外面	墨書	「山田」	土坑6	145	
		?皿		墨書	「山上」		146	
	大堀城跡	土師器皿A	底部外面	墨書	「長」	井戸A-1	147	
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号(墨点)	大溝1	148	
河合遺跡	土師器皿A	口縁部外面	不明文様		大溝1	148		
	土師器坏A	底部外面	墨書	「大」	大溝1			
	土師器坏A	底部外面	墨書	「安□」	大溝1			
	土師器坏	底部外面	墨書	「是」(目□カ)	大溝1			
	土師器皿B	底部外面	墨書	「□」(爪カ)	大溝1			
	土師器坏	底部外面	墨書	記号(○)	大溝1			
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	大溝1			
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	大溝1			
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	大溝1			
	?	?	墨書	?				
上田町遺跡	?	?	墨書	?		146		
	土師器皿A	底部外面	墨書	「召□」	大溝G-1	149		3点出土
土師器碗B	底部外面	墨書	「島」	井戸E-15				
土師器甕	体部外面	墨書	「東寺」	井戸F-6				
立部遺跡			刻書	「寺」		146		
恵我之荘遺跡	須恵器蓋	外面	墨書	「佛」(5カ所)		150		
津堂遺跡	曲物	側板外面	墨書	「康和四年四月・・・」	18T SE01	151	曲物4枚分	
西大井遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片		18		
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片				
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片				
	土師器	底部外面	墨書	「□」	第20層			
	土師器坏	底部外面	墨書	「田」	第6面118-OR			
	土師器坏	底部外面	墨書	「吉」	第6面118-OR			
大井廃寺	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	第6面118-OR	153		
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	第6面118-OR			
大井廃寺	平瓦	凸面	刻書	「井」(開カ)		154		
国府遺跡	緑釉陶器碗	底部外面	墨書	「林」		155		
	平瓦	凹面	刻書	「田井」		18		
林遺跡	土師器坏C	底部外面	墨書	「奈」		156	墨書か否か不明	
	須恵器坏	口縁部内面	墨書	「□」				
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片				
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片				
	土師器甕?	体部外面	墨書	人面墨書	NR01			

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考	
河 内 国	林・古室遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	N区第4層b主河道	158		
	葛井寺遺跡	青磁碗	底部外面	墨書	「無」	SE01	159		
		軒平瓦	瓦当	瓦范	「葛井寺修備理瓦／ □安三年□□三月六日」		160		
	北岡遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「南家」	SD01	161		
		須恵器坏B	底部外面	墨書	「山村」	SD01			
			口縁部外面	墨書	「□□□□」				
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	SE02	162		
		土師器坏?	底部外面?	墨書	北宅	SD02			
	須恵器蓋	外面	刻書	「□□□□」	SE01最下層				
	小山遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「銀」	SE01	163		
		土師器	底部外面	墨書	「大」	SK201			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「乃□」	SX202			
		土師器坏C	口縁部外面	墨書	「六」	SX202			
		土師器坏C	底部外面	墨書	「十」(記号「+」カ)	SX202			
		土師器皿A	口縁部内面	墨書	「十」(記号「+」カ)	SX202			
		須恵器皿B	底部外面	墨書	「酒」	SX202			
	土師の里遺跡	土師器蓋	内面	墨書	「土寺」	78-3区 溝5	164	総量不明	
		土師器坏C	底部外面	墨書	「寺」	78-3区 溝5			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「土寺」	78-3区 溝5			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「土寺」	包含層			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「□寺」	78-3区 溝5			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「寺」	78-3区 溝5			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「寺」	78-3区 溝5			
		須恵器壺	体部外面	墨書	「醬」				
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書片	包含層		165	
		はさみ山遺跡	土師器甕	体部外面	墨書	「朝」		井戸	166
	須恵器鉢		体部外面	墨書	「彼方」	井戸			
	土師器皿		底部外面	墨書	「林」	井戸			
	土師器皿		底部外面	墨書	「土」	井戸			
	野中寺	土師器鉢	体部外面	墨書	人面墨書片	井戸	167		
		土師器鉢	体部外面	墨書	「□」	?			
		土師器碗	底部外面	刻書	「徳」	?			
	野々上遺跡	平瓦	凸面	刻書	「□之□□□□/康戊年正月□」	包含層	168	康戊年 = 650年	
		土師器坏A	底部内面	刻書	「田万」(部カ)				
		土師器		墨書	「野」			169	
		土師器		墨書	「東家」				
		土師器		墨書	「殿」				
	寺山遺跡	土師器	体部外面	墨書	唐草文様		170		
	東阪田遺跡	壺井第2散布地	軒平瓦	瓦当	瓦范	「仁安二二(四)年 二月十二日」		171	
		土師器坏A	底部外面	墨書	「南」	SE-01			
		土師器碗A	底部外面	墨書	記号カ	SE-01			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「葦」	SD-04			
		土師器皿A	底部外面	墨書	「葦」	SD-04			
		土師器碗A	底部外面	墨書	「□」(葦カ)	SD-04			
		土師器		墨書	「古□」	SD-04			
		須恵器蓋	外面	墨書	「葦」	SK-02	172		
		土師器皿A	底部外面	墨書	「葦」	SK-02			
		土師器皿A	底部外面	墨書	「□」(葦カ)	SK-02			
		土師器碗A	底部外面	墨書	「葦」	SK-02			
		土師器坏A	底部外面	墨書	「葦」	SK-02			
		土師器		墨書	「葦」	SK-02			
		土師器		墨書	「□」	SK-02			
	土師器		墨書	「□」	SK-02				
	新堂庵寺	平瓦	凸面	刻書	「□月記焼終」		173	4点出土	
		土師器坏	底部外面	墨書	「千」	井戸01			
		土師器坏	底部外面	墨書	「十」	井戸01			
		土師器坏	底部外面	墨書	「□□□□」	井戸01			
		土師器高坏	坏底部	墨書	「千」	井戸01			
		土師器坏	底部外面	墨書	「寺」	井戸01			
	錦織南遺跡	土師器坏	底部外面	墨書	「千」	溝01	174		
		須恵器碗?	底部外面	刻書	「安」	溝1	175		
	駒ヶ谷遺跡	土師器碗A	底部外面	刻書	「井」(記号「#」カ)	整地層	176		
		土師器坏A	底部外面	墨書	「古厨」	流路580	177		
		土師器坏B	底部外面	墨書	「大林宅」	流路580			
		土師器坏B	底部外面	墨書	「□」(記号カ)	流路580			
		土師器坏C	底部外面	墨書	記号カ	流路580			
		須恵器甕	口縁部外面	刻書	「大」	流路580			
	土師器碗A	底部外面	墨書	「□」	井戸424				
	尾平遺跡	土師器坏A	底部外面	墨書	「檜」	池?	178	6点出土	
		土師器坏A	底部外面	墨書	「南」	池?			
		須恵器蓋	天井部外面	墨書	「檜」	池?			
		須恵器蓋	天井部外面	墨書	「於」(檜カ)	池?			
	高向遺跡	須恵器壺	体部外面	刻書	「□水」	包含層	179		
	観心寺遺跡	灰釉陶器碗	底部外面	墨書	「争」	谷状地形	180		
	南花田遺跡	土師器皿	底部外面	墨書	「西」	井戸109	181	人物全身を2体分	
		土師器甕	体部外面	墨書	人物墨書(2面)	井戸109			
		土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	井戸109			
		土師器皿	底部外面	墨書	「中津家」	井戸109			
	浜寺昭和町北遺跡	長曾根遺跡	土師器皿	底部外面	墨書	「中津家」	18		
		新金岡更池遺跡	須恵器坏A	体部外面	墨書	「□」	182	包含層(Ⅲ層)	
			須恵器坏B	底部外面	墨書	「北」	183	包含層(第1層)	
			須恵器	体部外面?	墨書	「北」	183	包含層(第1層)	
			須恵器坏B	底部外面	墨書	「北」	183	包含層(第1層)	

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考	
和	鳳遺跡	土師器環A	底部外面	墨書	「新」	SE001	184		
		土師器環A	底部外面	墨書	「家」	SE001			
		土師器皿A	底部外面	墨書	記号	SE001			
		土師器環A	底部外面	墨書	「□」	SE001			
		土師器環・皿	底部外面	墨書	「□」	SE001			
		土師器環・皿	底部外面	墨書	「□」	SE001			
		土師器環・皿	底部外面	墨書	「□」	SE001			
	鈴の宮遺跡	須恵器壺・甗	体部外面	刻印	「鳳」+記号	SK-13	185		
		平瓦	凹面	刻書	「仁□□」		18	仏光寺跡	
		丸瓦	凸面	刻書	「廣思□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「保延□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「住僧心禪御坊也二月十五日也」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「□月十□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「保□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「於□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「三□□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「八十」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「□□□□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「結衆人□」		18		
		丸瓦	凸面	刻書	「□福□(興カ)」		18		
		平瓦	凸面?	刻書	「□□□」		18		
		平瓦	凸面	刻書	「□房乃」(僧カ)		18		
	泉	軒丸瓦	軒丸瓦	瓦当	瓦範	「神亀四年□丁卯年二月□□□」		186	現在約430点出土
			平瓦	凸面	刻書	「土師□□(長カ)」			
			丸瓦	凸面	刻書	「大鳥連津□女□(虫カ)」			
			平瓦	凹面	刻書	「凡海連□波連□」			
			丸瓦	凹面	刻書	「志光」			
			平瓦	凹面	刻書	「百濟君□」			
			平瓦	凸面	刻書	「足嶋」			
			丸瓦	凸面	刻書	「老女」			
			平瓦	凹面	刻書	「□倉人乙古」(鳥カ)			
			平瓦	凹面	刻書	「葉」			
			丸瓦	凸面	刻書	「□□□」			
			丸瓦	凸面	刻書	「千四百四十入」			
		須恵器	須恵器	外面	刻書	「□□□□洞天□□」			
			須恵器	外面	刻書	「□□□□七層威登萬□□帝天皇尊靈□」			
			平瓦	凸面	刻書	「下王部」			小谷城資料館蔵
			平瓦	凹面	刻書	「飯」			同上
			平瓦	凹面	刻書	「片野連足嶋」			同上
			平瓦	凹面	刻書	「□志祁良□」			同上
			丸瓦	凸面	刻書	「野真□」			同上
			平瓦	凸面	刻書	「百次」			同上
丸瓦			凸面	刻書	「虫女(土)板持」			同上	
丸瓦			凸面	刻書	「連若子為」			同上	
平瓦			凸面	刻書	「徳足」			同上	
大野寺			平瓦	凹面	刻書	「赤弁□」			同上
		丸瓦	凹面	刻書	「本蔵」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「倉臣□□」			京都大学蔵	
		丸瓦	凸面	刻書	「安衣」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「正光」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「止与国」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「善智尼」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「諸□」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「第四龜十月十日□」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「□□臣衣日女」			同上	
		丸瓦	凹面	刻書	「調大魚□」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「東入」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「□□女」			同上	
		丸瓦	凹面	刻書	「為丹比」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「奈古□」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「□麻呂」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「麻須弥」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「大友寸主□」			同上	
		丸瓦	凹面	刻書	「高市連□」			同上	
	丸瓦	凸面	刻書	「津守御杖□」			同上		
	丸瓦	凹面	刻書	「建家□」(質カ)			同上		
	丸瓦	凸面	刻書	「徳足」			同上		
	平瓦	凸面	刻書	「友足」			同上		
	平瓦	凹面	刻書	「上村主白刀自」			同上		
	平瓦	凹面	刻書	「大村□」			同上		
	平瓦	凹面	刻書	「片□田直□」(荒カ)			三国ヶ丘高校蔵		
	平瓦	凸面	刻書	「古」			同上		
	丸瓦	凸面	刻書	「□主比女」			同上		
平瓦	凹面	刻書	「茨田□」			同上			
丸瓦	凸面	刻書	「長山」			同上			
丸瓦	凸面	刻書	「足嶋」			同上			
平瓦	凹面	刻書	「□足」			同上			
平瓦	凸面	刻書	「本□□」(蔵カ)			同上			

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内容	出土場所	文献	備考	
和	大野寺	丸瓦	凹面	刻書	□□ (国カ)			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□師宿□ (土カ)			同志社大学蔵	
		丸瓦	凸面	刻書	「鳴足」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□諸□/□□□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□木□			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「大」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「実勝」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□乙比□□			同上	
		平瓦	凸面	刻書	□/□□			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「善名」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「徳撰」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「連□」(盛カ)			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□□ (□女カ)			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「蓮光」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「且」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「秋□□」(足カ)			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「勝」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「岡田史□□」(石カ)			同上	
		平瓦	凸面	刻書	□□女□ (男カ)			同上	
		平瓦	凸面	刻書	□徳□			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□自古			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□□□			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□□忘寸虫田気□			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「平群□□」(朝カ)			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□□井淨			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「秦公色夫智」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	□□□			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「明□□」(前カ)			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「岡岡」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□			同上	
		丸瓦	凹面	刻書	「日□□」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「行□□」(尊カ)			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「弟日女」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「主引」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□ (山カ) □伊美□			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「土師宿祢□□」			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「法良女」			同上	
		平瓦	凹面	刻書	「耳」			187 同上	
		平瓦	凸面	刻書	□□□ (師カ) 姉□□□/□師姉□			同上	
		平瓦	凸面	刻書	「平女」			同上	
		丸瓦	凹面	刻書	□□文部□			同上	
		平瓦	凹面	刻書	□□古 (虫カ)			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	□□□			墓地蔵	
		平瓦	凹面	刻書	「高」			同上	
					凸面	刻書	□□住□ (僧カ) □□/□乗□□		同上
						刻書	□□□		同上
						刻書	「白鳥村主牛養」		小島氏蔵
						刻書	「百濟君刀自古」		高橋氏蔵
				刻書	「岡田臣姪」		同上		
				刻書	「徒部刀自女」		同上		
				刻書	「淡海麻里」		同上		
				刻書	「船大宅」		同上		
				刻書	「信蔵尼」		同上		
平瓦	凹面	刻書	「泉磨」			同上			
丸瓦	凹面	刻書	「坂本臣刀良女」			藤澤氏蔵			
			凹面	刻書	「智雲」		同上		
平瓦	凹面	刻書	「蓮光」			同上			
			凸面	刻書	「大嶋」		同上		
平瓦	凹面	刻書	「葛女」			同上			
平瓦	凹面	刻書	「神人□□」			東京国立博物館蔵			
平瓦	凹面	刻書	「賢実」			同上			
平瓦	凹面	刻書	「弟村」			同上			
平瓦	凹面	刻書	□□高史□□			同上			
平瓦	凹面	刻書	「大宅連」			同上			
丸瓦	凹面	刻書	「大伴」			井上氏蔵			
丸瓦	凸面	刻書	「犬足」			同上			
平瓦	凸面	刻書	「刀自古」			同上			
丸瓦	凸面	刻書	「丹比在古」			前田氏蔵			
平瓦	凹面	刻書	「志止理小万呂」			同上			
				刻書	「椅万呂」		同上		
				刻書	「秦玉女」		同上		
				刻書	□□門蓮□ (秦カ)		小谷城拓本		
				刻書	「法興」		同上		
				刻書	「多□志」		同上		
				刻書	「勢明」		金石文		
				刻書	「妹刀女」		同上		
平瓦	凹面	刻書	「書磨」			辻林氏蔵			

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考	
和	大野寺			刻書	「□君百□」			同上	
				刻書	「□直広□」			同上	
				刻書	「□作三十□」			大阪芸大蔵	
				刻書	「春日□□」			同上	
		丸瓦	凸面	刻書	「□広女」			南川氏蔵	
		丸瓦	凸面	刻書	「高志史□□」			島津氏蔵	
		丸瓦	凸面	刻書	「土師知足」			B氏蔵	
				刻書	「葛木刀自古」			免山氏蔵	
		丸瓦	凸面	刻書	「綿野」			泉陽高校蔵	
				刻書	「豊□」				
	平瓦	凹面	刻書	「高史家思」			大野寺蔵		
	平瓦	凸面	刻書	「□□年歳次丁□□」			前田氏蔵		
	土師遺跡	鬘斗瓦	凸面	刻書	「二申」	A-8-23 落込み	188		
	草部遺跡	須恵器坏B	底部外面	墨書	「小山□」	包含層(第5層)	189		
		土師器坏B	底部外面	墨書	「大家」	1区谷部			
	鶴田池東遺跡				墨書	「山田造」	1区谷部	190	
					墨書	「調」	1区谷部		
					墨書	「麻」			
		須恵器			墨書	「□手万呂□」		18	
		須恵器坏	底部外面	墨書	記号				
		須恵器蓋			墨書	「新家」	包含層		
須恵器皿A		底部外面	墨書	「□殿」	包含層	191			
万崎池遺跡		土師器皿		墨書	「□中□」		18		
		土師器皿		墨書	「□笠」				
小阪遺跡		土師器皿A	底部外面	墨書	「□」	河川2	192		
	土師器坏C	底部外面	墨書	「□」	河川1				
	土師器甕	体部外面	墨書	人面墨書	包含層	193	眉・目のみ		
大庭寺遺跡	土師器坏A	底部外面	墨書	「清水」	C667-OW				
	土師器坏A	底部外面	墨書	「上」	C667-OW				
	土師器皿A	底部外面	墨書	「□水」(清カ)	C667-OW				
	丸瓦	凹面	刻書	「大□」(自カ)	包含層				
	須恵器坏B	底部外面	刻書	「犬」	包含層	195			
	風字硯	裏面	刻書	「大」	包含層				
	印章		鑄造	「辛丑之印」	谷部1(393-OL)	196			
	TK314号窯	須恵器鉢	体部外面	刻書	「施五升直銭□文」				
KM234号窯	陶棺		刻書	「伊飛寅/安留白 作」					
KM38号窯	平瓦	凹面	刻書	「□呂」		18			
	平瓦	凹面	刻書	「大庭造関□」					
	平瓦	凹面	刻書	「女/麻刀自」					
岡田寺跡	軒平瓦	瓦当	瓦範	「大庭寺瓦也仁安四年□月廿五日修理クワライカウ」		197			
大園遺跡	蛸壺	外面	刻書	「稲丁」		198			
	土師器皿	底部外面	墨書		井戸	199			
	土師器坏A	口縁外面	墨書	記号	杭列状遺構SD502	200			
	瓦器塊	体部外面	墨書	「□源」	井戸SE801				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「天」(大カ)	包含層	201			
豊中遺跡	黒色土器A 碗	底部外面	墨書	「田井」	井戸1	202	5点出土、すべて筆跡異なる		
	黒色土器A 碗	底部外面	墨書	「田井殿」	井戸1				
観音寺遺跡	平瓦	凸面	刻書	「文田」					
	丸瓦	凹面	刻書	「□古」					
	平瓦	凸面	刻書	「金練□」(国カ)		203	線刻資料他にもあり		
	土師器蓋	外面	墨書	「伊世」					
	土師器		墨書	「寺」					
	平瓦	凹面	刻印	「信太寺」					
	丸瓦	凸面	刻書	「□□本□」		18	陽刻・陰刻2種類あり		
	丸瓦	凹面	刻書	「天大□」					
府中遺跡	平瓦	凸面	刻書	「王□」(例カ)					
坂本寺跡	平瓦	凹面	刻書	「讚美塞」		204			
池田寺遺跡	復弁軒丸瓦	瓦当	瓦範	「四天王寺」		18			
	須恵器皿A	底部外面	墨書	「岡本」	包含層(第6a層)	205	「岡」は異体字		
	土師器坏A	底部外面	墨書	「□」(南カ)	267-OW				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「岡本」	441-OX	206	「岡」は異体字		
	平瓦	凸面	刻書	「池□」	包含層				
	平瓦	凸面	刻書	「池田□」	包含層	207			
	平瓦	凸面	刻書	「□堂」	包含層		「堂」の異体字		
万町北遺跡	平瓦	凸面	刻書	「池田堂」		18			
	須恵器蓋	内面	墨書	「志」	D108				
	須恵器蓋	外面	墨書	「志」	D108				
	須恵器蓋	外面	墨書	「志奈布」	D108				
	須恵器蓋	外面	墨書	記号(「の」字状)	D108				
	須恵器蓋	外面	墨書	「志□□」(奈布カ)	D108				
	須恵器蓋	外面	墨書	「志奈□」(布カ)	D108				
	須恵器皿	底部外面	墨書	「布」	D108				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「志□」(奈カ)	D108				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「志□」	D108				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「岡本」	D108		池田寺と同じ字体		
	須恵器皿A	底部外面	墨書	「志奈」	D108				
	須恵器坏B	底部外面	墨書	「志奈」	包含層				
	須恵器皿	底部外面	墨書	「志奈布」	包含層				
須恵器		墨書	「岡本」	包含層		池田寺と同じ字体			
須恵器坏A?	底部外面	墨書	「中家」	E001(溝)	209				
福瀬遺跡	須恵器坏A	底部外面	墨書	「□」	採集	210			
	土師器皿?	底部外面	墨書	「寺」	包含層	211			

国名	遺跡名	器種	記銘位置	種類	内 容	出土場所	文献	備 考
和	仏並遺跡	須恵器	体部外面	刻書	佛廟□／仏塔／□□	SX001	212	
	吉井一ノ坪遺跡	須恵器環A	体部外面	墨書	「家」	工事中発見	213	
	吉井遺跡	軒丸瓦	瓦当	瓦範	「佛」	瓦溜まり	214	
	箕土路遺跡	軒平瓦	瓦当	瓦範	「阿弥陀佛」	621-OS	215	
	西大路遺跡	須恵器	外面	墨書	「□□」		216	包含層
	田治米宮内遺跡	須恵器環B	底部外面	墨書	「里人器」	自然流路	217	
	二俣池北遺跡	緑釉陶器碗	底部外面	墨書	「□」〔椀カ〕	包含層（V b層）	218	
	水込遺跡	土師器環・皿	底部外面	墨書	「□」〔家カ〕	3033-OS	219	
		須恵器蓋	外面	墨書	「井家」	3034-OS		
		土師器環・皿	口縁部外面	墨書	「□家」	3034-OS		
		土師器環・皿	底部外面	墨書	「井□」〔家カ〕	3034-OS		
		土師器環・皿	底部外面	墨書	「井」	3034-OS		
		土師器環・皿	底部外面	墨書	記号(渦巻文)	3034-OS		
		土師器蓋?	外面	墨書	「□」	3034-OS		
		須恵器環・皿	底部外面	墨書	「人人」	3034-OS		
		土師器環・皿	口縁部外面	墨書	「□」	3034-OS		
		土師器環・皿	底部外面	刻書	記号	3034-OS		5点出土
土師器環・皿		底部内面	刻書	記号	3034-OS			
須恵器環A		口縁部外面	墨書	「夫」	5041-OX			
土師器皿A		底部外面	刻書	「井」	5041-OX			
土師器環・皿		底部外面	墨書	「□」〔家カ〕	5050-OX			
芝ノ垣外遺跡	須恵器環?	底部外面	墨書	「上中」	1-OS	220		
男里遺跡	土師器皿	底部外面	墨書	「□」	河道2	221		
	須恵器環A	底部外面	墨書	「□」〔大カ〕	河道2			
海会寺跡	平瓦	凸面	刻書	「寺寺」	講堂南瓦溜下層	222		
	平瓦	凹面	刻書	「□小」	講堂北瓦溜下層			
	須恵器平瓶?	外面	刻書	「寺」	講堂基壇上面			
	須恵器壺	外面	刻書	「□」	西回廊基壇上面			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「□□」	SK01			
田山遺跡	須恵器鉢	体部外面	墨書	「寺」	集落外南方の谷	223		
	土師器環A	底部外面	墨書	「□」〔力カ〕	溝1			
波有手遺跡	土師器環A	底部外面	墨書	記号	溝1	225		
		底部内面	刻書	記号	溝1			
	須恵器蓋	外面	墨書	「海」	溝7			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「海」	溝7			
	須恵器環A	底部外面	墨書	「海」	溝7			
	須恵器		墨書	「海」	溝7			
	須恵器蓋	外面	墨書	「海」	溝8			
	須恵器蓋	つまみ	墨書	「海」	溝8			
	須恵器蓋	外面	墨書	「佐土」	溝8			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「海」	溝8		6点出土	
	須恵器環A	底部外面	墨書	「海」	溝8		5点出土	
	須恵器環B	底部外面	墨書	「水」	溝8			
	須恵器	外面	墨書	「海」	溝8		6点出土	
	土師器	外面	墨書	「□」	溝8			
	須恵器環A		墨書	「海」	溝7・8			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「海」	溝7・8			
	須恵器	外面	墨書	「□」				
	須恵器蓋	外面	墨書	「海」	包含層			
	須恵器蓋	つまみ	墨書	「海」	包含層			
	須恵器環A	底部外面	墨書	「海」	包含層			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「海」	包含層		2点出土	
	須恵器環B	底部外面	墨書	「□」〔水カ〕	包含層			
	須恵器	外面	墨書	「海」	包含層			
	須恵器環B	底部外面	墨書	「省」	包含層			
土師器環	底部外面	墨書	「海」	包含層				

参考文献

- 1 『大里遺跡発掘調査概要』1985 大阪府教育委員会
- 2 『大里遺跡発掘調査概要Ⅱ』1986 大阪府教育委員会
- 3 『岐尼地区遺跡群発掘調査概要』1991 大阪府教育委員会
- 4 『法蓮坂遺跡発掘調査概要』1988 大阪府教育委員会
- 5 『野間中古墳群発掘調査概要』1992 大阪府教育委員会
- 6 『東郷地区遺跡群発掘調査概要Ⅳ』1996 大阪府教育委員会
- 7 『東郷地区遺跡群発掘調査概要Ⅴ』1997 大阪府教育委員会
- 8 『尾道・辻ヶ花遺跡発掘調査概要』1990 大阪府教育委員会
- 9 『梶原南遺跡発掘調査報告書』1988 梶原遺跡調査会
- 10 『嶋上郡衙跡発掘調査概要』1971 大阪府教育委員会
- 11 『嶋上郡衙跡発掘調査概要2』1978 高槻市教育委員会

- 12 『嶋上郡衙跡発掘調査概要4』1980 高槻市教育委員会
- 13 『嶋上郡衙跡発掘調査概要5』1981 高槻市教育委員会
- 14 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要7』1983 高槻市教育委員会
- 15 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要10』1986 高槻市教育委員会
- 16 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要15』1991 高槻市教育委員会
- 17 『嶋上遺跡群16』1992 高槻市教育委員会
- 18 『記された世界』1984 大阪府立泉北考古資料館
- 19 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要12』1988 高槻市教育委員会
- 20 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要13』1989 高槻市教育委員会
- 21 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要14』1990 高槻市教育委員会
- 22 『嶋上遺跡群17』1993 高槻市教育委員会
- 23 『嶋上遺跡群18』1994 高槻市教育委員会
- 24 『総持寺遺跡発掘調査概要Ⅱ』1997 大阪府教育委員会
- 25 『総持寺遺跡』1998 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 26 『摂河泉発掘資料精選』1995 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 27 『茨木市郡遺跡発掘調査概報-上穂積・畑田地区-』1978 茨木市教育委員会
- 28 『平成元年度 発掘調査概報』1990 茨木市教育委員会
- 29 『新修池田市史』第1巻 1997 池田市
- 30 『新免遺跡』1988 豊中市教育委員会
- 31 『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要』1983 豊中市教育委員会
- 32 『利倉遺跡』1976 利倉遺跡発掘調査団
- 33 『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要』1988 豊中市教育委員会
- 34 『緑丘窯跡』1984 緑丘団地遺跡調査会
- 35 『桜井谷窯跡群 2-19窯跡・2-24窯跡』1977 桜井谷窯跡群発掘調査団
- 36 『吉志部瓦窯跡(工房跡)』1998 吹田市教育委員会
- 37 『吹田市五反島遺跡発掘調査報告書』1996 吹田市教育委員会
- 38 『昭和62年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』1989 大阪市教育委員会
- 39 『大坂城跡の発掘調査5』1995 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 40 『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告-1997年度-』1999 (財)大阪市文化財協会
- 41 『葦火48』1994 (財)大阪市文化財協会
- 42 『葦火55』1995 (財)大阪市文化財協会
- 43 『細工谷遺跡発掘調査報告Ⅰ』1999 (財)大阪市文化財協会
- 44 田中勝弘「墨書人面土器について」『考古学雑誌』58-4 1973 日本考古学会
- 45 『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告-1996年度-』1999 (財)大阪市文化財協会
- 46 『平成2年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』1991 大阪市教育委員会
- 47 『住吉遺跡発掘調査概要』1982 大阪府教育委員会
- 48 『桑津遺跡発掘調査報告』1998 (財)大阪市文化財協会
- 49 『藤田山遺跡学術調査報告書』1975 藤田山遺跡調査団
- 50 『枚方文化財年報Ⅷ』1988 (財)枚方市文化財研究調査会
- 51 『枚方市文化財年報20』1999 (財)枚方市文化財研究調査会
- 52 『枚方文化財年報Ⅶ』1987 (財)枚方市文化財研究調査会
- 53 『九頭神遺跡-九頭神廃寺-』1997 枚方市教育委員会
- 54 『図録 枚方の遺跡』1988 (財)枚方市文化財研究調査会
- 55 『枚方市文化財年報Ⅱ』1981 (財)枚方市文化財研究調査会
- 56 『図録 枚方の遺跡』1998 (財)枚方市文化財研究調査会
- 57 『高柳遺跡』1991 寝屋川市教育委員会

- 58 『池田西遺跡発掘調査概要Ⅰ』1994 大阪府教育委員会
- 59 『大庭北遺跡発掘調査概要Ⅱ』1986 大阪府教育委員会
- 60 『北新町遺跡発掘調査報告書』1994 大東市教育委員会
- 61 『北新町遺跡第3次発掘調査概要報告書』1997 大東市北新町遺跡調査会
- 62 『寺川遺跡発掘調査報告書』1997 大東市教育委員会
- 63 『正法寺跡発掘調査概報Ⅱ』1995 大阪府教育委員会
- 64 『雁屋遺跡発掘調査概要』1994 大阪府教育委員会
- 65 『岡山南遺跡発掘調査概要Ⅳ』1987 四条畷市教育委員会
- 66 『南野遺跡発掘調査報告書』1995 四条畷市教育委員会
- 67 『法通寺』1985 (財) 東大阪市文化財協会
- 68 『北島遺跡の耕作地跡と古環境』1996 (財) 東大阪市文化財協会
- 69 『鬼塚遺跡第13次・15次発掘調査報告書』1999 (財) 東大阪市文化財協会
- 70 『西堤遺跡調査概報』1977 東大阪市教育委員会
- 71 『水走遺跡第2次・鬼虎川遺跡第20次発掘調査報告』1992 (財) 東大阪市文化財協会
- 72 『神並・西ノ辻・鬼虎川遺跡発掘調査概要Ⅲ』1986 大阪府教育委員会
- 73 『神並遺跡ⅩⅢ』1996 (財) 東大阪市文化財協会
- 74 『甦る河内の歴史』1984 (財) 東大阪市文化財協会
- 75 『西ノ辻遺跡第28・29次発掘調査報告』1991 (財) 東大阪市文化財協会
- 76 『若江遺跡第25次発掘調査報告』1987 (財) 東大阪市文化財協会
- 77 『東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告-1992年度-』1994 (財) 東大阪市文化財協会
- 78 『(財) 東大阪市文化財協会概報集1989年度』1990 (財) 東大阪市文化財協会
- 79 『東大阪市文化財協会概報集-1996年度(1)-』1997 (財) 東大阪市文化財協会
- 80 『瓜生堂遺跡 資料編』1972 瓜生堂遺跡調査会
- 81 『瓜生堂遺跡Ⅱ』1973 瓜生堂遺跡調査会
- 82 『(財) 東大阪市文化財協会年報 1983年度』1984 (財) 東大阪市文化財協会
- 83 池崎智詞「美園遺跡出土の墨書土器新資料」『光陰如矢』1999 『光陰如矢』刊行会
- 84 『河内平野遺跡群の動態Ⅳ』1998 (財) 大阪府文化財調査研究センター
- 85 『池島・福万寺発掘調査概要』1991 (財) 大阪文化財センター
- 86 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅱ』1991 (財) 大阪文化財センター
- 87 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅶ』1992 (財) 大阪文化財センター
- 88 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅢ』1995 (財) 大阪文化財センター
- 89 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅣ』1997 (財) 大阪府文化財調査研究センター
- 90 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅤ』1998 (財) 大阪府文化財調査研究センター
- 91 『萱振遺跡』1992 大阪府教育委員会
- 92 『八尾市埋蔵文化財発掘調査報告』1993 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 93 『萱振遺跡』1996 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 94 『八尾市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ』1993 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 95 『東郷・成法寺遺跡発掘調査概要Ⅷ』1995 大阪府教育委員会
- 96 『(財) 八尾市文化財調査研究会報告60』1998 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 97 『小阪合遺跡発掘調査概要報告書』1987 大阪府教育委員会
- 98 『小阪合遺跡<昭和57年度第1次調査報告書>』1987 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 99 『小阪合遺跡』1990 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 100 本書
- 101 『成法寺遺跡発掘調査概要Ⅶ』1994 大阪府教育委員会
- 102 『(財) 八尾市文化財調査研究会報告42』1994 (財) 八尾市文化財調査研究会
- 103 『成法寺遺跡』1996 (財) 八尾市文化財調査研究会

- 104 『東郷・成法寺遺跡発掘調査概要Ⅸ』1997 大阪府教育委員会
- 105 『佐堂（その1）』1985（財）大阪文化財センター
- 106 『久宝寺北（その1～3）』1987（財）大阪文化財センター
- 107 『平成9年度（財）八尾市文化財調査研究会事業報告』1998（財）八尾市文化財調査研究会
- 108 『久宝寺南（その3）』1986（財）大阪文化財センター
- 109 『葦火64』1996（財）大阪市文化財協会
- 110 『亀井北（その3）』1986（財）大阪文化財センター
- 111 『城山（その3）』1986（財）大阪文化財センター
- 112 『長原』1978（財）大阪文化財センター
- 113 『長原遺跡』1978 長原遺跡調査会
- 114 『長原遺跡発掘調査報告Ⅴ』1992（財）大阪市文化財協会
- 115 『葦火39』1992（財）大阪市文化財協会
- 116 『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅵ』1993（財）大阪市文化財協会
- 117 『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅶ』1994（財）大阪市文化財協会
- 118 『葦火67』1997（財）大阪市文化財協会
- 119 『長原遺跡発掘調査報告Ⅶ』1999（財）大阪市文化財協会
- 120 『太子堂遺跡』1993（財）八尾市文化財調査研究会
- 121 『木の本遺跡』1984（財）八尾市文化財調査研究会
- 122 『田井中遺跡（1～3次）・志紀遺跡（防1次）』1997（財）大阪府文化財調査研究センター
- 123 『昭和59年度事業概要報告』1985（財）八尾市文化財調査研究会
- 124 『神宮寺跡発掘調査概要』1994 大阪府教育委員会
- 125 北野耕平「船橋遺跡出土の歴史時代土器」『古代学研究』15・16 1956 古代学研究会
- 126 『河内船橋遺跡出土遺物の研究』1958 大阪府教育委員会
- 127 『船橋遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 128 『柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1998年度』1999 柏原市教育委員会
- 129 『柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1984年度』1985 柏原市教育委員会
- 130 『大泉・大泉南遺跡』1985 柏原市教育委員会
- 131 『柏原市遺跡群発掘調査概報 1986年度』1987 柏原市教育委員会
- 132 『柏原市遺跡群発掘調査概報』1995 柏原市教育委員会
- 133 『柏原市遺跡群発掘調査概報Ⅱ』1988 柏原市教育委員会
- 134 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』1989 柏原市教育委員会
- 135 『柏原市埋蔵文化財発掘調査概報』1988 柏原市教育委員会
- 136 『柏原市遺跡群発掘調査概報』1996 柏原市教育委員会
- 137 『高井田遺跡Ⅱ』1987 柏原市教育委員会
- 138 『高井田遺跡Ⅲ』1989 柏原市教育委員会
- 139 『鳥坂寺－寺域の調査－』1986 柏原市教育委員会
- 140 『片山庵寺塔跡発掘調査概報2－Ⅰ』1983 柏原市教育委員会
- 141 『松原市遺跡発掘調査概要 昭和61年度』1987 松原市教育委員会
- 142 『松原市遺跡発掘調査概要 昭和63年度』1989 松原市教育委員会
- 143 『大和川今池遺跡発掘調査概要』1983 大阪府教育委員会
- 144 『大和川今池遺跡発掘調査概要Ⅶ』1990 大阪府教育委員会
- 145 『大和川今池遺跡』1998 大阪府教育委員会
- 146 『松原市文化財分布図』1997 松原市教育委員会
- 147 『大堀城跡』1984（財）大阪文化財センター
- 148 『河合遺跡』1987 大阪府教育委員会
- 149 『観音寺遺跡』1998（財）大阪府文化財調査研究センター

- 150 『仏教伝来—その後』1995 東大阪市立郷土博物館
- 151 『津堂遺跡』1992 大阪府教育委員会
- 152 『石川左岸幹線管渠築造遺跡群発掘調査概要Ⅰ』1986 大阪府教育委員会
- 153 『西大井遺跡』1995 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 154 『藤井寺市及びその周辺の古代寺院(下)』1987 藤井寺市教育委員会
- 155 『国府遺跡発掘調査概要Ⅷ』1978 大阪府教育委員会
- 156 『大水川改修にともなう林遺跡発掘調査概要Ⅱ』1982 大阪府教育委員会
- 157 『大水川改修にともなう発掘調査概要Ⅷ』1991 大阪府教育委員会
- 158 『大水川改修にともなう発掘調査概要Ⅶ』1990 大阪府教育委員会
- 159 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅲ』1988 藤井寺市教育委員会
- 160 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅸ』1994 藤井寺市教育委員会
- 161 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅶ』1992 藤井寺市教育委員会
- 162 『北岡遺跡』1996 藤井寺市教育委員会
- 163 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅻ』1997 藤井寺市教育委員会
- 164 『土師の里遺跡発掘調査概要』1979 大阪府教育委員会
- 165 『土師の里遺跡発掘調査概要Ⅶ』1985 大阪府教育委員会
- 166 『外環状線内遺跡発掘調査概要Ⅰ』1973 大阪府教育委員会
- 167 『野中寺塔跡発掘調査報告』1986 羽曳野市教育委員会
- 168 『古市遺跡群Ⅸ』1988 羽曳野市教育委員会
- 169 『発掘速報展大阪'98』1998 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 170 『羽曳野市史』第三巻 史料編Ⅰ 1994 羽曳野市
- 171 『東阪田遺跡』1980 大阪府教育委員会
- 172 『東阪田遺跡』1981 大阪府教育委員会
- 173 『新堂廃寺発掘調査概要』1996 大阪府教育委員会
- 174 『新堂廃寺発掘調査概要Ⅱ』1997 大阪府教育委員会
- 175 『平成7年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書』1996 富田林市教育委員会
- 176 『平成9年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書』1998 富田林市教育委員会
- 177 『駒ヶ谷遺跡』1999 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 178 『柿ヶ坪・尾平・西板持・寛弘寺遺跡発掘調査概要』1995 大阪府教育委員会
- 179 『河内長野市埋蔵文化財調査報告書Ⅳ』1990 河内長野市教育委員会
- 180 『河内長野市埋蔵文化財調査報告書Ⅹ』1995 河内長野市教育委員会
- 181 『南花田遺跡発掘調査概要Ⅰ』1986 大阪府教育委員会
- 182 『新金岡更池遺跡』1994 (財)大阪文化財センター
- 183 『堺市文化財調査概要報告 第50冊』1995 堺市教育委員会
- 184 『堺市文化財調査概要報告 第19冊』1991 堺市教育委員会
- 185 『堺市文化財調査概要報告 第60冊』1997 堺市教育委員会
- 186 『土塔出土の人名瓦』『大野寺跡平成9年発掘調査速報展』1998 堺市立埋蔵文化財センター
- 187 堺市立埋蔵文化財センター 近藤康司氏よりご教示を賜った
- 188 『土師遺跡発掘調査報告Ⅱ』1977 堺市教育委員会
- 189 『堺市文化財調査概要報告 第69冊』1998 堺市教育委員会
- 190 『西浦橋・鶴田池東遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 191 『堺市文化財調査報告 第42集』1989 堺市教育委員会
- 192 『小阪遺跡(南 その2-2) - 調査の概要 -』1991 (財)大阪文化財センター
- 193 『小阪遺跡』1992 (財)大阪文化財センター
- 194 『陶邑・大庭寺遺跡』1989 (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 195 『陶邑・大庭寺遺跡Ⅱ』1990 (財)大阪府埋蔵文化財協会

- 196 『陶邑・大庭寺遺跡Ⅴ』1996（財）大阪府文化財調査研究センター
- 197 『岡田寺跡発掘調査概要』1983 大阪府教育委員会
- 198 『大園遺跡発掘調査概要Ⅱ』1975 大阪府教育委員会
- 199 『大園遺跡発掘調査概要Ⅲ』1976 大阪府教育委員会
- 200 『大園遺跡発掘調査概要Ⅵ』1981 大阪府教育委員会
- 201 『府中遺跡群発掘調査概要Ⅱ』1982 和泉市教育委員会
- 202 『豊中遺跡発掘調査概要Ⅲ』1979 泉大津市教育委員会
- 203 『観音寺遺跡発掘調査報告書』1982 大阪府教育委員会
- 204 『府中遺跡群発掘調査概要Ⅲ』1980 和泉市教育委員会
- 205 『池田寺遺跡』1989（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 206 『池田寺遺跡Ⅱ』1990（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 207 『池田寺遺跡Ⅳ』1991（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 208 『万町北遺跡Ⅱ』1995 和泉丘陵内遺跡調査会
- 209 『万町北遺跡Ⅰ』1993 和泉丘陵内遺跡調査会
- 210 『主要地方道枚方、富田林、泉佐野線バイパス（大阪外環状線）予定路線内埋蔵文化財分布調査報告書』
1973（財）大阪文化財センター
- 211 『福瀬遺跡発掘調査報告書』1989（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 212 『仏並遺跡発掘調査報告書』1993 和泉市教育委員会
- 213 『市内出土遺物図録』1976 岸和田市教育委員会
- 214 『吉井遺跡』1998 岸和田市教育委員会
- 215 『箕土路遺跡発掘調査報告書』1987（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 216 『西大路遺跡発掘調査報告書』1988（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 217 『田治米宮内遺跡』1999 岸和田市教育委員会
- 218 『二俣池北遺跡・上フジ遺跡』1989（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 219 『水込遺跡』1990（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 220 『芝ノ垣外遺跡Ⅱ』1993（財）大阪府埋蔵文化財協会
- 221 『男里遺跡発掘調査概要Ⅰ』1997 大阪府教育委員会
- 222 『海会寺』1987 泉南市教育委員会
- 223 『現説資料』泉南市教育委員会
- 224 『田山遺跡』1983（財）大阪文化財センター
- 225 『波有手遺跡』1995 阪南市教育委員会

表18 大阪府下出土皇朝銭集成

国	遺跡名	出土場所	出土状態	無文銀銭	富本銭	和同開珎(銀)	和同開珎(銅)	萬年通寶	神功開寶	降平永寶	富壽神寶	承和昌寶	長年大寶	饒益神寶	貞觀永寶	寬平大寶	延喜通寶	乾元大寶	不明	合計	文献	備考	
摂	野間中A-1号墳	石室内										3								3	1		
	鶴上郡衙跡	橋状遺構							7											7	2	未使用	
	鶴上郡衙跡																1			1	3		
	郡家今城遺跡	a溝					1														1		
		No.5井戸																16			16	4	
		No.7建物					4														4		
		No.12井戸					2														2		
		井戸5					1														1		
		井戸7					1	1													2		5
		EW-1溝					1														1		
集落						1											10			10			
						4														4		6	
井戸1堀形								1												1		8	
	井戸1枠内								1											1			
上田部遺跡						2														2		4	
						1														1		9	
安満遺跡	ビット																2			2		10	
高槻城跡						1	4	9												14		11	
総持寺遺跡																					?	12	銹化の為不明
新庄遺跡						2											6			8		13	
粟生間谷遺跡																		26		26		14	
瀬川遺跡	流路状遺構					1														1		15	
新免宮山北塚古墳																	1			1		16	
上津島南遺跡																	8			8		17	
東奈良遺跡									1											1		16	
玉櫛遺跡	第Ⅲ層																3			3		18	
垂水南遺跡						1						1								1		20	
																				1		21	
島田遺跡						1														1		22	
五反島遺跡						1														1		23	
宗禅寺遺跡											1									1		24	
安曇寺跡	包含層	本来は緋銭?								12										12		25	
大坂城跡	SK201									1										1		26	
	SK202					1														1		26	
大坂城下町跡	墓1	2本の緋銭?								22										7		29	27
	SK04									1										1		28	
細工谷遺跡	SD501						40													40		古と同2枚	
	SD502					1														1			
	SD603?				1															1			
	SE507								1											1		29	
	包含層(5)					1	1	1	2											5			
包含層(4b)					1			2											3				
真法院				100																100		30	
樟葉東遺跡		水瓶の中																10		10		31	更に数枚
淀川河床																		203		203		32	
淀川河床遺跡						1														1		33	
万年寺山遺跡												1								1		34	
禁野本町遺跡	SO-3008					1														1		35	
百濟寺跡						1				1										2		36	
百濟寺遺跡	ビット	胞衣壺内				4														4		37	
高宮院寺	講堂推定地									9										9		38	
岡山南遺跡	ビット																	2		2		39	
北新町遺跡	ビット上面								1											1		40	
	SE-31									1										1		41	
西堤遺跡	?																			1		42	
水走遺跡						2														2		43	
鬼虎川遺跡	包含層	2枚重なって出土				2														2		44	
	?																	1		1		45	
西ノ辻遺跡	遺構?	4枚重なって出土											4							4		46	
	包含層																1			1		47	
神並遺跡	自然河川								1											1		47	
鬼塚遺跡	井戸2	廃絶時埋納									1									1		48	
						1														1		49	
辻子谷火葬墓					1														1		49	銀銭1枚	
瓜生堂遺跡	井戸	富寿・承和重ねて埋納								1	4	4								9			
	包含層					1														1		50	
	ビット									1										1			
若江北遺跡	包含層					1														1		51	
山賀遺跡						1														1		52	
池島・福万寺遺跡	包含層										1									1		53	水田遺構
	第11面										1								2	3		54	
	包含層										1									2		55	
						1														1		56	
第8層中		銭埋納遺構						1												1		57	
	第8層中								1											1		58	
佐堂遺跡	包含層									1										1		59	
	包含層	中世包含層									1									1		60	
	水田面4上									1										1		60	
東郷遺跡	自然流路							1		1										2		61	
小阪合遺跡	川200	和同30枚は緋銭				61				2	2	1	1	2						69		62	未使用
	落込み410								1											1		62	
中田遺跡						1														1		63	

国	遺跡名	出土場所	出土状態	無文銀銭	富本銭	和同開珎(銀)	和同開珎(銅)	萬年通寶	神功開寶	降平永寶	富壽神寶	承和昌寶	長年大寶	饒益神寶	貞観永寶	寛平大寶	延喜通寶	乾元大寶	不明	合計	文献	備考	
河	加美遺跡	溝					4	1	6											11	64		
	亀井遺跡	包含層	網銭状態で出土				26													26	65		
	城山遺跡	溝状遺構					1	1	4											6	66		
		包含層														1	1			2			
	瓜破遺跡	包含層	本来は網銭?				1													1	67		
	長原遺跡	SP382							7	15										22	68		
		第3面直上																	1	1	69		
	志紀遺跡	包含層	洪水砂より出土?						5	5										1	70	水田遺構	
								2												10	71		
																				2	72		
		田井中遺跡								1											1	73	
		弓削遺跡	井戸							1											1	74	
		平石山1号墓					1	4													5	75	銀銭1枚
		平尾山古墳群	A-1トレンチ																		1	76	
		太平寺3号墳	玄門付近 玄室中央土坑							4	12	1									17	77	
		古墓-2										2									1		
		古墓-3								1											2		
		古墓-4						2													1	78	
		大県南遺跡						1													2		
			井戸					1													1	79	
		高井田院寺	講堂北側 講堂北側土坑																2		2	81	
		高井田遺跡	建物63~65付近	地山直上					2	1									20		20		
		河内国分寺跡	塔跡									2									2	83	
		玉手山東横穴	B群-4										1								1	84	
		田辺8号墓						11													11	85	
		太和川今池遺跡	包含層					1													1	86	
		大津道	井戸						1												1	87	
		岡2丁目所在遺跡	ピット	掘形に埋納				1													1	88	
		河合遺跡	大溝1							1											1	89	
		太井遺跡	溝06																	3	3	90	
			1号竪穴					1													1	91	
		小山遺跡	SD212 SK201	網銭状態で出土																	2		
											2										2		
		小山城跡遺跡	SD202					1									1	32			33	92	
			SK-2	混入				1				1									2		
		北岡遺跡	SD02					1	1	1											1	93	
		葛井寺遺跡	SE01					1													3	94	
		川北遺跡	包含層					1													1	95	
		船橋遺跡			1			14	1	4	3	1	1		1				2		28	97	
								3											1		2	98	
							3													5	99		
	西大井遺跡	第5遺構面 第5面上面					2	1	1	1	1							1		7	100		
	林遺跡	ピット付近 第1面直上	5枚重なって出土						5											2	101	水田遺構	
																				5	102		
	はさみ山遺跡	井戸 SB17付近 SE01 SB7844	土師器壺内より出土				2													2	103		
		SK01	10枚重なって出土				1				2									1	104		
			2枚近接して出土				2													2	105		
							10													1	107		
							2													10	108		
	応神陵古墳外堤	河道最下層					2													2	109		
	土師の里遺跡	墓17					1													1	110		
	甲田南古墓	土師器甕内					7													7	111		
	平古墓						1													1	112		
	一須賀古墳群	111号墳																		1	113		
	田須谷古墳群	周溝内	7枚壺着				7													7	114	火葬墓1	
	太子町岩屋								1											2			
	太子町葉室南方																			1	115		
	太子町ドンズルボウ									1										1	116		
	鹿谷寺跡						1													1	117		
	神山遺跡																				118	詳細不明	
	今池遺跡	流路50																		1	119		
	堺環濠都市遺跡	包含層										1								1	120		
	翁橋遺跡	包含層																		1	121		
	堺市土師新田						508														508	122	
	長曾根遺跡	SD013	後世の溝より出土									1								1	123		
	百舌鳥陵南遺跡	河川							1											2	124		
	鶴田池東遺跡	谷																		1	125		
	小阪遺跡	包含層	中近世包含層																	1	126		
	豊中・古池遺跡						1													1	127		
	黒鳥山荘遺跡						20													20	115		
	菩提池庵寺																			1	128		
	和泉国府跡						1	1	2											4	129		
	横尾山経塚群	1号経塚																		1	130		
																					1	131	
	春木八幡山遺跡	包含層																		1	132		
	上フジ遺跡	包含層																		2	133		
	駒浜遺跡	包含層																		4	134		
	湊遺跡	地山直上					1													1	135		
	合計			101	1	2	794	41	70	94	26	17	3	3	6	36	70	252	7	1523			

表18 参考文献一覧

- 1 『野間古墳群発掘調査概要』1997 大阪府教育委員会
- 2 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要11』1987 高槻市教育委員会
- 3 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要15』1991 高槻市教育委員会
- 4 『高槻市史』第6巻 1973 高槻市
- 5 『郡家今城遺跡発掘調査現地説明会資料』1974 高槻市教育委員会
- 6 『嶋上郡衙跡他関連遺跡発掘調査概要12』1988 高槻市教育委員会
- 7 『嶋上遺跡群17』1993 高槻市教育委員会
- 8 『嶋上遺跡群18』1994 高槻市教育委員会
- 9 『高槻市文化財年報 平成3年度』1993 高槻市教育委員会
- 10 『嶋上郡衙跡発掘調査概要5』1981 高槻市教育委員会
- 11 高橋公一「高槻城下層出土の特殊な井戸枿」『高槻市文化財年報 平成2年度』1992 高槻市教育委員会
- 12 『総持寺遺跡発掘調査概要』1995 大阪府教育委員会
- 13 『新庄遺跡 府立茨木高等学校建替に伴う発掘調査概要』1996 大阪府教育委員会
- 14 信田真美世「平安時代中期の大型建物と銭貨埋納遺構」『出土銭貨』第11号 1999 出土銭貨研究会
- 15 『瀬川4丁目第1地点遺跡発掘調査概要』1982 箕面市教育委員会
- 16 「大阪府の貨幣」『泉北考古資料館だより22』1985 大阪府立泉北考古資料館
- 17 『上津島南遺跡発掘調査概報』1984 府営上津島住宅遺跡調査団
- 18 『玉櫛遺跡発掘調査概要Ⅰ』1993 大阪府教育委員会
- 19 『玉櫛遺跡』1998（財）大阪府文化財調査研究センター
- 20 『垂水南遺跡発掘調査概報』1977 吹田市教育委員会
- 21 『垂水南遺跡現地説明会資料』1991 吹田市教育委員会
- 22 『日本考古学年報24』1974 日本考古学協会
- 23 『吹田の文化財』1974 吹田市教育委員会
- 24 『崇禪寺遺跡発掘調査概要Ⅰ』1982 大阪府教育委員会
- 25 『昭和62年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』1989 大阪市教育委員会
- 26 『昭和63年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』1990 大阪市教育委員会
- 27 『大坂城跡の発掘調査6』1996（財）大阪府文化財調査研究センター
- 28 『平成4年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』1993 大阪市教育委員会
- 29 『細工谷遺跡発掘調査報告Ⅰ』1999（財）大阪市文化財協会
- 30 菅谷文則「松浦武四郎資料にみる四天王寺付近出土の「無文銀銭」」『大阪の歴史』32 1991 大阪市史料調査会
- 31 『枚方市における遺跡調査状況』1976（財）枚方市文化財研究調査会
- 32 『東京国立博物館収蔵品目録』1954 東京国立博物館
- 33 『摂津市史』1977 摂津市
- 34 『枚方市文化財年報Ⅷ』1988（財）枚方市文化財研究調査会
- 35 『禁野本町遺跡第69次調査現地説明会資料』1998（財）枚方市文化財研究調査会
- 36 『河内百済寺跡発掘調査概報』1965 大阪府教育委員会
- 37 『枚方市文化財年報14』1995（財）枚方市文化財研究調査会
- 38 『高宮廃寺発掘調査概要報告』1980 寝屋川市教育委員会
- 39 『岡山南遺跡発掘調査概要Ⅰ』1976 四条畷市教育委員会
- 40 『北新町遺跡発掘調査報告書』1994 大東市教育委員会
- 41 『北新町遺跡第3次発掘調査概要報告書』1997 北新町遺跡調査会
- 42 『西堤遺跡調査概報』1977 東大阪市教育委員会
- 43 『水走遺跡第4次発掘調査現地説明会資料』1984
- 44 『鬼虎川遺跡』1983（財）東大阪市文化財協会
- 45 『鬼虎川遺跡第19次発掘調査報告』1988（財）東大阪市文化財協会

- 46 『神並・西ノ辻・鬼虎川遺跡発掘調査整理概要Ⅳ』1987 大阪府教育委員会
- 47 『神並・西ノ辻・鬼虎川遺跡発掘調査概要Ⅰ』1984 大阪府教育委員会
- 48 『鬼塚遺跡第13次（遺物編）15次発掘調査報告書』1999（財）東大阪市文化財協会
- 49 上野利明「東大阪市域における火葬墓について」『東大阪市遺跡保護会年報 1979年度』1980 東大阪市遺跡保護会
- 50 『瓜生堂上層遺跡・皿池遺跡』1979 東大阪市教育委員会
- 51 『若江北遺跡』1985（財）東大阪市文化財協会
- 52 『近大山賀遺跡Ⅱ』1989 近畿大学
- 53 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅳ』1991（財）大阪文化財センター
- 54 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅶ』1992（財）大阪文化財センター
- 55 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅻ』1995（財）大阪文化財センター
- 56 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅩ』1998（財）大阪府文化財調査研究センター
- 57 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅩⅠ』1998（財）大阪府文化財調査研究センター
- 58 『近畿自動車道天理～吹田線建設予定地内 瓜生堂遺跡他5遺跡 第一次発掘調査報告書』1975（財）大阪文化財センター
- 59 『佐堂（その1）』1984（財）大阪文化財センター
- 60 『佐堂（その2）-Ⅰ』1984（財）大阪文化財センター
- 61 『東郷遺跡発掘調査概要Ⅰ』1989 大阪府教育委員会
- 62 本書
- 63 『八尾の歴史と文化財』1987 八尾市立歴史民俗資料館
- 64 『葦火64』1996（財）大阪市文化財協会
- 65 『亀井遺跡発掘調査概要』1989 大阪府教育委員会
- 66 『城山（その1）』1986（財）大阪文化財センター
- 67 『瓜破遺跡』1983（財）大阪市文化財協会
- 68 『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅳ』1992（財）大阪市文化財協会
- 69 『長原遺跡発掘調査報告Ⅴ』1992（財）大阪市文化財協会
- 70 『志紀遺跡発掘調査概要』1986 大阪府教育委員会
- 71 『志紀遺跡発掘調査概要Ⅳ』1995 大阪府教育委員会
- 72 『志紀遺跡（その4）』1998（財）大阪府文化財調査研究センター
- 73 『田井中遺跡（1～3次）・志紀遺跡（防1次）』1997（財）大阪府文化財調査研究センター
- 74 『昭和59年度事業概要報告』1985（財）八尾市文化財調査研究会
- 75 『平尾山古墳群－雁多尾畑49号支群－』1989 柏原市教育委員会
- 76 『平尾山古墳群－太平寺山手線建設に伴う その1－』1989 柏原市教育委員会
- 77 『河内太平寺古墳群』1979 河内考古刊行会
- 78 『太平寺・安堂遺跡1983年度』1984 柏原市教育委員会
- 79 『大泉南遺跡』1993 柏原市教育委員会
- 80 『柏原市遺跡群発掘調査概報1994年度』1995 柏原市教育委員会
- 81 『河内高井田・鳥坂寺跡』1968 大阪府教育委員会
- 82 『高井田遺跡Ⅲ』1989 柏原市教育委員会
- 83 『河内国分寺跡発掘調査概報』1970 大阪府教育委員会
- 84 『柏原市玉手山東横穴群発掘調査概報』1969 柏原市教育委員会
- 85 『田辺古墳群・墳墓群発掘調査概要』1987 柏原市教育委員会
- 86 『大和川今池遺跡発掘調査整理概要Ⅵ』1990 大阪府教育委員会
- 87 『松原市遺跡発掘調査概要 昭和61年度』1987 松原市教育委員会
- 88 『岡2丁目所在遺跡発掘調査概要報告書』1993 大阪府教育委員会
- 89 『河合遺跡』1987 大阪府教育委員会
- 90 『太井遺跡（その1）』1987（財）大阪文化財センター
- 91 『太井遺跡（その2）』1987（財）大阪文化財センター

- 92 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅻ』1997 藤井寺市教育委員会
- 93 『石川流域遺跡群発掘調査報告ⅩⅢ』1998 藤井寺市教育委員会
- 94 『北岡遺跡』1996 藤井寺市教育委員会
- 95 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅳ』1989 藤井寺市教育委員会
- 96 『川北遺跡発掘調査概要Ⅱ』1982 大阪府教育委員会
- 97 森浩一「大和川川床出土の古銭」『古代学研究』15・16 古代学研究会
- 98 山本博「船橋大和川床の未詳廃寺址」『古代学』6-2(財)古代学協会
- 99 『河内船橋遺跡出土遺物の研究』大阪府教育委員会
- 100 『西大井遺跡第3次発掘調査概要』1983 大阪府教育委員会
- 101 『西大井遺跡発掘調査概要』1992 大阪府教育委員会
- 102 『林遺跡発掘調査概要Ⅱ』1980 大阪府教育委員会
- 103 『外環状線内遺跡発掘調査概要』1973 大阪府教育委員会
- 104 『挟山遺跡発掘調査概要Ⅱ』1975 大阪府教育委員会
- 105 『昭和54年度はさみ山遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 106 『はさみ山遺跡発掘調査概要78-15区』『節香仙30』1980 大阪府教育委員会
- 107 『はさみ山遺跡発掘調査概要』1985 大阪府教育委員会
- 108 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅹ』1995 藤井寺市教育委員会
- 109 『大水川改修にともなう発掘調査概要Ⅵ』1989 大阪府教育委員会
- 110 『土師の里遺跡発掘調査概要Ⅴ』1983 大阪府教育委員会
- 111 『土師の里遺跡、盾塚・珠金塚・鞍塚古墳他発掘調査概要Ⅰ』1990 大阪府教育委員会
- 112 『富田林市史』第1巻 1985 富田林市
- 113 『太子町の古墳』1974 太子町教育委員会
- 114 『田須谷古墳群』1999(財)大阪府文化財調査研究センター
- 115 森浩一「信太山出土の古銭」『和泉考古学』別冊1 1958 大阪府立泉大津高校
- 116 森浩一「和泉河内窯の須恵器編年」『世界陶磁全集』1 1958 河出書房新社
- 117 「大阪府の貨幣」『泉北考古資料館だより22』1985 大阪府泉北考古資料館
- 118 『神山遺跡発掘調査概要』1998 大阪府教育委員会
- 119 『堺市文化財調査概要報告 第76冊』1998 堺市教育委員会
- 120 『堺市文化財調査報告 第23集』1985 堺市教育委員会
- 121 『堺市文化財調査報告 第18集』1984 堺市教育委員会
- 122 近藤正斎『銭録』巻第1 1906 国書刊行会
- 123 『長曾根遺跡発掘調査概要報告』1996 堺市教育委員会
- 124 『百舌鳥陵南遺跡発掘調査概要』1975 大阪府教育委員会
- 125 『西浦橋・鶴田池東遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 126 『小阪遺跡』1992(財)大阪文化財センター
- 127 『豊中・古池遺跡発掘調査概要そのⅢ』1976 豊中・古池遺跡調査会
- 128 「菩提池東寺院址(No11)」『信太山遺跡調査概報』1966 信太山遺跡調査団
- 129 『和泉国府跡発掘調査概要』1966 大阪府教育委員会
- 130 『和泉横尾山経塚発掘調査報告書』1983 和泉市久保惣記念美術館
- 131 秋山進午「大阪府和泉市横尾経塚群の調査」『日本考古学年報15』1967 日本考古学協会
- 132 『大阪府岸和田市春木八幡山遺跡の研究』1965 帝塚山大学考古学研究室
- 133 『上フジ遺跡発掘調査報告書』1988(財)大阪府埋蔵文化財協会
- 134 『脇浜遺跡Ⅲ』1991(財)大阪府埋蔵文化財協会
- 135 『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅳ』1984 泉佐野市教育委員会

表19 大阪府出土陶硯集成

計測値の単位はcm、計測値の前に復と記したものは復原値、計測値を()でくくったものは残存値を示す。

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備考	文献			
国	ハイ原遺跡	能勢町	S168	平安時代前期	転用硯						須恵器坏蓋				
				平安時代前期	転用硯									1	
				平安時代前期	転用硯										
				平安時代前期	転用硯										
				平安時代前期	転用硯										
				尾道遺跡	能勢町		平安時代前期	転用硯	復15.9					須恵器坏B	2
	大里遺跡	能勢町	包含層	奈良時代	圈足硯	復15.4					脚部に漆付着 長方形?透かし	3			
	法蓮坂遺跡	能勢町			平安時代前期	転用硯						須恵器坏蓋	4		
					平安時代前期	転用硯								須恵器坏蓋	
					平安時代前期	転用硯									
					平安時代前期	転用硯									
	撰	橋詰遺跡	能勢町	谷65	平安時代前期	転用硯						須恵器坏あるいは境の高台/底部内・外面に擦痕と墨痕あり	5		
					奈良時代	低圈足硯	復10.7	1.3				使用痕あり			
					奈良時代	転用硯	11.8	1.6				須恵器坏/墨痕あり			
					奈良時代	転用硯	14.6	0.8				須恵器坏蓋/墨痕あり			
					奈良時代後半	転用硯						須恵器坏蓋/頂部内面			
庄田遺跡		箕面市	2層	奈良時代後半	転用硯							須恵器坏蓋/頂部内面	6		
				奈良時代後半	転用硯						須恵器坏蓋/頂部内面				
				奈良時代後半	転用硯						須恵器坏身/底部外面				
				奈良時代後半	転用硯						須恵器鉢、内面/破損品再利用か				
				奈良時代後半	転用硯						須恵器坏蓋/頂部内面				
梶原南遺跡	高槻市	建物17 土壌5	奈良時代後半	転用硯							須恵器坏蓋/頂部内面	7			
			奈良時代後半	転用硯											
			奈良時代後半	転用硯											
			奈良時代後半	転用硯											
			奈良時代後半	転用硯											
津	嶋上郡衛跡	高槻市	南北溝1	平安時代	風字硯						緑釉	8			
				平安時代	圈足硯						脚部片				
				平安時代前半	圈足硯	14.2	6.2	16.5			長方形透かし12箇所/ほぼ完形				
				平安時代前半	風字硯				(9.0)	(13.2)	裏面に幅2cm、高さ3cmの脚1対張り付ける				
				平安時代前半	転用硯						須恵器坏か皿の内外面使用				
国	総持寺遺跡	茨木市	包含層 遺構面精査	飛鳥時代	圈足硯	復15.2	(2.2)				長方形透かし	11			
				飛鳥時代	風字硯		(4.05)				(3.25) 脚部片				
				飛鳥時代	凹面硯	復13.7									
				飛鳥時代	凹面硯	復14.3	4.8				簡単にへう削りで仕上げた4本の脚がつく				
	難波宮	大阪市	灰原 土坑1 谷1	奈良時代	圈足硯	24.8	8.0	25.8				長方形の透かし推定14箇所 透かしは残存部で鋭角と弧状のものがある	13		
				奈良時代後半	蓋	20.0					新羅緑釉凹面硯の蓋の可能性あり				
				奈良時代後半	転用硯						須恵器坏蓋/使用痕あり				
				奈良時代後半	転用硯						須恵器坏蓋/使用痕あり				
				奈良時代後半	蹴脚硯						使用痕あり				
				奈良時代後半	圈足硯						丸い透かし3つ確認/透かし間に縦の線刻1か3本入るか? 配列不規則/雑な作り				
細工谷遺跡	大阪市	第5層 第4b層	平安時代前半	転用硯							須恵器坏D/内面に墨付着	16			
			平安時代前半	転用硯						須恵器坏の蓋					
			平安時代前半	圈足硯	16.0					長方形透かし15箇所前後					
			平安時代前半	圈足硯	復32.8	復13.0	(18.2)			長方形透かし33箇所前後 透かし約22箇所					

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備考	文献
摂津国	四天王寺	大阪市			風字硯					小片		17
	朴津寺跡(遠里小野遺跡)	大阪市			陶硯							18
	杉本町遺跡(山之内遺跡)	大阪市	表採		円面硯	復21.0				小片/長方形透かし		17
	瓜破遺跡	大阪市	包含層		圈足硯	復15.0				長方形透かし14箇所		19
			包含層	平安時代前半	踏脚硯	復25.0				使用痕あり/他数個体の円硯が出土		20
			SD316	平安時代	圈足硯					小片		21
			包含層	平安時代	踏脚硯					使用痕あり		
	長原遺跡	大阪市	包含層	平安時代	陶硯					全形は長方形を呈すると思われる		
			第4層	平安時代	踏脚硯							22
			SE02 2層	飛鳥~奈良時代	踏脚硯						脚部片/NG84-24次調査の包含層からも出土	
河内国	招提中町遺跡	枚方市			圈足硯					脚部片		24
	村野南遺跡	枚方市	包含層	奈良時代	圈足硯					脚部欠損		25
	城坂窯跡	枚方市	包含層	奈良時代	圈足硯					へらによる縦方向の細い沈線/脚端部に3条の突帯/ほか円面硯の破片数点		24
	大庭北遺跡	守口市	包含層	奈良時代	圈足硯					半円形1個と長方形8個の透かしを交互に配す		26
	西ノ辻遺跡	東大阪市	溜池 井戸15	奈良時代 平安時代後半	転用硯	復18.2	6.3	復21.2		須惠器環B底部内・外面使用痕あり/口縁部を打ち欠き脚状にする/「美濃」刻印		27
	河内寺跡	東大阪市			獸脚硯					獸脚のみ		28
	小若江遺跡	東大阪市			圈足硯	復21.3				長方形透かし幅約6cm、8箇所		18
	若江北遺跡	東大阪市	包含層	奈良時代	円面硯					長方形透かし/海部に墨付着		29
	菅振遺跡	八尾市	NR6001		転用硯					須惠器環蓋		30
			第4層		転用硯					須惠器環蓋		32
河内国	小阪合遺跡	八尾市	第Ⅲ面川1200		転用硯					長方形透かし		31
			第Ⅲ面川1719		転用硯					須惠器環蓋		
			第Ⅲ面井戸1		転用硯					須惠器環蓋		
			第Ⅰ層		圈足硯	復12.2	7.4	復17.2		長方形透かし推定10箇所/透かしとへらによる線刻を交互に配す		
			第Ⅱ面井戸565	平安時代	風字硯					黒色土器/脚部破片		32
			第4層		圈足硯					長方形透かし		
			第5層		転用硯					須惠器環蓋		33
			包含層		円面硯	復14.8						
			第5層		圈足硯					長方形透かし		34
			SD201	飛鳥時代	低圈足硯		2.5	16.9		長方形透かし4箇所		

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備	考	文献
河	木の木遺跡	八尾市	包含層		円面硯						長方形?透かし		35
	大泉南遺跡	柏原市			圈足硯						長方形透かし		36
	安堂第5支群16号墳	柏原市	周溝	7世紀前半?	圈足硯						長方形透かし		37
	玉手山遺跡	柏原市			圈足硯						長方形透かし		38
内	円明遺跡	柏原市			蹄脚硯								39
	大堀遺跡	松原市	溝A-4	奈良~平安時代初期	蹄脚硯		(3.6)	復22.3			硯部欠損		40
	大津道	松原市	井戸1	奈良時代後期	圈足硯								41
	岡2丁目所在遺跡	松原市		奈良時代後期	圈足硯	9.0					接合痕から脚跡は当初からなかったものと推定できる		42
	小山遺跡	藤井寺市	SX202 包含層		圈足硯	17.6			復13.0		長方形透かし		43
	小山城跡	藤井寺市	SD201	平安時代	圈足硯						長方形透かし		44
	林遺跡	藤井寺市		奈良時代後半	圈足硯								45
	国府遺跡	藤井寺市	溝第II群		円面硯						脚部片		46
	葛井寺遺跡	藤井寺市	井戸1	奈良時代	蹄脚硯								47
					圈足硯						高台のような低い脚がつく		48
国	土師の里遺跡	藤井寺市	SK4 SK8 SD05		低圈足硯								49
					圈足硯								50
	船橋遺跡	藤井寺市		奈良時代前半	転用硯						須恵器坏蓋		51
					転用硯						須恵器坏蓋/使用痕あり		52
	道明寺天満宮	藤井寺市		奈良時代	圈足硯						須恵器坏蓋/内面が摩耗し墨付着		53
					蹄脚硯	27.0	6.5				長方形透かし		54
					圈足硯						唐白磁/伝品/国宝		55
					圈足硯								56
					蹄脚硯A						硯部欠損		57
					圈足硯						長方形透かし		58
国				飛鳥時代	転用硯	19.8					須恵器坏蓋/使用痕あり/後世の混入		59
					円面硯								60
	はさみ(はさみ)山遺跡	藤井寺市	SD2		陶硯						長方形透かし16箇所/半球状の脚頭の張り付け痕跡あり		61
				奈良時代前半	蹄脚硯か	復15.8					長方形透かし14箇所		62
					圈足硯						剥離痕から脚は24に還元できる		63
					蹄脚硯	復26.0					長方形透かし推定12箇所		64
					圈足硯						長方形透かし		65
					陶硯						低い脚を持つ		66
					陶硯						底部裏側および側面にへう描き文様を施す		67
	真福寺遺跡	美原町	墳丘, 周濠内 谷部	奈良時代	圈足硯						透かし/すぐ南にある黒山焼寺との関係を想起できる		68
野々上遺跡	羽曳野市			圈足硯						破片 破片 長方形透かし14箇所/墨痕あり		69	

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備考	文献	
河内	野々上遺跡	羽曳野市			凹面硯 蹄脚硯B 鳥形硯						陸部摩滅	65	
	茶山遺跡	羽曳野市		奈良時代	圈足硯	復14.0	(4.1)				長方形透かし12箇所	66	
	地生遺跡(善正寺跡)	羽曳野市			凹面硯						白鳳時代の寺	17	
	河原城遺跡	羽曳野市	溝1194 谷352	奈良時代 奈良時代 奈良時代	中空凹面硯 蹄脚硯	8.6	3				袋部分欠損/最小透かし形不明	67	
	駒ヶ谷遺跡	羽曳野市	流路1237	奈良時代前半 奈良時代前半 奈良時代前半	凹面硯	6.6	0.9					長方形透かし	68
					圈足硯		1.2	4.8	12			長方形と十字形の透かしを交互に配する	
	飛鳥第1散布地	羽曳野市	土坑02	飛鳥~奈良時代前半	圈足硯						長方形透かし	69	
	新堂庵寺	富田林市			獸脚硯						脚部破片/方形透かしあり	71	
	錦織遺跡	富田林市	包含層		圈足硯						短い脚が付いていたものと考えられる	72	
	龍泉寺	富田林市	蔵坊西側丘陵	奈良時代前後	凹面硯	17	2.5				須恵器坏蓋/墨痕あり	73	
	西明寺遺跡	富田林市	第2層	奈良~平安時代	転用硯						隅丸方形の透かし	74	
	尺堂遺跡	太子町			圈足硯		(5.3)	(22.2)				75	
	寛弘寺遺跡	河南町			凹面硯	復13.2					硯部内提なし/脚台透かし付近にへら記号「×」あり	76	
	高向遺跡	河内長野市	側溝		圈足硯		(4.5)				小片	77	
	日置荘遺跡	堺市	包含層		低圈足硯		2.9	25.8			方形透かし	78	
	翁橋遺跡	堺市	包含層		圈足硯	復10.6	(4.4)				裏面に横方向に脚を張り付けける/陸部摩耗	79	
	陵西遺跡	堺市	包含層		楕円硯							80	
長曾根遺跡	堺市	SX01		陶硯						脚部欠損	81		
四ツ池遺跡	堺市	包含層		凹面硯							使用痕なし/径1.8cm、残存長6.1cmの凹形の脚あり	82	
		包含層		風字硯	2.6	6.1					方形透かし	83	
		東部河川		圈足硯							使用痕あり	84	
浜寺昭和町北遺跡	堺市	第1層		風字硯							85		
百舌鳥陵南遺跡	堺市			凹面硯							86		
塔塚古墳	堺市	包含層		圈足硯						方形の透かし4方向とへらによる縦方向の沈線	87		
鳳遺跡	堺市	SE001	平安時代 平安時代	圈足硯						方形?透かし	88		
土師南遺跡	堺市	包含層		圈足硯							89		
八田北町遺跡	堺市	包含層		風字硯か 凹面硯							90		
鈴の宮遺跡	堺市	包含層		圈足硯	復14.3	(2.8)				使用痕あり/脚部に透かしあり	91		
草部遺跡	堺市	第2層		圈足硯						長方形透かし	92		
陶器南遺跡	堺市	溝1-1 土坑860	奈良時代前半	獸脚硯						小片/獸脚は「型」を使用し、別造りにしたものを貼り付ける	93		
小角田遺跡	堺市	SK64内SE01下層 SK155(ロ)No.3 包含層		圈足硯 低圈足硯 凹面硯	11.4	1.65				長方形透かし 完形品			

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備考	文献			
和	小角田遺跡	堺市	包含層 土壇		圈足硯	復17.6	6.75	復21.0			長方形透かし推定6箇所	93			
					円面硯						縁帯上面に3箇所穿孔する		94		
	鶴田池東遺跡	堺市	谷部		圈足硯	12.7	6.2				長方形透かし/完形	長方形透かしと長方形透かしの間の脚部に2本1組縦方向の線刻	95		
					圈足硯	復21.2	5.4								
					円面硯										
	西浦橋遺跡	堺市	包含層		二面硯		(1.7)	(7.6)	(7.7)			使用痕あり	97		
					圈足硯	復11.8	5.8	復14.0			使用痕あり				
					圈足硯	復22.1	(4.0)				使用痕なし				
	陶邑・大庭寺遺跡	堺市	溝C356-OS		奈良時代後半	圈足硯		(2.5)				墨痕あり	98		
					奈良時代後半	圈足硯		1.9	28.9						
					風字硯								使用痕なし/中央にしきりがある形態か		
					風字硯										
					奈良時代	円面硯									
					奈良時代	円面硯									
					奈良時代	陶硯									
					平安時代	陶硯									
					平安時代	風字硯									
					平安時代	陶硯								裏面に三角形の脚がつき、中程に「大」の字が上下逆向きにへら描きされている	99
	平安時代	陶硯													
泉	野々井遺跡	堺市	26号埴周溝		陶硯		(3.5)				脚部上位のみ残存/直径2.7cmの半円形状の脚柱痕あり	100			
					圈足硯						形態不明透かしあり/陸部径9.5cm				
					圈足硯		(5.85)	復20.9			台形透かし8箇所				
					圈足硯	復10.6	5.15	復18.65			円形透かし推定10箇所/透かし間にへらによる線刻2本ずつ				
					圈足硯	15.3	5.6	15.4			完形品/未使用/脚部に透かしなし				
					中空円面硯		(4.5)	復16.6			把手付、陸部欠損/把手先端に径2mmの円孔あり				
					蹄脚硯か		(2.5)				脚部小片/三角形の脚柱				
					圈足硯	16.4	9.45				透かし形態不明/脚部内面「一」,外面に格子状のへら記号あり				
					陶硯						透かしなし			101	
					国	陶邑・TK316号窯	堺市			陶硯					
陶硯													103		
陶邑・TK230-I号窯	陶硯													101	
陶邑・TK116号窯	陶硯													104	
	陶硯													103	
	蹄脚硯														
	蹄脚硯														
	蹄脚硯														
	陶硯													陸部のみ破片	101
	陶硯													陸部のみ破片	
	陶硯								脚部のみ破片/透かし形態不明						
	陶硯								長方形透かしとへらによる縦方向の線刻を交互に配す	105					
	陶邑・TK313号窯か	堺市			陶硯		8.5			方形透かし	101				
	陶邑・TK314号窯	堺市			陶硯					脚16本	104				
	陶邑・TK304号窯	堺市			蹄脚硯					硯部欠損	101				
	陶邑・TK43-I号窯	堺市			蹄脚硯		(5.8)	復32.0		長方形透かし4箇所					
	陶邑・TK238号窯	堺市			陶硯					長方形透かし	103				

国	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	分類	口径	器高	底径	長さ	幅	備考	文献		
和	陶邑・TG15号窯	堺市		飛鳥時代	圈足硯	21.0	6.7				長方形透かし	105		
	陶邑・TG63-I号窯	堺市			圈足硯	復23.0	7.0	復27.3			脚部に半円形の透かし6箇所			
	陶邑・TG64号窯	堺市				圈足硯	復20.0	7.1	復23.8			長方形透かし		
						圈足硯						十字型透かし		
						圈足硯						横長長方形透かし		106
	陶邑・TG68号窯	堺市			低圈足硯						脚部に粘土紐?張り付ける			
	陶邑・TG70号窯	堺市				圈足硯	(22.4)	(7.3)				脚部にはらによる縦方向の沈線あり		
						圈足硯	復23.5	8.6	復25.5			横長長方形透かし6箇所		
						圈足硯	復24.6	9.3	復28.5			長方形透かし20箇所		
						圈足硯	復22.5					長方形透かし	107	
和	陶邑・KM301号窯	堺市	2層	飛鳥~奈良時代	圈足硯	復22.5	(2.6)							
				飛鳥~奈良時代	圈足硯		(3.4)	復16.6				108		
				飛鳥~奈良時代	蹄脚硯		(2.4)	復18.9						
				飛鳥~奈良時代	蹄脚硯		(3.15)	復25.5				109		
	陶邑・KM60号窯	堺市		奈良時代	獸脚硯						獸脚3箇所			
	陶邑・KM51号窯	堺市		奈良時代	圈足硯	復18.9	6.0	復24.3			長方形透かし24箇所	110		
	陶邑・KM302号窯	堺市	灰原下層	奈良時代	圈足硯	復23.9	復9.0	復28.0			長方形透かし	111		
泉	陶邑・不明	堺市			圈足硯							113		
					蹄脚硯									
	大園遺跡	高石市他			圈足硯							112		
					圈足硯								113	
	池上曾根遺跡	和泉市他			圈足硯	復10.8	5.8				長方形?透かし	114		
					圈足硯	復16.0	(4.5)				長方形?透かし推定12箇所/陸部にへらで格子状の線刻	115		
					圈足硯							116		
	観音寺遺跡	和泉市		谷部第2層	圈足硯									
					圈足硯									
	池田寺遺跡	和泉市		第5層	圈足硯								117	
圈足硯														
圈足硯														
万町北遺跡	和泉市		C010	圈足硯										
				圈足硯										
和泉国分寺	和泉市				圈足硯							118		
					圈足硯								119	
					圈足硯									
					圈足硯									
山ノ内遺跡	岸和田市			圈足硯							120			
				圈足硯										
				圈足硯										
水込遺跡	岸和田市		上層包含層	圈足硯	復14.2	(3.7)					長方形透かし/線刻	121		
				圈足硯	復9.3	(2.0)				長方形透かし				
				圈足硯	(2.95)					長方形透かし/円形透かし				
				圈足硯	(2.8)					長方形透かし				
脇浜遺跡	貝塚市		包含層	圈足硯							須恵器坏蓋/内面に墨付着	122		
				圈足硯							長方形透かし	123		
加治神前島中遺跡	貝塚市		包含層	圈足硯							長方形透かし	124		
				圈足硯							長方形透かし	125		
湊遺跡	泉佐野市		包含層	獸脚硯							獸脚?	126		
				蹄脚硯								陸部のみ残存/墨痕あり	127	
三軒屋遺跡	泉佐野市		第2包含層	蹄脚硯										
田山遺跡	阪南市		Ⅲ層	蹄脚硯										

参考文献

- 1 『歌垣第2地区発掘調査概要Ⅱ』1997 大阪府教育委員会
- 2 『尾道・辻ヶ花遺跡発掘調査概要』1990 大阪府教育委員会
- 3 『大里遺跡発掘調査概要Ⅴ』1988 大阪府教育委員会
- 4 『法蓮坂遺跡発掘調査概要』1988 大阪府教育委員会
- 5 『野間神社・橋詰遺跡発掘調査概要』1993 大阪府教育委員会
- 6 『庄田遺跡』1999 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 7 『梶原南遺跡発掘調査報告書』1998 梶原遺跡調査会
- 8 『嶋上郡衙跡発掘調査概要Ⅲ』1973 大阪府教育委員会
- 9 『嶋上郡衙跡発掘調査概要・2』1978 高槻市教育委員会
- 10 『嶋上遺跡群18』1994 高槻市教育委員会
- 11 『総持寺遺跡』1998 (財)大阪文化財調査研究センター
- 12 『桜井谷窯跡群2-19窯跡・2-24窯跡』1977 桜井谷窯跡群発掘調査団
- 13 『緑丘窯跡』1984 緑丘団地遺跡調査団
- 14 『大阪城跡の発掘調査2』1992 (財)大阪文化財センター
- 15 『大阪城跡の発掘調査6』1996 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 16 『細工谷遺跡発掘調査報告』1999 (財)大阪市文化財協会
- 17 藤井直正 「陶質円面硯資料-河内船橋・摂津杉本町採集」『古代学研究』13 1956 古代学研究会
- 18 『河内寺跡Ⅱ』1974 東大阪市教育委員会
- 19 『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅳ』1992 (財)大阪市文化財協会
- 20 『長原遺跡』1978 長原遺跡調査会
- 21 『長原遺跡発掘調査報告Ⅱ』1982 (財)大阪市文化財協会
- 22 『長原遺跡発掘調査報告Ⅲ』1983 (財)大阪市文化財協会
- 23 『長原遺跡発掘調査報告Ⅵ』1996 (財)大阪市文化財協会
- 24 『新版図録・枚方の遺跡』1998 (財)枚方市文化財研究調査会
- 25 「村野南遺跡第16・21次発掘調査概要」『枚方市埋蔵文化財発掘調査概要』1993 枚方市教育委員会
- 26 『大庭北遺跡発掘調査概要・Ⅱ』1986 大阪府教育委員会
- 27 『西ノ辻遺跡第22次発掘調査報告書』1995 東大阪市教育委員会, (財)東大阪市文化財協会
- 28 『神並・西ノ辻・鬼虎川遺跡発掘調査整理概要・Ⅱ』1986 大阪府教育委員会
- 29 『河内平野遺跡群の動態Ⅳ』1998 大阪府教育委員会, (財)大阪文化財調査研究センター
- 30 『萱振遺跡』1992 大阪府教育委員会
- 31 本書
- 32 『(財)八尾市文化財調査研究会報告61』1998 (財)八尾市文化財調査研究会
- 33 『小阪合遺跡』1990 (財)八尾市文化財調査研究会
- 34 『成法寺遺跡』1996 (財)八尾市文化財調査研究会
- 35 『木の本遺跡』1984 (財)八尾市文化財調査研究会
- 36 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』1988 柏原市教育委員会
- 37 『高井田遺跡Ⅰ』1986 柏原市教育委員会
- 38 『大園遺跡発掘調査概要・Ⅷ』1988 大阪府教育委員会
- 39 「陶硯関係文献目録」『埋蔵文化財ニュース41』1983 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター
- 40 『大堀城跡』1984 大阪府教育委員会, (財)大阪文化財センター
- 41 『松原市遺跡発掘調査概要昭和61年度』1987 松原市教育委員会
- 42 『岡2丁目所在遺跡発掘調査概要報告書』1993 大阪府教育委員会
- 43 『石川流域遺跡群発掘調査報告書Ⅻ』1997 藤井寺市教育委員会
- 44 『石川流域遺跡群発掘調査報告書ⅩⅢ』1998 藤井寺市教育委員会
- 45 『林遺跡発掘調査概要Ⅳ』1982 大阪府教育委員会

- 46 『国府遺跡発掘調査概要Ⅱ』1972 大阪府教育委員会
- 47 『国府遺跡発掘調査概要Ⅲ』1973 大阪府教育委員会
- 48 『国府遺跡発掘調査概要Ⅷ』1978 大阪府教育委員会
- 49 『葛井寺遺跡発掘調査概報』1994 大阪府教育委員会
- 50 『土師の里遺跡発掘調査概要Ⅴ』1983 大阪府教育委員会
- 51 『石川流域遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』1988 藤井寺市教育委員会
- 52 『河内船橋遺跡出土遺物の研究』1958 大阪府教育委員会
- 53 『船橋遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 54 『河内寺跡Ⅱ』1974 東大阪市教育委員会
『日本の陶硯』1978 五島美術館
- 55 『はさみ山遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 56 『はさみ山遺跡発掘調査概要』1984 大阪府教育委員会
- 57 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅷ』1993 藤井寺市教育委員会
- 58 『はさみ山遺跡発掘調査概要Ⅸ』1982 大阪府教育委員会
- 59 『昭和57年度はさみ山遺跡発掘調査概要』1983 大阪府教育委員会
- 60 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅴ』1990 藤井寺市教育委員会
- 61 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅵ』1991 藤井寺市教育委員会
- 62 『石川流域遺跡群発掘調査報告Ⅸ』1994 藤井寺市教育委員会
- 63 『はさみ山遺跡発掘調査概要－藤の森古墳の調査－』1993 大阪府教育委員会
- 64 『真福寺遺跡』1986大阪府教育委員会, (財)大阪府文化財センター
- 65 『野々上遺跡』『古市遺跡群Ⅸ』1988 羽曳野市教育委員会
- 66 『応神陵茶山遺跡発掘調査報告』1978 (財)大阪文化財センター
- 67 整理中
- 68 『駒ヶ谷遺跡』1999 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 69 『羽曳野市史』第3巻 史料編1 1994 羽曳野市
- 70 『特別展 鳥根の古代』1982 八雲立つ風土記の丘
- 71 『錦織遺跡発掘調査概要』1984 大阪府教育委員会
- 72 『龍泉寺』1981 大谷女子大学資料館
- 73 『西明寺遺跡発掘調査概要』1994 大阪府教育委員会
- 74 『太子カントリー倶楽部建設に伴う植田遺跡ほか発掘調査報告書』1996 一須賀古墳群発掘調査委員会
- 75 『柿ヶ坪・尾平・西板持・寛弘寺遺跡発掘調査概要』1995 大阪府教育委員会
- 76 『高向遺跡』1989 (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 77 『日置荘遺跡』1995 大阪府教育委員会, (財)大阪文化財センター
- 78 「翁橋遺跡発掘調査報告」『堺市文化財調査報告 第18集』1984 堺市教育委員会
- 79 「陵西遺跡発掘調査報告」『堺市文化財調査報告 第36集』1987 堺市教育委員会
- 80 『長曾根遺跡発掘調査概要報告』1993 堺市教育委員会
- 81 『昭和54年度四ツ池遺跡発掘調査概要－第72・73・74地区－』1980 堺市教育委員会
- 82 『四ツ池遺跡第45地区発掘調査中間報告その4』1979 堺市教育委員会
- 83 「浜寺昭和町北遺跡発掘調査概要報告」『堺市文化財調査概要報告 第50冊』1995 堺市教育委員会
- 84 『百舌鳥陵南遺跡発掘調査概要』1975年 大阪府教育委員会
- 85 『平成6・7年度市内遺跡立会調査概要報告』1997 堺市教育委員会
- 86 「鳳遺跡発掘調査概要報告」『堺市文化財調査概要報告 第19冊』1991 堺市教育委員会
- 87 「土師南遺跡発掘調査報告」『堺市文化財調査報告 第26集』1986 堺市教育委員会
- 88 『八田北町遺跡発掘調査報告Ⅰ』1989 堺市教育委員会
- 89 『鈴の宮Ⅲ』『堺市文化財調査報告 第11集』1983 堺市教育委員会
- 90 「草部遺跡発掘調査概要報告」『堺市文化財調査概要報告 第69冊』1998 堺市教育委員会

- 91 『陶器南遺跡発掘調査概要Ⅱ』1996 大阪府教育委員会
- 92 『陶器南遺跡発掘調査概要・Ⅴ』1999 大阪府教育委員会
- 93 『陶器・小角田遺跡』『堺市文化財調査報告 第33集』1988 堺市教育委員会
- 94 『小角田遺跡発掘調査概要報告』『堺市文化財調査概要報告 第52冊』1995 堺市教育委員会
- 95 『西浦橋・鶴田池東遺跡発掘調査概要』1980 大阪府教育委員会
- 96 『鶴田池東遺跡発掘調査概要報告』『堺市文化財調査概要報告 第36冊』1993 堺市教育委員会
- 97 『西浦橋遺跡』『府道松原泉大津線関連遺跡発掘調査報告書Ⅰ』1984 (財)大阪府文化財センター
- 98 『陶邑・大庭寺遺跡』1989 大阪府教育委員会, (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 99 『陶邑・大庭寺遺跡Ⅱ』1990 大阪府教育委員会, (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 100 『陶邑Ⅵ』1987 大阪府教育委員会
- 101 『陶邑Ⅴ』1982 (財)大阪府文化財センター
- 102 『泉州における遺跡の調査Ⅰ 陶邑Ⅷ』1995 大阪府教育委員会
- 103 『陶邑』1971 (財)大阪文化財センター
- 104 『陶邑Ⅳ』1979 (財)大阪文化財センター
- 105 『日本の陶硯』1978 五島美術館
- 106 『陶邑Ⅱ』1980 (財)大阪文化財センター
- 107 『企画展古代の硯』1996 斎宮歴史博物館
- 108 『泉州における遺跡の調査Ⅰ 陶邑Ⅷ』1995 大阪府教育委員会
- 109 『大阪府文化財調査概要1965・66年度』(財)大阪文化財センター
- 110 『陶邑Ⅰ』1980 (財)大阪文化財センター
- 111 『陶邑・光明池(KM)地区KM302号窯発掘調査報告書』1998 和泉市教育委員会
- 112 『大園遺跡発掘調査概要Ⅴ』1981 大阪府教育委員会
- 113 『大園遺跡発掘調査概要Ⅷ』1988 大阪府教育委員会
- 114 『池上遺跡発掘調査概要ⅩⅠ』1985 大阪府教育委員会
- 115 『観音寺遺跡発掘調査報告書』1982 大阪府教育委員会
- 116 『池田寺遺跡』1989 大阪府教育委員会, (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 117 『万町北遺跡Ⅰ』1993 和泉丘陵内遺跡調査会
- 118 『万町北遺跡Ⅱ』1995 和泉丘陵内遺跡調査会
- 119 内藤政恒『本邦古硯考』1944
- 120 『山ノ内遺跡B地区・山直北遺跡発掘調査報告書』1988 (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 121 『水込遺跡』1990 (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 122 『脇浜遺跡』1986 (財)大阪府埋蔵文化財協会
- 123 『加治神前畠中遺跡発掘調査概報』1988 貝塚市教育委員会
- 124 『加治神前畠中遺跡発掘調査概報』1993 貝塚市教育委員会
- 125 『湊遺跡発掘調査概要Ⅷ』1988 泉佐野市教育委員会
- 126 『三軒屋遺跡発掘調査報告書』1992 泉佐野市教育委員会
- 127 『田山遺跡』1983 (財)大阪文化財センター

基礎データ編

表20 小阪合遺跡 遺構面の対照

本報告での遺構面	調査時の遺構面								遺構数
	98-1区	98-2区	98-3区	98-4区	98-5区	98-5区 拡張部	98-6区	98-7区	
第Ⅰ面					第1面 41~93 935	第1面 271		第1面 555~559	60
第Ⅱ面					第2面 103~194	第2面 272~282		第2面 560~718	262
第Ⅲ面	第1面 1~40 195	第1面 217~270 936	第1面 416~538	第1面 322~353	第3面 200~204	第3面 283	第1面 354~407 937	第3面 719~865	459
第Ⅳ面	第2面 94~102	第2面 284~320 934							47
第Ⅴ面	第3面 196~199	第3面 遺構なし	第3面 539~554	第3面 408~410	第4面 205~216	第4面 321	第3面 411~415	第4面 866~917 (903・916 を除く)	91
第Ⅵ面		第4面 川底					第4面 川底		
第Ⅶ面								第5面 939~956	18
第Ⅷ面								第6面 919~933 938	16
	54	93	139	35	163	14	60	395	953

各欄内 上段：遺構面 下：検出遺構番号

表21 小阪合遺跡 遺構の種類と数

本報告 での面	調査区と 調査時の面	遺 構 の 種 類 と 数									遺構数 小計	遺構番号
		溝	住居	井戸	土坑	ピット	掘立柱 建物	水田	川	落込		
第Ⅰ面	98-5区 第1面	15			1	37	1				54	41~93 935
	98-5区 拡張部 第1面	1									1	271
	98-7区 第1面	3				2					5	555~559
	第Ⅰ面 小計	19			1	39	1				60	
第Ⅱ面	98-5区 第2面	29		2	9	50				2	92	103~194
	98-5区 拡張部 第2面	2			2	7					11	272~282
	98-7区 第2面	31		6	11	111					159	560~718
	第Ⅱ面 小計	62		8	22	168				2	262	
第Ⅲ面	98-1区 第1面	15		2	1	22				1	41	1~40 195
	98-2区 第1面	21		1	6	25	1			1	55	217~270 936
	98-3区 第1面	10		4	18	90				1	123	416~538
	98-4区 第1面	19		2	5	5				1	32	322~353
	98-5区 第3面	1			2	1			1		5	200~204
	98-5区 拡張部 第3面				1						1	283
	98-6区 第1面	7		1	1	44	1			1	55	354~407 937
	98-7区 第3面	3	2	8	5	128			1		147	719~865
	第Ⅲ面 小計	76	2	18	39	315	2		2	5	459	

本報告 での面	調査区と 調査時の面	遺構の種類と数									遺構数 小計	遺構番号
		溝	住居	井戸	土坑	ピット	掘立柱 建物	水田	川	落込		
第Ⅳ面	98-1区 第2面	1			3	5					9	94~102
	98-2区 第2面	5			9	23				1	38	284~320 934
	第Ⅳ面 小計	6			12	28				1	47	
第Ⅴ面	98-1区 第3面			3		1					4	196~199
	98-2区 第3面										0	
	98-3区 第3面	1			2	13					16	539~554
	98-4区 第3面				2				1		3	408~410
	98-5区 第4面	4			1	7					12	205~216
	98-5区 拡張部 第4面				1						1	321
	98-6区 第3面			1		3			1		5	411~415
	98-7区 第4面	10		1	4	35					50	866~917 (903・916 を除く)
	第Ⅴ面 小計	15		5	10	59			2		91	
第Ⅵ面	98-2区 第4面								川底			
	98-6区 第4面								川底			
第Ⅶ面	98-7区 第5面							18			18	939~956
第Ⅷ面	98-7区 第6面	1			2	12	1				16	919~933 938
総 計		179	2	31	86	621	4	18	4	8	953	1~956 (903・916・ 918を除く)

表22 溝一覧

第I面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期	
41	98-5	J16-j4	東西	(2.1)	(30)	1	不明	×	
42		J16-j4	東西	(2.7)	42~48	10	10YR3/2 黒褐	平安前期	
43		J16-j3 他	東西	3.8	20~36	4	10YR3/2 黒褐	平安前期	
44		J16-j3 他	東西	4.2	32~36	6	10YR3/2 黒褐	平安前期	
47		J16-j3 他	東西	(6.4)	33~55	10	10YR4/2 灰黄褐	平安後期	
48		J16	東西	(25.4)	124~192	17	10YR4/2 灰黄褐	平安後期	
49		J16-a3	北	4.3	29~39	14	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
50		J16-a3 他	東西	(8.9)	30~62	13	10YR4/2 灰黄褐	平安後期	
51		J16-a3 他	東西	(8.4)	22~42	6	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期?	
52		J16-a3 他	東西	(4.5)	18~30	9	10YR3/3 暗褐	平安前期	
53		J16-a3	東西	1.9	32~37	12	10YR3/2 黒褐	平安前期	
54		J16-a3	東西	2.8	30~34	13	10YR5/2 灰黄褐	平安前期	
91		J16-a4 他	東西	(4.8)	23~36	8	10YR4/2 灰黄褐	×	
92		J16-a4	東西	(2.1)	58~62	8	10YR4/2 灰黄褐	平安後期	
93		J16	東西・北	(33.1)	29~91	11	10YR4/2 灰黄褐他	平安後期	
271		98-5 拡	K16-b2 他	東西	(13.6)	64~97	10	10YR3/2 黒褐	平安後期
555		98-7	K16-d4 他	東西	(9.2)	55~86	23	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期
556			K16-d3	北	1.9	25~33	11	10YR4/2 灰黄褐他	平安前期
559			K16-d3 他	東西	(12.3)	65~	23	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期

第II面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期	
105	98-5	J16-j3	東西	(1.5)	19~23	5	10YR3/2 黒褐	○	
106		J16-j3	東西	3.5	20~25	5	10YR3/2 黒褐	○	
107		J16-j3	東西	(9.0)	23~30	12	10YR3/1 黒褐	平安前期	
108		J16-j4 他	東西	3.4	18~23	5	10YR3/2 黒褐	○	
117		J16-j3	東西	(4.5)	25~32	7	10YR2/2 黒褐	○?	
118		J16-j3	東西	3.2	23~25	5	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期	
119		J16-j3	北北西	(3.8)	25~38	6	10YR3/2 黒褐	×	
120		J16-j3	北	2.3	22~27	5	10YR3/2 黒褐	×	
121		J16-j3	東西	(6.4)	27~50	11	10YR3/2 黒褐	○	
122		J16-j3 他		(6.5)	20~51	10	10YR3/2 黒褐	平安前期	
127		J16-j3 他	東西	(8.0)	95~113	11	10YR5/2 灰黄褐	平安後期	
129		K16-a2	東西	(2.4)	45~47	3	10YR4/2 灰黄褐	×	
130		K16-a2	北	4.6	36~46	22	10YR2/2 黒褐	平安前期	
132		K16-a2	北北西	6.0	31~50	9	2.5Y3/2 黒褐	平安前期?	
133		K16-a2	北北西	3.7	16~36	9	2.5Y3/2 黒褐	○	
134		K16-a2	東西	(1.5)	24~35	6	10YR4/2 灰黄褐	○	
135		K16-a2	北	1.9	43~48	5	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期?	
137		K16-a2	北北東	(3.6)	31~42	6	10YR2/1 黒	平安前期?	
140		K16-a3 他	東西	7.7	24~36	10	2.5Y3/2 黒褐	平安前期	
141		K16-a3 他	東西	10.1	20~43	13	10YR3/2 黒褐	平安前期	
142		K16-a3	東西	4.5	30~36	9	10YR3/2 黒褐	平安前期?	
143		K16-a3 他	東西	6.5	24~42	9	10YR3/2 黒褐	平安後期?	
144		K16-a3	西北西	4.9	21~37	11	10YR3/2 黒褐	平安前期	
145		K16-a3 他	東西	(12.8)	18~40	14	10YR3/2 黒褐	平安前期	
151		K16-a3	東西	3.3	21~29	4	10YR4/2 灰黄褐	平安前期?	
158		K16-a3	東西	(0.5)	25~30	3	10YR3/2 黒褐	平安前期?	
167		K16-a4	東西	(4.0)	27~35	8	10YR4/2 灰黄褐	○	
170		K16-a4	東西	(4.2)	37~55	10	10YR4/2 灰黄褐	○	
180		K16-a4 他	西北西	(7.2)	25~45	21	10YR4/2 灰黄褐	平安前期?	
277		98-5 拡	K16-b3	東西	(2.0)	28~30	8	10YR4/3 にぶい黄褐	○
278			K16-b3	東西	(1.9)	32~35	11	10YR4/3 にぶい黄褐	古墳?
569		98-7	K16-d1 他	北	(20.4)	82~410	32	図5のC層	平安後期
571			K16-f1 他	東西	(3.0)	28~35	6	2.5Y4/1 黄灰	○

572	98-7	K16-f1 他	西北西	(5.5)	24~ 33	9	2.5Y4/1 黄灰	平安前期
573		K16-f1 他	東西	2.0	30~ 31	9	2.5Y4/2 暗灰黄	○
575		K16-f2	東西	(1.2)	27~ 31	8	2.5Y4/2 暗灰黄	○
582		K16-e3 他		11.0	33~137	27	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳?
587		K16-f4 他	東西	3.2	23~ 35	3	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
588		K16-f4 他	東西	(6.8)	16~ 25	5	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期?
590		K16-f4	東西	2.5	22~ 29	3	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
592		K16-f4 他	東西	(10.5)	24~ 40	10	2.5Y5/2 暗灰黄	平安
595		K16-f4	東西	(2.1)	19~ 22	5	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期?
596		K16-e1 他	東西	2.9	23~ 25	4	2.5Y4/2 暗灰黄	○
597		K16-e2 他	東西	5.0	24~ 34	7	2.5Y5/2 暗灰黄	○
598		K16-e1 他	東西	4.6	24~ 29	7	2.5Y4/1 黄灰	平安前期
599		K16-e2 他	東西	3.6	26~ 30	6	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期
600		K16-e2 他	東西	4.6	25~ 42	8	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期
601		K16-e1 他	東西	4.2	23~ 33	6	2.5Y4/2 暗灰黄	○
602		K16-e1 他	東西	(2.8)	30~ 40	8	2.5Y4/2 暗灰黄	○
622		K16-e3 他	東西	(14.5)	100~138	13	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期
637		K16-d1	北北西	(2.2)	57~ 86	20	2.5Y4/1 黄灰	平安前期?
639		K16-d1 他	西北西	2.1	25~ 31	8	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期
647		K16-d2 他	西北西	(13.8)	19~ 37	6	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期?
671		K16-d3 他	東西	(15.1)	250~ ?	25	2.5Y5/1 黄灰	平安後期
672		K16-d3 他	東西	(14.1)	31~ 80	11	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期
673		K16-d3 他	東西	(14.0)	61~ 73	19	2.5Y4/2 暗灰黄	平安
690		K16-d3 他	東西	7.5	16~ 32	4	2.5Y4/1 黄灰	古墳
703		K16-d3 他	東西	1.5	23~ 30	15	2.5Y4/3 オリーブ褐	古墳
704		K16-d3 他	東西	1.6	23~ 24	3	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
713		K16-d4	東西	2.4	23~ 36	7	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期
714		K16-d4	東西	(4.2)	20~ 42	9	2.5Y4/2 暗灰黄	平安後期?
715	K16-d4	東西	(4.0)	25~ 30	9	2.5Y5/2 暗灰黄	○	

第Ⅲ面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期
12	98-1	J15-h2 他	北	6.5	23~ 38	7	10YR5/2 灰黄褐	鎌倉?
13		J15-h2	北	(2.9)	17~ 20	4	10YR5/2 灰黄褐	鎌倉?
14		J15-h2 他	北	6.9	22~ 37	5	10YR5/2 灰黄褐	鎌倉?
16		J15-h2	北	(5.3)	47~102	6	10YR5/2 灰黄褐	鎌倉?
19		J15-h2	東西	(6.7)	39~ 63	11	10YR5/3 にぶい黄褐	鎌倉?
21		J15-i2 他	北北東	8.4	11~104	10	10YR5/2 灰黄褐	平安後期?
22		J15-i2 他	北北東	5.5	17~ 25	4	10YR5/2 灰黄褐	○
23		J15-i2	北北東	(2.0)	37~ 40	8	10YR4/1 褐灰	平安前期
30		J15-j2	北	(1.9)	22~ 29	5	10YR5/2 灰黄褐	平安前期
32		J15-j2 他	北	2.3	22~ 26	5	10YR5/2 灰黄褐	○
33		J15-j2 他	北	(3.2)	26~ 33	8	10YR5/2 灰黄褐	○
34		J15-j2 他	北	2.3	18~ 24	7	10YR5/2 灰黄褐	○
35		J15-j2 他	北	2.8	46~ 53	7	10YR5/2 灰黄褐	○
38		J15-i2	北北東	(6.0)	48~105	19	10YR6/2 灰黄褐	平安前期?
40		J15-j2	西北西	(2.4)	23~ 33	4	10YR4/3 にぶい黄褐	○
235		98-2	J15-g3 他	北東	(6.2)	27~ 39	12	2.5Y4/2 暗灰黄
236	J15-h4		北東	(5.1)	32~ 50	21	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳後期
246	J15-g5		北	(1.2)	17~ 20	3	10YR5/2 灰黄褐	○
247	J15-g5		北	(3.0)	18~ 21	3	10YR5/2 灰黄褐	○
248	J15-g5		北	(3.3)	19~ 24	6	10YR5/2 灰黄褐	室町?
249	J15-g5		北	(6.4)	30~ 57	21	10YR5/2 灰黄褐	室町
250	J15-h5		北	4.1	18~ 24	15	10YR5/2 灰黄褐	○
251	J15-h5		北	(7.7)	25~ 38	16	10YR5/2 灰黄褐	○
252	J15-h5		北	(7.4)	41~ 71	11	10YR5/2 灰黄褐	室町?
253	J15-h5		北	(8.7)	35~ 56	16	10YR5/2 灰黄褐	室町?
254	J15-h5		北	(3.5)	27~ 30	8	10YR5/2 灰黄褐	○
256	J15-i3		北北東	2.9	66~ 90	11	10YR5/2 灰黄褐	平安後期
257	J15-i3		北北東	2.2	29~ ?	9	10YR5/2 灰黄褐	

258	98-2	J15-i3	北北東	1.9	36~38	11	10YR5/2 灰黄褐	室町?
263		J15-j3	東西	(2.6)	33~38	5	10YR5/2 灰黄褐	×
264		J15-j3	東西	(2.2)	33~40	10	10YR5/2 灰黄褐	○
265		J15-j3 他	東西	6.7	20~26	5	10YR5/2 灰黄褐	○
266		J15-j4 他	東西	8.4	21~32	5	10YR5/2 灰黄褐	×
268		J15-i5	北	(4.0)	23~28	9	10YR4/2 灰黄褐	×
269		J15-i5 他	北	11.2	24~36	13	10YR5/2 灰黄褐	室町?
270		J15-i5 他	北	(9.1)	61~80	17	10YR4/2 灰黄褐	○
440	98-3	J15-g8 他	東西	4.6	37~56	10	10YR4/3 にぶい黄褐	平安後期
481		J15-h7 他	東西	4.6	45~58	8	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
482		J15-h7	東西	4.0	34~42	6	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
496		J15-h7	東西	(3.0)	29~33	5	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
498		J15-h7	東西	2.7	37~54	9	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
505		J15-i6	東北東	3.8	36~43	8	2.5Y4/2 暗灰黄	○
506		J15-i6	東北東	(3.4)	32~40	7	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期
519		J15-i6	北	(2.9)	32~45	11	2.5Y4/1 黄灰	平安後期
535		J15-i8	東西	(4.5)	33~45	15	2.5Y4/1 黄灰	×
536		J15-j8	東西	(5.2)	19~25	7	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
322	98-4	J15-g9 他	東西	(12.8)	33~59	17	10YR5/1 褐灰	平安前期
323		J15-g9	北北西	2.2	23~37	15	10YR5/1 褐灰	○
324		J15-g9	東西	4.0	19~28	10	10YR5/1 褐灰	○
325		J15-g9	北	6.5	24~35	13	10YR6/3 にぶい黄橙	○
326		J15-g9 他	東西	4.6	40~55	7	10YR5/1 褐灰	○
330	98-3.4	J15	東西	(44.5)	170~404	35	10YR4/2 灰黄褐	平安後期
332	98-4	J15-g10他	北北西	(13.2)	188~247	16	10YR5/2 灰黄褐	平安後期
335		J16-g1	北北西	2.0	20~25	3	10YR6/1 褐灰	×
336		J16-g1	北北西	1.9	19~24	3	10YR6/1 褐灰	×
337		J16-g1 他	北北西	2.5	17~26	4	10YR6/1 褐灰	×
338		J16-g1	北北西	3.0	11~30	5	10YR6/1 褐灰	×
339		J16-g1	北北西	1.3	21~22	3	10YR6/1 褐灰	×
340		J16-g1 他	北北西	(14.4)	47~173	19	10YR6/1 褐灰	鎌倉
342	98-3.4	J15-i9 他	東西	16.9	25~33	10	10YR5/2 灰黄褐	平安後期
343	98-3.4	J15-i9 他	東西	(16.2)	21~34	11	10YR5/2 灰黄褐	平安後期
344	98-4	J15-i9	東西	(3.7)	57~71	11	10YR5/2 灰黄褐	平安前期
345		J15-i9	東西	3.4	14~20	3	10YR5/2 灰黄褐	×
346		J15-i9	東西	3.4	16~24	4	10YR5/2 灰黄褐	×
351		J15-i9	東西	(5.2)	39~56	14	10YR5/2 灰黄褐	平安後期
203		98-5	K15-a3 他	北北西	(8.4)	98~142	18	10YR5/1 褐灰
355	98-6	K15-a8 他	東西	(6.9)	129~184	14	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
356		K15-a8 他	東西	(6.8)	64~90	24	10YR4/2 灰黄褐	平安前期?
357		K15-a8 他	東西	(6.8)	68~92	8	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
365		K15-a8 他	北	2.7	33~57	10	10YR4/2 灰黄褐	○
373		K15-c8	北北東	(2.4)	24~27	12	10YR5/3 にぶい黄褐	○
388		K15-d9 他		(19.2)	118~196	21	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期
389	K15-e9	東西	(3.1)	24~29	7	10YR5/3 にぶい黄褐		
792	98-7	K15-e3 他	北北東	21.1	47~102	14	2.5Y5/1 黄灰	○
793		K15-e3 他	東西	(11.4)	70~96	11	5Y4/2 灰オリーブ	○
864		K15-d3 他		15.4	32~48	15	10YR4/4 褐	×

第IV面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期
98	98-1	J15-i1	北北西	1.3	52~60	8	10YR4/1 褐灰	室町?
300	98-2	J15-g5 他	東西	3.5	28~30	3	10YR4/2 灰黄褐	○
309		J15-h4 他	東西	8.8	36~41	?	10YR5/2 灰黄褐	○
315		J15-j3	西北西	(3.3)	39~50	10	10YR4/2 灰黄褐	平安後期?
316		J15-j3 他	西北西	3.3	47~51	5	2.5Y5/2 暗灰黄	○
317		J15-j4	西北西	2.0	30~38	5	10YR5/2 灰黄褐	×

第V面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期
549	98-3	J15-h8 他	北北西	18.2	30~55	18	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期
205	98-5	J16-j3	北西?	(2.6)	49~83	5	10YR4/2 灰黄褐	×
209		K16-a4 他	北西	5.6	23~34	2	10YR5/3 にぶい黄褐	○
211		K16-a3	北北西	(8.6)	80~88	6	10YR4/2 灰黄褐	○
216		K16-b3 他	西北西	(17.6)	83~120	85	図34	弥生後期
869		K16-d2	北北西	(6.6)	13~25	8	10YR4/4 褐	×
870	98-7	K16-d2	北北西	(4.3)	34~39	6	10YR4/4 褐	弥生
871		K16-d2 他	東北東	(10.1)	41~67	10	10YR4/3 にぶい黄褐	弥生後期
873		K16-d2 他	東北東	(10.6)	30~38	4	10YR4/3 にぶい黄褐	×
877		K16-d2 他	東北東	4.8	21~31	11	10YR5/2 灰黄褐	×
878		K16-d2 他	東北東	7.2	26~33	4	10YR4/3 にぶい黄褐	×
879		K16-d2 他	東北東	(6.6)	26~32	3	10YR4/3 にぶい黄褐	×
881		K16-d3	北北東	(1.6)	35~37	7	10YR4/4 褐	×
882		K16-d3	北北東	1.6	19~32	4	10YR4/4 褐	×
910		K16-f3 他	東西	(4.1)	19~22	11	10YR4/2 灰黄褐	×

第VIII面の溝一覧

溝番号	調査区	グリッド	主軸方位	検出長 m	幅 cm	深さ cm	埋土の色	時期
927	98-7	K16-e2 他	北西	8.0	7~25	3	10YR4/6 褐	×

表23 土坑一覧

第I面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
45	98-5	J16-j3	楕円	北北西	105	62	20	10YR3/2 黒褐	平安前期

第II面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
125	98-5	J16-a3	円		70	56	28	10YR3/2 黒褐	○
126		J16-a3	楕円	東西	115	39	12	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
128		J16-a3	不整円	北東	102	64	11	10YR3/1 黒褐	○
136		J16-a2	不整	北北東	224	150	15	2.5Y2/1 黒	平安前期
139		J16-a3	不整円	北	133	63	13	10YR2/1 黒	平安前期
146		J16-a3	円		87	?	6	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
165		J16-a3	楕円	北北西	96	67	25	10YR3/2 黒褐	平安前期
171		J16-a4 他	楕円	北	92	35	10	10YR4/2 灰黄褐	○
173		J16-a4	楕円	北東	85	52	20	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
272		98-5 拡	K16-b3 他	隅丸方	北北西	?	127	31	10YR4/2 灰黄褐
274	K16-b3		隅丸方	東西	99	85	34	図10	奈良
562	98-7	K16-f2	隅丸方	北	101	88	63	図10	平安
563		K16-f2	円		72	69	30	図10	奈良
568		K16-f4	円?		228	?	160	図10	平安後期
570		K16-e1 他	不整円	北	358	208	34	2.5Y4/1 黄灰	平安前期
577		K16-f3 他	楕円	北	225	154	79	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳中期
589		K16-f4 他	円?		107	?	4	2.5Y4/1 黄灰	×
608		K16-e2 他	隅丸方	北北西	150	108	28	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳中期
640		K16-d1	不整方	東西	160	131	14	2.5Y4/1 黄灰	平安前期
667		K16-d3 他	円		83	72	37	2.5Y4/1 黄灰	○
706		K16-d4 他	円		263	238	12	2.5Y5/2 暗灰黄	古墳
710	K16-d4	楕円	北	77	35	30	2.5Y4/2 暗灰黄	○	

第III面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
37	98-1	J15-i2	不整		95	38	7	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
237	98-2	J15-h3	円?		165	?	55	10YR4/1 褐灰	古墳中期
238		J15-h3	?	東西?	300	?	?	10YR2/3 黒褐	古墳中期
242		J15-h3 他	楕円	東北東	193	(125)	13	10YR3/2 黒褐	古墳中期
243		J15-h4	不整円		?	160	15	10YR3/3 暗褐	古墳前期
244		J15-h4 他	不整	東西	432	230	23	2.5Y3/2 黒褐	古墳中期
245		J15-g4	円		101	84	31	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期
428	98-3	J15-g6	円		86	77	25	2.5Y4/2 暗灰黄	○
430		J15-g7	楕円?		?	55	11	2.5Y4/2 暗灰黄	×
434		J15-g7	楕円	東西	99	66	38	2.5Y4/2 暗灰黄	○
435		J15-g8	円?		?	430	39	不明	古墳中期
437		J15-g8	楕円	北	140	64	32	2.5Y4/1 黄灰	古墳後期
443		J15-h6	楕円	東北東	310	240	82	図15	平安後期
448		J15-h6	楕円	北	100	64	36	2.5Y4/1 黄灰	○
451		J15-h6	不整		85	73	13	2.5Y4/2 暗灰黄	○
452		J15-h6	円		255	210	85	図15	平安後期
458		J15-h6	楕円	北北西	90	67	21	2.5Y4/2 暗灰黄	○
469		J15-h7	楕円	北北西	89	70	23	2.5Y4/1 黄灰	○
470		J15-h7	楕円	東北東	76+	60	28	2.5Y4/2 暗灰黄	○
474		J15-h7	円		67	63	34	2.5Y4/2 暗灰黄	○
475		J15-h7	楕円	北	115	81	24	2.5Y4/2 暗灰黄	○
479	J15-h7	円		95	87	26	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳中期	
502	J15-h8	円		490	450	78	図16	平安後期	
508	J15-i 6	円		109	89	24	2.5Y4/3 オリーブ褐	古墳中期	
537	J15-j 8	円?		128	?	25	2.5Y4/2 暗灰黄	古墳後期	
327	98-4	J15-g10	楕円?	北北西	119)	57	18	10YR5/1 褐灰	平安前期
331		J15-h10	不整	北北西	340	176	32	図28	古墳中期

348		J 15-i9	楕円?	東西	(50)	38	20	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期
350	98-4	J 15-i9 他	不整	東西	366	269	23	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期
353		J 15-i10	楕円	北東	(92)	41	16	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
201	98-5	K 15-a3	楕円	東西	142	95	88	10YR6/8 明黄褐	奈良
202		K 15-a3	楕円	東西	217	91	38	2.5Y5/1 黄灰	平安前期
283	98-5 拡	K 16-b2	隅丸方		106	98	27	10YR5/4 にぶい黄褐	平安後期
358	98-6	K 15-b8	楕円	東西	108	79	32	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期?
722		K 16-d2	円		116	106	52	図16	平安後期?
781		K 16-e2	不整	東北東	185	119	10	2.5Y5/3 黄褐	○
822	98-7	K 16-e4 他	不整	北西	142	78	95	2.5Y4/2 暗灰黄	奈良
851		K 16-e3 他	方	北	210	162	15	10YR4/2 灰黄褐	×
862		K 16-f4	楕円	東北東	173	34	26	2.5Y4/2 暗灰黄	○

第IV面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
100		J 15-j2	不整	西北西	78	75	28	10YR5/3 にぶい黄褐	古墳前期
101	98-1	J 15-j2	隅丸方	東西	81	48	25	10YR3/1 黒褐	○
102		J 15-j2	不整	北東	66	35	15	10YR5/3 にぶい黄褐	×
284		J 15-g4	楕円	東西	130	84	29	10YR3/2 黒褐	古墳中期
288		J 15-g4	楕円	東西	114	96	45	図32	古墳中期
299		J 15-g4 他	楕円	東西	82	59	16	10YR5/2 灰黄褐	古墳中期
301		J 15-g4 他	不整	東西	283	101	8	10YR5/2 灰黄褐	○
302	98-2	J 15-h4	不整円		105	97	?	10YR5/2 灰黄褐	×
314		J 15-i4	不整円		100	92	15	2.5Y4/2 暗灰黄	○
318		J 15-j3	不整円		135	128	12	10YR4/2 灰黄褐	○
319		J 15-j3	不整円		113	106	29	10YR3/2 黒褐	○
320		J 15-g4	不整		?	85	27	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期

第V面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
543	98-3	J 15-g8	円		100	90	14	上半は10YR4/2 灰黄褐 下半は5Y4/2 灰オリーブ	○
552		J 15-j6	楕円	北	87	60	24	2.5Y4/2 暗灰黄	○
408	98-4	J 15-g9	円		84	80	24	10YR4/2 灰黄褐	×
409		J 15-j10	不整方	北北西	250	168	32	2.5Y4/2 暗灰黄	×
210	98-5	K 16-a3	楕円	東西	80	33	14	10YR4/3 にぶい黄褐	○
321	98-5 拡	K 16-b3	不整円		315	220	46	図36	奈良
883		K 16-e1	方?		280	?	4	不明	○
889	98-7	K 16-e1	隅丸方		74	63	9	10YR4/2 灰黄褐	×
890		K 16-e2	円		149	143	31	図36	古墳前期
897		K 16-e2 他	不整円		126	109	51	図36	古墳前期

第VIII面の土坑一覧

土坑番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
919	98-7	K 16-d3 他	不整円		79	66	13	10YR4/4 褐	弥生
924		K 16-d4	隅丸方	北	128	70	7	2.5GY4/1 暗オリーブ灰	×

表24 ピット一覧

第I面のピット一覧

ピット番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期	
46	98-5	J16-j3	円		50	42	9	10YR4/2 灰黄褐	○	
55		K16-a3	円		36	29	24	10YR4/3 にぶい黄褐	平安後期	
56		K16-a3	円		54	52	26	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
57		K16-a3	不整円	北	74	61	39	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
58		K16-a3	楕円?	北	?	28	4	10YR3/2 黒褐	○	
59		K16-a3	円		79	71	46	10YR3/3 暗褐	平安前期	
60		K16-a3	円		43	37	34	10YR4/2 灰黄褐	×	
61		K16-a3	円		27	25	8	10YR6/2 灰黄褐	×	
62		K16-a3	隅丸方	北西	45	31	4	10YR5/2 灰黄褐	×	
63		K16-a3	不整	東西	57	46	33	10YR3/2 黒褐	平安後期?	
64		K16-a3	円		34	31	19	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
65		K16-a3	円		41	37	26	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
66		K16-a3	円		57	47	9	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
67		K16-a3	円		27	26	7	10YR3/3 暗褐	平安前期	
68		K16-a3	円		24	22	11	10YR2/2 黒褐	平安前期	
69		K16-a3	楕円		55	32	23	10YR2/2 黒褐	奈良	
70		K16-a4	円		52	45	20	10YR4/2 灰黄褐	○	
71		K16-a4	円		30	28	6	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期	
72		K16-a4	円		48	44	15	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
73		K16-a4	隅丸方	北	80	63	39	10YR3/2 黒褐	平安前期	
74		K16-a4	円		51	48	30	10YR3/3 暗褐	○	
75		K16-a4	円		32	31	5	10YR3/2 黒褐	奈良	
76		K16-a4	円		21	18	14	10YR3/2 黒褐	○	
77		K16-a4	円		24	22	14	10YR3/2 黒褐	○	
78		K16-a4	不整円		52	45	22	10YR4/3 にぶい黄褐	平安前期	
79		K16-a4	楕円	東西	63	40	8	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
80		K16-a4	円		53	48	7	10YR4/2 灰黄褐	平安前期	
81		K16-a4	円		27	24	2	10YR5/2 灰黄褐	○	
82		K16-a4	円		37	33	5	10YR5/3 にぶい黄褐	平安前期	
83		K16-a4	円		43	35	22	10YR5/2 灰黄褐	平安前期	
84		K16-a4	円		37	33	4	10YR5/3 にぶい黄褐	○	
85		K16-a4	円		49	45	15	10YR3/3 暗褐	平安前期	
86		K16-a4	円		41	?	4	10YR5/3 にぶい黄褐	○	
87		K16-a4	円		47	40	9	10YR2/2 黒褐	○	
88		K16-a4	円		34	31	13	10YR4/3 にぶい黄褐	×	
89		K16-a4	円		62	53	10	10YR4/2 灰黄褐	○	
90		K16-a4	円?		36	?	14	10YR2/2 黒褐	×	
557		98-7	K16-d4	円		24	?	10	10YR4/2 灰黄褐	×
558			K16-d4	円		18	18	7	10YR4/2 灰黄褐	×

第II面のピット一覧

ピット番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
109	98-5	J16-j3	隅丸方		56	?	2	10YR4/2 灰黄褐	×
110		J16-j3	円		28	27	15	10YR4/2 灰黄褐	○
111		J16-j3	円		22	21	8	10YR4/2 灰黄褐	○
112		J16-j3	円		27	26	13	10YR4/2 灰黄褐	平安後期?
113		J16-j4	楕円	東西	26	19	7	10YR4/2 灰黄褐	×
114		J16-j4	隅丸方	東西	24	23	9	10YR4/2 灰黄褐	○
115		J16-j4	円		21	20	12	10YR4/2 灰黄褐	○
123		J16-j3	楕円	北東	36	27	6	10YR4/2 灰黄褐	○
124		J16-j4	円		24	23	8	10YR4/2 灰黄褐	○
131		K16-a2	円		31	27	8	10YR3/2 黒褐	○
147		K16-a4	円		60	52	19	10YR3/2 黒褐	平安前期
148		K16-a4	円		34	?	3	10YR3/1 黒褐	○
149		K16-a4	不整	北西	65	45	11	10YR3/2 黒褐	奈良
150		K16-a4	円		31	30	7	10YR4/2 灰黄褐	○
152		K16-a4	円		?	40	19	10YR4/2 灰黄褐	奈良
153		K16-a4	円		46	36	13	10YR3/2 黒褐	○
154		K16-a3	楕円	東西	43	26	4	2.5Y3/2 黒褐	平安前期
155		K16-a3	円		54	50	4	2.5Y3/2 黒褐	平安前期
156		K16-a3	円		49	41	15	2.5Y4/2 暗灰黄	平安前期
157		K16-a3	円		45	43	11	10YR4/2 灰黄褐	平安前期
159	K16-a3	楕円	北東	75	47	9	10YR3/2 黒褐	平安後期	

160		K16-a3	円		60	56	32	10YR3/2	黒褐	平安前期
161		K16-a3	円		41	34	16	10YR3/2	黒褐	平安前期
162		K16-a3	円		34	31	12	10YR3/1	黒褐	平安後期
163		K16-a3	円		64	53	18	10YR4/2	灰黄褐	平安前期
164		K16-a3	円		63	61	33	10YR2/2	黒褐	平安前期
166		K16-a3	楕円		58	41	4	10YR4/2	灰黄褐	奈良
168		K16-a4	円		39	33	3	10YR4/2	灰黄褐	×
169		K16-a4	円		33	30	7	2.5Y3/2	黒褐	○
172		K16-a4 他	円		44	43	19	10YR3/2	黒褐	○
174		K16-a4	円		27	26	4	10YR4/2	灰黄褐	○
175		K16-a4	楕円	北西	66	38	9	10YR3/2	黒褐	奈良
176		K16-a4	円		57	47	12	2.5Y3/2	黒褐	平安前期
177		K16-a4	円		40	36	14	10YR3/2	黒褐	平安前期
178		K16-a4	円		36	34	11	10YR4/2	灰黄褐	×
179	98-5	K16-a4	不整円	北東	58	46	12	10YR4/2	灰黄褐	○
181		K16-a4	円		28	22	12	10YR4/2	灰黄褐	古墳中期?
182		K16-a4	円		57	46	11	2.5Y3/2	黒褐	○
183		K16-a4	円		54	44	10	2.5Y3/1	黒褐	平安前期
184		K16-a4	円		48		5	2.5Y4/2	暗灰黄	○
185		K16-a4 他	円		36	32	7	10YR3/2	黒褐	平安前期
186		J16-b4	不整円		48	29	6	10YR4/2	灰黄褐	×
187		J16-b4	円		34	33	2	10YR4/2	灰黄褐	×
188		J16-b4	不整		56	44	13	10YR4/2	灰黄褐	○
189		J16-b4	楕円	東西	60	39	11	2.5Y3/1	黒褐	平安前期
190		J16-b4	円		17	15	3	10YR4/2	灰黄褐	×
191		J16-b4	楕円	西北西	56	37	15	10YR3/2	黒褐	平安前期
192		J16-b4	不整円	西北西	35	20	8	10YR4/2	灰黄褐	○
193		J16-b4 他	円		46	41	12	10YR3/1	黒褐	平安前期
194		J16-j3	円		16	15	8	10YR3/2	黒褐	×
273		K16-b3	円		24	23	7	10YR3/2	黒褐	○
275		K16-b3	楕円	北	42	29	16	10YR2/2	黒褐	平安前期
276		K16-b3	円?		35	?	14	10YR5/2	灰黄褐	○
279	98-5 拡	K16-b3	円		31	28	10	10YR5/2	灰黄褐	奈良
280		K16-b3	円		28	25	9	10YR5/2	灰黄褐	×
281		K16-b3	円		43	40	8	10YR4/2	灰黄褐	平安後期
282		K16-b3	不整円		35	32	15	10YR5/3	にぶい黄褐	○
574		K16-f2 他	円		44	?	16	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
576		K16-f2 他	円		23	20	9	2.5Y4/2	暗灰黄	○
578		K16-f3	円		30	29	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
579		K16-f3	円		18	17	17	2.5Y4/2	暗灰黄	○
580		K16-f3	楕円	北東	53	37	24	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
581		K16-f3	円		38	37	21	2.5Y4/2	暗灰黄	○
583		K16-f3	円		32	30	23	2.5Y4/1	黄灰	○
584		K16-f3	楕円	東西	72	37	24	2.5Y4/2	暗灰黄	○
585		K16-f4	円		31	25	17	2.5Y4/1	黄灰	○
586		K16-f4	円		40	37	23	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
591		K16-f4	円		22	18	8	2.5Y4/2	暗灰黄	○
593		K16-f4	円		43	?	16	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
594		K16-f4	円		18	16	9	2.5Y3/3	暗オリーブ褐	×
603		K16-e1	楕円	北西	40	29	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
604		K16-e1	円		17	15	15	2.5Y4/1	黄灰	○
605		K16-e2	円		28	25	6	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
606	98-7	K16-e2	楕円	東西	46	25	6	2.5Y4/2	暗灰黄	×
607		K16-e2	円		16	15	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
609		K16-e2	楕円	北	37	22	12	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
610		K16-e2	円		38	34	20	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
611		K16-e3	楕円	北	27	20	15	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
612		K16-e3	円		22	19	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
613		K16-e3	円		25	23	10	2.5Y4/2	暗灰黄	○
614		K16-e3	円		29	27	6	2.5Y4/2	暗灰黄	○
615		K16-e3	円		28	25	12	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
616		K16-e3	円		27	26	14	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
617		K16-e3	円		30	27	15	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
618		K16-e3	円		30	24	10	2.5Y4/1	黄灰	×
619		K16-e3	円		26	24	10	2.5Y4/1	黄灰	×
620		K16-e3	円		27	25	7	2.5Y4/1	黄灰	×
621		K16-e3	円		33	31	20	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
623		K16-e3	楕円		33	22	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×

624		K16-e3	円		30	29	14	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
625		K16-e3	円		20	19	4	2.5Y4/2	暗灰黄	○
626		K16-e3	円		52	49	26	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
627		K16-e3	円		25	21	15	2.5Y4/1	黄灰	○
628		K16-e3	円		45	38	20	2.5Y4/2	暗灰黄	○
629		K16-e3	円		24	22	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×
630		K16-e4	円		35	33	9	2.5Y4/2	暗灰黄	○
631		K16-e4	円		40	34	18	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
632		K16-e4	円		57	?	15	2.5Y4/2	暗灰黄	奈良
633		K16-e4	円		34	?	14	2.5Y4/2	暗灰黄	○
634		K16-e4	円		32	27	16	2.5Y4/1	黄灰	平安前期
635		K16-e4	隅丸方		50	46	26	2.5Y4/1	黄灰	×
636		K16-e4	円		33	32	11	2.5Y4/1	黄灰	奈良
638		K16-d1	円		30	28	6	2.5Y4/2	暗灰黄	×
641		K16-d1	円		46	43	19	2.5Y4/1	黄灰	平安前期
642		K16-d1	楕円	北	42	33	16	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
643		K16-d1	円		24	24	9	2.5Y4/2	暗灰黄	×
644		K16-d1	円		35	30	16	2.5Y4/2	暗灰黄	○
645		K16-d1	円		38	34	9	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
646		K16-d1	円		21	20	11	2.5Y4/2	暗灰黄	○
648		K16-d2	円		23	20	11	2.5Y4/1	黄灰	平安前期
649		K16-d2	円		26	24	9	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
650		K16-d2	円		42	35	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
651		K16-d2	円		45	41	13	2.5Y4/3	オリーブ褐	平安前期
652		K16-d2	円		27	25	7	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
653		K16-d2	円		35	32	15	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
654		K16-d2	円		35	32	16	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
655		K16-d2	円		42	35	11	2.5Y4/2	暗灰黄	○
656		K16-d2	円		23	20	10	2.5Y4/2	暗灰黄	×
657		K16-d2	円		18	15	11	2.5Y4/2	暗灰黄	○
658		K16-d2	円		25	23	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
659		K16-d2	円		30	26	14	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
660		K16-d2	円		53	48	16	2.5Y4/3	オリーブ褐	平安前期
661	98-7	K16-d2	円		25	23	5	2.5Y4/1	黄灰	○
662		K16-d2	円		19	18	10	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
663		K16-d2	円		25	23	5	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
664		K16-d2	円		38	33	18	2.5Y4/2	暗灰黄	○
665		K16-d2	円		25	23	16	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
666		K16-d2	円		28	25	16	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
668		K16-d3	円		49	41	6	2.5Y4/2	暗灰黄	○
669		K16-d3	円		57	53	20	2.5Y4/2	暗灰黄	○
670		K16-d3	円		27	26	12	2.5Y4/1	黄灰	○
674		K16-d3	楕円	北北東	35	27	12	2.5Y4/1	黄灰	×
675	K16-d3	円		39	34	18	2.5Y4/1	黄灰	×	
676	K16-d3	楕円	東西	41	18	7	2.5Y3/1	黒褐	平安前期	
677	K16-d3	円		32	30	12	2.5Y5/3	黄褐	○	
678	K16-d3	円		33	27	16	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期	
679	K16-d3	円		22	20	8	2.5Y4/1	黄灰	×	
680	K16-d3	円		22	21	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
681	K16-d3	円		24	24	10	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
682	K16-d3	楕円	西北西	23	17	4	2.5Y5/3	黄褐	×	
683	K16-d3	円		23	23	9	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
684	K16-d3	円		62	55	21	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
685	K16-d3	円		25	25	11	2.5Y4/1	黄灰	○	
686	K16-d3	不整円		36	31	16	2.5Y4/1	黄灰	○	
687	K16-d3	円		23	22	9	2.5Y4/1	黄灰	○	
688	K16-d3	円		30	29	9	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
689	K16-d3	円		20	18	11	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
691	K16-d3	円		28	27	7	2.5Y4/1	黄灰	○	
692	K16-d3	円		14	13	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
693	K16-d3	円		15	15	6	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
694	K16-d3	円		29	26	11	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
695	K16-d3	円		22	20	10	2.5Y4/3	オリーブ褐	○	
696	K16-d3	円		29	25	12	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
697	K16-d3	円		34	30	4	2.5Y4/3	オリーブ褐	×	
698	K16-d3	円		35	33	17	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
699	K16-d3	円		15	15	4	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
700	K16-d3	円		47	43	12	2.5Y4/3	オリーブ褐	古墳中期	

701	98-7	K16-d3	円		26	24	13	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
702		K16-d3	円		22	18	14	2.5Y4/2	暗灰黄	×
705		K16-d3	円		20	18	3	2.5Y4/1	黄灰	○
707		K16-d4	円		36	32	13	2.5Y5/2	暗灰黄	古墳前期
708		K16-d4	楕円	北	29	22	14	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳前期
709		K16-d4	円		38	37	18	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
711		K16-d4	円		29	28	12	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
712		K16-d4	円		32	27	13	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
716		K16-d4	円		20	19	7	2.5Y4/1	黄灰	○
717		K16-d4	円		25	20	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
718		K16-d4	円		39	37	17	2.5Y4/1	黄灰	平安前期

第Ⅲ面のピット一覧

ピット 番号	調査区	グリッド	平面形	主軸 方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色		時期
2	98-1	J15-h2	円		18	17	10	10YR5/2	灰黄褐	×
3		J15-h2	円		17	15	8	10YR4/2	灰黄褐	×
4		J15-h2	円		18	17	11	10YR6/1	褐灰	×
5		J15-h2	円		17	15	4	10YR6/1	褐灰	○
6		J15-h2	円		21	20	15	10YR4/2	灰黄褐	×
7		J15-h2	円		17	17	7	10YR4/2	灰黄褐	○
8		J15-h2	円		19	16	9	10YR5/1	褐灰	平安後期
9		J15-h2	円		19	19	11	N3/0	暗灰	○
10		J15-h2	円		21	20	9	7.5GY4/1	暗緑灰	×
11		J15-h2	楕円	東西	50	31	13	10YR3/2	黒褐	×
15		J15-h2	円		25	19	5	10YR4/2	灰黄褐	平安前期
17		J15-h2	円		19	18	10	10YR5/2	灰黄褐	×
18		J15-h2	円		40	33	9	10YR5/2	灰黄褐	○
24		J15-i2	円		22	19	8	7.5Y4/1	灰	×
25		J15-i2	円		21	19	11	N3/0	暗灰	×
26		J15-i2	楕円	北	48	27	10	10YR3/2	黒褐	○
27		J15-i2	円		21	20	7	10YR4/2	灰黄褐	×
28		J15-i2	円		19	16	5	10YR5/2	灰黄褐	×
29	J15-i2	円		22	17	9	10YR4/2	灰黄褐	×	
31	J15-i2	円		22	21	11	10YR4/2	灰黄褐	古墳前期?	
36	J15-i2	楕円	東西	54	40	11	10YR5/2	灰黄褐	平安後期	
39	J15-j2	円		22	20	3	10YR4/2	灰黄褐	○	
218	98-2	J15-g3	円		43	41	22	10YR3/2	黒褐	○
219		J15-g3	楕円	北西	78	50	10	10YR4/3	にぶい黄	○
220		J15-g3	隅丸方		?	36	21	10YR3/2	黒褐	奈良?
221		J15-g3	楕円	東北東	75	45	29	10YR4/2	灰黄褐	古墳中期
222		J15-g3	隅丸方		63	61	35	10YR3/2	黒褐	古墳後期
223		J15-g3	隅丸方		?	?	36	10YR3/2	黒褐	古墳中期
224		J15-g3	隅丸方		?	61	27	10YR3/2	黒褐	古墳中期
225		J15-g3	円		25	23	10	10YR4/2	灰黄褐	○
226		J15-g3	円		?	30	14	10YR4/2	灰黄褐	古墳
227		J15-g3	円		53	44	11	10YR4/2	灰黄褐	古墳中期
228		J15-g3	不整円		49	40	11	10YR4/3	にぶい黄	○
229		J15-g3	円		30	28	4	10YR4/2	灰黄褐	○
230		J15-g3	円		55	46	7	10YR5/2	灰黄褐	○
231		J15-g3	円		50	40	19	10YR5/2	灰黄褐	古墳
232		J15-g4	円		40	39	5	10YR4/2	灰黄褐	○
233		J15-g4	円		44	38	7	10YR4/1	褐灰	○
234		J15-g4	円		37	32	7	10YR4/3	にぶい黄	×
239		J15-h3	円		33	30	11	10YR5/2	灰黄褐	○
240	J15-h3	円		41	33	11	10YR5/3	にぶい黄	×	
241	J15-h3	円		36	35	19	10YR3/2	黒褐	○	
259	J15-i4	円?		58	?	17	10YR4/2	灰黄褐	○	
260	J15-i4	隅丸方	東北東	64	57	32	10YR5/2	灰黄褐	○	
261	J15-i4	円		42	40	13	10YR4/2	灰黄褐	○	
262	J15-j3 他	隅丸方	北	71	61	12	10YR4/2	灰黄褐	○	
267	J15-i5	円		45	41	24	10YR4/3	にぶい黄	○	
417	98-3	J15-g6	円		50	45	15	2.5Y4/2	暗灰黄	×
418		J15-g6	円		35	31	15	2.5Y4/2	暗灰黄	○
419		J15-g6	円		61	58	17	2.5Y4/2	暗灰黄	○
420		J15-g6	円		53	49	22	2.5Y4/1	黄灰	×
421		J15-g6	円		63	57	20	2.5Y4/1	黄灰	○

422		J15-g6	円		64	58	16	2.5Y4/1	黄灰	○
423		J15-g6	円		59	48	17	2.5Y4/2	暗灰黄	×
424		J15-g6	円		73	63	33	2.5Y4/1	黄灰	○
425		J15-g6	円		52	?	6	2.5Y4/1	黄灰	○
426		J15-g6	円		76	70	27	2.5Y4/2	暗灰黄	○
427		J15-g6	円		86	78	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×
429		J15-g7	円		41	39	13	2.5Y4/2	暗灰黄	×
431		J15-g7	円?		39	?	14	2.5Y4/2	暗灰黄	×
432		J15-g7	楕円	東北東	68	53	29	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳後期
433		J15-g7	円		66	56	14	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳後期
436		J15-g8	円		68	65	27	2.5Y4/2	暗灰黄	○
438		J15-g8	楕円	北	58	40	18	2.5Y4/2	暗灰黄	○
439		J15-g8	楕円	北北西	74	53	21	2.5Y4/2	暗灰黄	○
441		J15-h6	円		69	55	22	2.5Y4/2	暗灰黄	飛鳥
442		J15-h6	円		26	25	11	2.5Y4/2	暗灰黄	○
444		J15-h6	円		38	33	13	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
445		J15-h6	円		37	33	11	2.5Y4/1	黄灰	○
446		J15-h6	円		63	62	12	2.5Y4/2	暗灰黄	○
447		J15-h6	円		25	22	13	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
449		J15-h6	楕円	北	47	30	25	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
450		J15-h6	円		46	39	22	2.5Y4/3	オリブ褐	○
453		J15-h6	円		22	20	10	2.5Y4/1	黄灰	○
454		J15-h6	円		25	23	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
455		J15-h6	楕円	西北西	47	33	19	2.5Y4/2	暗灰黄	○
456		J15-h6	隅丸方	北北西	65	55	16	2.5Y4/1	黄灰	平安前期
457		J15-h6	円		60	49	24	2.5Y4/2	暗灰黄	○
459		J15-h6	円		28	26	6	2.5Y4/2	暗灰黄	×
460		J15-h6	円		20	16	2	2.5Y4/2	暗灰黄	○
461		J15-h6	円		21	20	6	2.5Y4/2	暗灰黄	○
462		J15-h6	楕円	東西	30	21	10	2.5Y4/1	黄灰	×
463		J15-h6	円		26	25	14	2.5Y4/1	黄灰	○
464		J15-h6	円		25	24	9	2.5Y4/1	黄灰	×
465		J15-h7 他	円		68	58	34	2.5Y4/2	暗灰黄	○
466	98-3	J15-h7	円		25	22	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
467		J15-h7	円		45	45	10	2.5Y4/2	暗灰黄	○
468		J15-h7	円		39	34	20	2.5Y4/2	暗灰黄	○
471		J15-h7 他	円		19	18	16	2.5Y4/2	暗灰黄	×
472		J15-h7 他	円		54	47	24	2.5Y4/2	暗灰黄	○
473		J15-h7	円		38	35	10	2.5Y4/1	黄灰	○
476		J15-h7	円		50	49	12	2.5Y4/1	黄灰	○
477		J15-h7	円		67	59	35	2.5Y4/1	黄灰	古墳中期
478		J15-h7	円		17	15	13	2.5Y4/2	暗灰黄	○
480		J15-h7	円		16	13	6	2.5Y4/1	黄灰	×
483		J15-h7	円		49	47	11	2.5Y4/1	黄灰	○
484		J15-h7	円		30	28	7	2.5Y4/1	黄灰	○
485		J15-h7	楕円	北北西	70	53	6	2.5Y4/2	暗灰黄	○
486		J15-h7	円		66	58	10	2.5Y4/2	暗灰黄	○
487		J15-h7	円		28	25	12	2.5Y4/3	オリブ褐	○
488		J15-h7	円		28	25	12	2.5Y4/1	黄灰	○
489		J15-h7	円		24	22	4	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
490		J15-h7	楕円	北西	31	21	18	2.5Y4/1	黄灰	平安前期
491		J15-h7	円		25	24	12	2.5Y4/3	オリブ褐	×
492		J15-h7	円		31	27	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×
493		J15-h7	円		22	19	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
494		J15-h7	円		26	24	14	2.5Y4/2	暗灰黄	×
495		J15-h7	円		18	17	6	2.5Y4/2	暗灰黄	×
497		J15-h7	不整円		72	58	33	2.5Y4/2	暗灰黄	×
499		J15-h8	円		26	23	10	2.5Y4/2	暗灰黄	×
500		J15-h8	円		59	55	32	2.5Y4/2	暗灰黄	○
501		J15-h8	長方	北	40	32	16	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳中期
503		J15-h8	円		43	42	18	2.5Y4/3	オリブ褐	×
504		J15-h8	円		21	16	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
509		J15-i6	楕円	北	28	20	?	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
510		J15-i6	楕円	北東	36	26	6	2.5Y4/1	黄灰	○
511		J15-i6	楕円	東北東	41	26	20	2.5Y4/2	暗灰黄	○
512		J15-i6	円		25	23	16	2.5Y4/1	黄灰	○
513		J15-i6	円		28	23	20	2.5Y4/1	黄灰	×
514		J15-i6	楕円	北	24	15	18	2.5Y4/1	黄灰	平安前期

515	98-3	J15-i6	円		21	18	11	2.5Y4/1	黄灰	×	
516		J15-i6	円		27	24	19	2.5Y4/1	黄灰	×	
517		J15-i6	円		30	28	17	2.5Y4/1	黄灰	○	
518		J15-i6	円		25	23	17	2.5Y4/1	黄灰	○	
520		J15-i6	円		29	28	11	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期	
521		J15-i6	円		24	22	19	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
522		J15-i6	円		32	29	20	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
523		J15-i6	円		25	24	23	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期	
524		J15-i6	円		34	30	18	2.5Y4/1	黄灰	○	
525		J15-i7	円		22	21	18	2.5Y4/1	黄灰	×	
526		J15-i7	円		25	25	19	2.5Y4/1	黄灰	×	
527		J15-i7	橢円	北西	62	46	42	2.5Y4/1	黄灰	古墳前期	
529		J15-i7	円		48	44	32	2.5Y4/1	黄灰	○	
530		J15-i7	橢円	北北西	36	22	17	2.5Y4/1	黄灰	○	
532		J15-i8	円		26	22	13	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
533		J15-i8	橢円	東北東	48	30	19	2.5Y4/2	暗灰黄	○	
534		J15-i8	円		31	25	14	2.5Y4/2	暗灰黄	×	
328		98-4	J15-g10	円		51	46	34	図29		古墳中期
329			J15-g10	円		68	59	24	2.5Y5/1	黄灰	○
333			J15-h10	円		50	48	5	10YR4/3	にぶい黄	×
334	J15-h10		円		33	33	8	10YR4/3	にぶい黄	○	
347	J15-i9		不整円		60	49	7	10YR5/2	灰黄褐	×	
204	98-5	J16-i4	橢円	北北東	53	39	16	2.5Y5/1	黄灰	奈良	
360		K15-b8	橢円	北西	52	35	12	10YR3/2	黒褐	○	
361	K15-b8	円		30	29	13	10YR3/2	黒褐	○		
362	K15-b8	円		66	56	32	10YR3/2	黒褐	平安前期		
363	K15-b8	円		52	45	17	10YR3/2	黒褐	平安前期		
364	K15-b8	円		49	42	25	10YR4/2	灰黄褐	○		
366	K15-b9	橢円	西北西	75	46	37	10YR3/2	黒褐	奈良		
367	K15-b9	橢円	東北東	70	47	18	10YR3/2	黒褐	○		
368	K15-c8	円		41	35	12	10YR3/2	黒褐	○		
369	K15-c8	円		35	34	11	10YR3/2	黒褐	平安前期		
370	K15-c8	円		25	25	9	10YR3/2	黒褐	×		
371	K15-c8	円		22	20	10	2.5Y5/2	暗灰黄	×		
372	K15-c8	円		53	50	27	2.5Y4/1	黄灰	○		
374	K15-c8	円		48	45	17	10YR4/3	にぶい黄	○		
375	K15-c8	円		27	25	10	10YR5/3	にぶい黄	○		
376	K15-c8	円		43	42	10	10YR4/2	灰黄褐	平安前期		
377	K15-c8	円		55	44	31	2.5Y4/3	オリブ褐	平安前期		
378	K15-c8	橢円	北北東	82	50	42	10YR3/2	黒褐	○		
379	K15-c9	橢円	東西	74	45	21	10YR3/2	黒褐	平安前期		
380	K15-c9	円		45	40	17	10YR4/2	灰黄褐	○		
381	K15-c9	円		46	37	21	10YR3/2	黒褐	○		
382	K15-c9	円		47	37	17	10YR4/2	灰黄褐	平安前期		
383	98-6	K15-c9	円		50	49	16	10YR4/3	にぶい黄	○	
384		K15-c9	円		39	34	23	10YR3/3	暗褐	○	
385		K15-c9	円		32	29	34	10YR3/2	黒褐	○	
386		K15-d8 他	円		33	30	19	10YR4/2	灰黄褐	×	
387		K15-d9	円		23	23	15	10YR4/2	灰黄褐	○	
390		K15-b8	不整		53	38	?	不明(未掘)		×	
391		K15-b8	円		29	22	?	不明(未掘)		×	
392		K15-b8	橢円	北北東	45	31	?	不明(未掘)		×	
393		K15-b8	円		27	26	?	不明(未掘)		×	
394		K15-b8	円		33	27	?	不明(未掘)		×	
395		K15-b8 他	円		27	22	?	不明(未掘)		×	
396		K15-b8	橢円	東西	52	18	?	不明(未掘)		×	
397		K15-b8	円		25	22	?	不明(未掘)		×	
398		K15-b8	円		19	17	?	不明(未掘)		×	
399		K15-b8	円		26	22	?	不明(未掘)		×	
400		K15-b8	円		29	24	?	不明(未掘)		×	
401		K15-b8	円		13	11	?	不明(未掘)		×	
402	K15-b9	円		30	26	?	不明(未掘)		×		
403	K15-b8 他	円		15	13	?	不明(未掘)		×		
404	K15-b9	円		11	10	?	不明(未掘)		×		
405	K15-b9	円		21	20	?	不明(未掘)		×		
406	K15-c9	円		44	41	?	不明(未掘)		×		
407	K15-c9	橢円	北	70	30	?	不明(未掘)		×		
724	98-7	K16-d1	隅丸方		41	40	7	2.5Y4/2	暗灰黄	○	

725		K16-d1	円		29	27	11	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
726		K16-d1	円		29	28	19	2.5Y4/3	オリーブ褐	平安前期
727		K16-d1	他 円		30	30	8	2.5Y6/3	にぶい黄	○
728		K16-d1	楕円		24	15	15	2.5Y4/2	暗灰黄	○
729		K16-d1	円		46	42	36	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
730		K16-d1	円		24	22	11	2.5Y5/3	黄褐	×
731		K16-d1	円		23	22	12	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳中期
732		K16-d1	円		25	24	10	2.5Y4/2	暗灰黄	×
733		K16-d1	楕円	北北西	60	44	20	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
734		K16-d2	円		26	24	12	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
735		K16-d2	楕円	東北東	52	31	19	2.5Y6/3	にぶい黄	平安前期
736		K16-d2	円		33	?	20	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
737		K16-d2	円		25	22	10	2.5Y4/2	暗灰黄	○
738		K16-d2	楕円	北	51	33	5	2.5Y6/3	にぶい黄	古墳前期
739		K16-d2	楕円	北	49	33	17	2.5Y4/2	暗灰黄	古墳前期
740		K16-d2	円?		73	?	79	2.5Y4/1	黄灰	平安後期
741		K16-d2	円		43	41	21	2.5Y4/2	暗灰黄	○
742		K16-d2	円		25	24	12	2.5Y4/2	暗灰黄	○
743		K16-d2	円		26	25	10	2.5Y4/1	黄灰	×
744		K16-d2	円		22	20	4	2.5Y5/2	暗灰黄	×
745		K16-d2	円		20	19	4	2.5Y5/2	暗灰黄	×
746		K16-d2	円		30	27	12	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
747		K16-d2	円		26	25	6	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
748		K16-d2	円		33	27	8	2.5Y6/3	にぶい黄	○
749		K16-d2	円		32	25	11	2.5Y6/3	にぶい黄	×
750		K16-d2	円		19	18	9	2.5Y6/3	にぶい黄	×
751		K16-d2	円		25	25	9	2.5Y6/3	にぶい黄	×
752		K16-d3	円		43	37	14	図30		×
753		K16-d3	円		33	31	17	2.5Y5/3	黄褐	古墳前期
754		K16-d3	円		38	36	18	2.5Y5/2	暗灰黄	×
755		K16-d3	円		33	29	19	2.5Y4/3	オリーブ褐	平安前期
756		K16-d3	円		39	37	19	2.5Y6/3	にぶい黄	×
757		K16-d3	円		17	17	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
758		K16-d3	円		52	49	19	2.5Y6/3	にぶい黄	×
759	98-7	K16-d3	円		51	46	22	2.5Y6/3	にぶい黄	×
760		K16-d3	円		26	25	5	図30		×
761		K16-d3	円		41	38	10	2.5Y5/3	黄褐	×
762		K16-d3	円		26	23	4	2.5Y5/3	黄褐	×
763		K16-d3	他 楕円	北東	62	44	23	5Y4/2	灰オリーブ	○
764		K16-d3	他 円		33	29	22	2.5Y5/1	黄灰	×
765		K16-d4	円		29	27	17	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
766		K16-d4	円		31	28	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×
767		K16-d4	円		30	30	19	図30		×
768		K16-d4	円		36	30	18	2.5Y4/2	暗灰黄	×
769		K16-d4	円		30	25	15	図30		×
770		K16-d4	円		31	25	17	図30		×
771		K16-d4	円		39	33	21	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
772		K16-e1	円		64	56	24	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
773		K16-e1	楕円	東西	39	22	14	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
774		K16-e2	他 円		31	31	15	2.5Y6/3	にぶい黄	○
775		K16-e2	円		35	29	12	2.5Y6/3	にぶい黄	○
776		K16-e2	円		56	52	29	2.5Y4/2	暗灰黄	平安後期
777		K16-e2	円		33	31	11	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
778		K16-e2	円		29	21	9	2.5Y5/1	黄灰	×
779		K16-e2	円		24	23	8	2.5Y6/3	にぶい黄	×
780		K16-e2	円		19	18	8	2.5Y4/2	暗灰黄	○
782		K16-e2	円		29	24	11	2.5Y4/2	暗灰黄	平安前期
783		K16-e2	円		29	27	9	2.5Y6/3	にぶい黄	×
784		K16-e2	円		37	34	6	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
785		K16-e2	円		37	?	7	2.5Y4/2	暗灰黄	○
786		K16-e2	楕円	東西	44	25	10	2.5Y4/2	暗灰黄	×
787		K16-e2	円		31	26	18	2.5Y5/2	暗灰黄	×
789		K16-e2	円		18	18	9	2.5Y5/2	暗灰黄	×
790		K16-e2	円		24	21	15	2.5Y4/2	暗灰黄	×
791		K16-e3	円		20	19	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
794		K16-e3	円		26	24	10	2.5Y3/3	暗オリーブ褐	○
795		K16-e3	円		21	19	6	2.5Y4/4	オリーブ褐	×
796		K16-e3	円		?	53	31	5Y4/2	灰オリーブ	○

797		K16-e3	円		47	42	26	2.5Y4/2	暗灰黄	○
798		K16-e3	円		17	14	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
799		K16-e3	円		36	33	15	図30		×
800		K16-e3	円		24	23	8	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
801		K16-e3	円		25	24	3	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
802		K16-e3	円		31	29	15	図30		×
803		K16-e3	円		29	29	14	2.5Y4/2	暗灰黄	×
804		K16-e3	円		23	22	15	2.5Y4/2	暗灰黄	○
805		K16-e3	円		20	20	8	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
806		K16-e3	円		28	27	10	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
807		K16-e3	円		22	21	13	2.5Y5/2	暗灰黄	○
808		K16-e3	円		25	24	12	2.5Y4/2	暗灰黄	×
809		K16-e4	円		19	17	8	2.5Y5/2	暗灰黄	×
810		K16-e4	円		23	20	9	図30		×
811		K16-e4	円		21	19	11	2.5Y5/2	暗灰黄	○
812		K16-e4	楕円	東西	33	24	12	2.5Y5/2	暗灰黄	×
813		K16-e4	円		22	21	11	2.5Y4/2	暗灰黄	×
814		K16-e4	円		23	22	11	2.5Y6/2	灰黄	×
815		K16-e4	円		28	27	16	2.5Y5/2	暗灰黄	○
816		K16-e4	円		24	23	15	2.5Y4/2	暗灰黄	○
817		K16-e4	隅丸方	北	42	37	13	2.5Y5/2	暗灰黄	×
818		K16-e4	円		25	23	5	2.5Y5/2	暗灰黄	×
819		K16-e4	円		25	23	14	2.5Y5/2	暗灰黄	×
820		K16-e4	円		23	21	14	2.5Y5/2	暗灰黄	×
821		K16-e4	円		19	18	12	2.5Y5/1	黄灰	×
823		K16-e4	円		25	22	10	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
824		K16-e4	円		26	25	11	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
825		K16-e4 他	隅丸方	北	45	35	20	5Y4/2	灰オリーブ	×
826	98-7	K16-e4	隅丸方	北	34	30	14	2.5Y4/2	暗灰黄	○
827		K16-f2	円		28	25	17	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
828		K16-f2	円		24	21	9	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
829		K16-f2	不整円	北北東	50	37	7	2.5Y5/2	暗灰黄	×
830		K16-f2	隅丸方		29	28	8	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
831		K16-f2	円		31	28	13	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
832		K16-f3	円		19	19	8	2.5Y4/2	暗灰黄	×
833		K16-f3	円		27	26	13	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
834		K16-f3	円		26	23	15	2.5Y4/2	暗灰黄	○
835		K16-f3	円		27	23	8	2.5Y5/3	黄褐	×
836		K16-f3	円		24	20	8	2.5Y5/3	黄褐	×
837		K16-f3	円		33	29	5	2.5Y4/3	オリーブ褐	○
838		K16-f3	円		23	20	9	2.5Y4/2	暗灰黄	×
839		K16-f3	円		21	20	12	2.5Y5/2	暗灰黄	×
840		K16-f3	円		24	21	13	2.5Y5/2	暗灰黄	×
841		K16-f4	円		34	30	19	2.5Y5/1	黄灰	○
842		K16-f4	円		?	32	13	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
843		K16-f4	円		40	32	10	2.5Y5/1	黄灰	×
847		K16-e2	円		22	19	13	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
848		K16-e2	円		42	37	16	2.5Y4/2	暗灰黄	○
849		K16-e2	円		26	24	9	2.5Y4/2	暗灰黄	×
853		K16-e3	円		36	29	4	2.5Y4/4	オリーブ褐	×
854		K16-e3	円		45	44	6	2.5Y5/4	黄褐	×
855		K16-e3	円		28	27	4	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
856		K16-e2	円		19	18	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
858		K16-f2	円		37	36	13	2.5Y4/4	オリーブ褐	○
859		K16-e3	円		23	20	4	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
860		K16-f3	円		31	29	7	2.5Y4/2	暗灰黄	×
861		K16-e4	不整円	東西	52	40	5	2.5Y4/3	オリーブ褐	×
863		K16-d4	円?		29	?	8	2.5Y4/4	オリーブ褐	×

第IV面のピット一覧

ピット番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
94	98-1	J15-g2	円		65	?	34	N4/0 灰	近世
95		J15-h2	円		48	47	32	N4/0 灰	平安前期
96		J15-h2	楕円	東西	63	50	34	N4/0 灰	古墳前期
97		J15-i1	不整円	北北西	52	46	31	10YR5/3 にぶい黄褐	×
99		J15-i1	円		46	46	9	10YR4/1 褐灰	○

285		J15-g4	楕円	北東	20	17	4	10YR4/2 灰黄褐	×
286		J15-g4	円		25	25	9	10YR4/2 灰黄褐	○
287		J15-g4	楕円	西北西	41	26	7	10YR4/2 にぶい黄褐	○
289		J15-g4	円		20	19	8	10YR4/2 灰黄褐	×
290		J15-g4	隅丸方		50	48	13	10YR5/2 灰黄褐	古墳中期
291		J15-g4	円		30	29	13	2.5Y5/2 暗灰黄	○
292		J15-g4	円		15	15	10	10YR4/2 灰黄褐	○
293		J15-g4	円		29	?	8	2.5Y5/3 黄褐	○
294		J15-g4	円		40	38	10	10YR4/2 灰黄褐	○
295		J15-g4	円		56	52	31	10YR5/2 灰黄褐	○
296		J15-g4	円		53	51	15	2.5Y5/2 暗灰黄	○
297	98-2	J15-g5	円		41	39	22	10YR4/2 灰黄褐	古墳中期
298		J15-g5	円		19	18	3	10YR5/2 灰黄褐	○
303		J15-h4	楕円	北	41	34	?	10YR4/2 灰黄褐	○
304		J15-h4	不整円	北北西	45	42	?	10YR5/2 灰黄褐	○
305		J15-h4	円		33	32	?	10YR4/2 灰黄褐	○
306		J15-h5	円		32	30	12	10YR4/2 灰黄褐	○
307		J15-h5 他	円		30	30	20	10YR5/2 灰黄褐	○
308		J15-h5 他	円		20	19	11	2.5Y4/2 暗灰黄	×
311		J15-h4	円		17	16	?	2.5Y4/2 暗灰黄	○
312		J15-h5	円		16	15	7	10YR4/2 灰黄褐	×
313		J15-h5	楕円	北北西	40	29	11	10YR4/2 灰黄褐	○
934		J15-g4	楕円	北西	46	35	9	2.5Y5/2 暗灰黄	×

第V面のピット一覧

ピット番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
199	98-1	J15-i2	楕円	東西	18	15	8	10YR4/2 灰黄褐	×
539		J15-g6	楕円	北	30	25	?	10YR3/2 黒褐	×
540		J15-g7	楕円	西北西	43	35	?	2.5Y4/3 オリーブ褐	×
541		J15-g8	円		31	31	12	10YR4/2 灰黄褐	○
542		J15-g8	円		38	35	16	2.5Y4/2 暗灰黄	○
544		J15-g8	不整	北西	50	43	11	10YR4/3 にぶい黄褐	○
545		J15-g8	円		72	72	18	10YR3/1 黒褐	古墳中期
546	98-3	J15-h7	円		22	22	8	2.5Y4/2 暗灰黄	○
547		J15-h8	円		58	55	22	10YR4/2 灰黄褐	○
548		J15-h8	楕円	北	77	65	46	10YR4/3 にぶい黄褐	○
550		J15-h8	円		24	23	7	10YR4/3 にぶい黄褐	○
551		J15-h8	円?		50	?	21	10YR4/2 灰黄褐	×
553		J15-j6	円		69	66	10	10YR3/2 黒褐	古墳後期
554		J15-i8	円		24	22	?	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
206		J16-j3 他	円		50	46	6	10YR4/2 灰黄褐	○
207		J16-j3 他	円		46	45	11	10YR4/1 褐灰	○
208		J16-j4	円		47	43	3	2.5Y4/3 オリーブ褐	○
212	98-5	K16-a3	円?		22	?	5	10YR4/3 にぶい黄褐	奈良
213		K16-b3	?		?	?	15	10YR3/2 黒褐	○
214		K16-b3	楕円	東西	70+	29	9	10YR4/2 灰黄褐	奈良
215		K16-b3	円		38	35	20	2.5Y3/2 黒褐	○
411		K15-b9	楕円	北西	48	34	13	10YR4/2 灰黄褐	×
412	98-6	K15-c9	円		25	25	3	10YR3/2 黒褐	×
413		K15-c9	円		25	25	6	10YR3/1 黒褐	×
867		K16-d1	楕円	北	41	29	10	10YR4/2 灰黄褐	○
868		K16-d2	円		54	49	41	10YR4/4 褐	○
872		K16-d3 他	楕円	北西	75	52	24	10YR4/3 にぶい黄褐	○
874		K16-d2	円		15	13	6	10YR4/2 灰黄褐	×
875		K16-d2	楕円	北東	38	?	6	10YR5/1 褐灰	×
876		K16-d2	円		21	21	9	10YR4/2 灰黄褐	○
880		K16-d3	?		48	?	16	10YR4/2 灰黄褐	×
884	98-7	K16-e1	円		19	18	6	10YR4/1 褐灰	×
885		K16-e1	円		30	30	10	10YR4/2 灰黄褐	×
886		K16-e1	楕円	東北東	45	30	10	10YR4/2 灰黄褐	×
887		K16-e1	円		22	20	11	10YR4/2 灰黄褐	×
888		K16-e1	円		34	33	4	10YR4/2 灰黄褐	×
891		K16-e2	楕円	東北東	29	24	8	10YR4/2 灰黄褐	×
892		K16-e2	円		23	22	10	10YR4/2 灰黄褐	×
893		K16-e2	円		21	20	7	10YR4/2 灰黄褐	×
894		K16-e2	円		30	29	7	10YR4/2 灰黄褐	○

895	98-7	K16-e2	円		22	19	9	10YR5/6 黄褐	×
896		K16-e2	楕円	北東	32	23	8	10YR4/2 灰黄褐	×
898		K16-e3	楕円	北	71	58	28	10YR5/2 灰黄褐	○
899		K16-e3	円		19	18	7	10YR5/4 にぶい黄褐	×
900		K16-e3	円		12	12	6	10YR5/2 灰黄褐	○
901		K16-e3 他	円		20	19	7	10YR4/3 にぶい黄褐	×
902		K16-e4	楕円	北北西	29	19	8	10YR4/2 灰黄褐	×
904		K16-f2	円		22	20	11	10YR4/2 灰黄褐	×
905		K16-f2	不整円	北北東	39	25	10	10YR4/2 灰黄褐	×
906		K16-f2	円		26	23	10	10YR4/2 灰黄褐	×
907		K16-f2	円		20	19	10	10YR4/2 灰黄褐	×
908		K16-f2	円		18	17	11	10YR4/2 灰黄褐	×
909		K16-f2	円		12	11	6	10YR4/2 灰黄褐	×
911		K16-f3	円		15	15	3	10YR5/2 灰黄褐	×
912		K16-f3	円		30	29	20	10YR4/2 灰黄褐	×
913		K16-f4	円		10	9	3	10YR4/3 にぶい黄褐	×
914		K16-f4	楕円	東西	37	20	7	10YR4/4 褐	×
915		K16-f4	楕円	東西	27	19	9	5GY4/1暗オリブ灰	○
917		K16-d3	円		21	20	4	10YR4/4 褐	×

第八面のピット一覧

ピット番号	調査区	グリッド	平面形	主軸方向	長径 cm	短径 cm	深さ cm	埋土の色	時期
920	98-7	K16-d3	円		28	28	11	2.5GY3/1暗オリブ灰	×
921		K16-d4	円		32	28	13	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
922		K16-d4 他	円		37	32	11	2.5GY4/1暗オリブ灰	○
923		K16-d4	円		28	28	15	2.5GY4/1暗オリブ灰	○
925		K16-d4	楕円	北東	52	42	15	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
926		K16-d4	円		39	35	8	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
928		K16-e1	円		36	32	33	2.5GY4/1暗オリブ灰	弥生後期
929		K16-e2	円		35	33	35	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
930		K16-f1	円		11	10	3	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
931		K16-f1	円		27	25	19	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
932		K16-f2	円		30	29	27	2.5GY4/1暗オリブ灰	×
933		K16-f2	円		20	18	27	2.5GY4/1暗オリブ灰	×

表22～24の凡例

- * 主軸方位は南からみて長軸がのびる方向
- * 検出長 () は現状
- * 埋土の色 「図」は別図を参照のこと
- * 埋土の土質はすべてシルト
- * 時期 (○) 遺物はあるが時期不明 (×) 出土遺物なし
- * 平安時代は黒色土器A類までを前期、瓦器出現以降を後期とする

表25 遺物観察表

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1	I	ピット55	K16a3-IV	黒色土器B類碗		口径(12.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
2	I	ピット55	K16a3-IV	土師器碗B	佐藤II新~III古	口径(11.8) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
3	I	ピット59	K16a3-IV	土師器碗B	佐藤II新~III古	口径12.4 器高3.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
4	I	ピット79	K16a4-III	土師器碗A	佐藤II新	口径10.6 器高2.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
5	I	ピット89	K16a4-III	土師器甕		口径(15.8) 器高(12.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
6	II	溝569	K16d1•e1•f1	瓦器碗	尾上II-1~2	口径(18.0) 器高(6.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
7	II	溝569	K16d1•e1•f1	瓦器碗	尾上II-1~2	底径(6.8) 器高(2.3)	
8	II	溝569	K16d1•e1•f1	土師器小皿		口径(10.0) 器高1.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
9	II	溝569	K16d1•e1•f1	土師器甕D		口径(18.0) 器高(1.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
10	II	溝122	K16j3-IV	土師器皿A	佐藤II古	口径(15.3) 器高(2.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
11	II	井戸560	K16e2-III	瓦器碗	尾上II-1頃	口径(16.0) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
12	II	井戸560	K16e2-III	瓦器碗	尾上I-3頃	口径(14.4) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
13	II	井戸560	K16e2-III	瓦器碗		底径(6.0) 器高(1.6)	
14	II	井戸560	K16e2-III	土師器皿A?		口径(14.2) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
15	II	井戸560	K16e2-III	土師器皿A		口径(15.6) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
16	II	井戸560	K16e2-III	白磁碗	11世紀中~12世紀初頃	底径5.0 器高(2.3)	
17	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器碗	尾上I-2	口径15.2 器高5.8	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
18	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器碗	尾上I-2	口径(15.7) 器高(6.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
19	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器碗	尾上I-2	口径15.2 器高(5.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
20	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器碗	尾上I-2	口径16.1 器高(4.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
21	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器碗		底径6.3 器高(1.4)	
22	II	井戸561	K16e2-III f2- I	瓦器小皿		口径9.0 器高2.3	外:ヨコナデ
23	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器小皿		口径9.5 器高2.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
24	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器小皿		口径9.3 器高1.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
25	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器小皿		口径9.4 器高1.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
26	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器小皿		口径(10.0) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
27	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器小皿		口径(9.8) 器高(1.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
28	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器皿A		口径15.5 器高3.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
29	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器羽釜		口径(19.8) 器高(8.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
30	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器羽釜		口径(23.0) 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
31	II	井戸561	K16e2-III f2- I	土師器羽釜		口径(25.6) 器高(8.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
32	II	井戸564	K16e2-IV	瓦器碗	尾上I-2	口径(15.2) 器高6.3	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
33	II	井戸564	K16e2-IV	瓦器碗	尾上I-2	口径(16.6) 器高(4.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
34	II	井戸564	K16e2-IV	瓦器碗	尾上I-2	口径(15.1) 器高(4.7)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
35	II	井戸564	K16e2-IV	土師器小皿		口径(8.5) 器高(1.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
36	II	井戸564	K16e2-IV	土師器小皿		口径(9.4) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
37	II	井戸564	K16e2-IV	土師器小皿		口径9.8 器高2.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
38	II	井戸567	K16f4- I	瓦器碗	尾上I-2	口径(16.4) 器高(4.5)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
39	II	井戸567	K16f4- I	土師器皿		口径(15.2) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
40	II	井戸567	K16f4- I	土師器皿	平安時代	口径(16.8) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

計測値のうち、口径・底径・裾部径・体部径・頸部径の（ ）は復原値を、器高・高さの（ ）は復原値もしくは残存値を表す。

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ヘラミガキ 内:ハケ後ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ	外:黄灰 内:黒褐	微細な長石を多量含む		1
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:浅黄橙	0.5～1mmの砂粒多量含む		2
外:不調整 内:ナデ	外:高台粗雑 内:ナデ	外:にぶい褐 内:黒褐	3mm以下の砂粒含む	内面煤付着	3
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい橙	2mm以下の砂粒含む		4
外:ハケ、不調整 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	4mm以下の砂粒含む		5
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ナデ 内:平行状暗文	外:灰 内:灰白	密	和泉型	6
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ナデ 内:平行状暗文	外:灰 内:灰	密	和泉型	7
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	密		8
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:暗赤褐	密		9
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:連弧状暗文	外:橙 内:橙	微細な砂粒含む	内面焼成後線刻	10
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:不調整 内:格子状暗文	外:黄灰 内:黄灰 断:灰白	密	和泉型	11
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:暗灰 内:暗灰 断:灰白	密	和泉型	12
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰 断:灰	密	和泉型	13
外:不調整、竹管文? 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙 断:灰黄	微細な砂粒含む	内面煤付着	14
外:不調整 内:ナデ		外:黄灰 内:黄灰 断:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	内面煤付着	15
	外:施釉、高台回転ヘラケズリ 内:施釉	外:灰白 内:灰白 断:灰白	密		16
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、内:ヘラミガキ	外:灰白 内:灰白	微細な砂粒中量含む	和泉型 外面体部に×印 底部に+印を施す	17
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:黒 内:灰	～1mmの砂粒多量含む	和泉型 外面焼成後線刻	18
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:暗灰 内:灰	微細な砂粒多量含む	和泉型	19
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:暗灰 内:灰	微細な砂粒多量含む	和泉型	20
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:平行状暗文	外:灰 内:灰	微細な砂粒含む	和泉型	21
外:強いヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:灰 内:灰	密		22
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	内面煤付着	23
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～4mmの砂粒含む		24
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		25
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		26
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄色 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		27
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄 内:にぶい黄	密		28
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～3.5mmの砂粒含む	外面被熱の為赤変、 内面口縁煤付着	29
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:褐 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	内面体部煤付着	30
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙 断:灰白	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	31
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む	和泉型	32
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:灰 内:灰	微細な砂粒含む	和泉型	33
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:灰 内:黒褐	微細な砂粒多量含む	和泉型	34
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	微細な砂粒含む		35
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	微細な砂粒含む		36
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	砂粒含む		37
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰	～5mmの石粒含む	和泉型	38
外:不調整、ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙	密		39
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密	外面焼成後線刻	40

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
41	II	井戸567	K16f4-I	土師器甕C		口径(25.2) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
42	II	井戸567	K16f4-I	土師器甕B	奈良時代	口径(25.8) 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ハケメ後ヨコナデ
43	II	井戸567	K16f4-I	井戸杵(曲物)		直径39.4 高さ32.0	
44	II	井戸567	K16f4-I	井戸杵(曲物)		直径38.7 高さ(20.7)	
45	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.4) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
46	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径12.6 器高3.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
47	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.2) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
48	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.2) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
49	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(13.6) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
50	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(14.6) 器高(3.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
51	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(12.2) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
52	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(14.2) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
53	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(13.2) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
54	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(14.2) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
55	II	井戸566	K16e4-III	黒色土器A類碗	佐藤II古~中	口径(16.2) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
56	II	井戸566	K16e4-III	黒色土器B類碗		口径(11.6) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
57	II	井戸566	K16e4-III	土師器甕		口径(16.0) 器高(10.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
58	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径13.8 器高3.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
59	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.0) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
60	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(11.4) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
61	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.2) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
62	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.6) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
63	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(15.4) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
64	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(15.6) 器高(3.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
65	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(16.8) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
66	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(15.1) 器高4.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
67	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II中	口径(15.2) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
68	II	井戸565	K16e4-III	土師器皿A	佐藤II中	口径(13.8) 器高(2.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
69	II	井戸565	K16e4-III	土師器皿A	佐藤II中	口径(13.4) 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
70	II	井戸565	K16e4-III	土師器皿A	佐藤II中	口径(14.0) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
71	II	井戸565	K16e4-III	土師器皿A	佐藤II中	口径(14.6) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
72	II	井戸565	K16e4-III	土師器皿A	佐藤II中	口径(13.4) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
73	II	井戸565	K16e4-III	黒色土器A類碗	佐藤II中	口径(14.8) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
74	II	井戸565	K16e4-III	黒色土器A類皿	佐藤II中	口径(11.0) 器高(1.7)	外:ヨコナデ、沈線1条 内:ヨコナデ
75	II	井戸565	K16e4-III	黒色土器B類硯		器高(5.2)	
76	II	井戸565	K16e4-III	黒色土器A類鉢		体部径(25.5) 器高(11.8)	
77	II	井戸565	K16e4-III	須恵器小形壺		底径3.4 器高(8.4)	
78	II	井戸565	K16e4-III	須恵器壺		底径(9.2) 器高(9.2)	
79	II	井戸565	K16e4-III	須恵器壺		底径(8.8) 器高(11.2)	
80	II	井戸565	K16e4-III	土錘		最大長3.8 最大幅1.7 孔径0.6 重量8.6g	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:不調整、一部ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		41
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄	～1mmの砂粒含む		42
				ほぼ完形品	43
					44
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密		45
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	密		46
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		47
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		48
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ 内:-	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	密	白色を呈する	49
外:不調整 内:ナデ	外:高台ナデ(痕跡程度) 内:-	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		50
外:不調整 内:ナデ	外:高台ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		51
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		52
外:不調整 内:ナデ	外:高台ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		53
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		54
外:ヘラケズリ 内:ヘラミガキ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		55
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:暗灰 内:黒褐 断:暗灰	密		56
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒多量含む		57
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～4mmの砂粒含む		58
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい褐 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む		59
外:不調整 内:ナデ		外:明赤褐 内:明赤褐	微細な砂粒含む		60
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		61
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～5mmの砂粒含む		62
外:不調整 内:ナデ	外:高台ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		63
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		64
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		65
外:不調整 内:ナデ	外:高台ナデ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		66
外:不調整 内:ナデ			微細な砂粒含む		67
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		68
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐 断:灰黄	～6mmの砂粒含む		69
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	微細な砂粒含む		70
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		71
外:不調整 内:ナデ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		72
外:不調整、ヘラケズリ 内:ヘラミガキ、暗文	外:高台ナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい橙 内:黒 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		73
外:ヘラケズリ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい褐 内:暗灰 断:灰黄褐	密		74
外:- 内:沈線1条、ヘラミガキ	外:脚をヘラケズリ8角形に面取り 内:-	外:黒 内:黒 断:灰	1mmの砂粒少量含む	風字硯	75
外:調整不明 内:ナデ、ヘラミガキ	外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい褐 内:暗灰 断:灰黄褐	密	高台欠損 外面黒斑あり	76
外:回転ナデ、ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:糸切り痕 内:回転ナデ	外:黄灰 内:黄灰	～4mmの砂粒含む		77
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		78
外:回転ヘラケズリ後ナデ 内:回転ナデ	外:糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む	内外面底部煤付着	79
外:ナデ		外:にぶい黄橙 内:	微細な砂粒含む		80

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
81	II	井戸565	K16a4-III	土錘		最大長4.2 最大幅1.5 孔径0.4 重量7.0g	
82	II	土坑570	K16e1-IV f1-II	土師器碗B	佐藤II古	口径(16.0) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
83	II	土坑570	K16e1-IV f1-II	土師器碗A	佐藤II古	口径(13.6) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
84	II	土坑570	K16e1-IV f1-II	土師器碗A	佐藤II古	口径(13.6) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
85	II	土坑570	K16e1-IV f1-II	土師器甕D		口径(17.4) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
86	II	土坑570	K16e1-IV f1-II	土師器小皿		口径(9.0) 器高(1.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
87	II	土坑568	K16f4-I・II	土師器小皿		口径(10.0) 器高(1.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
88	II	土坑608	K16e2-III	須恵器甕	中村I-3 (田辺TK208)	体部径(12.4) 器高(7.9)	
89	II	土坑608	K16e2-III	土師器碗形高坏		口径15.4 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
90	II	土坑608	K16e2-III	土師器有段高坏	辻4段階 (田辺TK208~47)	口径(21.2) 器高(14.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
91	II	土坑577	K16f3-I	土師器有段高坏	辻3段階 (田辺TK73~216)	口径24.2 器高(13.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
92	II	土坑577	K16f3-I	土師器有段高坏	辻3段階 (田辺TK73~216)	口径(23.2) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
93	II	土坑577	K16f3-I	土師器碗形高坏		口径(15.0) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
94	II	土坑577	K16f3-I	土師器高坏		裾径9.4 器高(5.9)	
95	II	土坑577	K16f3-I	韓式系土器有蓋高坏		口径(13.7) 器高(12.7)	外:受部あり ヨコナデ 内:ヨコナデ
96	II	土坑577	K16f3-I	韓式系土器高坏		裾径(11.0) 器高(7.2)	
97	II	土坑577	K16f3-I	土師器甕		口径(12.0) 器高(7.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
98	II	土坑577	K16f3-I	土師器甕		口径(13.0) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
99	II	土坑577	K16f3-I	土師器甕		口径(15.0) 器高(4.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
100	II	ピット177	K16a4-III	土師器碗A	佐藤II中	口径(12.5) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
101	II	ピット177	K16a4-III	土師器小形甕		口径(7.8) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
102	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器碗A	佐藤II古	口径13.6 器高3.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
103	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器碗A	佐藤II古	口径14.0 器高3.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
104	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器碗A	佐藤II古	口径(13.0) 器高(3.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
105	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器碗A	佐藤II古	口径(13.4) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
106	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器碗B	佐藤II古	口径(14.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
107	II	落ち込み138	K16b-II他	黒色土器A類碗		口径(13.8) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
108	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器皿A		口径(11.2) 器高(2.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
109	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器坏A	平城宮IV以降	口径(14.4) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
110	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器皿A	平城宮III頃	口径(19.6) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
111	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器高坏	9世紀以降	口径(33.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
112	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器甕D	9世紀以降	口径(16.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
113	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器甕D	9世紀以降	口径(23.0) 器高(6.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
114	II	落ち込み138	K16b-II他	土師器鉢		口径(36.0) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
115	III	溝330	J15	須恵器無蓋高坏			
116	III	溝330	J15	須恵質土管		底径(15.4) 器高(11.3)	
117	III	溝330	J15	須恵器甕	5世紀前半	体部径(30.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
118	III	溝332	J15g10 J15h10	須恵器碗	中村I-2~3 (田辺TK216~208)	口径8.0 器高(5.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
119	III	溝235	J15g3・h3	土師器碗形高坏		口径10.4 器高(5.0)	外:調整不明 内:調整不明
120	III	溝793	K16	土師器甕	下田所~才の元	口径(13.0) 器高(2.8)	外:ヨコナデ、櫛描横線文7条 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ		外:灰白 内:灰褐	微細な砂粒含む		81
外:不調整 内:ナデ、連弧状暗文	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ、暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい褐	～3mmの砂粒含む		82
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		83
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		84
外:ナデ 内:ナデ		外:明赤褐 内:にぶい橙 断:橙	～1.5mmの砂粒含む		85
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰白	～1mmの砂粒含む		86
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		87
外:カキメ後ナデ 内:ナデ、透孔1方向		外:灰白 内:灰	～1mmの砂粒含む		88
外:調整不明 内:ナデ		外:浅黄橙 内:橙	粗 ～5mmの砂粒含む		89
外:ハケ後ナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後放射状暗文	外:面取り風ナデ 内:ヘラケズリ 透孔4方向	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	内外面口縁部煤付着	90
外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ナデ後放射状暗文	外:ヘラナデ 内:ヘラケズリ 透孔2方向	外:にぶい橙 内:灰白	密 ～2mmの砂粒含む		91
外:ハケメ 内:ハケメ		外:橙 内:にぶい黄橙 断:褐灰	～1mmの砂粒含む	内面煤付着	92
外:ハケ後ナデ 内:ハケ、ナデ後放射状暗文		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		93
	外:ナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ハケメ、ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～3mmの砂粒多く含む		94
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:回転ナデ、凸線1条 内:ナデ 透孔4方向	外:黒色 内:黒色 断:灰黄褐	微細な砂粒含む	黒色を呈する	95
	外:ヘラミガキ、回転ナデ、凸線 1条 内:ナデ 透孔3方向?	外:褐灰 内:褐灰	～2mmの砂粒含む	黒色を呈する	96
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:浅黄 内:にぶい黄橙 断:灰白	密		97
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		98
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	～4mmの砂粒含む		99
外:不調整 内:ナデ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		100
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		101
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:淡黄橙	～1mmの砂粒含む	内面焼成後線刻	102
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		103
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		104
外:不調整 内:ナデ		外:明赤褐 内:橙	～6mmの砂粒含む		105
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヘラケズリ後ナデ	外:にぶい橙 内:橙 断:橙	密		106
外:ナデ 内:ヘラミガキ		外:にぶい黄橙 内:暗灰 断:にぶい黄橙	密		107
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰白	密		108
外:不調整 内:ナデ		外:橙 内:灰褐 断:橙	密		109
外:ヘラケズリ 内:ナデ後放射状暗文		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	密		110
外:不調整 内:ナデ後不規則な暗文		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		111
外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:灰黄褐 内:灰黄褐 断:にぶい橙	密		112
外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい褐	密		113
外:ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	密		114
外:回転ナデ、ヘラ切り痕 内:回転ナデ		外:青灰 内:灰		把手付、内面自然釉、 外面焼成前ヘラ記号	115
外:ナデ、不調整 内:ナデ、ヘラケズリ		外:青灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	用途不明	116
外:回転ナデ、縄文タタキ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:赤褐R	密		117
外:波状文1条、手持ちヘラケズリ 後ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	密	把手付、内面自然釉付着	118
外:調整不明、稜あり 内:調整不明		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい橙	密	口縁部意図的な欠損、 内面煤付着	119
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む	吉備系	120

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
121	Ⅲ	溝326	J15g9 J15g10	須恵質凸帯付埴状土製品		最大長11.1	
122	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ	土師器有段高坏	原田庄内Ⅲ	裾部径(14.9) 器高(13.3)	
123	Ⅲ	住居857	K16f3-I	土師器有段高坏	原田庄内Ⅲ	口径(21.8) 器高(7.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
124	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ	土師器有段高坏	原田庄内Ⅲ	裾部径(13.0) 器高(9.1)	
125	Ⅲ	住居857	K16f3-I	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	口径10.1 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
126	Ⅲ	住居857	K16e2-IV	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	口径9.7 器高10.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
127	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	口径(9.0) 器高7.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
128	Ⅲ	住居857	K16e2-IV	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	口径(10.0) 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
129	Ⅲ	住居857	K16f3-I 他	土師器鼓形器台	原田庄内Ⅲ	底径(11.4) 器高(3.4)	
130	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ	土師器壺(V様式系)	原田庄内Ⅲ	底径(4.3) 器高(6.2)	
131	Ⅲ	住居857	K16f3-I	土師器甕(庄内式)	原田庄内Ⅲ	口径16.4 器高21.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
132	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ 他	土師器甕(庄内式)	原田庄内Ⅲ	口径(14.8) 器高(7.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
133	Ⅲ	住居857	K16e3-Ⅲ	土師器甕(庄内式)	原田庄内Ⅲ	口径(13.2) 器高(11.4)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
134	Ⅲ	住居857	K16e2-IV	土師器甕(布留式祖形)	原田庄内Ⅲ	口径12.7 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
135	Ⅲ	住居857	K16f3-I	土師器甕(V様式系)	原田庄内Ⅲ	底径4.4 器高(4.7)	
136	Ⅲ	住居857	K16e2-IV 他	砥石		最大長10.3 最大幅3.6×3.6 重量274.6	
137	Ⅲ	住居865	K16e4-I	土師器碗形高坏	原田庄内Ⅲ	口径11.7 器高9.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
138	Ⅲ	住居865	K16e4-I	土師器碗形高坏	原田庄内Ⅲ	口径(9.3) 器高7.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
139	Ⅲ	住居865	K16e4-I	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	口径(9.7) 器高8.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
140	Ⅲ	住居865	K16e4-I 他	土師器小形器台	原田庄内Ⅲ	裾径(11.0) 器高(6.7)	
141	Ⅲ	住居865	K16e4-I	土師器壺(V様式系)	原田庄内Ⅲ	口径17.6 器高(9.7)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
142	Ⅲ	住居865	K16d3-IV d4-Ⅲ	土師器複合口縁壺	原田庄内Ⅲ	口径(25.6) 器高(6.5)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
143	Ⅲ	住居865 上層	K16d4-Ⅲ	土師器直口壺	原田庄内Ⅲ	体部径(27.0) 器高(25.6)	
144	Ⅲ	住居865 上層	K16d4-Ⅲ	土師器複合口縁壺	原田庄内Ⅲ	口径22.4 器高39.3	外:ヨコナデ、ハケ後ナデ 内:ヨコナデ
145	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(15.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
146	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(15.4) 器高(5.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
147	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(15.9) 器高(4.9)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
148	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器皿		口径(15.2) 器高(2.4)	外:2段ナデ 内:ヨコナデ
149	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器皿		口径(15.2) 器高(2.3)	外:2段ナデ 内:ヨコナデ
150	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	瓦器小皿		口径(9.4) 器高(2.3)	外:2段ナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
151	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器小皿		口径9.2 器高1.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
152	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	須恵器甕		口径(19.8) 器高(6.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
153	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	須恵器壺		頸部径(10.4)	外:粗い回転ナデ、凸帯1条 内:粗い回転ナデ
154	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器羽釜		口径(28.2) 器高(17.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
155	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器羽釜		口径(28.7) 器高(18.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
156	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器羽釜		口径(25.4) 器高(13.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
157	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器羽釜		口径(27.1) 器高(11.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
158	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	土師器羽釜		口径(28.0) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
159	Ⅲ	井戸507	J15i6-I	須恵器甕		口径(32.8) 器高(11.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
160	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	瓦器小皿		口径9.9 器高2.3	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
表:凸帯を貼り付け 裏:ナデ		灰白～灰	～2mmの砂粒含む	用途不明	121
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヨコヘラミガキ後タテヘラミガキ	外:ハケ後ヘラナデ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ後ナデ 透孔3方向	外:浅黄橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	黒斑(口縁、脚裾)あり	122
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヨコヘラミガキ後タテヘラミガキ		外:橙 内:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		123
外:調整不明 内:調整不明、ナデ	外:面取り風ヘラナデ 内:調整不明 透孔4方向	外:橙 内:橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		124
外:ヘラナデ後ヘラミガキ 内:調整不明	外:ハケメ、ヘラナデ後ヘラミガキ 内:ナデ 透孔4方向	外:橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		125
外:ヘラミガキ 内:調整不明	外:ハケメ、ヘラナデ後ヘラミガキ 内:ハケメ 透孔3方向	外:橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		126
外:ヨコヘラミガキ 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明 透孔4方向	外:橙 内:橙	～4mmの砂粒含む	外面黒斑あり	127
外:ヘラナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:ヘラナデ後ヘラミガキ 内:絞り目 透孔3方向?	外:橙 内:にぶい褐	～2mmの砂粒含む	外面口縁、内面一部煤付着	128
	外:ヨコナデ、凸帯? 内:ヘラミガキ、ナデ、ヘラケズリ	外:浅黄橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒多量含む		129
外:タタキ、ハケ後ヘラミガキ 内:ハケメ	外:底面剥離 内:ハケメ	外:にぶい褐 内:暗灰	～3mmの砂粒含む		130
外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:黄褐 内:暗灰黄	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産	131
外:タタキ後ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:黄灰	～2mmの砂粒含む		132
外:ハケメ 内:ハケメ、一部ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密	外面体部煤付着	133
外:ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		134
外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:橙 内:灰白	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり 外面焼成前線刻	135
直方体 6面とも使用痕が残る					136
外:ヘラミガキ 内:ヨコヘラミガキ後タテヘラミガキ	外:ヘラナデ後ヘラミガキ 内:ハケメ 透孔4方向	外:明褐 内:灰黄	～2mmの砂粒含む		137
外:ヨコヘラミガキ 内:ヨコヘラミガキ	外:ヘラナデ、ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ、ハケメ 透孔4方向	外:明赤褐 内:明赤褐	～0.5mmの砂粒含む		138
外:ヘラナデ、横ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラナデ、ヨコヘラミガキ 内:ハケメ 透孔4方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～4mmの砂粒含む		139
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:ヘラナデ、ヨコヘラミガキ 内:絞り目、ハケメ 透孔3方向	外:橙 内:明赤褐	～1mmの砂粒含む		140
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～10mmの砂粒含む	外面口縁部煤付着	141
		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄褐 断:灰黄	～4mmの砂粒含む	全体に煤付着 黒光り	142
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:灰白 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり 蓋に転用	143
外:タタキ、ハケメ、波状ヘラミガキ 内:V字状当て具痕、ヘラケズリ	外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:黄灰 断:灰	～3mmの砂粒含む 結晶片岩	阿波系 内面口縁煤付着 黒光り 土器棺に転用	144
外:不調整、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:オリーブ黒 内:オリーブ黒 断:灰白	密	和泉型	145
外:不調整、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:黄灰 内:明褐灰	密	和泉型 黒色化せず	146
外:不調整、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:灰 内:灰	～0.5mmの砂粒含む	和泉型	147
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:褐灰	密	内外面煤付着	148
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい褐	密		149
外:ヘラミガキ、ナデ 内:ヘラミガキ		外:オリーブ黒 内:オリーブ黒 断:灰白	密		150
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		151
外:平行タタキ後ナデ 内:回転ナデ		外:暗灰 内:暗灰	～3mmの砂粒含む		152
外:粗い回転ナデ 内:ナデ		外:橙灰 内:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	東播系 二次焼成	153
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:橙	～3mmの砂粒含む		154
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい褐	～4mmの砂粒含む	口縁煤付着	155
外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	口縁煤付着	156
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:灰白	～2mmの砂粒含む		157
外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:明褐灰 内:浅黄橙 断:淡橙	密		158
外:平行タタキ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		159
外:不調整 内:ヘラミガキ	外:不調整 内:格子状暗文	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		160

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
161	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器皿		口径15.3 器高2.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
162	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器皿		口径(15.2) 器高(1.8)	外:2段ナデ 内:ヨコナデ
163	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器皿		口径(16.0) 器高(2.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
164	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器皿		口径(13.6) 器高(2.4)	外:2段ナデ 内:ヨコナデ
165	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器小皿		口径(10.6) 器高(1.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
166	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器小皿		口径(9.4) 器高(1.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
167	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器小皿		口径(10.4) 器高(1.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
168	Ⅲ	井戸255	J15h5-II	土師器小皿		口径(9.0) 器高(1.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
169	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	瓦器碗	尾上I-2	口径15.5 器高6.7	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
170	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	瓦器碗	尾上I-2	口径(15.6) 器高(7.0)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
171	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	瓦器碗	尾上II-1	口径(14.8) 器高(5.9)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
172	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	瓦器碗	尾上II-1~2	口径(16.0) 器高(4.6)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
173	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	瓦器鉢		口径(20.0) 器高(7.1)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
174	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器皿		口径(12.9) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
175	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径9.6 器高1.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
176	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径9.8 器高1.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
177	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径(9.1) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
178	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径(9.4) 器高(1.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
179	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径(9.0) 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
180	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土師器小皿		口径9.2 器高1.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
181	Ⅲ	井戸528	J15i7-II	土錘		最大長5.5 最大幅2.5 孔径0.7 重量29.8g	
182	Ⅲ	井戸531	J15i8-I	瓦器碗		口径(14.8) 器高(5.5)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:沈線1条、ヘラミガキ
183	Ⅲ	井戸531	J15i8-I	瓦器小皿		口径9.5 器高1.9	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
184	Ⅲ	井戸531	J15i8-I	土師器小皿		口径9.3 器高1.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
185	Ⅲ	井戸531	J15i8-I	土師器小皿		口径9.1 器高1.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
186	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	黒色土器B類碗		口径15.4 器高5.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
187	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	黒色土器B類碗		口径12.2 器高4.5	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
188	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	土師器碗B	佐藤II新	口径12.1 器高3.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
189	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	土師器碗B?	佐藤II新	口径(12.6) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
190	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	土師器碗A	佐藤II新	口径10.9 器高2.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
191	Ⅲ	井戸844	K16e1-I	土師器碗A	佐藤II新	口径11.2 器高3.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
192	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器碗A	平城宮VI	口径15.8 器高4.1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後連弧状暗文
193	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器碗A	平城宮VI	口径(15.2) 器高(4.5)	外:2段ナデ 内:ヨコナデ後連弧状暗文
194	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器碗A	平城宮VI	口径13.4 器高3.6	外:ヨコナデ 内:ナデ
195	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器皿		口径10.4 器高1.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
196	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器小皿		口径8.8 器高1.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
197	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器羽釜		口径(33.0) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
198	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器甕C		口径13.5 器高9.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
199	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	土師器甕C		口径13.1 器高9.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
200	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	須恵器壺		底径9.2 器高(2.7)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:不調整 内:ナデ、ハケメ		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～1mmの砂粒含む		161
外:不調整 内:ナデ、ハケメ		外:灰黄 内:灰黄	密		162
外:不調整 内:ハケメ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		163
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～2.5mmの砂粒含む		164
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		165
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄 内:灰黄	～4mmの砂粒含む		166
外:不調整 内:ナデ		外:黄灰 内:淡黄	～4mmの砂粒含む		167
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		168
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:暗灰	密	和泉型 外面焼成後線刻	169
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:暗灰 内:灰	密	和泉型 外面焼成後線刻	170
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:暗文?	外:灰 内:灰白	密	和泉型	171
外:調整不明 内:調整不明		外:暗灰 内:暗灰	密	和泉型	172
外:ヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ		外:灰 内:黄灰	～1mmの砂粒含む		173
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:にぶい橙			174
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:灰黄	微細な砂粒含む		175
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:褐灰	微細な砂粒含む		176
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		177
外:不調整 内:ナデ		外:淡橙 内:灰白	～1mmの砂粒含む		178
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	微細な砂粒含む		179
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	微細な砂粒含む	完形品	180
ナデ		外:灰黄	微細な砂粒含む		181
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台欠損 内:平行状暗文	外:灰 内:灰	微細な砂粒含む	楠葉型	182
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:不調整 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰	微細な砂粒含む		183
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:淡橙	～0.5mmの砂粒含む		184
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰白	～2mmの砂粒含む		185
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰 断:黒褐	～1mmの砂粒含む		186
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:暗灰 内:暗灰 断:灰	密		187
外:不調整 内:ナデ	外:痕跡的な高台 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:灰白	密	完形品	188
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい褐	密		189
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい褐 内:灰黄 断:にぶい黄橙	密	意図的に口縁欠損、 体部穿孔	190
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい赤褐	密	内面モミ圧痕 完形品	191
外:不調整、ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	密		192
外:不調整、ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		193
外:不調整、ヘラミガキ 内:ナデ		外:橙 内:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		194
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄 内:灰黄	～2mmの砂粒含む	完形品	195
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	完形品 口縁部煤付着	196
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:灰黄褐	～3mmの砂粒含む		197
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:灰褐	微細な砂粒含む	内外面煤付着	198
外:不調整 内:ナデ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む	完形品 内外面煤付着	199
	外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	微細な砂粒含む	転用硯 外面底部に墨付着	200

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
201	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	須恵器壺M		底径4.2 器高(9.1)	端部欠損 外:回転ナデ 内:回転ナデ
202	Ⅲ	井戸723	K16	土師器坏C	平城宮Ⅲ	口径20.6 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
203	Ⅲ	井戸723	K16	土師器甕C		口径(14.8) 器高(12.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
204	Ⅲ	井戸723	K16	土師器ミニチュア 高坏		裾部径(5.5) 器高(4.2)	
205	Ⅲ	井戸723	K16	須恵器平瓶		底径15.2 器高(11.0)	
206	Ⅲ	井戸723	K16	須恵器壺L		口径(6.8) 器高(15.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
207	Ⅲ	井戸788	K16e2-IV	土師器甕(庄内式)	原田庄内Ⅲ～布留I	口径(24.6) 器高(7.6)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
208	Ⅲ	井戸788	K16e2-IV	土師器壺?		底径4.4 器高(4.5)	
209	Ⅲ	井戸788	K16e2-IV	棒状土錘		最大長8.5 最大幅1.8 孔径0.4 重量30.9g	
210	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	井戸杵材①		最大幅28.0 高さ15.4	
211	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	井戸杵材②		最大幅33.0 高さ13.5	
212	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	井戸杵材③		最大幅33.5 高さ16.6	
213	Ⅲ	井戸1	J15i2-I	井戸杵材④		最大幅34.0 高さ13.5	
214	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(15.1) 器高(5.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
215	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(16.3) 器高(6.5)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
216	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-1?	口径14.0 器高5.8	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
217	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-1?	口径14.5 器高5.7	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
218	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径15.3 器高5.9	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
219	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(15.0) 器高(5.8)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
220	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-1～2	口径(16.2) 器高(5.7)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
221	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(14.4) 器高(5.9)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
222	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2～2	口径15.0 器高5.7	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
223	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径14.6 器高6.2	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
224	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-1?	口径15.6 器高5.5	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
225	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(16.2) 器高(5.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
226	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅱ-1	口径(15.4) 器高(6.1)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
227	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗	尾上Ⅰ-3	口径(15.0) 器高(5.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
228	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器碗		底径(6.6) 器高(1.2)	
229	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	瓦器小皿		口径(10.0) 器高(2.3)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
230	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器小皿		口径(9.8) 器高(1.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
231	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器小皿		口径10.0 器高1.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
232	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器小皿		口径9.6 器高1.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
233	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器小皿		口径10.3 器高2.1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
234	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器小皿		口径(10.8) 器高(2.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
235	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器台付小皿		口径10.0 器高3.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
236	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器台付小皿		底径6.2 器高(5.0)	
237	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器皿		口径15.0 器高3.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
238	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器皿		口径14.4 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
239	Ⅲ	土坑443	J15h6-I	土師器皿		口径14.4 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
240	Ⅲ	土坑502	J15h8-IV	瓦器碗	尾上Ⅱ-2	口径(16.0) 器高(5.7)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:高台ヨコナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	外面自然釉付着 焼成前ヘラ記号	201
外:不調整、ヘラケズリ 内:ヨコナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ、ラセン状暗文	外:にぶい黄褐 内:灰黄褐	微細な砂粒含む		202
外:ナデ 内:ナデ		外:オリーブ黒 断:にぶい赤褐	微細な砂粒含む	内外面煤付着	203
	外:ナデ 内:ナデ	外:暗灰黄 内:灰オリーブ	～1mmの砂粒含む		204
外:ナデ、回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ、回転ナデ	外:灰 内:黒褐	密	把手欠損	205
外:回転ナデ 内:調整不明	外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	密	外面上部自然釉付着	206
外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:黄灰 内:暗灰	～1mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	207
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:黒	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	208
穿孔2ヶ所		外:明赤褐 内:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		209
					210
					211
					212
					213
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型 外面焼成前線刻	214
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰白 内:灰	～0.5mmの砂粒含む	和泉型	215
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:暗灰 内:暗灰	密	和泉型	216
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:灰	密	和泉型 完形品	217
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰白 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	218
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:暗灰 内:暗灰 断:灰白	密	和泉型	219
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	220
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ 内:格子状暗文	外:灰白 内:灰白	密 微細な砂粒含む	和泉型 白色を呈する	221
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	222
外:ヘラミガキ 内:調整不明	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰白 内:暗灰	密	和泉型 完形品 付着物著しい	223
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰白 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	224
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰白 内:灰白	～6mmの砂粒含む	和泉型	225
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	226
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:暗灰	密 微細な砂粒含む	和泉型	227
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:暗灰	密	和泉型	228
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:暗灰	密		229
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄橙 断:灰黄	密		230
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰白	密		231
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰黄褐	密		232
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:にぶい橙 断:灰白	密		233
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙 断:灰白	密		234
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密		235
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	密	脚部煤付着	236
外:不調整 内:ナデ		外・内・断:にぶい橙	密		237
外:不調整 内:ナデ		外・内・断:にぶい橙	密		238
外:ナデ 内:ナデ		外・内・断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		239
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰白 内:灰 断:灰白	密	和泉型	240

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
241	Ⅲ	土坑502	J15h8-Ⅳ	土師器小皿		口径9.2 器高1.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
242	Ⅲ	土坑502	J15h8-Ⅳ	土師器小皿		口径9.6 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
243	Ⅲ	土坑722	J16d2-Ⅰ	土師器小皿		口径9.5 器高1.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
244	Ⅲ	土坑452	J15h6-Ⅱ	瓦器碗	尾上Ⅰ-3	口径(14.0) 器高(5.4)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ後へラミガキ
245	Ⅲ	土坑452	J15h6-Ⅱ	土師器碗		口径(12.7) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
246	Ⅲ	土坑452	J15h6-Ⅱ	土師器小皿		口径(10.6) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
247	Ⅲ	土坑452	J15h6-Ⅱ	土師器小皿		口径(9.9) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
248	Ⅲ	土坑452	J15h6-Ⅱ	土師器皿		口径(15.0) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
249	Ⅲ	土坑202	K16a-Ⅱ・Ⅳ	土師碗A	佐藤Ⅱ古	口径(13.0) 器高(3.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
250	Ⅲ	土坑201	K16a3-Ⅱ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(18.4) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
251	Ⅲ	土坑201	K16a3-Ⅱ	土師器甕C		口径(8.4) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
252	Ⅲ	土坑537	J15j8-Ⅳ	須恵器坏蓋	中村Ⅱ-1(田辺MT15)	口径12.5 器高4.4	外:回転ナデ 内:回転ナデ
253	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(13.0) 器高(5.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
254	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.0) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
255	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(11.8) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
256	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.0) 器高(5.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
257	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器無蓋高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(17.2) 器高(5.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
258	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器有蓋高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(9.6) 器高(5.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
259	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	裾部径9.4 器高(5.4)	
260	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	須恵器高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	裾部径(9.7) 器高(4.4)	
261	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	土師器碗		口径(13.4) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
262	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	土師器碗		口径(14.4) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
263	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	土師器高坏		裾部径(9.6) 器高(7.0)	
264	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	土師器甕		口径(11.8) 器高(5.3)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
265	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	土師器甕		口径(15.2) 器高(11.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
266	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	製塩土器	丸底Ⅰ式	口径(6.0) 器高(2.6)	外:ナデ 内:ナデ
267	Ⅲ	土坑331	J15h10-Ⅰ・Ⅲ	製塩土器	丸底Ⅰ式	口径(4.0) 器高(3.6)	外:ナデ 内:ナデ
268	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(13.0) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
269	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径12.5 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
270	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.4) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
271	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.0) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
272	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.8) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
273	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径11.5 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
274	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(11.7) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
275	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(11.2) 器高(5.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
276	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器無蓋高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(17.8) 器高(6.5)	外:回転ナデ 内:調整不明
277	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器有蓋高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(12.6) 器高(6.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
278	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	裾部径9.2 器高(6.7)	
279	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	裾部径(10.0) 器高(6.6)	
280	Ⅲ	土坑350	J15i9-Ⅱ J15i10-Ⅰ	須恵器高坏	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	裾部径(10.2) 器高(6.9)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	密		241
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む		242
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:にぶい赤褐	密		243
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰 断:灰白	密	和泉型	244
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:淡橙	0.5～4mmの砂粒含む		245
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～0.5mmの砂粒含む		246
外:不調整 内:ナデ		外:淡橙 内:淡橙	～3mmの砂粒含む		247
外:不調整 内:ナデ		外:明褐灰 内:灰白	微細な砂粒含む		248
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	微細な砂粒含む	内面黒色を呈する	249
外:ナデ後ヘラケズリ 内:ナデ、放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ナデ、ラセン状暗文	外:にぶい赤褐 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		250
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:浅黄 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		251
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、当て具痕		外:灰 内:灰	～3.5mmの砂粒含む		252
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		253
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		254
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		255
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	密	外面焼成前ヘラ記号 内面自然釉付着	256
外:回転ナデ、波状文1条、凸帯2 条、鋸歯状の刻目 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	把手付 内面自然釉付着	257
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	透孔3方向	外:暗灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	受部自然釉付着	258
	外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	～5mmの砂粒含む		259
	外:回転ナデ 内:回転ナデ、凸帯1条	外:灰 内:灰	～6mmの砂粒含む	外面自然釉付着	260
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		261
外:ナデ 内:ナデ、ハケメ後ヘラケズリ		外:橙 内:淡橙	～3mmの砂粒含む		262
	外:ヘラナデ、ナデ 内:絞目、ハケメ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		263
外:ハケメ 内:ハケメ、ナデ		外:にぶい橙 内:黒褐	～2mmの砂粒含む	外面二次焼成 内面煤付着	264
外:ハケメ 内:ナデ		外:赤褐 内:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		265
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	密		266
外:ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰	密		267
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:褐灰	密		268
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:青灰 内:青灰	密		269
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	～3mmの砂粒含む		270
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		271
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密		272
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む	受部に自然釉付着	273
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:暗灰	密		274
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		275
外:回転ナデ、波状文1条、凸帯 3条、カキメ 内:調整不明		外:灰 内:暗オリーブ灰	～1.5mmの砂粒含む	把手付 内面自然釉付着	276
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰赤	微細な砂粒含む		277
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		278
	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		279
	外:回転ナデ、カキ目 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	脚端部自然釉付着 天地逆の焼成?	280

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
281	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	須恵器壺 or 甗	中村 I-3 (田辺TK208)	口径(13.4) 器高(4.5)	外:回転ナデ、凸帯3条、波状文3条 内:回転ナデ
282	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	須恵器高坏形器台	中村 I-3 (田辺TK208)		外:回転ナデ、凸帯4条 内:回転ナデ
283	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	須恵器高坏形器台	中村 I-3 (田辺TK208)	口径(35.0) 器高(8.0)	外:回転ナデ、波状文4条、凸帯4条 内:回転ナデ
284	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器碗形高坏		口径12.6 器高(10.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
285	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器碗形高坏		口径12.9 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
286	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器碗形高坏		口径(14.0) 器高(5.2)	外:調整不明 内:調整不明
287	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器大形有段高坏	辻4段階 (田辺TK208~47)	口径(20.4) 器高(7.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
288	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器高坏		裾部径(10.0) 器高(8.4)	
289	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器高坏		裾部径9.2 器高(6.6)	
290	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器高坏		裾部径(9.3) 器高(7.0)	
291	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器高坏		裾部径9.0 器高(6.2)	
292	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器甕		口径(12.2) 器高(15.5)	外:調整不明 内:調整不明
293	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器甕		口径(12.0) 器高(12.1)	外:調整不明 内:調整不明
294	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器小形甕		口径(9.8) 器高(7.8)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ
295	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器小形甕		口径(8.8) 器高(9.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
296	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器小形甕		口径(7.7) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
297	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	土師器甗		口径(29.2) 器高(7.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
298	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	軟質系土器鉢		口径(47.0) 器高(29.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
299	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	製塩土器	丸底I式	口径(3.6) 器高(3.8)	外:ナデ 内:ナデ
300	Ⅲ	土坑350	J15i9-II J15i10-I	製塩土器	丸底I式	口径(3.8) 器高(3.6)	外:ナデ 内:ナデ
301	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径12.5 器高4.5	外:回転ナデ 内:回転ナデ
302	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径13.2 器高4.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
303	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.4) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
304	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
305	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
306	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.6) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ、沈線1条
307	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.5) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
308	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(11.6) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
309	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(12.2) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
310	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(12.3) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
311	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(11.8) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
312	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(12.0) 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
313	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(12.7) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
314	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(12.5) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
315	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	器高(4.0)	
316	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(11.6) 器高(5.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
317	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径12.3 器高5.4	外:回転ナデ 内:回転ナデ
318	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器有蓋高坏蓋	中村 I-2 (田辺TK216)	口径13.0 器高5.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
319	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径9.6 器高4.7	外:回転ナデ 内:回転ナデ
320	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径10.0 器高5.2	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
		外:灰白 内:灰白 断:浅黄橙	密	白色を呈する	281
		外:灰 内:灰	密	内面自然釉付着	282
		外:暗灰 内:灰	密	外面自然釉付着	283
外:調整不明 内:ヘラミガキ	外:ナデ 内:ナデ、布目? 透孔1方向	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～5mmの砂粒含む		284
外:調整不明 内:ヘラミガキ		外:明赤褐 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		285
外:調整不明 内:調整不明		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		286
外:調整不明、沈線1条、ナデ 内:調整不明		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	287
外:ハケメ 内:調整不明	外:調整不明 内:ナデ、絞り目	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～5mmの砂粒含む		288
	外:ヘラナデ 内:ナデ、絞り目	外:橙 内:橙	～4mmの砂粒含む		289
	外:ヘラナデ 内:絞り目、ナデ、ハケメ	外:明赤褐 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		290
	外:ヘラナデ 内:ナデ、絞り目	外:にぶい橙 内:橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		291
外:調整不明、ハケメ 内:調整不明、ヘラケズリ		外:橙 内:橙	密		292
外:調整不明、ハケメ 内:調整不明、ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		293
外:ハケメ 内:ハケ、ナデ後ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい橙 断:灰白	～2mmの砂粒含む		294
外:調整不明、ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:橙 内:浅黄橙	～5mmの砂粒含む		295
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙	～0.5mmの砂粒含む		296
外:ハケメ 内:ハケメ、ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着	297
外:ハケメ 内:ハケメ		外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	298
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい黄橙	～4.5mmの砂粒含む		299
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙 断:灰白	密		300
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	～1mmの砂粒含む		301
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		302
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		303
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	密		304
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、当て具痕		外:灰 内:灰	密	外面自然釉付着	305
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密		306
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	密		307
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ヘラナデ		外:灰 内:灰	密		308
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む		309
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:にぶい黄 内:灰	微細な砂粒含む		310
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		311
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:赤灰 内:灰	密		312
外:ヘラケズリ、ナデ 内:ナデ		外:明褐灰 内:灰黄 断:灰白	密		313
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ、刺突 状尻痕4ヶ所 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰白	～1mmの砂粒含む		314
外:回転ナデ、刺突文2条、凸帯 3条、波状文3条 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	密		315
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰白 内:灰 断:灰	密		316
外:回転ヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	微細な砂粒含む		317
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:黄灰 内:灰 断:灰白	～1.5mmの砂粒含む		318
外:手持ちヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		319
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		320

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
321	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.0) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
322	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径11.4 器高4.6	外:回転ナデ 内:回転ナデ
323	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.6) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
324	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.4) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
325	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径11.3 器高5.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
326	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径10.6 器高4.6	外:回転ナデ 内:回転ナデ
327	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(9.6) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
328	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径10.8 器高4.5	外:回転ナデ 内:回転ナデ
329	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.1) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
330	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.4) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
331	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.2) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
332	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(9.0) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
333	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.3) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
334	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(11.0) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
335	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.5) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
336	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(9.8) 器高(4.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
337	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径9.6 器高4.4	外:回転ナデ 内:回転ナデ
338	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.0) 器高(3.4)	
339	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(9.8) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
340	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(9.6) 器高(8.7)	
341	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.0) 器高(7.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
342	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(13.1) 器高(9.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
343	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径14.6 器高9.8	外:回転ナデ 内:回転ナデ
344	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器有蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.6) 器高(8.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
345	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器有蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.0) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
346	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(14.0) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
347	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(11.8) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
348	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(15.0) 器高(5.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
349	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(16.8) 器高(7.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
350	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(9.6) 器高(5.6)	
351	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(10.5) 器高(5.9)	
352	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(10.0) 器高(5.9)	
353	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(10.2) 器高(5.2)	
354	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(9.0) 器高(5.7)	
355	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(8.6) 器高(5.2)	
356	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(9.6) 器高(6.7)	
357	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(12.0) 器高(5.2)	
358	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	裾部径(10.4) 器高(4.4)	
359	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器壺	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(10.2) 器高(15.3)	外:回転ナデ、凸帯2条、波状文2条 内:回転ナデ
360	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器碗	中村 I-2 (田辺TK216)	口径11.6 器高6.6	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:暗青灰 内:灰	密		321
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:暗灰 内:灰赤 断:灰赤	～3mmの砂粒含む		322
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密		323
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		324
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、当て具痕		外:灰 内:灰	密		325
外:回転ヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密	外面底部火襷あり	326
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	～3mmの砂粒含む		327
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		328
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2.5mmの砂粒含む	底部歪む	329
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:青灰 内:灰	密		330
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:青灰 断:灰	～1mmの白色砂粒含む		331
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		332
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	密		333
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:紫灰 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		334
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密		335
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	336
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰赤	密	外面底部火襷あり 焼成前ヘラ記号	337
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	密	外面焼成前ヘラ記号	338
外:回転ヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:布目圧痕 内:布目圧痕	外:灰 内:灰 断:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	339
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:灰褐 内:灰	～1mmの砂粒含む		340
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		341
外:回転ヘラケズリ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:ナデ	外:青灰 内:青灰	密		342
外:回転ヘラケズリ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	343
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、透孔4方向 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	密		344
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	密		345
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	密	内外面自然釉付着	346
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:暗灰黄	～4mmの砂粒含む		347
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文 1条、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	透孔4方向	外:灰 内:灰	密	把手付 内面自然釉付着	348
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文1条、 回転ヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	環状把手付 内面自然釉付着	349
	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		350
	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ 透孔4方向	外:灰 内:灰 断:灰	密		351
	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		352
	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		353
	外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		354
	外:カキメ、回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:青灰 断:灰	密		355
	外:カキメ、凸帯1条、回転ナデ 内:回転ナデ 透孔2方向	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		356
	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透かし3方向	外:灰 内:灰	密		357
	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透かし4方向	外:灰黄 内:暗灰	密		358
外:回転ナデ、凹帯2条、波状文 1条、平行タタキ、ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		359
外:回転ナデ、波状文1条、手持 ちヘラケズリ 内:回転ナデ	外:不調整 内:回転ナデ	外:暗灰 内:灰	～1.5mmの砂粒含む	外面自然釉付着	360

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
361	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器碗	中村I-2(田辺TK216)	口径(14.0) 器高(8.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
362	Ⅲ	土坑435	北辺側溝	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	口径(20.4) 器高(10.9)	外:回転ナデ、凸帯3条、波状文2条 内:回転ナデ
363	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	頸部径(12.6) 器高(10.2)	外:回転ナデ、凸帯2条、波状文2条、へら記号 内:回転ナデ
364	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	口径(30.6) 器高(14.2)	外:ハケ後回転ナデ 内:回転ナデ
365	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	口径(24.2) 器高(39.0)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
366	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	口径(54.9) 器高(17.6)	外:回転ナデ、凸帯1条、ハケ後ナデ 内:タタキ後ヨコナデ、ナデ
367	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	須恵器甕	中村I-2(田辺TK216)	口径(56.6) 器高(28.3)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:ナデ
368	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径13.2 器高15.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
369	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径(13.0) 器高(9.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
370	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径14.6 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
371	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径(13.5) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
372	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径13.4 器高(4.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
373	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径(13.6) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
374	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		口径13.0 器高(5.1)	外:調整不明 内:調整不明
375	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		口径(23.8) 器高(5.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
376	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		口径(28.0) 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
377	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		裾部径(13.4) 器高(9.2)	
378	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		裾部径(13.0) 器高(8.4)	
379	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		裾部径13.3 器高(8.5)	
380	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器大形有段高坏		裾部径12.4 器高(8.4)	
381	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(8.8) 器高(6.6)	
382	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(9.4) 器高(5.7)	
383	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(8.6) 器高(6.6)	
384	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(7.8) 器高(6.6)	
385	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(9.6) 器高(6.7)	
386	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径8.0 器高(6.1)	
387	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径8.4 器高(5.8)	
388	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器碗形高坏		裾部径(8.8) 器高(6.0)	
389	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器壺		頸部径(6.3) 器高(5.9)	外:ナデ 内:ナデ
390	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器直口壺		口径(9.6) 器高(5.5)	外:ハケメ、ナデ後へラミガキ 内:ハケ後ナデ
391	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器直口壺		口径(11.8) 器高(10.0)	外:調整不明 内:調整不明
392	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(15.8) 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
393	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(18.0) 器高(7.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
394	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(19.4) 器高(8.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
395	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(20.0) 器高(7.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
396	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(23.2) 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
397	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(17.8) 器高(8.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
398	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(18.6) 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
399	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(19.3) 器高(6.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
400	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(20.4) 器高(5.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ、凸帯4条、波状文2条、内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	密		361
外:平行タタキ 内:ナデ、無文当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰褐	～7mmの砂粒含む	外面自然釉付着	362
外:平行タタキ 内:無文当て具痕		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		363
外:平行タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:暗灰 断:灰赤	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	364
外:平行タタキ 内:当て具痕後波状ナデ		外:青灰 内:青灰	密		365
外:平行タタキ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	密	内外面自然釉付着	366
外:平行タタキ 内:ナデ		外:暗灰 内:灰 断:灰褐	～2.5mmの砂粒含む		367
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ 内:ナデ、絞り目	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		368
外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:ヘラナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～1.5mmの砂粒含む		369
外:ナデ、ハケメ 内:調整不明		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		370
外:ハケ後ナデ 内:ヘラミガキ		外:橙 内:橙	密	外面黒斑あり	371
外:ハケ後ナデ 内:ヘラミガキ		外:橙 内:橙	密		372
外:ハケ後ナデ 内:調整不明		外:橙 内:橙 断:灰褐	～4mmの砂粒含む		373
外:調整不明 内:調整不明		外:明赤褐 内:橙	～2mmの砂粒含む		374
外:ハケ後ナデ 内:ハケ後ナデ、ヘラミガキ		外:橙 内:橙 断:青灰	密		375
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ハケ後ヘラミガキ		外:橙 内:橙	～2.5mmの砂粒含む		376
	外:ナデ 内:ナデ、ハケ後ナデ	外:橙 内:橙	密	外面裾部黒斑あり	377
	外:ヘラナデ 内:ナデ、絞り目	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む	外面裾部黒斑あり	378
	外:ナデ 内:ナデ、絞り目 透孔3方向	外:淡橙 内:浅黄橙	密		379
	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ、ハケ後ナデ透孔3方向	外:橙 内:橙 断:浅黄橙	密	外面裾部黒斑あり	380
	外:ヘラナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		381
	外:ナデ 内:絞り目、ハケ後ナデ	外:橙 内:橙	密		382
	外:ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	密		383
	外:ヘラナデ 内:絞り目、ヘラケズリ、ハケ	外:橙 内:橙	密		384
	外:ヘラナデ 内:絞り目、ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		385
	外:ハケ後ナデ 内:不調整、ハケメ	外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:橙	密		386
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ナデ、絞り目	外:橙 内:橙 断:浅黄橙	密		387
	外:調整不明 内:絞り目、ナデ、ハケメ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内面焼成前ヘラ記号 脚端部黒斑あり	388
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:橙	密	平底気味	389
		外:橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		390
外:調整不明、ハケメ 内:調整不明		外:明赤褐 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む		391
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰	～3mmの砂粒含む		392
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:明褐	～1.5mmの砂粒含む		393
外:ナナメハケ後ヨコハケ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:橙	～2mmの砂粒含む	口縁部煤付着	394
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		395
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	～1mmの砂粒含む		396
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		397
外:ハケメ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい褐	～1.5mmの砂粒含む		398
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:灰黄	～1.5mmの砂粒含む		399
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		400

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
401	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		口径(11.0) 器高(9.3)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
402	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕			外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
403	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕			外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
404	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕把手			
405	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器片口鉢			外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
406	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	軟質系土器甕			
407	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器壺片			
408	Ⅲ	土坑435	J15g8-II	土師器甕		頸部径14.8 器高(13.5)	外:調整不明 内:調整不明
409	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器有稜外反高坏		口径18.4 器高(14.9)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
410	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器無稜外反高坏		口径17.5 器高(13.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
411	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器無稜外反高坏		裾部径11.6 器高(11.2)	
412	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器高坏		裾部径11.3 器高(9.6)	
413	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器小形壺		口径(8.8) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
414	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器小形壺		口径(7.4) 器高(9.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
415	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留IV	口径(13.6) 器高(20.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
416	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径12.6 器高16.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
417	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径(14.2) 器高(12.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
418	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径(14.6) 器高(7.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
419	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径(15.0) 器高(6.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
420	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径(13.2) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
421	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕(布留式)	原田布留II	口径(12.4) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヘラケズリ
422	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器小形甕(布留式)	原田布留II	口径(10.2) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
423	Ⅲ	土坑244	J15h4-IV h5-Ⅲ	土師器甕	原田庄内Ⅲ～布留I	口径(13.8) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
424	Ⅲ	土坑243	J15h4-IV	土師器小形壺	原田布留II	口径8.2 器高9.9	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
425	Ⅲ	土坑243	J15h4-IV	土師器甕	原田布留II	口径(16.8) 器高(12.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
426	Ⅲ	土坑243	J15h4-IV	土師器甕	原田布留II	口径(12.4) 器高(17.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
427	Ⅲ	ピット740	K16d2-I	瓦器小皿		口径(10.4) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
428	Ⅲ	ピット796	K16c3-II	土師器直口壺		口径(11.6) 器高(4.6)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
429	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器有稜外反高坏	布留式前半	口径20.0 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
430	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器小形壺	布留式前半	口径6.4 器高7.2	外:ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
431	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器小形壺	布留式前半	口径(6.8) 器高8.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
432	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器小形壺	布留式前半	口径(8.8) 器高(7.6)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
433	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器小形壺	布留式前半	口径6.6 器高7.8	外:ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
434	Ⅲ	ピット527	J15i7-I	土師器小形壺	布留式前半	体部径8.6 器高(5.7)	
435	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	平城宮I	口径(19.6) 器高(5.6)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
436	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏A	平城宮I	口径(19.2) 器高(5.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
437	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏A	平城宮I	口径(19.4) 器高(5.8)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
438	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏A	平城宮I	口径(19.2) 器高(4.7)	外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
439	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏A	平城宮I	口径(20.0) 器高(4.9)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
440	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	平城宮I	口径(19.4) 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ハケメ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		401
外:ハケメ 内:調整不明		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		402
外:ハケメ 内:ハケメ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		403
外:ハケ後ナデ 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:黄灰	～3mmの砂粒含む		404
		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		405
	外:縄席文タタキ 内:調整不明	外:明赤褐 内:にぶい橙 断:灰	～1mmの砂粒含む		406
外:ナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	外面焼成前線刻	407
外:平行タタキ後カキメ 内:無文当て具痕		外:浅黄橙 内:灰白	～2mmの砂粒含む	須恵器甕を模倣	408
外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ	外:ハケ後ヘラナデ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	口縁と裾部に黒斑あり	409
外:ハケメ 内:ハケメ	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔3方向	外:明赤褐 内:赤	～1mmの砂粒含む	坏部と脚部に黒斑あり	410
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:絞り目、ハケ後ナデ、棒状圧痕	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰	～2mmの砂粒含む		411
	外:ハケ後ヨコナデ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～5mmの砂粒含む		412
外:ハケ後ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密	胴部に黒斑あり	413
外:ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密	外面体部煤付着	414
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む	外面体部下半煤付着	415
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む	外面体部下半煤付着 完形品	416
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	417
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		418
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		419
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	420
外:ヨコナデ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙	微細な砂粒含む		421
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:灰	～2mmの砂粒含む	内面黒斑あり	422
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:灰黄褐	～2mmの砂粒含む	体部に黒斑あり	423
外:ヘラミガキ、ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む	口縁打ち欠く	424
外:ハケ後ヨコハケ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:橙	～3.5mmの砂粒含む		425
外:ハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	密	外面口縁体部煤付着	426
外:ヘラミガキ 内:調整不明	外:不調整 内:ナデ	外:暗灰 内:灰	密		427
		外:明赤褐 内:橙	～3mmの砂粒含む		428
外:ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ、ナデ		外:灰黄 内:黄灰	密		429
外:ヨコナデ、ハケ後ナデ 内:ナデ、ヘラケズリ 穿孔1		外:灰黄 内:浅黄	～2mmの砂粒含む		430
外:ヨコナデ、ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ 穿孔1		外:灰白 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	口縁部打ち欠く	431
外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:灰白	～4mmの砂粒含む		432
外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ		外:浅黄 内:淡赤橙	～6mmの砂粒含む		433
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		434
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文2段	外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:灰褐 断:にぶい橙	～1.5mmの砂粒含む		435
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文2段	外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	微細な砂粒含む		436
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文2段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		437
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:放射状暗文2段	外:ヘラミガキ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	密	内面一部黒色を呈する	438
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文2段	外:ヘラミガキ 内:ラセン状暗文	外:明赤褐 内:にぶい赤褐 断:灰黄	密		439
外:ヨコナデ 内:放射状暗文2段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:橙 断:橙	～5mmの砂粒含む		440

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
441	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏A	平城宮 I	口径(17.8) 器高(5.8)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
442	Ⅲ	川200	K16a3-II	土師器坏A	平城宮 I	口径(21.0) 器高(4.5)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
443	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮 I	口径(17.2) 器高(4.7)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
444	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏A	平城宮 I	口径(18.4) 器高(4.4)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
445	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮 I	口径(20.6) 器高(4.6)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
446	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏A	平城宮 I	口径(18.4) 器高(4.6)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
447	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮 I	口径(11.4) 器高(3.0)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
448	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮 I	口径12.2 器高2.8	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
449	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮 I	口径(14.0) 器高(3.1)	外:ヨコナデ後へラミガキ 内:ヨコナデ
450	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	奈良時代	口径(17.2) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
451	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(19.6) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
452	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(18.4) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
453	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(20.4) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
454	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(18.4) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
455	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(15.8) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
456	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(15.0) 器高(2.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
457	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(20.8) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
458	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(14.4) 器高(2.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
459	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(19.6) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
460	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(19.8) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
461	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(19.2) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
462	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	8世紀中頃	口径(20.0) 器高(3.9)	外:調整不明 内:調整不明
463	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(19.5) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
464	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(19.6) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
465	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(15.4) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
466	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(15.0) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
467	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	平城宮Ⅱ	口径(18.2) 器高(4.0)	外:調整不明 内:調整不明、連弧状暗文
468	Ⅲ	川200	J16j3-III	土師器坏A	8世紀中頃	口径(16.6) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
469	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(15.0) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
470	Ⅲ	川200	J16j3-III	土師器坏A	8世紀中頃	口径(15.8) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
471	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	8世紀中頃	口径(15.6) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
472	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏A	8世紀中頃	口径(14.0) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
473	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏A	8世紀中頃	口径(15.0) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
474	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏B	平城宮 I	口径(22.0) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
475	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏B	平城宮 I	口径(20.0) 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
476	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径(18.6) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
477	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏C	8世紀中頃	口径(13.6) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
478	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏C	8世紀中頃	口径14.2 器高3.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
479	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(13.6) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
480	Ⅲ	川200	K16a3-III	土師器坏C	8世紀中頃	口径(14.2) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		441
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		442
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:調整不明 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄褐 内:黒 断:にぶい橙	～1.5mmの砂粒含む	内外面黒色を呈する	443
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:調整不明 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄褐 内:にぶい黄	微小な砂粒含む		444
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:浅黄 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	外面底部に黒斑あり	445
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		446
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		447
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		448
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:暗灰	微細な砂粒含む	内面黒色を呈する	449
外:ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ナデ	外:にぶい赤褐 内:にぶい褐	密	外面顔料付着?	450
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密		451
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		452
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		453
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む		454
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		455
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		456
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:浅黄 内:浅黄 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒少量含む		457
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:淡橙	密		458
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:褐 内:黒褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着 内面焼成後線刻	459
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		460
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:褐灰 内:黄灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	内外面黒色を呈する	461
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:橙 内:橙	密		462
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:浅黄橙 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む		463
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:黒 内:褐灰 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む	内面黒色を呈する 炭化物付着	464
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:明黄褐 内:明黄褐	～2mmの砂粒含む		465
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		466
外:調整不明 内:調整不明、放射状暗文	外:調整不明 内:調整不明、ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:橙	～2mmの砂粒含む	内外面黒色を呈する	467
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐	微細な砂粒含む		468
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい褐	密		469
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整、布目痕 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	密		470
外:ナデ 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:灰黄 内:灰黄褐	～2mmの砂粒含む	斑A?	471
外:調整不明 内:調整不明	外:不調整、布目痕 内:調整不明	外:灰白 内:にぶい褐	微細な砂粒少量含む		472
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:灰黄 内:暗灰	微細な砂粒多量含む	外面底部に黒斑あり	473
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段後連弧状暗文	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい黄 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		474
外:ナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文 2 段	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:灰褐 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		475
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	外面焼成後線刻	476
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい赤褐	～5mmの砂粒含む		477
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整、布目痕 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面焼成前線刻	478
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	微細な砂粒含む		479
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		480

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
481	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(16.6) 器高(4.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
482	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(17.4) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
483	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径(21.0) 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
484	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(18.2) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
485	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径(15.2) 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
486	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径14.8 器高3.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
487	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径13.4 器高3.7	外:ヨコナデ、布目痕 内:ヨコナデ
488	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(15.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヨコナデ
489	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(15.2) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
490	Ⅲ	川200	K16e1-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径13.6 器高3.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
491	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径(13.8) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
492	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器坏C	8世紀中頃	口径(14.2) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
493	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径(14.5) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
494	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(14.2) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
495	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(12.0) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
496	Ⅲ	川200	K16a3-II	土師器坏C	8世紀中頃	口径11.8 器高3.1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
497	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(11.2) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
498	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏C	8世紀中頃	口径(10.2) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
499	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(10.6) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
500	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器坏C	8世紀中頃	口径(11.8) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
501	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径18.0 器高2.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
502	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.0) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
503	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径19.0 器高1.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
504	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(23.0) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
505	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.0) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
506	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(21.6) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
507	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(23.0) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
508	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.0) 器高(2.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
509	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(23.5) 器高(2.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
510	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(21.2) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
511	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(20.8) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
512	Ⅲ	川200	K16b2-IV	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(17.3) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
513	Ⅲ	川200	K16d1-Ⅲ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(17.4) 器高(2.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
514	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.6) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
515	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(20.6) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
516	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.2) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
517	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.2) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
518	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(24.6) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
519	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(24.0) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
520	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径18.0 器高2.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:放射状暗文	外:灰黄褐 内:暗灰 断:浅黄	微細な砂粒含む	内面黒色を呈する	481
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:放射状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい褐	～3mmの砂粒含む		482
外:ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄	～2mmの砂粒含む		483
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		484
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整、布目痕 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:灰黄褐	～2mmの砂粒含む	外面赤変 二次焼成あり	485
外:ナデ 内:調整不明	外:不調整 内:調整不明	外:灰白 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		486
外:ナデ、布目痕 内:ナデ	外:不調整、布目痕 内:ナデ	外:暗褐灰 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	内面煤付着 灯明皿?	487
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状?暗文	外:灰黄 内:黄灰 断:にぶい黄橙	密	内面黒色を呈する	488
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状?暗文	外:灰黄 内:灰黄	微細な砂粒含む		489
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰	微細な砂粒含む		490
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		491
外:ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:オリーブ 内:浅黄 断:浅黄	～1mmの砂粒含む	外面黒色を呈する	492
外:ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:にぶい橙	密		493
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄褐 内:明褐灰 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		494
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ー	外:橙 内:にぶい橙 断:灰白	～1mmの砂粒含む		495
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:調整不明	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり	496
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:放射状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		497
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:放射状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		498
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:放射状暗文	外:灰黄褐 内:橙 断:灰黄褐	～3mmの砂粒含む	外面口縁黒斑あり	499
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		500
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	外面焼成前線刻	501
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整、木葉痕 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内面一部黒色物付着	502
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい褐	密		503
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		504
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄 内:にぶい黄	～1mmの砂粒含む		505
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:にぶい黄橙	～0.5mmの砂粒含む	内面底部黒色物付着	506
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:灰白 断:にぶい橙	密		507
外:ナデ 内:放射状暗文?	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	～3mmの砂粒含む		508
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:明黄褐 内:淡黄 断:明褐	～4mmの砂粒含む		509
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰白	～1mmの砂粒含む		510
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		511
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		512
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	外面口縁部黒色物付着	513
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:灰褐 内:にぶい黄褐	密	内面黒色物付着	514
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	外面焼成前線刻	515
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む		516
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		517
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:黄褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		518
外:ナデ、ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:浅黄 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		519
外:ナデ 内:放射状暗文	外:不調整、木葉痕 内:ラセン状暗文?	外:にぶい黄橙 内:浅黄 断:にぶい黄橙	密		520

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
521	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.9) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
522	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.4) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
523	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(18.4) 器高(2.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
524	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿A	8世紀後半	口径(24.6) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
525	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器皿A	8世紀後半	口径(22.0) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
526	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器皿A	8世紀後半	口径(21.0) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
527	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿A	8世紀後半	口径(22.4) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
528	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅱ	土師器皿A	8世紀後半	口径(22.0) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
529	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿A	8世紀後半	口径(23.4) 器高(2.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
530	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿A	8世紀後半	口径21.8 器高2.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
531	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器皿A	9世紀	口径(17.4) 器高(2.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
532	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿A	9世紀	口径15.0 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
533	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径15.5 器高2.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
534	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	土師器皿A	9世紀	口径13.8 器高1.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
535	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(14.0) 器高(2.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
536	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(14.6) 器高(2.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
537	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(15.2) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
538	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(15.3) 器高(2.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
539	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器皿A	9世紀	口径(15.4) 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
540	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(15.2) 器高(2.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
541	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器皿A	9世紀	口径(16.0) 器高(2.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
542	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅲ	土師器皿C	10世紀~11世紀初頭	口径(10.6) 器高(1.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
543	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅲ	土師器皿C	10世紀~11世紀初頭	口径(11.0) 器高(1.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
544	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅲ	土師器皿C	10世紀~11世紀初頭	口径(11.4) 器高(1.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
545	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器皿B	平城宮Ⅰ	口径(19.6) 器高(3.1)	外:ナデ、ヘラミガキ 内:放射状暗文
546	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器環	平城宮Ⅱ		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
547	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器環	平城宮Ⅱ		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
548	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鉢	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
549	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅱ	土師器環or皿	奈良時代		
550	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器環or皿	奈良時代		
551	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器環or皿	奈良時代		
552	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器環or皿	奈良時代		
553	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	土師器蓋	奈良時代	口径(16.8) 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
554	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器環B or ⅢB蓋	奈良時代	つまみ径(3.4)	
555	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器環B or ⅢB蓋	奈良時代	つまみ径(3.7)	
556	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器環B or ⅢB蓋	奈良時代	つまみ径(3.0)	
557	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅳ	土師器環B or ⅢB蓋	奈良時代	つまみ径(2.3)	
558	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器環B or ⅢB蓋	奈良時代	つまみ径(4.4)	
559	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	土師器碗A	8世紀末~9世紀初頭	口径(11.4) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
560	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅲ	土師器碗A	9世紀中~後半	口径12.1 器高3.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:浅黄	～1mmの砂粒含む		521
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文?	外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	～1mmの砂粒含む	外面焼成後線刻	522
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文?	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:橙	～1mmの砂粒含む	外面底部黒斑あり	523
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		524
外:ナデ 内:調整不明	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:黒 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	内面黒色 炭化物付着	525
外:調整不明 内:調整不明		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		526
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む		527
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:明褐灰 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		528
外:調整不明 内:調整不明	外:不調整、木葉痕 内:調整不明	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		529
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:浅黄	～1mmの砂粒含む		530
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		531
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		532
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整、布目痕 内:ナデ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	密		533
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙	～3mmの砂粒含む		534
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		535
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		536
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		537
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	密		538
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		539
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄 内:灰黄 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		540
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい褐	微細な砂粒含む		541
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:浅黄 断:浅黄	～2mmの砂粒含む		542
外:ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	密		543
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	～0.5mmの砂粒含む		544
外:ヘラミガキ、ナデ 内:放射状暗文2段	外:高台あり、ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい褐	微細な砂粒含む		545
外:ナデ、ヘラケズリ 内:放射状暗文、連弧状暗文		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	微細な砂粒含む		546
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文、連弧状暗文		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		547
外:ヘラミガキ 内:連弧状暗文、放射状暗文		外:橙 内:橙 断:にぶい褐	～5mmの砂粒含む		548
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:黒褐 断:橙	～0.1mmの砂粒含む	外面焼成前線刻	549
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	外面焼成後線刻	550
	外:不調整、木葉痕 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:黄灰 断:黄灰	密		551
	外:不調整、木葉痕 内:調整不明	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～2mmの砂粒含む		552
外:ヘラミガキ 内:放射状暗文、ラセン状暗文		外:黄褐 内:にぶい黄褐	微細な砂粒含む		553
外:ヘラミガキ、紐頂部にラセン状暗文 内:暗文		外:にぶい褐 内:にぶい褐	密		554
外:ヘラミガキ?、紐頂部にラセン状暗文 内:暗文		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		555
外:ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい褐	密		556
外:ナデ? 内:ナデ		外:橙 内:橙	密		557
外:調整不明 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		558
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		559
外:不調整、布目痕 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄	～2.3mmの砂粒含む	内面底部墨が付着	560

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
561	Ⅲ	川200	K16a2-II	土師器碗A	9世紀初頭	口径(13.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
562	Ⅲ	川200	K16f1-II	土師器碗A	9世紀初頭	口径(13.4) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
563	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器碗A	9世紀初頭	口径13.5 器高3.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
564	Ⅲ	川719	K16f1-I	土師器碗A	9世紀初頭	口径(14.2) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
565	Ⅲ	川200	K16b2-IV	土師器碗A	9世紀初頭	口径(14.2) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
566	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗A	9世紀初頭	口径(14.0) 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
567	Ⅲ	川200	K16b2-I	土師器碗B	9世紀中～10世紀前半	口径(13.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
568	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器碗B	9世紀中～10世紀前半	口径(13.2) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
569	Ⅲ	川200	K16b2-I	土師器碗B	9世紀中～後半	口径(14.5) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
570	Ⅲ	川200	K16a2-I	土師器碗B	9世紀中～後半	口径(15.4) 器高(4.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
571	Ⅲ	川719	K16e1-II	土師器碗A	8世紀末～9世紀初頭	口径(10.9) 器高(3.2)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
572	Ⅲ	川200	K16b2-I	土師器碗A	9世紀中～後半	口径(11.6) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
573	Ⅲ	川200	K16b1-II	土師器碗A	9世紀中～後半	口径(12.8) 器高(2.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
574	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器碗A	9世紀中～後半	口径(13.2) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
575	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗A	8世紀末～9世紀初頭	口径(13.4) 器高(3.7)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
576	Ⅲ	川719	K16f1-II	土師器碗A	9世紀中～後半	口径(13.2) 器高(4.0)	外:ヨコナデ2段 内:ヨコナデ
577	Ⅲ	川719	K16e1-IV	土師器碗A	9世紀初	口径(13.6) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
578	Ⅲ	川200	K16b2-IV	土師器碗A	8世紀末～9世紀初頭	口径(16.0) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
579	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器碗A	9世紀初	口径(17.2) 器高(5.2)	外:ヨコナデ2段 内:ヨコナデ
580	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗A	9世紀中～後半	口径(17.7) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
581	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器盤B	8世紀	口径(13.2) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
582	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器盤B	8世紀	口径(26.0) 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
583	Ⅲ	川200	K16b2-IV	土師器盤	8世紀	口径(20.4) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
584	Ⅲ	川719	K16e1-IV	黒色土器A類環	平安京Ⅱ	口径(15.6) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
585	Ⅲ	川200	K16b2-II	黒色土器A類碗	平安京Ⅱ	口径(14.4) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
586	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	黒色土器A類碗	平安京Ⅱ	口径(15.0) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
587	Ⅲ	川200	J16j2-IV	黒色土器A類碗	平安京Ⅱ	口径(16.0) 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
588	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅲ	黒色土器A類碗	平安京Ⅱ	底径(9.0) 器高(4.6)	
589	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	口径(27.2) 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
590	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	口径(28.4) 器高(2.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
591	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	口径(26.4) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
592	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	口径(27.0) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
593	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	口径(23.6) 器高(1.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
594	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	脚柱径(5.0)	
595	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	脚柱径(5.0)	
596	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	裾部径11.6 器高(6.4)	
597	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	土師器高環	平城宮Ⅱ～Ⅲ	裾部径(10.2) 器高(6.5)	
598	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕A	8世紀	口径(22.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
599	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕A	8世紀	口径(21.6) 器高(18.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
600	Ⅲ	川200	K16a3-II	土師器甕A	8世紀	口径(22.4) 器高(7.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい橙	密		561
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		562
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:浅黄	～2mmの砂粒含む		563
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		564
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄色 内:灰黄 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		565
外:ナデ 内:ナデ		外:淡黄 内:淡黄 断:淡黄	～2mmの砂粒含む		566
外:ナデ、不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ 内:ナデ	外:灰白 内:浅黄橙 断:灰白	～5mmの砂粒含む		567
外:ナデ 内:ナデ	外:高台ヨコナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		568
外:不調整 内:ナデ、暗文	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		569
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	～4mmの砂粒含む		570
外:ヘラミガキ 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む		571
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい 橙	～1mmの砂粒含む		572
外:不調整 内:ナデ		外:橙 内:褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		573
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		574
外:ヘラミガキ 内:ナデ、暗文2段		外:にぶい褐 内:灰黄 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		575
外:不調整 内:ナデ		外:明褐色 内:にぶい橙 断:にぶい赤褐	～4mmの砂粒含む		576
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		577
外:ヘラミガキ 内:ナデ、暗文		外:にぶい黄橙 内:黒褐 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内面黒色を呈する	578
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		579
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密		580
外:ヘラケズリ 内:ナデ、 ラセン状暗文	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄橙 断:灰黄	～0.5mmの砂粒含む		581
外:ヘラケズリ、布目痕 内:ナデ	外:高台ヨコナデ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:浅黄 内:灰黄 断:灰白	～4mmの砂粒含む	内面煤付着	582
外:不調整 内:ナデ、沈線1条、連弧状暗文		外:赤黒 内:橙	密	外面黒色を呈する	583
外:ナデ 内:調整不明	外:ナデ 内:暗文	外:にぶい黄橙 内:黒 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		584
外:ヘラケズリ 内:ヘラミガキ、連弧状暗文	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい橙 内:灰 断:明褐灰	～4mmの砂粒含む		585
外:ヘラケズリ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい橙 内:暗灰 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		586
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:暗灰黄 内:暗灰 断:黄灰	～1mmの砂粒含む		587
外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰黄 内:黒 断:灰白	～2mmの砂粒含む		588
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	～2mmの砂粒含む		589
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		590
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文、連弧状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:黒褐	～4mmの砂粒含む		591
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		592
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:放射状暗文2段、連弧状暗文		外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	～2mmの砂粒含む		593
外:一 内:ラセン状暗文	外:面取り13面 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい褐	密		594
	外:面取り10面 内:ナデ	外:淡黄 内:淡黄 断:にぶい橙	密		595
	外:面取り12～13面 内:ナデ、ハケメ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	微細な砂粒含む		596
	外:面取り9面 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		597
外:ハケ後ヨコナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:黄灰	密		598
外:ハケメ、タタキ 内:ハケ後ヘラケズリ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		599
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰白 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		600

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頭部
601	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕A	8世紀	口径(24.0) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
602	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕A	8世紀	口径(24.8) 器高(13.1)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
603	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕A	8世紀	口径(25.4) 器高(11.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
604	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕A	8世紀	口径(27.6) 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
605	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕A	8世紀	口径(29.6) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
606	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	8世紀	口径(30.0) 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
607	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	8世紀	口径(29.7) 器高(12.5)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
608	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	8世紀	口径(29.7) 器高(12.5)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
609	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	7~8世紀	口径(30.2) 器高(19.6)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
610	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	7~8世紀	口径(23.8) 器高(26.9)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
611	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕A	7~8世紀	口径(22.4) 器高(20.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
612	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕B	8世紀	口径(16.4) 器高(9.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
613	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅲ	土師器甕B	8世紀	口径(15.4) 器高(8.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
614	Ⅲ	川200	K16a3-II	土師器甕B	8世紀	口径(21.4) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
615	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕B	10世紀前半	口径(22.4) 器高(15.0)	外:凹線?、2段ナデ 内:ヨコナデ
616	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕B	8世紀	口径(24.2) 器高(8.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
617	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕B	8世紀	口径(25.2) 器高(10.5)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
618	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕B	8世紀	口径(27.2) 器高(8.7)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
619	Ⅲ	川200	J15h4-Ⅲ	土師器甕B	8世紀	口径(29.0) 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
620	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器甕B	8世紀	口径(30.0) 器高(12.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
621	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕B	8世紀	口径(29.4) 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
622	Ⅲ	川200	K16a3-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径9.5 器高7.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
623	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(10.2) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
624	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(10.4) 器高(6.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
625	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(11.4) 器高(9.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
626	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(11.8) 器高(9.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
627	Ⅲ	川200	K16b3-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径13.6 器高11.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
628	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(14.2) 器高(7.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
629	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(14.2) 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
630	Ⅲ	川200	K16b1-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(15.4) 器高13.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
631	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(16.0) 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
632	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(8.0) 器高(9.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
633	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(16.6) 器高(5.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
634	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径16.4 器高(9.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
635	Ⅲ	川719	K15d10-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(16.6) 器高(9.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
636	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(17.4) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
637	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(17.6) 器高(10.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
638	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(17.4) 器高(4.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
639	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(18.0) 器高(10.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
640	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀~9世紀前半	口径(18.6) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ハケ後ナデ 内:ヨコハケ		外:にぶい橙 内:浅黄 断:にぶい褐	～1mmの砂粒少量含む		601
外:ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	密		602
外:ハケメ 内:ハケ後ヘラケズリ		外:浅黄 内:明褐	～1mmの砂粒含む		603
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		604
外:ハケメ 内:一部ハケ後ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～0.5mmの砂粒含む		605
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:浅黄橙	密		606
外:ハケメ 内:ナデ後ハケメ		外:黄灰 内:褐灰 断:淡黄	～1mmの砂粒含む		607
外:ハケメ 内:ナデ後ハケメ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～2mmの砂粒含む		608
外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄	～3mmの砂粒含む	把手付	609
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ後ハケメ		外:灰黄 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	把手付	610
外:ハケメ 内:ハケメ、ナデ、ヘラケズリ		外:浅黄 内:浅黄	密	把手付 外面黒斑あり	611
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		612
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:褐黄 内:にぶい橙	微細な砂粒含む		613
外:ハケ後ナデ 内:ハケ後ナデ		外:灰黄褐 内:黒褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		614
外:ハケメ 内:ナデ		外:黒 内:暗灰黄 断:にぶい褐	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	615
外:ハケメ 内:ナデ、一部ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		616
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:黄灰 内:橙	微細な砂粒含む		617
外:ハケメ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	密		618
外:ハケメ 内:ハケ後ナデ、ヘラケズリ		外:灰黄 内:暗灰黄 断:灰白	～0.2mmの砂粒含む		619
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～4mmの砂粒含む		620
外:ハケメ 内:ハケ後ナデ		外:橙 内:橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		621
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む		622
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい黄橙 断:灰黄	～2mmの砂粒含む	外面口縁部黒斑あり	623
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内外断面上に煤付着	624
外:不調整 内:ハケ後ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰黄	密		625
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	微細な砂粒含む		626
外:不調整 内:工具ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄 内:暗灰黄 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む		627
外:不調整 内:工具ナデ		外:赤灰 内:橙	密		628
外:不調整 内:工具ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:灰褐 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		629
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:橙 内:明赤褐	～3mmの砂粒含む		630
外:調整不明 内:調整不明		外:褐灰 内:灰褐	粗	内外面に炭化物付着	631
外:不調整 内:ナデ		外:黒褐 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	内外面煤付着	632
外:不調整 内:ナデ		外:黒 内:褐灰 断:灰褐	密	内外面煤付着	633
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい橙 断:にぶい赤橙	～1mmの砂粒含む		634
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		635
外:調整不明 内:調整不明		外:灰黄褐 内:灰白 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む		636
外:不調整 内:ナデ		外:灰褐 内:にぶい褐 断:にぶい黄橙	密	外面煤付着	637
外:調整不明 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着	638
外:不調整、一部ヘラミガキ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:暗灰黄 断:にぶい赤褐	微細な砂粒含む	内外面煤付着	639
外:調整不明 内:ナデ		外:オリーブ黒 内:オリーブ黒	密	内外面に炭化物付着	640

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
641	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀～9世紀前半	口径(19.8) 器高(6.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
642	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀～9世紀前半	口径(16.8) 器高(14.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
643	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀～9世紀前半	口径(21.6) 器高(15.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
644	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器甕C	8世紀～9世紀前半	口径(19.2) 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
645	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器甕C	8世紀～9世紀前半	口径(18.6) 器高(6.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
646	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器甕D		口径(13.0) 器高(6.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
647	Ⅲ	川719	K16e1-IV	土師器甕D		口径(18.2) 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
648	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器甕D		口径(18.0) 器高(16.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
649	Ⅲ	川200	J16j1-Ⅲ	土師器甕X		口径(8.6) 器高(10.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
650	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(18.0) 器高(12.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
651	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.0) 器高(7.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
652	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜		口径24.0 器高(24.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
653	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.8) 器高(14.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
654	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径26.8 器高(11.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
655	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(27.0) 器高(12.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
656	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径27.0 器高(7.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
657	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径29.8 器高(11.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
658	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(30.8) 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
659	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(24.8) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
660	Ⅲ	川719	K16e1-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.6) 器高(6.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
661	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(26.0) 器高(10.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
662	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(26.6) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
663	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径27.2 器高(16.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
664	Ⅲ	川200	K16a2-IV	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.4) 器高(10.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
665	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.7) 器高(6.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
666	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(26.2) 器高(8.2)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ後ハケメ
667	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(25.4) 器高(10.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
668	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(24.0) 器高(6.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
669	Ⅲ	川200	J15g1-Ⅲ	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(27.6) 器高(7.1)	外:ヨコナデ 内:ナデ、ヨコハケ
670	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(27.8) 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
671	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(28.2) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
672	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(27.8) 器高(8.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
673	Ⅲ	川200	K16a3-I	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(28.0) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
674	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(29.0) 器高(8.8)	外:ヨコナデ、ハケ後ナデ 内:ナデ、ヨコハケ
675	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(29.4) 器高(6.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
676	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(15.0) 器高(6.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヨコハケ
677	Ⅲ	川200	K16b2-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(31.2) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
678	Ⅲ	川200	K16b2-IV	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(33.0) 器高(6.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
679	Ⅲ	川719	K16e1-II	土師器羽釜	8世紀～9世紀前半	口径(33.8) 器高(5.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
680	Ⅲ	川200	K16b3-I	土師器鍋A		口径(35.6) 器高(9.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:調整不明 内:ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	内外面に炭化物付着	641
外:不調整 内:ナデ		外:灰黄 内:黒褐	～3mmの砂粒含む	断面煤付着	642
外:ナデ、一部ヘラミガキ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:灰黄 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着	643
外:調整不明 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:黒褐	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	644
外:不調整 内:ナデ		外:褐灰 内:褐灰 にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	645
外:調整不明 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		646
外:ナデ 内:ハケメ、ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		647
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:浅黄 断:灰黄	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	648
外:ヘラケズリ後ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり	649
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面口縁煤付着	650
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい橙 断:灰黄褐	密 2～4mmの砂粒含む	生駒西麓産	651
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰 断:にぶい赤褐	密	外面炭化物付着	652
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:灰褐 内:黒 断:にぶい赤褐	1～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	653
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面煤付着	654
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:褐 内:褐	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産	655
外:ヨコナデ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄褐 断:にぶい褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面煤付着	656
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:灰黄褐	密	生駒西麓産	657
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:灰 断:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産	658
外:ヨコナデ 内:一部ハケメ、ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	1～4mmの砂粒含む	生駒西麓産	659
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケメ、ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産	660
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケメ、ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰 断:灰黄	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	661
外:ヨコナデ 内:ハケメ		外:橙 内:にぶい赤褐 断:明赤褐	～5mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	662
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケメ、ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい黄褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	663
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:褐灰 内:褐灰 断:にぶい褐	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	664
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケ後ナデ		外:橙 内:橙	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	665
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ハケメ		外:褐 内:明褐	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面煤付着	666
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	667
外:ヨコナデ 内:ヨコハケ		外:にぶい黄橙 内:黒	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面炭化物付着	668
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	669
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい黄橙 断:灰黄	1～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面炭化物付着	670
外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ		外:にぶい褐 内:橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面煤付着	671
外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄 断:にぶい黄褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	672
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	673
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄褐	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	674
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい褐 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産	675
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコハケ、ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	生駒西麓産	676
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:灰黄褐	1～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面炭化物付着	677
外:ヨコナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	3mmの砂粒含む	生駒西麓産 内外面煤付着	678
外:ヨコナデ 内:ヨコハケ		外:黄褐 内:黒	～4mmの砂粒含む	生駒西麓産 内面煤付着	679
外:ハケメ 内:工具ナデ		外:にぶい褐 内:灰白	～2mmの砂粒含む		680

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
681	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器鍋A		口径(36.0) 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
682	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋B		口径(28.0) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
683	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器鍋B		口径(29.2) 器高(10.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
684	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋B		口径(27.8) 器高(8.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
685	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋B		口径(36.2) 器高(12.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
686	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋B		口径(38.2) 器高(10.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
687	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鍋C		口径(26.6) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
688	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋C		口径(28.4) 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後へラミガキ
689	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鍋C		口径(28.6) 器高(9.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
690	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鍋C		口径(30.2) 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
691	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器鍋C		口径(30.8) 器高(10.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
692	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	土師器鍋C		口径(38.4) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
693	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鍋C		口径(37.6) 器高(10.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
694	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器鍋C		口径(40.8) 器高(12.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
695	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器鍋C		口径(26.4) 器高(16.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
696	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	土師器鍋C		口径(40.4) 器高(22.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
697	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器鉢		口径(20.4) 器高(9.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
698	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鉢B		口径(23.6) 器高(10.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
699	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鉢		口径(25.8) 器高(11.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
700	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器鉢		口径(30.0) 器高(10.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
701	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鉢		口径(31.0) 器高(12.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
702	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器鉢		口径(31.6) 器高(8.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
703	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鉢		口径(33.8) 器高(14.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
704	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鉢		口径(37.0) 器高(20.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
705	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器鉢		口径(37.0) 器高(16.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
706	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	7世紀後半～8世紀	器高(3.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
707	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	須恵器坏A	8世紀	口径9.4 器高2.6	外:回転ナデ 内:回転ナデ
708	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	7世紀後半～8世紀	口径(11.0) 器高(3.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
709	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	須恵器坏A	8世紀	口径(11.6) 器高(3.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
710	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.0) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
711	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	7世紀後半～8世紀	口径(12.2) 器高(3.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
712	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	8世紀	口径(11.8) 器高(3.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
713	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.2) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
714	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
715	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅱ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.4) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
716	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.6) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
717	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	須恵器坏A	8世紀	口径(12.6) 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
718	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅳ	須恵器坏A	8世紀	口径(13.0) 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
719	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅱ	須恵器坏A	8世紀	口径(13.6) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
720	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏A	8世紀	口径(13.4) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ハケメ 内:調整不明		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	密 ~0.5mmの砂粒含む	内面炭化物付着	681
外:ナデ 内:調整不明		外:黒 内:黒	密	内面炭化物付着	682
外:へラケズリ後ナデ、へラミガキ 内:ナデ		外:にぶい黄 内:黒褐 断:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む		683
外:工具ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰	密		684
外:へラケズリ後へラミガキ 内:工具ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:橙	~2mmの砂粒含む	内面口縁部煤付着	685
外:へラケズリ後へラミガキ 内:調整不明		外:にぶい赤褐 内:暗灰 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	内面炭化物付着	686
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄 断:にぶい赤褐	~1mmの砂粒含む		687
外:へラケズリ後一部へラミガキ 内:ナデ後へラミガキ		外:浅黄 内:灰黄色 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む		688
外:へラケズリ後一部へラミガキ 内:ナデ		外:橙 内:橙	密		689
外:ナデ 内:工具ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰黄褐	密		690
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄 内:暗灰 断:灰黄褐	~1mmの砂粒含む	内面炭化物付着	691
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	~0.2mmの砂粒含む	内面炭化物付着	692
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	~2mmの砂粒含む		693
外:ナデ 内:ナデ、一部ハケメ		外:にぶい黄 内:にぶい黄 断:浅黄	~1mmの砂粒含む		694
外:へラケズリ後へラミガキ 内:ナデ後へラミガキ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	~2mmの砂粒含む	把手付	695
外:ナデ、へラミガキ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:灰黄	~3mmの砂粒含む	把手付	696
外:へラミガキ後へラミガキ 内:ナデ後へラミガキ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	~1mmの砂粒含む	内外面煤付着	697
外:へラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい黄橙	~3mmの砂粒含む	注口あり	698
外:へラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:浅黄 断:灰黄	~1mmの砂粒含む	注口あり	699
外:へラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:灰白	~2mmの砂粒含む	内外面炭化物付着	700
外:へラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:褐 内:黒褐	~3mmの砂粒含む	外面煤付着	701
外:ナデ、へラケズリ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:橙	~3mmの砂粒含む	外面口縁部黒斑あり 注口あり	702
外:ナデ後一部へラミガキ 内:ナデ		外:浅黄 内:にぶい赤褐 断:にぶい橙	~2mmの砂粒含む	断面煤付着 注口あり	703
外:ナデ後へラミガキ 内:ナデ後へラミガキ		外:黒褐 内:褐灰 断:灰白	密	断面煤付着 注口あり 内面炭化物付着	704
外:ハケメ 内:ハケメ		外:灰白 内:灰白	~3mmの砂粒含む		705
外:回転ナデ、ケズリ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	~2mmの砂粒含む		706
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	~2mmの砂粒含む	口縁部煤付着 灯明皿?	707
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	~2mmの砂粒含む		708
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:明紫灰 内:紫灰 断:明紫灰	~1mmの砂粒含む		709
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:暗灰黄 断:灰白	~3mmの砂粒含む		710
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰	~2mmの砂粒含む		711
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	~3mmの砂粒含む		712
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:青灰 内:灰 断:灰	~2mmの砂粒含む		713
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:黄灰 内:オリープ黒 断:オリープ灰	~2mmの砂粒含む	外面焼成前へラ記号	714
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ナデ 内:ナデ	外:暗灰 内:暗灰 断:灰黄	~3mmの砂粒含む	外面黒色を呈する	715
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	~1mmの砂粒含む		716
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:オリープ灰 内:オリープ灰 断:オリープ灰	密	火襷状の痕跡 外面焼成前へラ記号	717
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	~2mmの砂粒含む		718
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰白 内:灰白 断:浅黄橙	~2mmの砂粒含む	火襷状の痕跡	719
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	~1mmの砂粒含む		720

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
721	Ⅲ	川200	J16j3-IV	須恵器坏A	8世紀	口径13.8 器高3.8	外:回転ナデ 内:回転ナデ
722	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器坏A	8世紀	口径(13.8) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
723	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏A	8世紀	口径(14.0) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
724	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏A	8世紀	口径(14.0) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
725	Ⅲ	川200	J16j3-III	須恵器坏A	8世紀	口径(14.0) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
726	Ⅲ	川200	K16b2-I	須恵器坏A	8世紀	口径(14.6) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
727	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏A	8世紀	口径14.7 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
728	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏A	7世紀後半～8世紀	口径15.4 器高4.2	外:回転ナデ 内:回転ナデ
729	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(11.4) 器高(3.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
730	Ⅲ	川719	K16d1-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(12.2) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
731	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径12.2 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
732	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏B		口径(12.6) 器高(7.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
733	Ⅲ	川719	K16e1-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(12.6) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
734	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(13.0) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
735	Ⅲ	川200	K16e1-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(13.2) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
736	Ⅲ	川719	K16b3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(13.8) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
737	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.2) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
738	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
739	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.2) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
740	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.6) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
741	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.4) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
742	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.6) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
743	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.6) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
744	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.8) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
745	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(14.8) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
746	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
747	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.2) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
748	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.0) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
749	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.4) 器高(9.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
750	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.4) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
751	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(15.8) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
752	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.0) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
753	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.2) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
754	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.5) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
755	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.0) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
756	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.8) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
757	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(17.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
758	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(17.6) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
759	Ⅲ	川200	K16a3-III	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(18.0) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
760	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(18.0) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	721
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む 黒色粒	火襷状の痕跡	722
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:灰黄褐 断:灰白	～2mmの砂粒含む		723
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:擦痕	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	転用硯? 火襷状の痕跡	724
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:にぶい黄 断:灰白	～3mmの砂粒含む		725
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:暗灰黄 断:灰白	～1mmの砂粒含む	火襷状の痕跡	726
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:オリーブ灰	～3mmの砂粒含む		727
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む		728
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:暗灰黄 断:灰	～1mmの砂粒含む		729
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む 黒色粒		730
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		731
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:黄灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		732
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～5mmの砂粒含む		733
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		734
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:灰	密 黒色粒		735
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	736
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:褐灰	～3mmの砂粒含む		737
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:褐灰 断:黄灰	～3mmの砂粒含む		738
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒微量に含む		739
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ヘラ切り後ナデ? 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白	～4mmの砂粒含む		740
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ヘラ切り後ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白	密		741
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		742
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰白	密		743
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		744
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、- 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		745
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ヘラ切り後ナデ 内:回転ナデ	外:灰オリーブ 内:灰	～5mmの砂粒含む		746
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:暗灰 内:灰白	～5mmの砂粒含む		747
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ヘラ切り後ナデ 内:回転ナデ	外:灰オリーブ 内:オリーブ黒	～8mmの砂粒含む		748
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		749
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ヘラ切り後ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～5mmの砂粒含む		750
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白	～3mmの砂粒含む		751
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		752
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mm弱の砂粒含む	表面つるつる	753
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰白	～4mmの砂粒含む		754
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ? 内:ナデ	外:灰 内:灰	密	内面底部煤付着	755
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:暗オリーブ灰 断:灰	～0.2mmの砂粒含む		756
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:暗灰黄	～4mmの砂粒含む		757
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:黄灰 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む		758
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰白	～1mmの砂粒含む		759
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		760

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
761	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(18.1) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
762	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(19.0) 器高(5.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
763	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(20.4) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
764	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(20.0) 器高(5.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
765	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(20.6) 器高(5.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
766	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器坏B	8世紀中～後半	器高(5.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
767	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(13.0) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
768	Ⅲ	川200	K16b2-IV	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(9.4) 器高(2.5)	
769	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(10.2) 器高(3.4)	
770	Ⅲ	川200	K16b2-IV	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(10.6) 器高(2.2)	
771	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(11.2) 器高(3.7)	
772	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(12.6) 器高(4.3)	
773	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(16.6) 器高(12.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
774	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(18.0) 器高(4.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
775	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(12.6) 器高(2.0)	
776	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(17.4) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
777	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(14.0) 器高(3.7)	
778	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(14.6) 器高(2.3)	
779	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏B	8世紀中～後半	口径(20.4) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
780	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B	8世紀中～後半	底径(9.9) 器高(1.4)	
781	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器蓋	8世紀	つまみ径2.1 器高(1.0)	
782	Ⅲ	川200	K16a3-IV	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	つまみ径2.1 器高(3.0)	
783	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器蓋	8世紀	つまみ径(2.4) 器高(2.5)	
784	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器蓋	8世紀	口径(12.6) 器高(2.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
785	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径(12.8) 器高(2.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
786	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	口径(13.4) 器高(2.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
787	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径(13.2) 器高(1.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
788	Ⅲ	川200	K16a2-II	須恵器蓋	8世紀	口径(13.6) 器高(1.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
789	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器蓋	8世紀	口径(13.6) 器高(2.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
790	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器蓋	8世紀	口径(14.2) 器高(3.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
791	Ⅲ	川200	K16b3-II	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	口径(12.4) 器高(1.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
792	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器蓋	8世紀	口径15.5 器高3.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
793	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	口径14.8 器高3.5	外:回転ナデ 内:回転ナデ
794	Ⅲ	川200	K16a3-IV	須恵器蓋	8世紀	口径(15.2) 器高(1.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
795	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器蓋	8世紀	口径(15.6) 器高(1.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
796	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径(15.8) 器高(2.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
797	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器蓋	8世紀	口径(15.8) 器高(1.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
798	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	口径16.0 器高(3.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
799	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器蓋	8世紀	口径(15.8) 器高(2.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
800	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器蓋	7世紀後半～8世紀	口径15.8 器高2.6	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰黄褐 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む		761
外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ、凹線1条 内:回転ナデ	外:灰 内:灰黄褐 断:灰白	～3mmの砂粒含む	銅鏡を模倣	762
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:暗灰黄	密	外面自然釉付着 銅鏡を模倣	763
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰オリーブ 内:にぶい黄	微細な砂粒含む		764
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:褐灰	～1mm弱の砂粒含む	外面自然釉付着	765
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:黄灰 断:灰	微細な砂粒含む	銅鏡を模倣	766
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～4mmの砂粒含む		767
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ、爪痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	密	内面底部煤付着	768
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		769
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰	密		770
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		771
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		772
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰白	～7mmの砂粒含む		773
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:高台回転ヘラケズリ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:黄灰 断:灰	～1mmの砂粒含む 黒色粒		774
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:ナデ、擦痕	外:灰 内:黄灰	～1mmの砂粒含む	転用硯?	775
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		776
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、回転ヘラケズ リ、爪痕 内:回転ナデ	外:灰黄 内:灰白	微細な砂粒含む		777
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		778
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、回転ヘラケズ リ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む		779
	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:黒 内:暗灰黄 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒少量含む	外面黒色を呈する	780
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		781
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	内面煤化	782
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:黄灰 内:褐灰 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	783
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒多量含む		784
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	転用硯 内面墨付着	785
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:オリーブ灰 内:灰	～4mmの砂粒含む	外面自然釉付着	786
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	転用硯 内面墨付着	787
外:ナデ、回転ナデ 内:回転ナデ		外:青灰 内:青灰 断:青灰	～3mmの砂粒多量含む		788
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	転用硯 内面墨付着	789
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	内面自然釉付着	790
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		791
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの大砂粒含む	外面重ね焼き痕(自然釉)	792
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	793
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		794
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	転用硯 内面墨付着	795
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		796
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む	口縁部重ね焼き痕(自然釉)	797
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		798
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む		799
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		800

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
801	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径16.0 器高3.4	外:回転ナデ 内:回転ナデ
802	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径16.0 器高2.9	外:回転ナデ 内:回転ナデ
803	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器蓋	8世紀	口径(16.0) 器高(3.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
804	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径(16.4) 器高(2.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
805	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器蓋	8世紀	口径16.6 器高2.7	外:回転ナデ 内:回転ナデ
806	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径(17.0) 器高(2.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
807	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	8世紀	口径17.8 器高2.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
808	Ⅲ	川200	K16f1-Ⅱ	須恵器蓋	8世紀	口径(18.0) 器高(0.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
809	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	須恵器蓋	8世紀	口径(18.2) 器高(1.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
810	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器蓋	8世紀	口径(18.4) 器高(3.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
811	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅳ	須恵器蓋	8世紀	口径(19.6) 器高(1.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
812	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器蓋	8世紀	口径(22.2) 器高(3.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
813	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器皿B	8世紀後半	口径(33.0) 器高(5.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
814	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	須恵器皿C	8世紀後半	口径(16.6) 器高(2.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
815	Ⅲ	川200	K16d1-I	須恵器皿C	8世紀後半	口径(14.9) 器高(1.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
816	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	須恵器高坏	8世紀末	口径(29.4) 器高(2.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
817	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏E	8世紀前半	口径(15.4) 器高(5.2)	外:ヘラミガキ 内:回転ナデ
818	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器鉢A	8世紀前半	口径(19.6) 器高(11.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
819	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅱ	須恵器鉢F		口径(18.6) 器高(10.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
820	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器鉢F		口径(16.6) 器高(10.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
821	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器鉢F		底径(9.6) 器高(4.1)	
822	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器鉢F		底径9.8 器高(5.0)	
823	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器鉢F		底径10.6 器高(6.3)	
824	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	須恵器鉢F		底径9.8 器高(9.2)	
825	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器壺A	7世紀	口径(6.6) 器高(10.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
826	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器壺A	7世紀	口径(9.2) 器高(10.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
827	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	須恵器壺C	7世紀	口径(10.0) 器高(11.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
828	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅱ	須恵器壺C	7世紀	口径5.4 器高7.5	外:回転ナデ 内:回転ナデ
829	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器壺E	8世紀前半	口径(6.2) 器高(7.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
830	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器壺H	8世紀	口径5.6 器高7.9	外:回転ナデ 内:回転ナデ
831	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅳ	須恵器壺H	8世紀	底径(5.0) 器高(7.4)	
832	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅱ	須恵器壺K	8世紀前半	底径(8.3) 器高(9.0)	
833	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器壺K	8世紀前半	底径13.4 器高(15.4)	
834	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器壺L		底径11.8 器高(18.7)	
835	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	須恵器壺L		口径(8.8) 器高(9.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
836	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	須恵器壺M		底径4.8 器高(8.5)	
837	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器壺M		底径3.2 器高(6.8)	
838	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅳ	須恵器壺M		底径4.6 器高(7.4)	
839	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器壺N		体部径(22.1) 器高(11.7)	
840	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器壺N		体部径(18.6) 器高(18.3)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	口縁部重ね焼き痕(自然釉)	801
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	802
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～4mmの砂粒含む 黒色粒		803
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰白 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む		804
外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む		805
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		806
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	口縁部重ね焼き痕(自然釉)	807
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		808
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	転用硯 外面自然釉付着	809
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:暗灰黄	～4mmの砂粒含む		810
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	転用硯 口縁部重ね焼き痕(自然釉)	811
外:ナデ、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		812
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		813
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	密		814
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	815
外:回転ヘラケズリ 内:ハケメ後ナデ		外:灰白 内:灰白	～3mmの砂粒含む 黒色粒		816
外:ヘラミガキ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	密	銅鏡形を模倣	817
外:回転ナデ、ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:黄灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む	鉄鉢形	818
外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	内外面黒色を呈する	819
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白	～3mmの砂粒含む		820
	外:回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～5mmの砂粒含む		821
	外:ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰オリーブ 内:灰 断:灰	～4mmの砂粒含む	外面自然釉付着	822
	外:回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰白 内:灰黄褐 断:灰白	～2mmの砂粒含む		823
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:褐灰	～1mmの砂粒含む	内面自然釉付着	824
外:回転ナデ、沈線1条、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰赤	～3mmの砂粒多量含む	外面自然釉付着	825
外:回転ナデ、沈線2条、ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	826
外:回転ナデ後ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	827
外:回転ナデ、ヘラケズリ後ナデ、 回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む 黒色粒	完形品 焼成前ヘラ記号	828
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	829
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		830
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰	密	内面自然釉付着	831
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む	外面自然釉付着	832
外:回転ナデ、沈線1条、一部タキ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:ナデ	外:黄灰 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む	外面自然釉付着	833
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ後 回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	834
外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	835
外:回転ナデ、凹線1条、回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:ヘラ切り後ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰	密	外面自然釉付着	836
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰赤	～1mmの砂粒含む		837
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		838
外:回転ナデ、沈線2条 内:回転ナデ		外:灰 内:暗灰黄 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	把手付 外面自然釉付着	839
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:黄灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	把手付 外面自然釉付着	840

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
841	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器壺Q	8世紀	口径(18.4) 器高(17.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
842	Ⅲ	川719	K16d1-I	須恵器壺Q	8世紀	底径(17.1) 器高(11.4)	
843	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器壺Q	8世紀	口径(17.7) 器高(13.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
844	Ⅲ	川200	K16a2-II	須恵器壺Q	8世紀	体部径(20.2) 器高(13.3)	
845	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器壺		口径(9.8) 器高(17.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
846	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器壺		口径17.0 器高(7.2)	外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ
847	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器壺		口径(16.0) 器高(8.8)	外:回転ナデ、凹線4条 内:回転ナデ
848	Ⅲ	川200	K16d1-IV	須恵器壺		底径(10.2) 器高(2.0)	
849	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器壺		底径(11.5) 器高(8.6)	
850	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器壺		底径(10.2) 器高(2.7)	
851	Ⅲ	川719	K16e1-IV	須恵器壺		底径(15.6) 器高(4.5)	
852	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器壺		底径(17.6) 器高(1.9)	
853	Ⅲ	川719	K16d1-IV	須恵器壺		底径(9.3) 器高(8.4)	
854	Ⅲ	川200	J16j2-IV	須恵器壺		底径(10.0) 器高(5.5)	
855	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器壺		体部径(11.9) 器高(8.1)	
856	Ⅲ	川200	K16a3-I	須恵器壺			
857	Ⅲ	川200	K16a2-IV	須恵器壺蓋		稜径(13.6) 器高(3.9)	
858	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器壺蓋		口径(15.0) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
859	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器平瓶	7世紀	口径(13.4) 器高(17.0)	外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ
860	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器壺		口径14.6 器高(8.1)	外:回転ナデ、凹線3条 内:回転ナデ
861	Ⅲ	川200	K16b2-I	須恵器平瓶		口径5.8 器高(8.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
862	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器甕		口径(17.6) 器高(6.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
863	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器甕		口径(18.0) 器高(5.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
864	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器甕		口径(21.6) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
865	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(14.6) 器高(17.4)	外:ナデ 内:ナデ
866	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(18.0) 器高(13.6)	外:不調整 内:ナデ
867	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(18.5) 器高(7.2)	外:ナデ 内:ナデ
868	Ⅲ	川200	K16b3-I	製塩土器		口径(14.4) 器高(6.5)	外:ナデ 内:ナデ
869	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ
870	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ
871	Ⅲ	川200	K16a3-I	製塩土器		口径(14.0) 器高(9.0)	外:ナデ 内:ナデ
872	Ⅲ	川200	K16b3-I	製塩土器		口径(13.6) 器高(7.6)	外:ナデ 内:ナデ
873	Ⅲ	川200	不明	製塩土器		口径12.6 器高(8.4)	外:ナデ 内:ナデ
874	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(10.6) 器高(5.4)	外:ナデ 内:ナデ
875	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(13.0) 器高(7.4)	外:ナデ 内:ナデ
876	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(11.0) 器高(7.7)	外:ナデ 内:ナデ
877	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(12.6) 器高(7.6)	外:ナデ 内:ナデ
878	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(9.6) 器高(8.8)	外:ナデ 内:ナデ
879	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(12.4) 器高(6.0)	外:ナデ 内:ナデ
880	Ⅲ	川719	K16e1-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ?	外:灰白 内:灰 断:灰黄褐	密	内外面自然釉付着	841
外:回転ナデ、ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ、ヘラケズリ後回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:赤灰	～3mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	842
外:回転ナデ、ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む 黒色粒	内外面自然釉付着	843
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ 内:—	外:灰 内:灰 断:暗赤灰	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	844
外:回転ナデ、タタキ後回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:ヘラケズリ後回転ナデ 内:指頭痕、ナデ	外:灰 内:灰 断:灰赤	～5mmの砂粒含む		845
		外:灰 内:灰 断:灰赤	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	846
		外:灰 内:灰 断:灰赤	～3mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	847
	外:高台回転ナデ、ヘラケズリ、爪痕 内:回転ナデ	外:黄灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	内面煤付着	848
外:回転ナデ、沈線2条 内:回転ナデ、ナデ	外:高台回転ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む		849
	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	転用硯 高台を打ち欠く	850
	外:高台回転ナデ、沈線1条、ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰	密	転用硯 外面高台内墨付着 体部打ち欠く	851
	外:高台回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒含む	転用硯 高台を打ち欠く	852
外:回転ナデ後回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:高台回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白	密		853
外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む		854
外:回転ナデ、ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～5mmの砂粒含む	内面自然釉付着	855
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:黄灰 内:灰白 断:灰白	～3mmの砂粒含む	焼成前ヘラ記号	856
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	857
外:回転ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒含む		858
外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ	外:ナデ後手持ちヘラケズリ、 回転ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	859
		外:灰白 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒少量含む	内外面自然釉付着	860
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒少量含む		861
外:タタキ後ナデ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	密		862
外:タタキ後回転ナデ 内:当て具痕		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む		863
		外:灰白 内:灰白 断:灰白	粗 ～2mmの砂粒含む	口縁部自然釉付着 他地域産?	864
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄橙 断:にぶい黄橙	粗 ～4mmの砂粒多量含む		865
外:不調整 内:ナデ		外:明褐灰 内:にぶい黄橙 断:灰黄褐	粗 ～5mmの砂粒含む		866
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:灰	粗 ～3mmの砂粒多量含む 黒色スコリア 赤色粒		867
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒多量含む		868
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:灰オリーブ	粗 ～4mmの砂粒多量含む		869
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:灰	粗 ～3mmの砂粒多量含む 黒色スコリア 赤色粒		870
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	密		871
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～3mmの砂粒含む		872
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	873
外:ナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒少量含む		874
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:灰黄 断:にぶい橙	～2mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	875
外:ナデ 内:ナデ		外:褐灰 内:灰白 断:にぶい黄橙	粗 赤色粒		876
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰	～2mmの砂粒含む		877
外:ナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:にぶい橙	～3mmの砂粒多量含む		878
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:灰黄 断:にぶい橙	～2mmの砂粒多量含む 赤色粒		879
外:ナデ 内:布目痕		外:灰 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒含む		880

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
881	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ
882	Ⅲ	川200	不明	製塩土器			外:不調整 内:ナデ
883	Ⅲ	川200	不明	製塩土器		口径10.2 器高(8.5)	外:ナデ 内:ナデ
884	Ⅲ	川200	不明	製塩土器		口径(10.0) 器高(5.4)	外:ナデ 内:ナデ
885	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(11.2) 器高(4.9)	外:ナデ 内:ナデ
886	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:調整不明 内:ナデ
887	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(15.0) 器高(10.1)	外:ナデ 内:ナデ
888	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(12.6) 器高(7.4)	外:ナデ 内:ナデ
889	Ⅲ	川719	K16e1-I	製塩土器		口径(11.4) 器高(5.2)	外:ナデ 内:ナデ
890	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(10.8) 器高(6.5)	外:ナデ 内:ナデ
891	Ⅲ	川200	不明	製塩土器		口径(10.4) 器高(10.2)	外:ナデ 内:ナデ
892	Ⅲ	川200	K16b2-IV	製塩土器		口径(12.6) 器高(5.8)	外:ナデ 内:ナデ
893	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(11.0) 器高(4.3)	外:ナデ 内:ナデ
894	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(10.8) 器高(6.6)	外:ナデ 内:ナデ
895	Ⅲ	川200	K16b2-IV	製塩土器		口径(11.2) 器高(4.2)	外:ナデ 内:ナデ
896	Ⅲ	川200	K16b2-IV	製塩土器		口径(11.2) 器高(6.0)	外:ナデ 内:ナデ
897	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(10.6) 器高(16.7)	外:ナデ 内:ナデ
898	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器		口径(6.6) 器高(13.0)	外:ナデ 内:ナデ
899	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ
900	Ⅲ	川200	不明	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ、凸帯1条
901	Ⅲ	川200	不明	製塩土器			外:- 内:-
902	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			外:ナデ 内:ナデ
903	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	製塩土器			外:ハケメ 内:ナデ
904	Ⅲ	川200	K16a3-I	製塩土器			
905	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			
906	Ⅲ	川200	K16b2-II	製塩土器			
907	Ⅲ	川200	K16a3-I	製塩土器	古墳時代		
908	Ⅲ	川200	K16a3-I	製塩土器	古墳時代		
909	Ⅲ	川200・719	K16b2-II	製塩土器			
910	Ⅲ	川200・719	K16b2-II	製塩土器			
911	Ⅲ	川200・719	K16b3-I	製塩土器			
912	Ⅲ	川200・719	K16b2-II	製塩土器			
913	Ⅲ	川200・719	K16b2-II	製塩土器			
914	Ⅲ	川200	K16b2-I	土師器壺	弥生時代中期	口径(31.2) 器高(8.9)	外:ヨコナデ、凹線2条、円形浮文、ハケメ、凹線4条 内:ヨコナデ
915	Ⅲ	川200	J16j2-Ⅲ	土師器壺		口径(20.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:調整不明
916	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	二重口縁加飾壺	廻間? 式後半		
917	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器壺		体部径(23.0) 器高(15.4)	外:ハケメ 内:ナデ
918	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器直口壺		口径(17.6) 器高(8.8)	外:ヨコナデ、ハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
919	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器小形丸底土器		体部径(9.1) 器高(7.1)	外:ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヨコナデ、ヘラミガキ
920	Ⅲ	川200	K16a1-II	土師器小形丸底土器		口径14.2 器高8.1	外:ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヨコナデ、ヘラミガキ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:布目痕		外:にぶい赤褐 内:にぶい赤褐 断:橙	～3mmの砂粒含む		881
外:不調整 内:布目痕		外:にぶい褐 内:灰黄褐	粗 ～3mmの砂粒多量含む		882
外:ナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		883
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:にぶい黄橙 断:明黄褐	～1mmの砂粒多量含む 赤色粒		884
外:不調整 内:ナデ		外:明褐灰 内:灰白 断:灰白	～5mmの砂粒多量含む		885
外:調整不明 内:ナデ		外:暗灰黄 内:灰黄	～2mmの砂粒含む		886
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒多量含む		887
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰	～5mmの砂粒含む		888
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰黄	～4mmの砂粒含む		889
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	密		890
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:灰黄褐	～4mmの砂粒含む		891
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		892
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄	1～3mmの砂粒含む		893
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰黄	～3mmの砂粒含む		894
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	密		895
外:ナデ 内:ナデ		外:黄橙 内:浅黄橙 断:橙	～4mmの砂粒含む		896
外:ナデ、煮零れ痕 内:布目痕、ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		897
外:ナデ 内:粗い布目痕、布の綴目あり		外:灰白 内:にぶい橙	粗		898
外:ナデ 内:粗い布目痕		外:にぶい橙 内:にぶい橙	粗 ～5mmと1cmの砂粒 含む 赤色粒		899
外:ナデ 内:布目痕		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:橙	～1mmの砂粒含む	焼成前ヘラ記号	900
外:一 内:布目痕		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:橙	粗 ～4mmの砂粒多量含む		901
外:ナデ 内:布目痕		外:にぶい橙 内:橙 断:橙	～5mmの砂粒含む		902
外:ハケメ 内:ナデ		外:浅黄 内:灰白	～2mmの砂粒含む 赤色粒		903
外:タタキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:橙	～2.5mmの砂粒含む		904
外:タタキ 内:調整不明		外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:灰黄	～3mmの砂粒多量含む		905
外:タタキ 内:調整不明		外:橙 内:にぶい黄橙	粗 ～4mmの砂粒多量含む		906
外:ナデ 内:貝殻条痕		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		907
外:ナデ 内:貝殻条痕		外:にぶい橙 内:灰白 断:灰白	密		908
外:ナデ、煮零れ痕? 内:布目痕		外:にぶい褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい褐	1～5mmの砂粒含む	外面煤付着	909
外:ナデ、煮零れ痕? 内:ナデ		外:黄灰 内:にぶい黄橙 断:灰	～2mmの砂粒含む 赤色粒	外面煤付着	910
外:ナデ、煮零れ痕? 内:ナデ		外:暗灰黄 内:灰黄褐 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	911
外:ナデ、煮零れ痕? 内:布目痕		外:褐灰 内:灰褐 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	912
外:ナデ、煮零れ痕? 内:ナデ		外:灰黄褐 内:褐灰 断:灰黄褐	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	913
		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい赤褐	～5mmの砂粒多量含む		914
外:ハケメ 内:調整不明		外:灰黄 内:にぶい黄 断:灰	～1mmの砂粒含む	内面口縁部煤付着 黒斑あり	915
外:直線文2条、波状文1条、竹管 文1条、ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ		外:橙 内:黄灰 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	東海系	916
外:直線文2条、波状文3条、ハケ 後タテヘラミガキ 内:ハケ後ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:褐灰	～3mmの砂粒含む		917
外:ハケ後ヘラナデ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:灰黄 断:灰	～2mmの砂粒多量含む		918
外:ヨコヘラミガキ後タテヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒多量含む		919
外:ヘラミガキ後ヘラケズリ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:灰黄褐 断:にぶい黄褐	～1mmの砂粒含む		920

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
921	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅱ	土師器小形丸底土器		口径10.6 器高9.2	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ
922	Ⅲ	川200	J16j1-Ⅲ	土師器小形壺		体部径8.6 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
923	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器小形壺		体部径(8.6) 器高(7.4)	
924	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅰ	土師器壺		体部径11.3 器高(11.7)	外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
925	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅰ	土師器鉢		口径8.6 器高7.1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
926	Ⅲ	川200	不明	土師器鉢		口径(14.6) 器高(5.9)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
927	Ⅲ	川200	K15a10-Ⅳ	土師器高坏		口径15.6 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
928	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器高坏		口径(16.0) 器高(11.1)	外:ヨコナデ後ハケメ 内:ヨコナデ後ハケメ
929	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器高坏		坏体部径(11.5) 器高(5.8)	
930	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅰ	土師器高坏		口径(13.0) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
931	Ⅲ	川200	K15b10-Ⅱ	土師器?高坏		裾部径13.0 器高(7.1)	
932	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅱ	土師器高坏		器高(8.9)	
933	Ⅲ	川200	K15a10-Ⅳ	土師器高坏		底径(12.4) 器高(8.0)	
934	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器高坏		裾部径10.4 器高(9.4)	
935	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器高坏		裾部径(10.0) 器高(6.0)	
936	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器高坏		裾部径(10.8) 器高(6.0)	
937	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器高坏		裾部径12.3 器高9.7	
938	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅱ	土師器小形器台		口径(11.6) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
939	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器小形器台			外:ヨコナデ、ナデ 内:ナデ
940	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器甕	弥生時代前期		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
941	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅳ	土師器甕	弥生時代中期	口径(14.4) 器高(23.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
942	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	土師器甕	弥生時代中期	口径(18.4) 器高(12.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
943	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器壺	弥生時代後期	底径(7.8) 器高(1.9)	
944	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅱ	土師器甕	弥生時代後期	口径(14.2) 器高(8.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
945	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅱ	土師器甕	弥生時代後期	口径(13.0) 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
946	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器甕	弥生時代後期	口径(12.6) 器高(4.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
947	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕	弥生時代後期	口径(16.4) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
948	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器甕	弥生時代後期	底径3.4 器高(2.5)	
949	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器甕	弥生時代後期	底径4.4 器高(3.2)	
950	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅳ	土師器甕	弥生時代後期	底径4.6 器高(2.3)	
951	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕(庄内式)		口径(15.5) 器高(22.0)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
952	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕(庄内式)		口径(13.3) 器高(9.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
953	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器甕(庄内式)		口径(14.6) 器高(11.6)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
954	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器甕		口径(10.4) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
955	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕(庄内式)		口径(14.5) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
956	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕(布留式)		口径15.4 器高22.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
957	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	土師器甕(庄内式)	原田布留Ⅰ	口径(14.5) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
958	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅰ	土師器甕(庄内式)	原田布留Ⅰ	口径13.8 器高17.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
959	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	土師器甕(庄内式)	原田布留Ⅰ	口径(12.8) 器高18.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
960	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器複合口縁壺		口径(21.6) 器高39.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ヘラミガキ、ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		921
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:褐灰 断:灰白	～4mmの砂粒多量含む		922
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ、平底 内:ナデ	外:にぶい黄 内:浅黄 断:灰	～1mmの砂粒含む		923
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ	外:ナデ、平底 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～4mmの砂粒含む		924
外:タタキ後ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む		925
外:ヘラミガキ、ヘラケズリ 内:ヘラミガキ	外:ヘラケズリ 内:ヘラミガキ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		926
外:ハケ後ヨコナデ、ハケメ 内:ハケ後ナデ、タテヘラミガキ		外:橙 内:橙 断:灰	～2mmの砂粒多量含む		927
外:ハケ後一部ヘラミガキ 内:ハケ後一部ヘラミガキ	外:調整不明 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む		928
外:ヨコナデ後タテヘラミガキ 内:ナデ後タテヘラミガキ		外:橙 内:にぶい橙 断:橙	～2mmの砂粒含む	内面粉圧痕あり	929
外:ヨコナデ、ヘラケズリ後ナデ、ハケメ 内:ヨコナデ後タテヘラミガキ		外:橙 内:橙	密		930
	外:ナデ後ハケメ 内:ナデ 透孔4方向	外:黄褐 内:にぶい黄褐	～4mmの砂粒含む		931
外:ナデ 内:ナデ後タテヘラミガキ	外:ナデ、ヘラナデ 内:絞り目	外:橙 内:橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		932
	外:調整不明 内:調整不明	外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面裾部煤付着	933
	外:ヘラナデ 内:絞り目、布目痕	外:灰黄 内:灰黄	～3mmの砂粒含む		934
	外:ナデ 内:絞り目	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		935
	外:ヘラナデ 内:絞り目	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		936
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ、ハケ後ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	密		937
外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ		外:明赤褐 内:赤 断:にぶい赤褐	密	内外面赤色顔料塗布	938
		外:にぶい橙 内:赤	密	内外面赤色顔料塗布	939
外:ナデ、沈線3条 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい黄褐	～3mmの砂粒多量含む		940
外:ヘラミガキ 内:ハケ後ナデ	外:ヘラミガキ後ナデ 内:ナデ	外:オリーブ灰 内:オリーブ灰	～7mmの砂粒含む		941
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～1mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	942
	外:ヘラケズリ、ナデ、木葉痕 内:ナデ	外:浅黄 内:灰黄 断:灰白	～2mmの砂粒含む		943
外:ハケ後タタキ 内:ハケ後ナデ		外:にぶい橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒多量含む		944
外:タタキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:灰黄	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産	945
外:タタキ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:暗灰黄	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産	946
外:タタキ 内:ナデ		外:褐灰 内:灰黄褐 断:灰黄褐	～2.5mmの砂粒含む		947
	外:タタキ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		948
	外:タタキ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:黒褐	～3mmの砂粒含む		949
	外:ハケ後ナデ、タタキ 内:工具ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい橙	～7mmの砂粒含む		950
外:タタキ後ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:灰黄褐 内:灰黄褐 断:灰黄褐	～5mmの砂粒少量含む	内外面裾部下半部煤付着	951
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:オリーブ黒 内:灰黄 断:暗灰黄	～4mmの砂粒含む		952
外:ハケメ 内:調整不明		外:褐灰 内:褐灰	～5mmの砂粒含む	外面煤付着 生駒西麓産	953
外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:にぶい黄褐	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	954
外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒多量含む		955
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:灰白 断:灰白	密		956
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:明黄褐 内:黒褐	密	外面煤付着	957
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ後ナデ	外:灰黄褐 内:灰黄褐 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	958
外:タテヨコハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:灰黄褐 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	～1.5mmの砂粒多量含む	内外面煤・炭化物付着	959
外:タテハケ後ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 穿孔2ヶ所	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:暗褐	～1mmの砂粒含む	底部に黒斑あり	960

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
961	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	土師器複合口縁壺		口径(28.0) 器高(5.5)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
962	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅱ	土師器複合口縁壺		頸部径(9.0) 器高(6.6)	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
963	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器複合口縁壺			外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
964	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	土師器甕		口径(23.0) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
965	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	土師器甕			外:調整不明 内:調整不明
966	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	土師器甕	オノ町Ⅰ～Ⅱ式	口径(14.2) 器高(4.7)	外:擬凹線4条 内:ヨコナデ
967	Ⅲ	川200	J16j1-Ⅲ	土師器甕	下田所式前半	口径(10.4) 器高(5.4)	外:櫛描横線文 内:ヨコナデ
968	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	土師器高坏	古墳時代前期?	口径(14.6) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
969	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器甕			
970	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器S字口縁壺		底径9.6 器高(6.0)	
971	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器ミニチュア高坏		口径(8.4) 器高6.5	外:ナデ 内:ナデ
972	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器ミニチュア高坏		口径(7.8) 器高6.4	外:ナデ 内:ナデ
973	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器ミニチュア高坏		口径(7.9) 器高5.5	外:ナデ 内:ナデ
974	Ⅲ	川200	K16e1-Ⅳ	土師器ミニチュア高坏		口径9.2 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
975	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器ミニチュア高坏		裾部径7.2 器高(6.1)	
976	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器ミニチュア高坏		口径(9.6) 器高(2.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
977	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器小形壺		頸部径4.8 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
978	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	土師器ミニチュア直口壺		口径(3.4) 器高5.8	外:ナデ 内:ナデ
979	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器ミニチュア鉢?		口径(4.6) 器高(2.4)	外:ナデ 内:ナデ
980	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器円筒埴輪			
981	Ⅲ	川719	K16a2-Ⅲ	土師器円筒埴輪			
982	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅰ	須恵質土管		径(15.4) 器高(12.0)	
983	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅳ	土錘		最大長(10.7) 最大幅4.8 孔径1.4 重量211.3g	
984	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土錘		最大長(7.4) 最大幅2.8 孔径1.1 重量50.4g	
985	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土錘		最大長7.2 最大幅3.3 孔径0.6 重量64.2g	
986	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土錘		最大長(4.0) 最大幅1.8 孔径0.4 重量16.6g	
987	Ⅲ	川200	K16b1-Ⅱ	土錘		最大長3.5 最大幅0.9 孔径0.4 重量3.6g	
988	Ⅲ	川200	K16b1-Ⅱ	土師器イイダコ壺		口径(4.0) 器高(6.4)	
989	Ⅲ	川200	K15a10-Ⅳ	不明土製品			
990	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器甕			外:同心円圧痕、タタキ、ナデ 内:ナデ
991	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	不明土製品			片面:調整不明 片面:タタキ
992	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅳ	須恵器蓋	中村Ⅰ-3 (田辺TK208)	口径(12.6) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
993	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅱ	須恵器蓋	中村Ⅰ-3 (田辺TK208)	口径(12.2) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
994	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅱ	須恵器蓋	中村Ⅰ-3 (田辺TK208)	口径(12.6) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
995	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	須恵器蓋	中村Ⅰ-3 (田辺TK208)	口径(13.8) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
996	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅰ	須恵器蓋	中村Ⅱ-Ⅰ (田辺TK15)	口径(13.2) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
997	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	須恵器蓋	中村Ⅱ-2～3 (田辺TK10～MT85)	口径(14.8) 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
998	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅱ	須恵器蓋	中村Ⅱ-4 (田辺TK43)	口径(14.9) 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
999	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	中村Ⅱ-2～3 (田辺TK10～MT85)	口径(14.2) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1000	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	須恵器坏	中村Ⅰ-2 (田辺TK216)	口径(10.3) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
		外:灰白 内:浅黄橙 断:灰白	～3mmの砂粒含む		961
		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰黄褐	～1mmの砂粒含む		962
		外:にぶい橙 内:にぶい黄 断:黄灰	～2mmの砂粒含む		963
外:ハケメ 内:ハケ後ナデ		外:にぶい橙 内:橙 断:灰黄	～2mmの砂粒含む		964
		外:褐 内:黒褐 断:にぶい赤褐	～5mmの砂粒含む	内面漆付着	965
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:浅黄 内:灰黄 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	吉備系 外面粉圧痕	966
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む	吉備系	967
外:ハケ後ヨコヘラミガキ、タテヘラミガキ 内:タテヘラミガキ	外:ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙	密	山陰系	968
外:ナデ後ハケ状工具による綾杉状連続刺突文 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:灰黄褐 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む	山陰系	969
	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:赤	～1mmの砂粒多量含む	東海系	970
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ、絞目	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～1mmの砂粒少量含む	手捏ね成形	971
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ、絞目	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい黄褐	～1mmの砂粒少量含む	手捏ね成形	972
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:灰黄橙 断:橙	～1mmの砂粒含む	手捏ね成形	973
外:ナデ 内:ナデ		外:灰オリーブ 内:灰オリーブ	微細な砂粒含む	手捏ね成形	974
	外:不調整、ナデ 内:絞目	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	手捏ね成形	975
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰黄 断:灰	密	手捏ね成形	976
外:ナデ後ヘラミガキ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:灰白	～1mmの砂粒含む	把手付	977
外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	底部に黒斑あり	978
外:ハケメ 内:ハケメ	外:ナデ 内:ナデ?	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰	～1mmの砂粒含む	手捏ね成形	979
外:ハケメ、ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		980
外:ハケメ、ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		981
外:凸帯1条、ヨコナデ、ハケメ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～6mmの砂粒含む		982
外:ナデ 内:ー		外:橙 内:橙 断:橙	～1mmの砂粒含む		983
外:ナデ 内:ー		外:灰黄 内:にぶい黄 断:灰黄	～8mmの砂粒含む		984
外:ナデ 内:ー		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む		985
外:ナデ 内:ー		外:にぶい黄橙 内:にぶい褐 断:褐灰	～2mmの砂粒含む		986
外:ナデ 内:ー		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密		987
外:ナデ 内:ナデ 穿孔1		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		988
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		989
		外:黄褐 内:黒	～4mmの砂粒含む	内面漆付着	990
		片面:暗灰 片面:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～7mmの砂粒含む		991
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰赤	～1mmの砂粒含む	外面自然袖付着	992
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面自然袖付着	993
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:黄灰 内:灰白 断:灰	～2mmの砂粒含む		994
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		995
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰黄 内:灰白	～2mmの砂粒含む		996
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		997
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰オリーブ	～3mmの砂粒含む		998
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		999
外:手持ちヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:手持ちヘラケズリ 内:ナデ	外:明オリーブ灰 内:オリーブ灰	～2mmの砂粒含む		1000

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
1001	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏	中村 I-3 (田辺TK208)	口径(10.2) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1002	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	須恵器坏	中村 II-2 (田辺TK10)	口径(12.2) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1003	Ⅲ	川719	K16a3-I	須恵器坏	中村 II-2 (田辺TK10)	口径(12.0) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1004	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏	中村 II-2~3 (田辺TK10~MT85)	口径(11.3) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1005	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器坏	中村 II-4 (田辺TK43)	口径(11.8) 器高(4.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1006	Ⅲ	川200	K16b3-Ⅲ	須恵器坏	中村 II-4 (田辺TK43)	口径(13.0) 器高(3.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1007	Ⅲ	川200	K16a3-IV	須恵器坏	中村 II-4~5 (田辺TK43~TK209)	口径(12.6) 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1008	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏蓋			
1009	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器坏 or 蓋			
1010	Ⅲ	川719	K16a2-IV	須恵器坏 or 蓋			
1011	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器坏 or 蓋			
1012	Ⅲ	川719	K16f1-II	須恵器坏 or 蓋			
1013	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器坏 or 蓋			
1014	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器坏 or 蓋			
1015	Ⅲ	川719	K16f1-II	須恵器坏 or 蓋			
1016	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器坏 or 蓋			
1017	Ⅲ	川719	K16e1-IV	須恵器坏 or 蓋			
1018	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏蓋	中村 II-4 (田辺TK43)	口径(14.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1019	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器坏蓋	中村 II-5 (田辺TK209)	口径(13.9) 器高(2.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1020	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏蓋	7世紀後半	口径(12.8) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1021	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏蓋	中村 II-5 (田辺TK209)	口径(12.5) 器高(3.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1022	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏蓋	中村 II-5 (田辺TK209)	口径(11.6) 器高(3.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1023	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏蓋	中村 II-5 (田辺TK209)	口径(11.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1024	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	須恵器坏蓋	中村 II-6 (田辺TK217)	口径(9.9) 器高(3.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1025	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	須恵器坏	中村 II-4 (田辺TK43)	口径(11.8) 器高(4.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1026	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏	中村 II-5 (田辺TK209)	口径(11.0) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1027	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器坏	中村 II-6 (田辺TK217)	口径(8.1) 器高(3.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1028	Ⅲ	川719	K16f2-II	須恵器坏	中村 II-6 (田辺TK217)	口径10.4 器高3.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1029	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器坏	中村 III (田辺TK217~48)	つまみ径1.6 器高(1.5)	
1030	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器蓋	中村 III-1 (田辺TK217)	口径(10.2) 器高(2.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1031	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器坏蓋	中村 III-2~3 (田辺TK46~TK48)	口径(9.8) 器高(2.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1032	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏G	7世紀後半(飛鳥IV)	口径(11.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1033	Ⅲ	川719	K16e1-I	須恵器無蓋高坏	中村 I-2 (田辺TK216)	口径(16.4) 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1034	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器高坏		裾部径(9.2) 器高(5.2)	
1035	Ⅲ	川719	K16e1-IV	須恵器高坏		裾部径(8.1) 器高(4.3)	
1036	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器高坏		裾部径8.4 器高(4.3)	
1037	Ⅲ	川719	K16e1-IV	須恵器樽形臬	中村 I-2 (田辺TK216)	器高(13.8)	
1038	Ⅲ	川200	K16a1-I	須恵器樽形臬	中村 I-2 (田辺TK216)	器高(11.2)	
1039	Ⅲ	川719	K16d1-II	須恵器臬	中村 I-4 (田辺TK23)	体部径10.4 器高(8.5)	
1040	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器臬	中村 I-2 (田辺TK216)	体部径8.7 器高(7.7)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1001
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1002
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		1003
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、当て具痕	外:回転ヘラケズリ 内:当て具痕	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1004
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰赤	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着 焼成前ヘラ記号	1005
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1006
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		1007
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1008
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1009
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	1010
外:回転ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1011
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	1012
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	微細な砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1013
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	1014
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1015
外:回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1016
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	1017
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		1018
外:回転ヘラケズリ、ヘラ記号 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1019
外:不調整 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～4mmの砂粒含む		1020
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:黄灰 内:褐灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1021
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～1mmの砂粒多量含む		1022
外:不調整 内:回転ナデ		外:灰 内:灰黄	～1mmの砂粒少量含む		1023
外:ヘラ切り不調整 内:回転ナデ		外:灰 内:黄灰			1024
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰白 内:灰白	～5mmの砂粒含む		1025
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1026
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	密	外面自然釉付着	1027
外:回転ナデ、不調整 内:回転ナデ、ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰 内:灰	密	外面自然釉付着 底体部に 孔あり 焼成前ヘラ記号	1028
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		1029
外:不調整 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1030
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、 ナデ		外:灰 内:灰	密	外面焼成前ヘラ記号	1031
外:回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:黄灰 断:灰	～5mmの砂粒含む		1032
外:回転ナデ、凸帯1条、ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ 透孔8方向?		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		1033
	外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ 透孔5方向	外:灰 内:灰 断:灰白	微細な砂粒含む		1034
	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔4方向	外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		1035
	外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ 透孔3方向	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む		1036
外:回転ナデ、ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰白	～5mmの砂粒少量含む		1037
外:回転ナデ、ナデ、沈線2条、波状文 8条 内:回転ナデ、ナデ 透孔1		外:灰 内:灰 断:灰褐	密		1038
外:回転ナデ、沈線1条、刺突文1 条、ハケメ 内:回転ナデ 透孔1	外:回転ナデ、ハケメ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	密		1039
外:回転ナデ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ 透孔1	外:ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:黄灰	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1040

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1041	Ⅲ	川200	J16j3-IV	須恵器甕	中村 I-2 (田辺TK216)	体部径9.0 器高(7.0)	
1042	Ⅲ	川719	K16b2-IV	須恵器甕	中村 II-2 (田辺TK10)	体部径(10.0) 器高(13.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1043	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器碗		口径(10.2) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1044	Ⅲ	川719	K16e1-I	須恵器鳥形甕		頸部径(3.4)	
1045	Ⅲ	川200	K16b2-IV	須恵器堤瓶?		口径(6.8) 器高(5.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ
1046	Ⅲ	川200	K16a2-IV	軟質系土器甕			
1047	Ⅲ	川200	K15a10-II	軟質系土器甕			
1048	Ⅲ	川719	K16b2-II	軟質系土器甕			
1049	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	軟質系土器甕			
1050	Ⅲ	川200	K16b2-I	軟質系土器甕			
1051	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	軟質系土器甕			
1052	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器甕		口径(11.8) 器高(5.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1053	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	須恵器甕		口径(16.4) 器高(7.5)	外:ハケメ後回転ナデ 内:回転ナデ
1054	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器甕		口径(19.8) 器高(7.8)	外:回転ナデ、凹線1条 内:回転ナデ
1055	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器甕		口径(20.0) 器高(6.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1056	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	須恵器甕		口径(43.4) 器高(9.4)	外:櫛状工具痕後回転ナデ 内:回転ナデ
1057	Ⅲ	川719	K16d1-IV	須恵器甕	5世紀前半?	口径(12.4) 器高(7.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1058	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	須恵器甕	5世紀前半?	口径(19.2) 器高(7.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1059	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	須恵器甕	5世紀前半?	口径(22.0) 器高(6.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1060	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器甕	5世紀前半	口径(16.4) 器高(6.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1061	Ⅲ	川719	K15d10-II	須恵器甕	5世紀前半	口径(18.2) 器高(8.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1062	Ⅲ	川719	K16d1-IV	須恵器甕		口径(13.6) 器高(4.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1063	Ⅲ	川719	K16d1-IV	須恵器甕	中村 I-3 (田辺TK208)	口径(15.0) 器高(5.6)	外:回転ナデ、凸帯1条、波状文2条 内:回転ナデ
1064	Ⅲ	川719	K16d1-IV	須恵器甕		口径(15.0) 器高(5.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1065	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器甕		口径(23.4) 器高(7.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1066	Ⅲ	川200	K16b2-II	須恵器甕		口径(18.8) 器高(7.6)	外:ハケメ後回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1067	Ⅲ	川200	K16a3-II	須恵器甕		口径(21.2) 器高(9.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1068	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器甕		口径(21.2) 器高(7.8)	外:櫛状工具痕後回転ナデ 内:回転ナデ
1069	Ⅲ	川200	K16a1-II	須恵器甕		口径(24.0) 器高(4.7)	外:回転ナデ、凸帯1条、波状文1条 内:回転ナデ
1070	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器甕		口径(24.4) 器高(9.8)	外:櫛状工具痕後回転ナデ 内:回転ナデ
1071	Ⅲ	川200	K16a1-IV	須恵器甕		口径(35.8) 器高(13.9)	外:回転ナデ、沈線1~2条 内:回転ナデ
1072	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	須恵器甕		口径(43.0) 器高(12.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1073	Ⅲ	川200	K16b2-IV	須恵器甕			
1074	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器甕	7世紀前後	口径(21.0) 器高(8.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1075	Ⅲ	川200	K16b3-I	須恵器甕	7世紀前後	口径(24.4) 器高(9.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1076	Ⅲ	川200	K16a2-I	須恵器甕	7世紀前後		外:回転ナデ、沈線5条、波状文2条 内:回転ナデ
1077	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器甕		体部径(58.0) 器高(64.0)	外:回転ナデ、沈線2条、波状文2条 内:調整不明
1078	Ⅲ	川200	K16a1-I	砥石		最大長9.8 最大断面幅3.6×1.5	
1079	Ⅲ	川200	K16b2-II	砥石		最大長10.3 最大断面幅5.0×4.0	
1080	Ⅲ	川200	K16a3-I	砥石		最大長26.0 最大断面幅16.2×5.8	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ 透孔1	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:暗青灰 断:灰褐	～2mmの砂粒含む		1041
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ後 回転ナデ 内:回転ナデ 透孔1	外:回転ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		1042
外:沈線2条、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ 把手に刻目1条		外:黄灰 内:黄灰	密	把手付	1043
外:ナデ 内:ナデ 穿孔1		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1044
		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着 焼成前へラ記号	1045
外:タタキ 内:ナデ		外:浅黄 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		1046
外:タタキ 内:ナデ		外:灰黄 内:オリーフ黒 断:灰黄	～2mmの砂粒含む	内面黒色を呈する	1047
外:タタキ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:灰黄 断:灰白	～1mmの砂粒多量含む		1048
外:タタキ 内:ナデ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	生駒西麓産?	1049
外:細席文タタキ 内:ナデ		外:灰 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1050
外:細席文タタキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		1051
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒含む	把手付?	1052
		外:灰 内:灰 断:灰褐	密	内外面自然釉付着	1053
外:円形浮文 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1054
		外:暗灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1055
外:タタキ後回転ナデ 内:当て具痕後回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒含む		1056
外:カキメ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	～2mmの砂粒含む		1057
		外:灰白 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1058
外:カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む	外面焼成前へラ記号	1059
外:タタキ後ナデ 内:無文当て具痕		外:灰 内:黄灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む	口縁部自然釉付着(褐色)	1060
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1061
		外:黄灰 内:灰 断:黄灰	～2mmの砂粒含む	口縁部(内)自然釉付着	1062
		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		1063
外:タタキ 内:当て具痕		外:褐灰 内:灰 断:灰褐	～4mmの砂粒含む	口縁部自然釉付着	1064
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～4mmの砂粒含む	口縁部(内)自然釉付着	1065
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰褐 内:灰 断:褐灰	～1mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1066
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～5mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1067
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:黄灰 断:灰白	微細な砂粒含む	口縁部自然釉付着	1068
		外:灰白 内:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		1069
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1070
外:調整不明 内:ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰赤	～5mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1071
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～5mmの砂粒含む		1072
外:タタキ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒少量含む	外面叩き具の木目が残る	1073
外:タタキ後カキメ 内:車輪文当て具痕		外:灰 内:青灰 断:灰	密		1074
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:灰 断:黄灰	～3mmの砂粒含む	内面焼成前へラ記号	1075
		外:灰 内:灰白 断:灰白	～3mmの砂粒含む	内面自然釉付着	1076
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕	外:タタキ 内:当て具痕	外:にぶい褐 内:にぶい褐	密	内外断面煤付着 二次焼成	1077
長側面に擦痕		灰～灰白	密		1078
長側面に擦痕		にぶい黄橙～灰白	密		1079
1面に擦痕		にぶい黄	密	擦痕面以外欠損	1080

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1081	Ⅲ	川200	K16a3-I	砥石		最大長4.4 最大断面幅4.3×2.2	
1082	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径15.6 器高5.8	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1083	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径15.2 器高5.6	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1084	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径15.5 器高6.2	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1085	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径15.4 器高5.6	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1086	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径15.2 器高5.8	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1087	Ⅲ	川719	K16f1-II	瓦器碗	尾上I-3	口径(15.8) 器高(5.7)	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1088	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	瓦器碗	尾上II-3	口径(15.8) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヘラミガキ
1089	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上II-1	口径(15.0) 器高(6.2)	外:ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1090	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上I-2	口径(15.8) 器高(5.8)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1091	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上I-2	口径15.3 器高6.3	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1092	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	瓦器碗	尾上I-2	口径(16.8) 器高(5.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1093	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上I-2~3	口径(15.7) 器高(6.3)	外:調整不明 内:調整不明
1094	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	黒色土器B類碗		口径(15.2) 器高(5.6)	外:調整不明 内:調整不明
1095	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上II-1	口径(15.4) 器高(4.6)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1096	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	瓦器碗	尾上I-2~3	口径(16.0) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1097	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上I-2~3	口径(13.8) 器高(4.6)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1098	Ⅲ	落込み341	J15i10	瓦器碗	尾上I-3	口径(16.4) 器高(4.5)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1099	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	土師器碗	佐藤II中~新	口径(14.6) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ナデ
1100	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	土師器碗	佐藤II中~新	口径(13.3) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1101	Ⅲ	落込み341	J15i10	土師器碗	佐藤II中~新	口径(16.4) 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1102	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	土師器碗	佐藤II中~新	口径13.8 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1103	Ⅲ	落込み341	J15i10	土師器皿		口径10.4 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1104	Ⅲ	落込み341	J15i10	土師器台付鉢		口径(21.9) 器高(8.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1105	Ⅲ	落込み341	不明	土師器甕		口径(16.8) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1106	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	須恵器甕	5世紀	口径(19.4) 器高(6.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1107	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	須恵質甕			
1108	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	須恵質土管		体部径(15.0)	
1109	Ⅲ	落込み341	J15i10	鞆羽口		最大長(9.5) 最大幅8.0	
1110	Ⅲ	落込み341	J15i10	円板状土製品		直径(6.0) 厚み(1.9) 孔径(1.6)	
1111	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器坏蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径(12.9) 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1112	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器坏蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径(13.6) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1113	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器坏蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径(12.0) 器高(3.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1114	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器坏	中村I-2(田辺TK216)	口径(11.9) 器高(5.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1115	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器坏	中村I-2(田辺TK216)	口径(13.0) 器高(5.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1116	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	須恵器有蓋高坏	中村I-2(田辺TK216)	口径(10.4) 器高(10.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1117	Ⅲ	落込み217	J15g2-II	須恵質土管		口径8.9 器高(25.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1118	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	土師器大形有段高坏		口径(25.0) 器高(8.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1119	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	土師器碗		口径(12.7) 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
1120	Ⅲ	落込み217	J15g3-I・Ⅲ	土師器直口壺		口径(10.4) 器高(12.1)	外:ヨコナデ、タテヘラミガキ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
全面に擦痕あり		淡黄〜にぶい黄橙	密	端面煤付着	1081
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:黄灰 断:灰白	密	和泉型	1082
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:オリーブ黒 内:灰 断:灰白	〜2mmの砂粒含む	和泉型	1083
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:平行状暗文	外:灰 内:灰 断:灰白	密	和泉型	1084
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:オリーブ黒 内:オリーブ黒 断:灰白	微細な砂粒含む	和泉型	1085
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ後放射状ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰 断:灰白	〜4mmの砂粒含む	和泉型	1086
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ 内:ヘラミガキ	外:暗灰 内:オリーブ黒	密	和泉型	1087
外:ナデ、不調整 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ 内:格子状暗文	外:灰 内:灰 断:灰	密	和泉型	1088
外:ナデ、不調整、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:格子状暗文	外:暗灰 内:暗青	密	和泉型	1089
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:オリーブ黒 内:オリーブ黒 断:黄灰	密	和泉型	1090
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰 内:灰	密	和泉型	1091
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰白 内:暗青灰	密	和泉型	1092
外:調整不明 内:調整不明	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:暗文	外:暗灰 内:黒 断:灰白	〜1mmの砂粒含む	和泉型	1093
外:調整不明 内:調整不明	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:調整不明	外:オリーブ黒 内:オリーブ黒 断:にぶい黄橙	〜4mmの砂粒含む		1094
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ		外:暗灰 内:暗灰 断:灰白	密	和泉型	1095
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ、糊圧痕		外:にぶい黄橙 内:灰黄	〜1mmの砂粒含む	和泉型	1096
外:ヘラケズリ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:灰 内:灰 断:灰白	密	和泉型	1097
外:ヘラミガキ、不調整 内:ヘラミガキ		外:黒 内:暗灰	密	和泉型	1098
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:橙	〜1mmの砂粒含む		1099
外:不調整 内:ナデ		外:浅黄橙 内:にぶい黄橙	〜0.5mmの砂粒多量含む		1100
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	やや密		1101
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:橙 内:にぶい橙	密		1102
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	微細な砂粒含む		1103
外:調整不明 内:調整不明	外:脚台ヨコナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:浅黄橙	〜4mmの砂粒多量含む		1104
外:不調整 内:調整不明		外:褐 内:橙	粗 〜1mmの砂粒含む		1105
外:タタキ後回転ナデ 内:当て具痕後ナデ		外:灰白 内:灰	〜1mmの砂粒多量含む		1106
外:タテハケ 内:ナデ		外:灰白 内:灰	〜4mmの白色砂粒多量含む	把手付	1107
外:タテハケ、凸帯1条 内:ナデ		外:灰 内:灰	〜4mmの白色砂粒多量含む		1108
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	〜2mmの砂粒含む スサ混入	線刻あり(意味不明)	1109
片面:線刻 片面:ナデ 円孔1		線刻面:にぶい黄橙 片面:灰黄	〜1mmの砂粒多量含む	生駒西麓産	1110
外:回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	密	外面自然釉付着	1111
外:回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰白	密		1112
外:調整不明 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白	密	外面自然釉付着	1113
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:暗青灰	密		1114
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		1115
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:カキメ、凸帯2条、回転ナデ 内:回転ナデ 透孔4方向	外:暗青灰 内:暗青灰	密		1116
外:ナデ、タテハケ、凸帯剥離痕 内:ナデ		外:灰 内:灰	粗 〜3mmの砂粒含む	用途不明	1117
外:ハケ後ヨコナデ後タテヘラミガキ 内:ハケ後ヨコナデ後タテヘラミガキ		外:橙 内:橙	〜1mmの砂粒少量含む		1118
外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ		外:橙 内:淡赤橙	〜1.5mmの砂粒含む	内面煤付着	1119
外:ハケメ 内:指ナデ、ヘラケズリ		外:橙 内:橙	〜1mmの砂粒含む		1120

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1121	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗			
1122	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗		口径(18.8) 器高(4.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1123	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗		口径(19.4) 器高(4.7)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
1124	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗		口径(22.0) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
1125	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗		口径(11.0) 器高(3.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1126	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	土師器甗			外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1127	Ⅲ	落込み217	J15g3-Ⅰ・Ⅲ	碗形製塩土器	古墳時代		
1128	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅱ	土師器 小形丸底土器a	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径10.2 器高(9.1)	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1129	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径(8.3) 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
1130	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅳ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径9.0 器高(6.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1131	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径8.2 器高(7.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1132	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器 複合口縁土器a	原田布留Ⅰ?	口径(14.6) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1133	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏e	原田布留Ⅳ	口径(15.9) 器高(14.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1134	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏e?	原田布留Ⅳ	口径18.6 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1135	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗c1	原田布留Ⅱ	口径12.8 器高(8.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1136	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅰ	土師器甗b1	原田布留Ⅰ～Ⅱ	口径(14.6) 器高(16.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1137	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ	口径(13.2) 器高(13.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1138	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d1	原田布留Ⅰ	口径(12.8) 器高(8.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1139	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d1	原田布留Ⅰ	口径(14.8) 器高(4.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1140	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d1	原田布留Ⅱ	口径(15.3) 器高(15.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1141	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d1	原田布留Ⅱ	口径14.2 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1142	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d1	原田布留Ⅱ	口径12.6 器高(5.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1143	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径16.2 器高(6.3)	外:ハケメ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1144	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径(14.6) 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1145	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.2 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1146	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径(15.2) 器高(18.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1147	Ⅲ	落込み416 (下層)	K16f3-Ⅱ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.0 器高(23.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1148	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.8 器高(16.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1149	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅲ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径13.6 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1150	Ⅲ	落込み416 (下層)	J15i7-Ⅱ	土師器甗d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.2 器高(16.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1151	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器b	原田布留Ⅳ	口径8.1 器高6.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1152	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器b	原田布留Ⅳ	口径7.3 器高7.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1153	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器 小形丸底土器b?	原田布留Ⅳ	頸部径5.8 器高(5.9)	
1154	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器b?	原田布留Ⅳ	頸部径6.6 器高(6.0)	
1155	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径6.2 器高8.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1156	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径7.4 器高9.1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1157	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径8.8 器高(10.6)	外:ヨコナデ、ヘラ痕 内:ヨコナデ
1158	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径8.4 器高9.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1159	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径8.3 器高(9.8)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
1160	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径8.4 器高(9.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	密 ~0.2mmの砂粒含む	把手付	1121
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	~2mmの砂粒多量含む		1122
外:ハケメ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	密		1123
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:黄灰	~3mmの砂粒多量含む		1124
外:ナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:灰黄褐 断:灰白	~1mmの砂粒含む	内面粘土塊付着	1125
外:ハケメ 内:ハケメ		外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:灰白	~1mmの砂粒含む		1126
外:タタキ 内:貝殻条痕		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む	紀伊系	1127
外:ヘラミガキ 内:ナデ	外:ナデ後ヘラミガキ 内:板ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む		1128
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	~4mmの砂粒含む	絵画文が一周する 二次焼成?	1129
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰 内:灰 断:灰黄	~5mmの砂粒多量含む		1130
外:ハケメ 内:ヘラナデ	外:ハケメ 内:ヘラナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	~1mmの砂粒多量含む		1131
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい黄橙	~1mmの砂粒含む		1132
外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ後ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 透孔2方向	外:灰白 内:浅黄	~4mmの砂粒含む	内外面煤付着	1133
外:ナデ、ハケメ 内:ハケメ、ナデ、タテヘラミガキ		外:にぶい橙 内:暗灰黄 断:黄灰	~3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1134
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	~4mmの砂粒含む	外面煤付着	1135
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:灰 内:灰黄褐	密	生駒西麓産 外面煤付着	1136
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:灰褐 内:にぶい橙	~3mmの砂粒多量含む	刺突の記号文 内面煤付着	1137
外:ハケメ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	~2mmの砂粒多量含む	刺突の記号文 外面煤付着	1138
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:灰黄	~2.5mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1139
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙	~2mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1140
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰褐 内:灰黄褐 断:にぶい赤褐	~2mmの砂粒含む	外面煤付着	1141
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む	外面煤付着	1142
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:灰白 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	外面煤付着	1143
外:ナデ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	~1.5mmの砂粒含む	外面煤付着	1144
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:にぶい黄橙	~1mmの砂粒含む	外面煤付着	1145
外:タテハケ後ヨコハケ後ナナム ハケ、タタキ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む	記号文(波状文の一部?) 内外面煤付着	1146
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:ハケメ 内:指頭痕、ナデ	外:にぶい黄 内:灰黄	~4mmの砂粒含む		1147
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:にぶい褐 内:褐	~2mmの砂粒含む	内外面煤付着	1148
外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:暗灰 内:灰黄褐 断:にぶい褐	~1mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1149
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	外面煤付着	1150
外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:にぶい橙	~5mmの砂粒含む		1151
外:タテハケ後ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ?	外:ハケメ 内:ハケ後ヘラケズリ?	外:にぶい黄橙 内:浅黄	微細な砂粒含む	外面黒斑あり	1152
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ、ヘラ痕	外:にぶい橙 内:黒	~2mmの砂粒含む	内面煤付着	1153
外:ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ	外:ナデ、指頭痕 内:ナデ	外:オリーブ黒 内:暗灰黄	~5mmの砂粒含む		1154
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:にぶい橙	~3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1155
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む		1156
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい赤褐 断:黄灰	~4mmの砂粒含む		1157
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:にぶい橙	~3mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1158
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:灰白 内:にぶい橙 断:にぶい褐	密		1159
外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:灰黄 内:にぶい黄橙	~1mmの砂粒含む		1160

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頭部
1161	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径8.2 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1162	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径(9.0) 器高(8.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1163	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径9.2 器高9.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1164	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径8.4 器高7.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1165	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径8.0 器高7.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1166	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径(8.3) 器高(7.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1167	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器 小形丸底土器c	原田布留Ⅳ	口径7.4 器高7.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1168	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径(8.9) 器高(5.9)	外:調整不明 内:調整不明
1169	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 小形丸底土器d?	原田布留Ⅴ?	頸部径6.6 器高(6.7)	
1170	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径7.8 器高10.0	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1171	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器d	原田布留Ⅴ	口径7.4 器高8.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
1172	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器e?	原田布留Ⅴ	口径(8.9) 器高(5.1)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
1173	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器 小形丸底土器e	原田布留Ⅴ	口径(10.4) 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヨコハケ
1174	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	ミニチュア 小形丸底土器		口径7.3 器高6.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後 ヨコハケ
1175	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	ミニチュア 小形丸底土器		頸部径4.3 器高(5.4)	
1176	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	ミニチュア 小形丸底土器		頸部径4.1 器高(5.0)	
1177	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器小形壺	原田布留Ⅳ	口径(7.0) 器高(9.5)	外:調整不明 内:調整不明
1178	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器直口壺	原田布留Ⅳ	口径10.4 器高14.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1179	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器直口壺	原田布留Ⅳ	口径10.4 器高13.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1180	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器直口壺	原田布留Ⅳ	口径(10.1) 器高(10.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1181	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器直口壺	原田布留Ⅳ	頸部径7.0 器高(10.4)	
1182	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器直口壺	原田布留Ⅳ	口径9.4 器高(14.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1183	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器広口壺	原田布留Ⅳ	口径(15.7) 器高(31.7)	外:ヨコナデ、凹線1条、タテハケ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1184	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 複合口縁壺a	原田布留Ⅰ?	口径(13.7) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1185	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器 複合口縁壺a	原田布留Ⅳ	口径(16.0) 器高(6.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1186	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器 複合口縁壺b	原田布留Ⅳ~Ⅴ	口径(14.0) 器高(5.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1187	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器 複合口縁壺b	原田布留Ⅳ~Ⅴ	口径17.2 器高(36.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1188	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏a	原田布留Ⅲ~Ⅳ	口径5.0 器高(9.2)	外:調整不明 内:調整不明
1189	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏b	原田布留Ⅲ	口径19.2 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1190	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏b	原田布留Ⅲ	口径18.0 器高(6.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1191	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏	原田布留Ⅲ	裾部径(12.8) 器高(7.9)	
1192	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅲ	裾部径11.8 器高(7.0)	
1193	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏e	原田布留Ⅳ	口径18.0 器高12.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1194	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏e	原田布留Ⅳ	口径(16.5) 器高(12.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1195	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏e	原田布留Ⅳ	口径(15.1) 器高(11.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1196	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏e	原田布留Ⅳ	口径(16.5) 器高(7.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1197	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏f	原田布留Ⅳ	口径(16.2) 器高(4.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1198	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏f	原田布留Ⅳ	口径19.0 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1199	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏f	原田布留Ⅳ	口径(15.8) 器高(12.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1200	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏f	原田布留Ⅳ	口径13.4 器高11.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ後ヨコハケ、ヘラケズリ 後ハケメ 内:ナデ、板ナデ		外:褐灰 内:褐灰	～3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1161
外:ナデ、ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ?		外:にぶい黄橙 内:橙 断:明赤褐	～2mmの砂粒含む		1162
外:ナデ、ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1163
外:タテハケ後ヨコハケ後ハケメ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒多量含む		1164
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:黄灰 内:橙	～2mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1165
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙灰 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1166
外:工具ナデ 内:ナデ	外:工具ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1167
外:調整不明 内:調整不明、絞り目		外:にぶい橙 内:褐灰 断:黄灰	～3mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	1168
外:調整不明 内:ナデ	外:調整不明 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1169
外:タテハケ後ナデ、ハケメ 内:ナデ、工具痕	外:ハケメ 内:工具痕	外:灰黄 内:黄灰	～1mmの砂粒少量含む	内外面煤付着	1170
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1171
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:淡黄 内:灰白 断:にぶい橙	～2mmの砂粒多量含む		1172
外:ハケメ 内:ナデ、ハケメ	外:ハケメ 内:ナデ、ハケメ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		1173
外:タテハケ後ヨコハケ後ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙	～2mmの砂粒多量含む		1174
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:灰黄	微細な砂粒含む		1175
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄	密	外面黒斑あり	1176
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明、一部ヘラナデ?	外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		1177
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	～1.5mmの砂粒多量含む		1178
外:板ナデ 内:ナデ	外:板ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:橙	～7mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1179
外:板ナデ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		1180
外:ナデ、ハケナデ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ	外:ナデ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:橙			1181
外:ナデ、ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:褐灰	～2mmの砂粒含む		1182
外:沈線1条、タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい黄橙 赤色粒	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり 煤付着	1183
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヘラケズリ		外:灰黄 内:橙	～1mmの砂粒含む		1184
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄褐	～1mmの砂粒含む		1185
		外:明赤褐 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1186
外:ハケメ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい黄褐	～2mmの砂粒含む	外面黒色を呈する	1187
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		1188
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		1189
外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコハケ		外:褐灰 内:黒	～2mmの砂粒含む		1190
	外:調整不明 内:調整不明	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1191
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ナデ、ハケメ、絞り目	外:にぶい黄橙 内:灰白 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		1192
外:タテハケ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ、絞り目	外:明赤褐 内:明赤褐 断:黄灰	～4mmの砂粒含む		1193
外:タテハケ 内:ヨコナデ後ヨコハケ	外:ナデ 内:ヘラケズリ 透孔4方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:淡黄	～3mmの砂粒多量含む		1194
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:にぶい橙 断:灰褐	密		1195
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙 断:灰白	～3mmの砂粒含む		1196
外:指頭痕、ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1197
外:ハケメ 内:調整不明		外:浅黄 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1198
外:調整不明 内:調整不明、一部ハケメ	外:ヘラナデ、ナデ 内:ナデ 透孔3方向	外:橙 内:にぶい橙	～6mmの砂粒含む	内面煤付着	1199
外:ナデ 内:ナデ、工具痕	外:板ナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1200

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1201	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏f	原田布留Ⅳ	口径15.0 器高(12.5)	外:ヨコナデ、沈線1条 内:ヨコナデ
1202	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	土師器高坏g1	原田布留Ⅳ~Ⅴ	口径15.6 器高(5.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1203	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏g1	原田布留Ⅳ~Ⅴ	口径(15.5) 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1204	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径12.6 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1205	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径13.2 器高(4.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1206	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径(13.9) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1207	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径(13.6) 器高(4.5)	外:調整不明 内:調整不明
1208	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径(15.2) 器高(5.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1209	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径(14.6) 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1210	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径14.2 器高(5.5)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1211	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径(14.2) 器高(12.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1212	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏g1	原田布留Ⅴ	口径12.7 器高(10.4)	外:調整不明 内:調整不明
1213	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径11.7 器高(7.8)	
1214	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径10.4 器高(7.5)	
1215	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径(12.0) 器高(7.7)	
1216	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径(13.2) 器高(7.2)	
1217	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径9.1 器高(6.2)	
1218	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径9.4 器高(7.1)	
1219	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径7.6 器高(5.7)	
1220	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径8.2 器高(9.0)	
1221	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径10.2 器高(6.8)	
1222	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径9.5 器高(6.8)	
1223	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径(11.2) 器高(9.6)	
1224	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径(9.8) 器高(7.2)	
1225	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径10.5 器高(7.8)	
1226	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径(10.8) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1227	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径(12.8) 器高(5.4)	外:ヨコナデ、沈線1条 内:ヨコナデ
1228	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径14.6 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1229	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径(14.5) 器高(12.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1230	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径13.4 器高(10.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1231	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径13.6 器高(12.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1232	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏g2	原田布留Ⅴ	口径12.9 器高(11.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1233	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏c	原田布留Ⅲ?	口径19.8 器高(14.0)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1234	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	土師器高坏d	原田布留Ⅲ?	口径(20.1) 器高(8.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1235	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏	原田布留Ⅲ?	裾部径(12.2) 器高(11.4)	
1236	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器高坏h1	原田布留Ⅳ	口径(21.2) 器高(7.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヨコハケ
1237	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏h1	原田布留Ⅳ	口径(21.2) 器高(7.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1238	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏h1	原田布留Ⅳ	口径(21.8) 器高(15.9)	外:ヨコナデ、沈線1条 内:ヨコナデ
1239	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土師器高坏h1	原田布留Ⅳ	口径23.3 器高(15.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1240	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	土師器高坏h2	原田布留Ⅳ	口径23.5 器高(17.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ、ナデ 透孔3方向	外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1201
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、ナデ		外:淡赤橙 内:淡橙 断:淡橙	密		1202
外:ナデ 内:ナデ、工具痕		外:明赤褐 内:明赤褐	～3mmの砂粒含む		1203
外:ナデ後ハケメ 内:ナデ		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1204
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		1205
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1206
外:調整不明 内:調整不明		外:浅黄橙 内:浅黄橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1207
外:ハケ後ナデ 内:ナデ		外:橙 内:にぶい橙			1208
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:浅黄橙	～4mmの砂粒含む		1209
外:ハケメ 内:ナデ、工具痕		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	密		1210
外:ハケメ 内:ナデ	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔3方向	外:明赤褐 内:橙	～2mmの砂粒含む		1211
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:絞り目	外:橙 内:橙	～4mmの砂粒含む 赤色粒		1212
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ、ハケメ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	～1mmの砂粒含む		1213
外:調整不明 内:調整不明	外:ハケ後ナデ 内:ヘラナデ、ヨコハケ	外:黄灰 内:黄灰	～4mmの砂粒含む	二次焼成?	1214
外:ハケメ 内:ナデ	外:ナデ後ハケメ 内:ヘラケズリ、ハケメ	外:黄灰 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～5mmの砂粒含む		1215
	外:ハケメ、ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔3方向	外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:灰黄褐	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1216
	外:ヘラナデ 内:絞り目、ナデ、ヘラケズリ、ヨコハケ	外:灰黄 内:灰黄 断:灰白	～2mmの砂粒含む		1217
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 透孔3方向	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1218
	外:沈線2条、ハケメ、ヘラナデ、ナデ 内:絞り目、ナデ、ハケメ	外:橙 内:橙 断:灰白	～0.5mmの砂粒含む		1219
外:ハケメ 内:調整不明	外:ハケ後ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ	外:橙 内:橙 断:橙	～5mmの砂粒含む		1220
	外:ハケメ、ナデ 内:絞り目、ナデ、板ナデ	外:橙 内:にぶい橙	密		1221
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、絞り目、ナデ後ハケメ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙			1222
外:ハケメ 内:調整不明	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1223
	外:ハケメ、ヘラナデ、ナデ 内:絞り目、ナデ 透孔3方向	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		1224
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔2方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～4mmの砂粒含む		1225
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、タテヘラミガキ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1226
外:ナデ 内:ナデ、タテヘラミガキ		外:にぶい黄橙 内:橙	～5mmの砂粒含む		1227
外:ナデ、ハケメ 内:ナデ、タテヘラミガキ		外:にぶい黄橙 内:橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		1228
外:ハケ後ナデ 内:ナデ、タテヘラミガキ	外:ハケ後ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、絞り目 透孔3方向	外:橙 内:橙	密		1229
外:ヨコナデ後ハケメ 内:ナデ、タテヘラミガキ	外:ハケ後ヘラナデ、ナデ 内:絞り目、ヘラケズリ 透孔3方向	外:橙 内:橙	密		1230
外:ナデ 内:タテヘラミガキ	外:板ナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔2方向	外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		1231
外:ハケ後ヨコナデ 内:ナデ、タテヘラミガキ	外:ヘラナデ 内:ヘラケズリ、絞り目、ハケメ 透孔3方向	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む		1232
外:ハケ後ナデ 内:ハケ後ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1233
外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:橙	～3mmの砂粒多量含む		1234
外:ナデ、ハケメ、ヘラケズリ 内:ナデ、工具痕	外:板ナデ、ナデ 内:絞り目、ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒多量含む	外面一部赤変	1235
外:タテハケ、ナデ後ハケメ 内:ヨコハケ、ナデ		外:橙 内:にぶい橙 断:褐灰	～3mmの砂粒含む		1236
外:ナデ、ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～2mmの砂粒多量含む		1237
外:ヨコナデ、板ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ、ヘラケズリ 透孔4方向	外:淡橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1238
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	内面黒斑あり	1239
外:タテヘラミガキ、ナデ、ハケメ 内:ナデ、タテヘラミガキ2段	外:ヘラミガキ、ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		1240

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1241	Ⅲ	落込み416 (上層)		土師器高坏h2	原田布留Ⅳ	口径(24.7) 器高(13.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1242	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏h2	原田布留Ⅳ	口径25.8 器高(14.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1243	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏h1	原田布留Ⅳ	脚柱径3.6 器高(11.0)	
1244	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏h2	原田布留Ⅳ	裾部径15.8 器高(9.8)	
1245	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏	原田布留Ⅳ	裾部径(13.9) 器高(8.4)	
1246	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器高坏	原田布留Ⅳ	裾部径11.8 器高(7.7)	
1247	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径(15.6) 器高(7.6)	
1248	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器高坏	原田布留Ⅴ	裾部径14.2 器高(8.1)	
1249	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器鉢c1	原田布留Ⅳ	口径(9.8) 器高(3.7)	外:ナデ 内:ナデ
1250	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器鉢c1	原田布留Ⅳ	口径(13.6) 器高(6.1)	外:ナデ 内:ナデ
1251	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器鉢b	原田布留Ⅲ?	口径13.9 器高6.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1252	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器鉢d	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(29.6) 器高(9.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1253	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器鉢d	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(31.0) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1254	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器鉢a	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径30.4 器高25.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1255	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器鉢a	原田布留Ⅱ	口径(32.4) 器高(18.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1256	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器鉢a	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径(36.4) 器高(13.5)	外:ヨコナデ、ハケメ 内:ヨコナデ、ハケメ
1257	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕a	庄内式末	口径(16.0) 器高(10.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1258	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕a	庄内式末	口径(12.7) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1259	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕a	庄内式末	口径14.7 器高(7.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1260	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕a	庄内式末	口径(10.6) 器高(8.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1261	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器甕a?	庄内式末?	口径(16.0) 器高(10.2)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
1262	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕a	庄内式末	口径(15.0) 器高(7.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1263	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕a	庄内式末	口径(17.4) 器高(7.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1264	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕a	庄内式末	口径(16.2) 器高(13.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1265	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕c1	原田布留Ⅰ～Ⅱ	口径13.2 器高(13.6)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
1266	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕c1?	原田布留Ⅰ～Ⅱ	口径(13.4) 器高(12.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1267	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕c1	原田布留Ⅰ～Ⅱ	口径16.0 器高(5.9)	外:ヨコナデ、沈線1条、タテハケ 内:ハケメ
1268	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕c2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.7 器高(22.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1269	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径(14.8) 器高(6.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1270	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.3 器高(7.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1271	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径14.1 器高(14.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1272	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕d2	原田布留Ⅱ～Ⅲ	口径(15.8) 器高(20.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1273	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕c2	原田布留Ⅲ	口径(14.8) 器高(7.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1274	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕d2	原田布留Ⅲ	口径(14.4) 器高(9.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1275	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器甕c2	原田布留Ⅲ	口径(16.4) 器高(7.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1276	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕d2	原田布留Ⅲ	口径18.6 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1277	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕d2	原田布留Ⅲ	口径(15.0) 器高(7.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1278	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕d2	原田布留Ⅲ	口径(16.0) 器高(6.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
1279	Ⅲ	落込み416 (上層)	不明	土師器甕d1	原田布留Ⅲ	口径(15.4) 器高(9.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1280	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器甕e	原田布留Ⅲ	口径(17.2) 器高(7.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:タテハケ、タテヘラミガキ、ナデ、ハケメ後ヘラケズリ 内:ヨコハケ後ナデ、タテヘラミガキ	外:ハケ後ナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ	外:橙 内:灰黄褐 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む		1241
外:ナデ後タテヘラミガキ、タテハケ 内:ナデ後タテヘラミガキ、ヨコヘラミガキ	外:ヘラナデ 内:絞り目、ヘラケズリ、ナデ	外:橙 内:明赤褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1242
外:ハケ後ナデ、ナデ 内:ハケ後ヘラミガキ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ 透孔4方向	外:橙 内:橙 断:灰白	～3mmの砂粒含む		1243
外:ナデ 内:ハケ後タテヘラミガキ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラナデ、ナデ	外:にぶい黄橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		1244
	外:ヘラナデ、ナデ、ハケメ 内:絞り目、ナデ、ハケメ	外:浅黄橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1245
	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ、絞り目	外:にぶい黄橙 内:暗灰黄	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1246
	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ、絞り目、ナデ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:浅黄橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒少量含む		1247
	外:調整不明 内:調整不明	外:明赤褐 内:にぶい橙 断:黄灰	～2mmの砂粒多量含む	内面煤付着	1248
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1249
外:ナデ 内:ナデ、工具痕	外:ナデ、工具痕 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1250
外:ナデ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ、ハケメ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:暗灰	～2mmの砂粒含む		1251
外:ハケ後ヨコハケ 内:タテハケ後ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1252
外:ハケメ 内:ハケメ		外:淡橙 内:浅黄橙 断:灰白	～3mmの砂粒含む		1253
外:ヨコハケ、ハケメ 内:調整不明	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1254
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:灰黄	～5mmの砂粒含む	内外面煤付着	1255
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:灰白 断:灰	～4mmの砂粒含む		1256
外:調整不明 内:ナデ		外:明赤褐 内:明赤褐 断:明赤褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産	1257
外:ナデ後ハケメ 内:ナデ、ハケメ		外:灰黄褐 内:灰黄褐 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		1258
外:ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:灰黄 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1259
外:ハケ後ヘラナデ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:にぶい褐 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	1260
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:橙	～2mmの砂粒多量含む		1261
外:ナデ後ヘラケズリ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:褐灰 内:灰黄 断:にぶい橙	密	外面煤付着	1262
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:赤 断:黄灰	～1mmの砂粒多量含む		1263
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい黄褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産	1264
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:浅黄 内:灰黄	～5mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	1265
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:灰黄 内:灰黄	～1.5mmの砂粒含む		1266
外:タテハケ 内:ヘラケズリ		外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	～3mmの砂粒含む		1267
外:タテハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:褐灰	～3mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	1268
外:ヨコハケ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:橙 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		1269
外:タテハケ後ヨコハケ、波状沈線 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1270
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:灰黄褐	～4mmの砂粒含む	外面煤付着 記号文	1271
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着 記号文	1272
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む		1273
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着	1274
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:橙	～3mmの砂粒含む		1275
外:ヨコハケ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄橙 断:灰	～2mmの砂粒多量含む		1276
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		1277
外:ヨコハケ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:橙 内:灰白	～2mmの砂粒含む		1278
外:ハケ後ヨコハケ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:暗灰黄 内:黄灰	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	1279
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:黄灰 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1280

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1281	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土師器甕f	原田布留Ⅳ	口径14.7 器高(25.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1282	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕b2	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径17.4 器高(27.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1283	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕d3	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径16.0 器高30.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1284	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕d3	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径16.6 器高(23.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1285	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕d3	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(19.0) 器高(19.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1286	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(18.7) 器高(30.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1287	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕d3	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径20.1 器高(33.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1288	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径14.2 器高(25.7)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1289	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(15.8) 器高(28.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1290	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径15.4 器高(32.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヨコハケ
1291	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径16.0 器高27.5	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1292	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径13.4 器高(24.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1293	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径15.4 器高(25.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1294	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径15.2 器高(29.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ハケメ
1295	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径16.8 器高28.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ハケメ
1296	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕g	原田布留Ⅴ	口径(10.7) 器高(10.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
1297	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕g	原田布留Ⅴ	口径(10.8) 器高(6.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1298	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕g	原田布留Ⅴ	口径(14.6) 器高(12.2)	外:ナデ後ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヨコハケ
1299	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕g	原田布留Ⅴ	口径(14.6) 器高(18.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1300	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径15.4 器高(12.2)	外:ヨコナデ後タテハケ 内:ヨコナデ後ヨコハケ
1301	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(15.9) 器高(14.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ナデ
1302	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径11.6 器高18.9	外:ハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1303	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(12.2) 器高(16.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1304	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径15.6 器高24.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1305	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(15.8) 器高(25.1)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
1306	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(17.6) 器高(31.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1307	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕f	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径16.0 器高24.2	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1308	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	土師器甕?	原田布留Ⅳ～Ⅴ	頸部径(11.2) 器高(10.2)	
1309	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕?	?	底径(10.1) 器高(6.1)	
1310	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器鍋	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径(26.4) 器高(16.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1311	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕c	原田布留Ⅳ～Ⅴ		外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1312	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	土師器甕b	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径22.8 器高(24.1)	外:ヨコナデ後ハケメ 内:ヨコナデ
1313	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土師器甕a	原田布留Ⅳ～Ⅴ	口径24.5 器高(25.8)	外:タテハケ 内:ナデ
1314	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅰ	韓式系軟質土器 甕			
1315	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅰ	韓式系軟質土器 甕?		底径10.8 器高(12.0)	
1316	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	韓式系軟質土器 鍋		口径(26.2) 器高(9.2)	外:ヨコナデ、凹線1条 内:ヨコナデ
1317	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器蓋	TG232号窯	口径(14.8) 器高(6.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1318	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器蓋	TG232号窯	口径(16.2) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1319	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器蓋	TG232号窯	口径(16.0) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1320	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅱ	須恵器蓋	TG232号窯	口径(14.2) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:板ナデ後ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1281
外:ハケメ 内:ハケメ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～5mmの大砂粒多量含む		1282
外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:橙 断:浅黄橙	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1283
外:ハケ後ナデ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1.5mmの砂粒含む		1284
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1285
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄褐 内:褐色 断:暗灰	～3mmの砂粒含む		1286
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1287
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい橙 内:黒 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	内外面煤付着	1288
外:ハケメ 内:ハケ後ナデ	外:ハケメ 内:ハケ後ナデ	外:にぶい橙 内:橙	～4mmの砂粒含む		1289
外:ハケメ 内:ハケメ	外:ハケメ 内:ハケメ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		1290
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む		1291
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ	外:ハケメ 内:調整不明	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり 煤付着	1292
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:褐 内:にぶい黄橙	～6mmの砂粒含む	内外面煤付着	1293
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1294
外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～3mmの砂粒含む	外面黒斑あり 煤付着	1295
外:ハケメ 内:ハケ後ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい橙 断:橙	～0.5mmの砂粒含む	外面煤付着	1296
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:橙 内:橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒少量含む		1297
外:ヨコハケ、タテハケ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	1298
外:ハケメ後ヨコハケ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰白 断:明褐灰	～0.2mmの砂粒含む	外面煤付着	1299
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	1300
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐			1301
外:ハケ後ナデ 内:ナデ、工具痕	外:ナデ 内:ナデ、工具痕	外:橙 内:橙	～5mmの砂粒含む	二次焼成	1302
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり 外面煤付着	1303
外:ハケメ、ナデ 内:ハケメ、ナデ	外:ハケメ、ナデ 内:ハケメ、ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1304
外:タテハケ、ハケ後ナデ 内:調整不明	外:ハケメ、ナデ 内:ナデ	外:橙 内:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	内外面煤付着	1305
外:ハケメ 内:ヘラケズリ後ハケメ	外:ハケメ 内:ハケメ	外:にぶい橙 内:明赤褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1306
外:タテハケ 内:ヨコハケ、ハケメ	外:ハケメ 内:ハケメ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり 煤付着	1307
外:ナデ、板ナデ 内:板ナデ、ナデ		外:にぶい橙 内:黄灰 断:褐灰	～5mmの砂粒含む		1308
	外:タテハケ後ナデ、底ハケメ 内:ヘラケズリ	外:橙 内:浅黄橙	～2mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1309
外:調整不明、把手付近ヘラケズリ 内:板ナデ	外:ナデ 内:板ナデ	外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり 把手付	1310
外:ハケメ 内:ハケ後ナデ、ハケメ		外:明褐灰 内:にぶい橙	微細な砂粒含む		1311
外:ハケメ、把手付近ナデ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ、孔6ヶ所 内:ヘラケズリ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙			1312
外:タテハケ、把手付近ナデ 内:ナデ	外:ナデ、孔9ヶ所 内:ナデ	外:灰黄 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1313
外:タタキ 内:調整不明		外:灰 内:橙	～6.5mmの砂粒含む		1314
外:沈線2条、ナデ 内:ナデ	外:ヘラケズリ、底ハケ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:橙	～2mmの砂粒多量含む	内外面煤付着	1315
外:細帯文タタキ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒含む	陶質	1316
外:回転ナデ、沈線4条、刺突文1条、カキメ 内:ナデ		外:灰 内:灰白	密		1317
外:回転ナデ、沈線3+1条、刺突文2条、内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰赤	密		1318
外:回転ナデ、沈線4条、刺突文2条 内:回転ナデ		外:青灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		1319
外:回転ナデ、刺突文1条、沈線2条 内:回転ナデ		外:暗灰 内:灰 断:灰赤	～1mmの砂粒多量含む	内外面自然釉付着	1320

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1321	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	須恵器蓋	ON231号窯	口径(12.0) 器高(2.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1322	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-IV	須恵器坏蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径11.2 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1323	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	須恵器坏蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径(12.4) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1324	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-IV	須恵器坏蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径(12.9) 器高(3.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1325	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	須恵器坏蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径(12.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1326	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径(12.2) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1327	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径(12.2) 器高(5.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1328	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器坏蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径(12.6) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1329	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器坏蓋	中村I-4(田辺TK23)	稜径(12.6) 器高(3.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1330	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏	中村I-1(田辺TK73)	口径9.9 器高4.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1331	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径9.9 器高4.3	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1332	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径10.2 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1333	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(11.8) 器高(5.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1334	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(10.8) 器高(5.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1335	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(11.0) 器高(4.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1336	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-IV	須恵器有蓋高坏	TG232号窯	口径(12.8) 器高(5.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1337	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	須恵器高坏	ON231号窯	口径(15.7) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1338	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-IV	須恵器高坏	ON231号窯	口径(15.7) 器高(9.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1339	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	須恵器高坏	ON231号窯	口径(13.6) 器高(5.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1340	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-II	須恵器高坏	ON231号窯	口径(14.4) 器高(10.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1341	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	須恵器高坏	ON231号窯	口径(14.6) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1342	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-II	須恵器高坏	ON231号窯	口径(15.0) 器高(9.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1343	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器有蓋高坏	中村I-1(田辺TK73)	口径10.4 器高(9.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1344	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-IV	須恵器高坏	中村I-1(田辺TK73)	底径7.4 器高(6.8)	
1345	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-1(田辺TK73)	底径10.1 器高(6.3)	
1346	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	口径(13.6) 器高(10.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1347	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	口径(14.0) 器高(11.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1348	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	口径15.6 器高12.1	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1349	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器有蓋高坏	中村I-2(田辺TK216)	口径10.8 器高(8.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1350	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	底径9.6 器高(5.8)	
1351	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	底径(12.0) 器高(6.4)	
1352	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	底径9.9 器高(5.9)	
1353	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器高坏	中村I-2(田辺TK216)	底径9.8 器高(5.3)	
1354	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器有蓋高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径11.3 器高(9.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1355	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(13.8) 器高(5.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1356	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(14.6) 器高(5.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1357	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(15.6) 器高(5.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1358	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径(17.4) 器高(5.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1359	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-IV	須恵器高坏	中村I-4(田辺TK23)	口径(16.4) 器高(6.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1360	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器高坏	中村I-4(田辺TK23)	底径8.6 器高(5.7)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:回転ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰	密		1321
外:ナデ、ヘラケズリ?、ヘラ痕 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:暗灰	密		1322
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒多量含む		1323
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1324
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む		1325
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1326
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒多量含む		1327
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	～1mmの砂粒少量含む		1328
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ、 不調整 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰白	密 赤色粒	外面焼成前ヘラ記号	1329
外:手持ちヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:紫灰	密 黒色粒	外面口縁自然釉付着	1330
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:青灰	密 黒色粒	外面自然釉付着	1331
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒多量含む		1332
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰白 断:灰	～3mmの砂粒多量含む		1333
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～3mmの砂粒多量含む	外面自然釉付着	1334
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	外面焼成前ヘラ記号	1335
外:回転ナデ、カキメ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	～1mmの砂粒含む	外面口縁自然釉付着	1336
外:手持ちヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	密		1337
外:回転ナデ、カキメ 内:回転ナデ、布目痕?	外:回転ナデ、凸帯1条 内:ヘラナデ?、回転ナデ	外:灰 内:灰	密		1338
外:回転ナデ、タタキ?、凹線1条、 ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	密		1339
外:タタキ後回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	密		1340
外:回転ナデ、凹線1条、ヘラナデ? 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		1341
外:回転ナデ、凹線1条、手持ちヘ ラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ、ナデ	外:暗青灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒少量含む		1342
外:回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:凸帯1条、回転ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒含む		1343
	外:回転ナデ、凸帯2条 内:回転ナデ、ヘラナデ	外:灰 内:灰	密		1344
	外:回転ナデ、凸帯2条 内:回転ナデ	外:暗灰 内:灰	～5mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1345
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、当て具痕後ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ 透孔3方向	外:暗灰 内:灰 断:褐灰	～3mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1346
外:回転ナデ、カキメ、回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ 透孔3方向	外:暗青灰 内:暗青灰 断:灰赤	密		1347
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文1 条、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔4方向	外:灰 内:灰	～4mmの砂粒含む	把手付 内外面自然釉付着	1348
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ、 工具痕 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	密		1349
	外:回転ナデ、凸帯2条 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰赤	～6mmの砂粒多量含む	外面自然釉付着	1350
	外:回転ナデ、沈線1条、凸帯1条 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～1mmの砂粒多量含む		1351
	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒多量含む		1352
	外:カキメ、回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1353
外:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ、ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～5mmの砂粒含む		1354
外:回転ナデ、凸帯2条、波状文 1条、ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	微細な砂粒含む	把手付 内外面自然釉付着	1355
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文 1条、ヘラ痕 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:紫灰	密 黒色粒	内外面自然釉付着	1356
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文 1条 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～2mmの砂粒含む	内面自然釉付着	1357
外:回転ナデ、凸帯2条、波状文 1条 内:回転ナデ、当て具痕?	外:透孔あり	外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	内面自然釉付着	1358
外:回転ナデ、凸帯2条、波状文1 条、回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:赤灰	～1mmの砂粒少量含む	把手付 内面自然釉付着	1359
	外:カキメ、回転ナデ 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1360

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1361	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器高坏	中村Ⅰ-4(田辺TK23)	底径8.6 器高(5.8)	
1362	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器碗	TG232号窯		
1363	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器碗	ON231号窯	口径(7.0) 器高(7.9)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1364	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器碗	ON231号窯	口径(12.4) 器高(8.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1365	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器台付碗	ON231号窯	口径(14.4) 器高(10.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1366	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器甗	中村Ⅰ-1(田辺TK73)	口径(7.8) 器高(11.0)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1367	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器小形壺	TG232号窯	口径7.4 器高8.6	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1368	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器壺	TG232号窯	口径(16.3) 器高(7.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1369	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-I	須恵器壺	TG232号窯	口径(16.9) 器高(8.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1370	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器壺	TG232号窯	頸部径(9.0) 器高(9.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1371	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器壺	中村Ⅰ-2(田辺TK216)	頸部径(10.9) 器高(19.9)	外:回転ナデ、凸帯1条、波状文2条 内:回転ナデ
1372	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器鉢	ON231号窯	口径(16.4) 器高(8.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1373	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器鉢	ON231号窯	口径(21.4) 器高(9.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1374	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅱ	須恵器鉢	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(24.8) 器高(8.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1375	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器高环形器台	TG232号窯	口径(39.0) 器高(13.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1376	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅱ	須恵器高环形器台	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	底径(35.4) 器高(16.4)	
1377	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器筒形器台	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	最大筒部径(10.5) 器高(6.3)	
1378	Ⅲ	落込み416 (上層)	不明	須恵器甗	TG232号窯	口径18.3 器高(32.7)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1379	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器甗	TG232号窯	口径(24.0) 器高(7.5)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1380	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器甗	TG232号窯	口径(50.8) 器高(22.5)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1381	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器甗	TG232号窯	口径(29.6) 器高(48.7)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1382	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器甗	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(16.0) 器高(5.1)	外:回転ナデ、カキメ、波状文1条 内:回転ナデ
1383	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器甗	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	体部径(23.6) 器高(19.1)	
1384	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	須恵器甗	中村Ⅰ-4(田辺TK23)	口径(18.2) 器高(25.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1385	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器甗	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(23.2) 器高(37.6)	外:回転ナデ、凸帯1条、波状文1条 内:回転ナデ
1386	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器甗	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(25.3) 器高(45.9)	外:回転ナデ、凸帯1条 内:回転ナデ
1387	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	須恵器甗	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(41.0) 器高(18.0)	外:回転ナデ、カキメ、凸帯3条、 波状文2条 内:回転ナデ
1388	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅲ	須恵器甗		口径(36.2) 器高(13.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1389	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-Ⅳ	須恵器甗			
1390	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-I	須恵器坏蓋	中村Ⅱ-6(田辺TK217)	口径11.0 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1391	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-I	須恵器坏蓋	中村Ⅱ-6(田辺TK217)	口径(10.6) 器高(3.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1392	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-I	須恵器坏	中村Ⅱ-6(田辺TK217)	口径9.6 器高(3.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1393	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15h7-I	須恵器坏	中村Ⅲ-1(田辺TK217)	口径9.9 器高(3.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1394	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅳ	土錘		最大長8.2 最大幅5.2 孔径1.8 重量210.2g	
1395	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土錘		最大長8.4 最大幅5.2 孔径1.9 重量220.9g	
1396	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-I	土錘		最大長10.5 最大幅4.8 孔径1.1 重量290.1g	
1397	Ⅲ	落込み416 (上層)	J15i7-Ⅱ	土錘		最大長12.5 最大幅4.5 孔径1.4 重量262.3g	
1398	Ⅳ	溝309	J15h4-Ⅱ h5-I	土師器直口壺	原田布留Ⅰ	口径(19.8) 器高(37.1)	外:クテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1399	Ⅳ	土坑284	J15g4-Ⅲ	須恵器高环形器台		底径(24.0) 器高(7.2)	
1400	Ⅳ	土坑100	J15j2-I	土師器高坏		口径(15.0) 器高(11.8)	外:ヨコナデ後 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
	外:回転ナデ 内:回転ナデ 透孔3方向	外:灰白 内:灰	～4mmの砂粒含む		1361
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文1条、回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	密	把手付	1362
外:回転ナデ、凹線2条、波状文2条、回転ナデ 内:回転ナデ	外:不調整、ヘラナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒多量含む	把手付 内外面自然釉付着	1363
外:回転ナデ、凸帯3条、波状文2条、カキメ後ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:カキメ後ヘラケズリ 内:調整不明	外:灰 内:灰白 断:褐灰	～3mmの砂粒含む	内面自然釉付着	1364
外:回転ナデ、凸帯5条、波状文1条 内:回転ナデ、ナデ	外:ナデ 内:ナデ 透孔4方向	外:暗灰 内:灰 断:灰赤	～2mmの砂粒含む	内面自然釉付着	1365
外:カキメ 内:回転ナデ 穿孔1	外:カキメ、ナデ、ハケメ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰白 内:灰白	微細な砂粒含む		1366
外:ヘラナデ?、ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:ナデ 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む		1367
外:ナデ 内:当て具痕?		外:暗青灰 内:暗紫灰	密	内面自然釉付着	1368
外:板ナデ? 内:当て具痕後ナデ		外:灰白 内:灰白	～3mmの砂粒多量含む		1369
外:タタキ後ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1370
外:タタキ後回転ナデ、刺突文1条、凹線2条、波状文1条、タタキ 内:回転ナデ	外:タタキ 内:ナデ	外:灰 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む	内外面自然釉付着	1371
外:カキメ、ヘラナデ? 内:回転ナデ	外:ヘラナデ、ナデ 内:当て具痕後ナデ	外:灰白 内:灰	密		1372
外:ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐			1373
外:タタキ後ナデ 内:回転ナデ、当て具痕?		外:灰白 内:灰白	～0.5mmの砂粒少量含む		1374
外:凸帯3条、波状文4条、凹線3条、刺突文3条、刻目文1条、カキメ 内:カキメ		外:灰 内:灰 断:灰白	微細な砂粒含む	内面自然釉付着	1375
	外:回転ナデ、凸帯6条、波状文4条 内:回転ナデ 透孔4・6・8方向	外:褐灰 内:褐灰	～5mmの砂粒含む		1376
外:回転ナデ、刺突文3条、凸帯2条 内:ナデ、回転ナデ 穿孔1 透孔有		外:灰 内:灰 断:褐灰	～3mmの砂粒多量含む	内外面自然釉付着	1377
外:指頭痕、細席文タタキ 内:回転ナデ、当て具痕、ナデ	外:細席文タタキ 内:当て具痕、ナデ	外:灰 内:灰 断:灰白	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	1378
外:タタキ 内:布目痕、当て具痕		外:灰 内:灰 断:灰赤	密	内外面自然釉付着	1379
外:ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰	～3mmの砂粒多量含む		1380
外:縦長格子タタキ 内:ナデ	外:縦長格子タタキ、ナデ 内:ナデ、絞り目	外:灰 内:灰 断:にぶい赤褐	密		1381
		外:灰褐 内:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		1382
外:タタキ 内:ナデ	外:タタキ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:赤灰	～5mmの砂粒含む	自然釉付着	1383
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕		外:灰 内:灰	密		1384
外:タタキ後カキメ 内:当て具痕後ナデ		外:黄灰 内:灰 断:灰赤	密	外面自然釉付着	1385
外:タタキ後カキメ 内:平行状の当て具痕、ナデ	外:タタキ後カキメ 内:ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		1386
外:タタキ 内:当て具痕、ナデ		外:灰 内:灰 断:紫灰	～2mmの砂粒多量含む	内外面自然釉付着	1387
外:タタキ 内:当て具痕、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	密		1388
外:板ナデ、ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	密 黒色粒	把手のみ	1389
外:不調整 内:ナデ		外:黄灰 内:灰	～3mmの砂粒含む		1390
外:不調整 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:にぶい橙	～2mmの砂粒多量含む	外面焼成前ヘラ記号	1391
外:不調整 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:にぶい赤褐	密	外面焼成前ヘラ記号	1392
外:回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰	密		1393
外:ナデ、ヘラナデ 内:ー		外:黄灰 内:褐灰	～2.5mmの砂粒多量含む		1394
外:ナデ、板ナデ 内:ー		外:灰黄褐 内:灰黄褐	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1395
外:ナデ 内:ー		外:にぶい橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1396
外:ナデ 内:ー		外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1397
外:ヨコハケ、ハケメ、ナデ 内:ヨコハケ後ヘラケズリ、ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	～5mmの砂粒含む		1398
	外:回転ナデ、波状文3条、凸帯3条 内:回転ナデ 透孔あり	外:灰 内:黒 断:灰白	密	外面自然釉付着	1399
外:ナデ後ハケメ 内:ヘラミガキ	外:ヘラナデ、ハケメ 内:絞り目、ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む		1400

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1401	IV	土坑100	J15j2-I	土師器高坏		裾径(10.8) 器高(7.2)	
1402	IV	土坑100	J15j2-I	土師器甕(布留式)		口径(15.0) 器高(15.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1403	IV	土坑100	J15j2-I	土師器甕(布留式)		口径(14.0) 器高(14.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1404	IV	落込み310	J15h5-I	土師器複合口縁壺		口径(12.8) 器高(8.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1405	IV	落込み310	J15h5-I	土師器複合口縁壺		口径(15.0) 器高(11.1)	外:ヨコナデ後ハケメ 内:ヨコナデ、ヨコヘラミガキ
1406	IV	落込み310	J15h5-I	土師器複合口縁壺		口径(14.2) 器高(12.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1407	IV	落込み310	J15h5-I	土師器直口壺		口径(10.2) 器高(10.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1408	IV	落込み310	J15h5-I	土師器直口壺		口径(13.2) 器高(6.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1409	IV	落込み310	J15h5-I	土師器小形丸底土器	原田布留I	口径(9.0) 器高(8.1)	外:ナデ後ヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ
1410	IV	落込み310	J15h5-I	土師器小形丸底土器	原田布留I	口径(9.0) 器高(6.8)	外:ナデ後ヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ
1411	IV	落込み310	J15h5-I	土師器小形壺		頸径(7.3) 器高(6.0)	
1412	IV	落込み310	J15h5-I	土師器無稜外反高坏		口径16.2 器高(5.4)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ
1413	IV	落込み310	J15h5-I	土師器無稜外反高坏		口径16.0 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、ヘラミガキ
1414	IV	落込み310	J15h5-I	土師器高坏		裾径(12.4) 器高(6.1)	
1415	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)	原田布留I	口径14.0 器高20.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1416	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)	原田布留I	口径14.6 器高(21.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1417	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)	原田布留I	口径(14.2) 器高(12.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1418	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径15.4 器高(23.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1419	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径15.0 器高(14.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1420	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径13.8 器高(11.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1421	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(13.9) 器高(9.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1422	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(15.6) 器高(13.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1423	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径13.6 器高(17.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1424	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(13.1) 器高(7.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1425	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(13.0) 器高(7.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1426	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径15.1 器高(18.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1427	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(13.2) 器高(12.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1428	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径14.8 器高(10.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1429	IV	落込み310	J15h5-I	土師器甕(布留式)		口径(15.8) 器高(10.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1430	V	溝216	K16b3-II	土師器広口壺	弥生時代後期後半	口径15.5 器高(5.3)	外:刻目文3条、円形浮文14、ハケ後ヘラミガキ 内:ハケ後ヘラミガキ
1431	V	溝216	K16b4-I	土師器広口壺	弥生時代後期後半	口径(26.0) 器高(7.5)	外:ヨコナデ、タテハケ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ、ヨコハケ後ヘラミガキ
1432	V	溝216	K16b4-I	土師器短頸壺	弥生時代後期後半	口径13.2 器高28.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1433	V	溝216	K16b3-II	土師器碗形高坏	庄内式後半	口径(8.8) 器高(7.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1434	V	溝216	K16b4-I	土師器広口壺	弥生時代後期後半	口径(14.2) 器高(21.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1435	V	溝216	K16b4-I	土師器甕	弥生時代後期後半	口径16.6 器高18.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1436	V	溝216	K16b3-II	土師器甕	弥生時代後期後半	口径(15.6) 器高(12.8)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1437	V	溝216	K16b3-II	土師器甕	弥生時代後期後半	口径(14.2) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1438	V	溝216	K16b3-II	土師器甕	弥生時代後期後半	口径15.4 器高(13.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1439	V	溝216	K16b3-II	土師器甕	弥生時代後期後半	底径4.6 器高(5.0)	
1440	V	溝216	K16b3-II	土師器甕	弥生時代後期後半	底径4.8 器高(5.0)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
	外:ヘラナデ、ヨコナデ 内:ヘラケズリ、ヨコナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰			1401
外:タテハケ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1402
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	1403
外:ナデ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	口縁部打ち欠く	1404
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1405
外:ナデ、列点文4 内:ヘラケズリ		外:明褐 内:明褐	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1406
外:ナデ 内:ナデ		外:橙 内:橙	～8mmの砂粒含む	口縁部打ち欠く	1407
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:明褐 内:明褐	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1408
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ 穿孔1	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		1409
外:ヘラミガキ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1410
外:ハケメ 内:ハケメ	外:ハケメ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1411
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ、ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		1412
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1413
	外:ヨコナデ 内:ナデ、ヘラケズリ、 ハケメ 透孔3方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密		1414
外:ハケメ、ヨコハケ 内:ヘラケズリ 穿孔2	外:ハケメ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:にぶい橙	密	外面煤付着	1415
外:ハケメ、ヨコハケ、列点文 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:灰褐 内:にぶい黄橙 断:明褐灰	密	内外面煤付着	1416
外:ハケメ、ヨコハケ、列点文 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:灰黄褐	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	1417
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ、 列点文 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1418
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい褐 内:にぶい褐	～5mmの砂粒含む	内面口縁部黒斑あり	1419
外:タテハケ後ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:明赤褐 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		1420
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:橙	～3mmの砂粒含む		1421
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1422
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1423
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:明赤褐 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		1424
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:黄灰	微細な砂粒含む		1425
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1426
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1427
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:淡橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1428
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む		1429
		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	内面口縁部黒斑あり	1430
外:ハケメ後ヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:灰褐 断:にぶい赤褐	密 赤色粒	内面黒漆色の付着物	1431
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～5mmの砂粒多量含む	生駒西麓産	1432
外:ナデ 内:板ナデ		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	密 赤色粒		1433
外:タテヘラミガキ、ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	外面底部黒斑あり 完形品	1434
外:タタキ後ハケメ 内:板ナデ	外:タタキ後ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	1435
外:タタキ 内:板ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～5mmの砂粒多量含む		1436
外:タタキ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～3mmの砂粒含む	内面口縁部黒斑あり	1437
外:タタキ 内:ハケメ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	～6mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	1438
	外:タタキ、ナデ 内:板ナデ	外:にぶい赤褐 内:にぶい赤褐	～5mmの砂粒多量含む		1439
	外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:浅黄 内:黄灰 断:灰白	～2mmの砂粒多量含む	内面煤付着	1440

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1441	V	溝216	K16b4-I	土師器甕	弥生時代後期後半	底径4.6 器高(12.7)	
1442	V	井戸866	K16d2-I	土師器甕(庄内式)	原田布留I	口径13.8 器高(15.6)	外:ヨコハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1443	V	井戸866	K16d2-I	土師器甕(庄内式)	原田布留I	口径(18.0) 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1444	V	井戸866	K16d2-I	土師器甕(庄内式)	原田布留I	口径27.4 器高35.5	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコヘラミガキ
1445	V	井戸866	K16d2-I	土師器直口壺		口径(14.3) 器高(18.1)	外:ヨコナデ後ハケメ 内:ヨコナデ
1446	V	土坑321	不明	土師器皿A	平城宮III	口径(20.8) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1447	V	土坑321	不明	須恵器蓋	飛鳥III	口径(11.7) 器高(3.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1448	V	井戸414	K15c9-II	土師器皿	平安時代後期	口径(9.6) 器高(1.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1449	V	井戸538	J15g6-I	須恵器			
1450	V	井戸198	J15j2-I	土師器複合口縁壺			外:ヨコナデ後タテヘラミガキ 内:ヨコナデ
1451	V	井戸198	J15j2-I	土師器甕	下田所~亀川上層		外:ヨコナデ後櫛横線文 内:ヨコナデ
1452	V	井戸198	J15j2-I	土師器甕(布留式)		口径(14.0) 器高(7.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1453	V	井戸198	J15j2-I	土師器甕	原田布留I	口径13.0 器高18.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1454	V	土坑890	K16e2-I	土師器壺	布留式後半	口径9.0 器高13.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1455	V	土坑890	K16e2-I	土師器壺	布留式後半	口径14.6 器高20.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1456	V	土坑890	K16e2-I	土師器壺	布留式後半	口径14.7 器高24.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1457	V	土坑890	K16e2-I	数珠形土製品		最大長3.1 最大幅3.6 孔径0.2 重量30.5 g	
1458	V	土坑543	J15g8-I	土師器有蓋外反高坏		口径(13.1) 器高(8.2)	外:調整不明 内:調整不明
1459	V	土坑897	K16e2-III	土師器高坏	布留式後半	裾部径10.6 器高(7.1)	
1460	V	土坑897	K16e2-III	土師器高坏	布留式後半	脚柱径3.4~5.0 器高(7.4)	
1461	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.8 最大幅2.2 孔径0.5 重量20.3 g	
1462	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長5.4 最大幅2.5 孔径0.5 重量26.0 g	
1463	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.3 最大幅2.3 孔径0.5 重量19.2 g	
1464	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.8 最大幅2.3 孔径0.6 重量21.5 g	
1465	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.5 最大幅2.3 孔径0.5 重量20.0 g	
1466	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.3 最大幅2.3 孔径0.4 重量21.1 g	
1467	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.8 最大幅2.3 孔径0.6 重量22.1 g	
1468	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長5.1 最大幅2.1 孔径0.4 重量23.3 g	
1469	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.7 最大幅2.4 孔径0.5 重量22.8 g	
1470	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.3 最大幅2.2 孔径0.6 重量18.0 g	
1471	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.7 最大幅2.4 孔径0.4 重量21.0 g	
1472	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長5.2 最大幅2.4 孔径0.5 重量26.1 g	
1473	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.3 最大幅2.3 孔径0.5 重量18.9 g	
1474	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長5.2 最大幅2.1 孔径0.5 重量20.4 g	
1475	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.3 最大幅2.2 孔径0.6 重量20.3 g	
1476	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長5.1 最大幅2.2 孔径0.5 重量22.5 g	
1477	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.9 最大幅2.2 孔径0.6 重量21.4 g	
1478	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.9 最大幅2.3 孔径0.6 重量20.3 g	
1479	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.1 最大幅2.1 孔径0.5 重量14.5 g	
1480	V	土坑897	K16e2-III	土鍾		最大長4.9 最大幅2.4 孔径0.6 重量22.8 g	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:タタキ 内:ナデ	外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:橙 橙	～3mmの砂粒含む	外面煤付着	1441
外:細いタタキ、ハケメ 内:ヘラケズリ後ナデ		外:明褐灰 内:にぶい褐 断:にぶい褐	～5mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面煤付着	1442
外:タタキ後ハケメ 内:ハケ後ヘラケズリ		外:灰黄褐 内:灰黄褐	～3mmの砂粒含む	生駒西麓産	1443
外:タテハケ後ヨコハケ 内:ヘラケズリ後ヨコヘラミガキ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ後ヘラミガキ	外:灰褐 内:明褐	～6mmの砂粒含む 赤色粒	外面底部煤付着	1444
外:タテヘラミガキ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:灰白	～4mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1445
外:ヨコナデ、ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:灰白 断:にぶい橙	密 赤色粒		1446
外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	外面自然袖付着	1447
外:不調整 内:ナデ		外:灰白 内:灰白 灰白	～1mmの砂粒含む		1448
外:タタキ後ラセン状沈線 内:ナデ		外:灰 内:灰	密	陶質土器の影響	1449
		外:にぶい黄褐 内:黄褐	～3mmの砂粒含む		1450
		外:黒褐 内:灰黄褐 断:黒褐	～1mmの砂粒含む	吉備系	1451
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:黒 内:黒褐	～2mmの砂粒含む		1452
外:ハケメ、ヨコハケ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:オリーブ黒 内:灰黄褐	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着 完形品	1453
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む	完形品	1454
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ、ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内外面黒斑あり 内面煤付着	1455
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ナデ 穿孔1	外:ハケメ後ナデ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:淡黄	～2mmの多量砂粒含む	内外面煤付着	1456
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	～3mmの砂粒含む	土玉か 黒斑あり	1457
外:調整不明 内:調整不明		外:にぶい橙 内:橙	～5mmの砂粒多量含む		1458
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔2方向	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1.5mmの砂粒多量含む		1459
	外:ヘラナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒多量含む		1460
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～1mmの砂粒含む		1461
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む		1462
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒含む		1463
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:灰白	～2mmの砂粒含む		1464
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒含む		1465
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:浅黄橙	～2mmの砂粒多量含む		1466
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2.5mmの砂粒多量含む		1467
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～1mmの砂粒多量含む		1468
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2.5mmの砂粒多量含む		1469
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰黄	～3mmの砂粒含む		1470
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む		1471
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:黄灰	～0.5mmの砂粒多量含む		1472
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	微細な砂粒多量含む		1473
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む		1474
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:黄灰	～2mmの砂粒多量含む		1475
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～3mmの砂粒多量含む		1476
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～4.5mmの砂粒含む		1477
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む		1478
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～3.5mmの砂粒含む		1479
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む		1480

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
1481	V	土坑897	K16e2-Ⅲ	土錘		最大長4.9 最大幅2.3 孔径0.5 重量21.9 g	
1482	V	土坑897	K16e2-Ⅲ	土錘		最大長4.6 最大幅2.2 孔径0.5 重量21.4 g	
1483	V	土坑897	K16e2-Ⅲ	土錘		最大長4.6 最大幅2.4 孔径0.5 重量22.1 g	
1484	V	土坑897	K16e2-Ⅲ	土錘		最大長5.1 最大幅2.3 孔径0.5 重量25.3 g	
1485	V	川410	K15e10-Ⅰ	土師器壺B	佐藤Ⅱ中～新	口径(15.6) 器高(4.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1486	V	川410	J16g1-Ⅲ	須恵器蓋	中村Ⅰ-3(田辺TK208)	口径(14.0) 器高(4.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1487	V	川410	J15j10-Ⅱ	須恵器壺		口径(4.6) 器高(6.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1488	V	川410	J15j10-Ⅲ	土師器大形有段高坏		口径(20.6) 器高(6.6)	外:調整不明 内:調整不明
1489	V	川410	J15j10-Ⅳ	土師器直口壺		体部径(15.5) 器高(15.6)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1490	V	川410		土師器小形壺		口径(9.8) 器高(8.4)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1491	V	川410	J15j10-Ⅱ	土師器小形壺		口径(8.8) 器高(9.1)	外:タテハケ 内:ヨコハケ後ナデ
1492	V	川410	J15j10-Ⅳ	土師器小形壺		口径(8.4) 器高(8.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1493	V	川410	J15j10-Ⅱ	土師器小形壺		口径7.8 器高8.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1494	V	川410	J15j10-Ⅳ	土師器小形壺		口径8.6 器高(8.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1495	V	川410	J15j10-Ⅱ	土師器甕	庄内式後半	口径16.0 器高(20.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1496	V	川410	J16h1-Ⅰ	土師器壺	弥生時代前期中	口径(20.0) 器高(10.3)	外:ヨコナデ、削出し凸帯4条 内:板ナデ
1497	V	川415	K15e10-Ⅱ	土師器甕	布留式後半	口径(14.8) 器高(25.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1498	V	川415	K15d9-Ⅳ	土師器直口壺 (布留式)		口径(16.8) 器高(20.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1499	V	川415	K15e10-Ⅲ	土師器甕	布留式後半	口径14.6 器高(13.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1500	V	川415	K15e10-Ⅰ	土師器甕	布留式後半	口径13.6 器高(18.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1501	V	川415	K15b10-Ⅲ	土師器直口壺 (布留式)		口径(11.8) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1502	V	川415	K15b10-Ⅲ	土師器甕	布留式前半	口径(13.0) 器高(6.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1503	V	川415	K15e9-Ⅱ	土師器甕	布留式前半	口径(13.0) 器高(7.5)	外:ヨコナデ、スリップ付着痕 内:ヨコナデ
1504	V	川415	K15e9-Ⅳ	土師器甕	布留式前半	口径(14.0) 器高(7.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1505	V	川415	K15e9-Ⅳ	土師器甕	布留式前半	口径(12.6) 器高(7.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1506	V	川415	K16d1-Ⅰ	土師器甕	原田布留Ⅰ	口径14.0 器高18.5	外:ヨコナデ 内:ハケ後ナデ
1507	V	川415	K15c9-Ⅳ	土師器甕	原田庄内Ⅲ～布留Ⅰ	口径(14.9) 器高(16.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1508	V	川415	K15c10-Ⅰ	土師器甕	原田布留Ⅰ	口径(14.0) 器高(22.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1509	V	川415	K15c9-Ⅳ	土師器甕	原田布留Ⅰ	口径14.6 器高21.5	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1510	V	川415	K15c10-Ⅰ	土師器甕	原田庄内Ⅲ～布留Ⅰ	口径(14.4) 器高(17.8)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ハケメ
1511	V	川415	K15c10-Ⅰ	土師器甕	原田布留Ⅰ	口径13.6 器高(19.9)	外:タテハケ 内:ヨコハケ
1512	V	川415	K15e9-Ⅳ	土師器甕	原田布留Ⅰ	口径(14.8) 器高(9.5)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1513	V	川415	K15d10-Ⅱ	土師器甕	庄内式前半	口径(17.0) 器高(9.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1514	V	川415	K16d1-Ⅰ	土師器甕		口径(13.7) 器高(8.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1515	V	川415	K15c9-Ⅳ	土師器甕	亀川上層	口径(13.7) 器高(2.7)	外:櫛目横線文、ヨコナデ 内:ヨコナデ
1516	V	川415	K15b9-Ⅱ	土師器甕		口径(14.6) 器高(3.9)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1517	V	川415	K16d1-Ⅰ	土師器壺	布留式前半	口径11.5 器高(15.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1518	V	川415	K15e10-Ⅰ	土師器壺	布留式前半	口径(10.8) 器高(12.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1519	V	川415	K15b10-Ⅲ	土師器壺	布留式前半	口径(11.0) 器高(9.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1520	V	川415	K15e10-Ⅰ	土師器直口壺		口径(10.6) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～1.5mmの砂粒多量含む		1481
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～1mmの砂粒多量含む		1482
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	～1.5mmの砂粒多量含む		1483
外:ナデ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白	微細な砂粒多量含む		1484
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1485
外:回転ヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ、ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1486
外:回転ナデ後波状文1段 内:回転ナデ	外:ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	～2mmの砂粒含む	把手の上に 渦巻状の飾り	1487
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙	～4mmの砂粒含む	口縁黒斑あり	1488
外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1489
外:タテハケ後ナデ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1490
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:灰褐	密	外面煤付着	1491
外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ	外:ナデ、ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり 内面口縁部焼成前線刻	1492
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:褐灰	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1493
外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:褐灰	～2mmの砂粒含む		1494
外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:暗褐 内:暗褐	～2mmの砂粒含む		1495
		外:灰白 内:浅黄	～4mmの砂粒多量含む		1496
外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:黒褐 内:黒褐	～2.5mmの砂粒含む	内外面煤付着	1497
外:ヨコハケ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:浅黄橙 内:黄灰	～5mmの砂粒含む 赤色粒		1498
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	密		1499
外:ハケメ、列点文、沈線1条 内:ヘラケズリ後ナデ		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		1500
外:ヨコハケ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:褐灰	～4mmの砂粒含む		1501
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:黒褐 内:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1502
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:灰褐	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1503
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		1504
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:にぶい橙 内:橙 断:浅黄橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1505
外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:にぶい黄褐 内:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1506
外:ヘラケズリ後ナデ、布目痕 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1507
外:タタキ後ヘラケズリ 内:ナデ	外:タタキ後ヘラケズリ 内:ナデ	外:暗灰黄 内:にぶい黄褐	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	1508
外:タタキ後タテハケ 内:ハケ後ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:浅黄 内:オリーブ黒	～4.5mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1509
外:ハケメ 内:ナデ、ヘラケズリ		外:黒褐 内:にぶい黄褐	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	1510
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄橙	～4mmの砂粒含む	外面煤付着	1511
外:ハケメ 内:ヘラケズリ		外:黒 内:にぶい黄褐 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1512
外:タタキ 内:ナデ		外:オリーブ褐 内:オリーブ褐	～6mmの砂粒含む		1513
外:ヨコハケ、沈線1条 内:ヘラケズリ、ナデ		外:灰白 内:灰白	～2mmの砂粒多量含む	山陰系	1514
		外:橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒多量含む	吉備系	1515
外:ヨコナデ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～4mmの砂粒含む 赤色粒	外面口縁部煤付着	1516
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒多量含む		1517
外:ヨコハケ、ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい橙	密		1518
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む	外面煤付着	1519
外:調整不明 内:ヘラケズリ		外:橙 内:橙	～2mmの砂粒含む		1520

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1521	V	川415	K15c9-II	土師器小形壺		口径(9.0) 器高10.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1522	V	川415	K15c9-II	土師器小形壺		口径8.6 器高9.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1523	V	川415	K15c9-IV	土師器小形壺		口径9.0 器高(8.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1524	V	川415	K15d9-IV	土師器小形壺		口径9.4 器高10.0	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1525	V	川415	K15c9-IV	土師器小形壺		口径8.2 器高9.3	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1526	V	川415	K15e10-I	土師器小形壺		口径9.2 器高8.7	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1527	V	川415	K15c9-II	土師器小形壺		口径7.9 器高(7.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1528	V	川415	K15d10-I	土師器小形壺		口径7.9 器高8.2	外:タテハケ 内:ヨコハケ
1529	V	川415	K15b9-IV	土師器小形壺		口径8.3 器高8.0	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1530	V	川415	K15b9-III	土師器小形壺		体部径(10.6) 器高(5.7)	
1531	V	川415	K15e10-III	土師器小形壺		口径(9.0) 器高(7.2)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1532	V	川415	K15c9-IV	土師器小形壺		口径7.8 器高7.4	外:ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1533	V	川415	K15e10-III	土師器小形壺		口径(6.8) 器高(8.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1534	V	川415	K15d10-I	土師器小形壺		口径6.9 器高7.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1535	V	川415	K15b9-II	土師器小形壺		口径6.3 器高7.8	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1536	V	川415	K15c9-IV	土師器小形壺		口径(8.7) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1537	V	川415	K16d1-I	土師器小形壺		体部径8.5 器高(6.6)	
1538	V	川415	K15b10-III	土師器小形壺		口径7.0 器高(4.7)	外:タテハケ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1539	V	川415	K15d10-III	土師器小形壺		口径7.6 器高6.6	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ後ヨコナデ
1540	V	川415	K15c9-IV	土師器小形壺		口径(7.7) 器高(7.4)	外:ナデ 内:ナデ
1541	V	川415	K15b9-III	土師器壺		底径8.7 器高(7.1)	
1542	V	川415	K15e10-IV	土師器小形丸底土器	原田布留 I	口径(11.4) 器高(6.5)	外:調整不明 内:調整不明
1543	V	川415	K15e10-III	土師器小形鉢?		口径10.2 器高7.9	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1544	V	川415	K15b10-III	土師器器台		裾径(12.8) 器高(7.1)	
1545	V	川415	K15c9-I	土師器碗		口径12.5 器高6.2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1546	V	川415	K15b10-I	土師器脚台?		裾径(11.2) 器高(5.7)	
1547	V	川415	K15b9-III	土錘		最大長7.7 最大幅3.7 孔径1.3 重量114.4 g	
1548	V	川415	K15e10-III	土師器ミニチュア壺		口径3.8 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1549	V	川415	K15d10-I	土師器ミニチュア壺		口径5.3 器高5.7	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1550	V	川415	K15d10-I	土師器ミニチュア壺		口径(4.9) 器高(5.7)	外:ナデ 内:ナデ
1551	V	川415	K15d10-I	土師器ミニチュア壺		口径6.7 器高4.9	外:ナデ 内:ナデ
1552	V	川415	K15e10-III	土師器ミニチュア碗		口径(7.8) 器高(4.0)	外:ナデ 内:ナデ
1553	V	川415	K15b9-II	土師器大形有段高坏	辻2段階 (TG232)	口径24.4 器高(14.5)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1554	V	川415	K15c9-II	土師器大形有段高坏	辻2段階 (TG232)	口径(23.0) 器高(7.5)	外:調整不明 内:調整不明
1555	V	川415	K15e10-II	土師器大形有段高坏	辻3段階 (田辺TK73~TK216)	口径(23.0) 器高(6.9)	外:ハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ
1556	V	川415	K15b10-III	土師器大形有段高坏	辻2段階 (TG232)	口径(22.8) 器高(6.8)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1557	V	川415	K15b9-III	土師器大形有段高坏	辻2段階 (TG232)	口径20.8 器高(6.8)	外:タテハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヨコハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ
1558	V	川415	K15b9-III	土師器有稜外反高坏		口径(18.1) 器高(5.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1559	V	川415	K15c9-IV	土師器有稜外反高坏		口径(18.3) 器高(5.1)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1560	V	川415	K15c9-IV	土師器有稜外反高坏		口径17.9 器高(5.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ヘラケズリ、工具痕 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:浅黄橙 内:灰黄	～4mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1521
外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:黄灰	～3mmの砂粒多量含む		1522
外:ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ		外:暗灰黄 内:暗灰黄	～0.5mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1523
外:ヘラケズリ後ヨコハケ後ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:不調整	外:黒褐 内:灰黄	～2mmの砂粒含む		1524
外:タテハケ後ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:灰黄 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	外面煤付着	1525
外:タテハケ後ナデ 内:ナデ後ヘラケズリ	外:ハケ後ナデ 内:ヘラケズリ	外:浅黄 内:浅黄 断:浅黄	～2mmの砂粒含む	内外面煤付着	1526
外:ハケ後ナデ 内:ナデ		外:浅黄橙 内:灰白	～4mmの砂粒多量含む	外面煤付着	1527
外:ナデ後ハケメ 内:ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい褐 内:にぶい橙	～1.5mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり 完形品	1528
外:ハケメ後ナデ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:黄灰 内:黄灰	～3mmの砂粒多量含む		1529
外:タテハケ、ハケメ 内:ナデ後ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ヘラケズリ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1530
外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄 断:にぶい橙	密		1531
外:ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	外面煤付着	1532
外:ナデ後ヘラケズリ 内:板ナデ	外:ヘラケズリ 内:板ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:灰白	～1mmの砂粒含む		1533
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	～4mmの砂粒含む	外面黒斑あり 赤色顔料付着 完形品	1534
外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:橙	～1mmの砂粒含む	外面黒斑あり 完形品	1535
外:ナデ後ハケメ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1.5mmの砂粒含む		1536
外:ハケ後ヘラケズリ 内:ナデ	外:ナデ 内:ヘラケズリ後ヘラミガキ	外:浅黄 内:にぶい黄橙 断:にぶい赤褐	～1mmの砂粒含む		1537
外:ハケメ 内:ナデ		外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	～3mmの砂粒含む		1538
外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:ハケ後ナデ 内:ナデ	外:黄灰 内:黒褐 断:黒褐	～1mmの砂粒含む		1539
外:ナデ、板ナデ 内:ヘラケズリ	外:ナデ 内:ヘラケズリ	外:灰黄 内:暗灰黄	微細な砂粒含む	手捏ね成形	1540
外:一部ハケメ後調整不明 内:ナデ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:ハケメ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	微細な砂粒含む	外面底部黒斑あり	1541
外:調整不明 内:調整不明	外:調整不明 内:調整不明	外:橙 内:橙	～3mmの砂粒含む	外面口縁黒斑あり	1542
外:ナデ後ハケメ 内:ナデ	外:ハケメ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:明赤褐	密	外面煤付着	1543
外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ナデ後ヘラミガキ	外:タテハケ後ヘラミガキ 内:ヨコハケ後ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	密		1544
外:ヘラケズリ 内:ヨコナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい黄褐 内:にぶい赤褐	微細な砂粒含む	完形品	1545
	外:ハケナデ 内:ハケナデ後ナデ	外:明赤褐 内:黄灰	～1mmの砂粒含む		1546
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰黄	～2mmの砂粒含む		1547
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ヘラケズリ後ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:灰白	～2mmの砂粒含む	外面煤付着 手捏ね成形	1548
外:ナデ 内:ナデ 穿孔1	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:褐灰 断:赤褐	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着 手捏ね成形 完形品	1549
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:黄灰 内:黄灰	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着 手捏ね成形	1550
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:黒褐	～1mmの砂粒含む	内外面煤付着 手捏ね成形 完形品	1551
外:ナデ 内:ナデ	外:ナデ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:浅黄 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む	手捏ね成形 完形品	1552
外:ハケ後ナデ 内:ハケ後ヨコナデ	外:タテハケ後ナデ 内:ナデ、ハケメ	外:橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面坏部黒斑あり	1553
外:調整不明、一部ハケメ 内:調整不明		外:橙 内:橙	～3.5mmの砂粒含む		1554
		外:にぶい黄橙 内:灰黄褐	～1mmの砂粒含む		1555
外:タテハケ後ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		1556
外:タテハケ後ヘラケズリ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1557
外:タテハケ、ナデ 内:タテハケ、ナデ		外:灰黄 内:にぶい黄橙 断:灰	密		1558
外:ヘラケズリ 内:ナデ		外:淡黄 内:灰黄	～2mmの砂粒含む		1559
外:工具ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2.5mmの砂粒多量含む		1560

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1561	V	川415	K15e10-III	土師器有稜外反高坏		口径16.5 器高(5.0)	外:回転ナデ 内:ナデ
1562	V	川415	K15b9-II	土師器無稜外反高坏		口径19.7 器高(6.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1563	V	川415	K15b9-IV	土師器無稜外反高坏		口径18.5 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1564	V	川415	K15c9-IV	土師器無稜外反高坏		口径18.5 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1565	V	川415	K15c10-I	土師器無稜外反高坏		口径(18.2) 器高(6.9)	外:ハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1566	V	川415	K15d10-I	土師器無稜外反高坏		口径18.3 器高(5.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1567	V	川415	K15b10-III	土師器無稜外反高坏		口径(19.4) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1568	V	川415	K15c9-II	土師器無稜外反高坏		口径18.5 器高(5.3)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1569	V	川415	K15b9-II	土師器無稜外反高坏		口径17.0 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1570	V	川415	K15e10-III	土師器無稜直口高坏		口径(16.6) 器高(5.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1571	V	川415	K15d10-I	土師器碗形高坏		口径(16.4) 器高(6.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1572	V	川415	K15b10-III	土師器碗形高坏		口径(16.0) 器高(6.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1573	V	川415	K15e10-IV	土師器碗形高坏		口径(15.0) 器高(6.6)	外:調整不明、粘土のひび割れ 内:調整不明
1574	V	川415	K15e10-III	土師器碗形高坏		口径(14.7) 器高(6.0)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ
1575	V	川415	K15c9-III	土師器碗形高坏		口径(14.4) 器高(5.9)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ヨコナデ
1576	V	川415	K15b9-IV	土師器碗形高坏		口径(15.5) 器高(6.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1577	V	川415	K15d10-III	土師器高坏		裾径13.2 器高(8.4)	
1578	V	川415	K15d9-IV	土師器高坏		裾径13.8 器高(8.4)	
1579	V	川415	K15c10-III	土師器高坏		裾径(12.8) 器高(7.8)	
1580	V	川415	K15c9-II	土師器高坏		裾径11.9 器高(7.3)	
1581	V	川415	K15e10-IV	土師器高坏		裾径11.7 器高(8.2)	
1582	V	川415	K15e10-IV	土師器高坏		裾径11.8 器高(7.4)	
1583	V	川415	K15b9-IV	須恵器蓋	中村 I - 3 (田辺TK208)	口径(12.7) 器高(4.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1584	V	川415	K15c9-II	須恵器無蓋高坏		裾径10.2 器高(9.8)	
1585	V	川415	K15d9-IV	須恵器コップ形土器		口径10.0 器高12.3	外:ヨコハケ 内:ヨコナデ
1586	V	川415	K15c9-IV	須恵器甕	9世紀	口径(23.3) 器高(6.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1587	V	川415	K15d9-IV	須恵器甕			
1588	V	川415	K15d10-I	韓式系軟質土器甕			
1589	V	川415	K15d10-I	黒色土器A類碗	佐藤 II 古~中	口径(8.0) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコヘラミガキ
1590	V	川415	K15d10-I	土師器碗		口径(16.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1591	V	川415	K15d10-III	土師器皿A	佐藤 II 期古	口径(14.5) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1592	V	川415	K15e10-III	縄文土器浅鉢	縄文時代晩期		外:調整不明 内:調整不明
1593	VII	土坑918	K16f3-I	土師器大形有段高坏	古墳時代中期	口径(23.0) 器高(8.3)	外:調整不明 内:調整不明
1594		第II層	J15j7-II	土師器壺	弥生時代前期		外:ナデ、削出し凸帯 内:ナデ 穿孔2
1595			南辺側溝中部	土師器壺	弥生時代後期	口径9.8 器高(11.9)	外:ナデ、半截竹管文 内:ヨコナデ
1596		第III層	J15h4-IV	土師器壺	庄内式期	口径(13.4) 器高(18.8)	外:ヨコナデ、ヘラミガキ 内:ヘラミガキ後ナデ
1597		第IV層	J15j1-II	土師器複合口縁壺	庄内式後半	口径(16.6) 器高(20.0)	外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1598		第V層	J15h5-IV	土師器小形丸底土器	原田布留 I	口径11.0 器高8.0	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ
1599		第III層	J15g7-II	土師器小形丸底土器	原田布留 I	口径(11.0) 器高(7.9)	外:タテハケ後ヘラミガキ 内:ハケ後ヘラミガキ
1600		第III層	J15h7-I	土師器壺		口径(16.0) 器高(6.2)	外:ヨコナデ、櫛描横線文 内:ヨコナデ

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ナデ 内:ナデ		外:暗灰黄 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1561
外:ハケ後ナデ 内:ハケ後ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄	～3mmの砂粒含む	口縁部黒斑あり	1562
外:タテハケ後ナデ 内:調整不明		外:橙 内:橙	～1mmの砂粒含む		1563
外:タテハケ後ナデ 内:ハケ後ナデ		外:橙 内:浅黄橙	～1.5mmの砂粒含む	口縁部黒斑あり	1564
外:ハケ後ナデ、タテハケ 内:ハケ後ナデ		外:橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒含む		1565
外:ハケメ、ナデ 内:調整不明		外:灰黄色 内:灰黄		口縁部黒斑あり	1566
外:タテハケ 内:タテハケ		外:にぶい褐 内:にぶい黄褐 断:橙	やや粗		1567
外:タテハケ 内:ハケ後ナデ		外:浅黄 内:浅黄	～4.5mmの砂粒含む	口縁部黒斑あり	1568
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい橙	～4.5mmの砂粒含む	口縁部黒斑あり	1569
外:調整不明、ハケメ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい黄	微細な砂粒含む		1570
外:調整不明 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい橙	～0.5mmの砂粒含む		1571
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙	～3mmの砂粒含む		1572
外:調整不明 内:調整不明		外:橙 内:橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む		1573
外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3.5mmの砂粒含む		1574
外:タテハケ後ヨコナデ 内:ハケ後ナデ後放射状暗文		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰黄褐	～2mmの砂粒含む		1575
外:調整不明 内:調整不明	外:ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙	～3mmの砂粒含む 赤色粒		1576
	外:ヘラナデ 内:ナデ、絞り目 透孔3方向	外:橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	密 赤色粒		1577
	外:ヘラナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ	外:灰白 内:灰白 断:にぶい黄橙	密 赤色粒	裾端部黒斑あり 外面焼成後ヘラ記号	1578
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ハケメ 透孔3方向	外:橙 内:明赤褐色 断:橙	～1mmの砂粒含む	外面焼成後ヘラ記号	1579
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ナデ、ハケメ 透孔3方向	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む		1580
	外:ヘラナデ、ヨコナデ 内:ヘラケズリ、ヨコナデ	外:橙 内:橙 断:浅黄橙	～2mmの砂粒含む		1581
	外:ヘラナデ、ナデ 内:ヘラケズリ、ナデ	外:橙 内:橙 断:浅黄橙	～1.5mmの砂粒含む	内面裾部煤付着	1582
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:青灰 断:灰	密		1583
外:回転ナデ、波状文1条 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ 透孔4方向	外:灰白 内:灰白 断:赤灰	密 黒色粒	把手付 内面坏部自然釉付着	1584
外:ヨコハケ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:青灰 内:青灰	緻密	把手付	1585
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:オリーブ灰 内:オリーブ灰	～2mmの砂粒含む	内外面自然釉付着	1586
外:タタキ 内:車輪当て具痕、ナデ		外:灰 内:灰	緻密		1587
外:タタキ 内:調整不明		外:黄灰 内:黄灰	～1mmの砂粒含む		1588
外:ナデ 内:ヨコヘラミガキ後暗文		外:橙 内:暗灰	～0.5mmの砂粒含む		1589
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい赤褐 内:にぶい黄橙	密		1590
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい黄褐	密		1591
		外:灰黄褐 内:黒褐 断:黒褐	～2mmの砂粒多量含む		1592
外:タテハケ 内:ハケ後タテヘラミガキ		外:にぶい橙 内:黄灰	～1mmの砂粒多量含む		1593
		外:明赤褐 内:橙 断:にぶい赤褐	～2mmの砂粒含む		1594
外:ナデ、波状文 内:ナデ 穿孔1	外:ナデ 内:ナデ	外:橙 内:灰	～6mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1595
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ 穿孔1	外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密		1596
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ、ハケメ 穿孔1	外:ハケ後ヘラミガキ 内:ハケメ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	～2mmの砂粒含む	生駒西麓産 外面黒斑あり	1597
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ、ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:明赤褐 内:橙	密		1598
外:タテハケ後ヘラミガキ 内:板ナデ	外:ヘラケズリ後ナデ 内:板ナデ	外:橙 内:橙 断:淡黄	密		1599
		外:灰白 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～3mmの砂粒含む		1600

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1601		第V層	J15i4-I	土師器複合口縁壺		口径24.8 器高(11.6)	外:ヨコナデ後タテヘラミガキ 内:ヨコナデ後タテヘラミガキ
1602		第V層	K15e10-I	土師器壺		口径(20.3) 器高(12.7)	外:ヨコナデ、沈線、タテハケ 内:ヨコナデ、ヨコハケ
1603		第V層	K15e10-I	土師器壺		口径22.6 器高(9.7)	外:ヨコナデ、タテハケ後ナデ 内:ヨコナデ
1604		第V層	K15d10-IV	土師器複合口縁壺		口径(34.4) 器高(12.5)	外:ハケ後ヨコナデ、タテハケ 内:ハケ後ヨコナデ、ヨコハケ
1605		第IV層	J15h4-II	土師器壺		口径20.5 器高(28.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1606			東辺側溝	土師器壺		口径22.4 器高39.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1607		第V層	J15h5-III	土師器甕	弥生時代中期	口径(13.4) 器高(4.9)	外:ヨコナデ 内:ハケメ
1608		第III層	K16f2-II	土師器甕 (V様式系)		口径(14.0) 器高(15.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1609		第III層	K16e3-III	土師器甕 (V様式系)	庄内式前半	口径(13.4) 器高(16.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1610			南辺側溝中部	土師器甕 (V様式系)	庄内式前半	口径14.5 器高(16.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1611			側溝	土師器甕 (V様式系)	庄内式前半	口径(14.0) 器高(19.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1612			側溝	土師器甕 (V様式系)	庄内式前半	口径(14.0) 器高(19.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1613		第IV層	J15i1-I	土師器甕(大和型)	庄内式期	口径14.2 器高15.5	外:ヨコナデ 内:ヨコハケ
1614		第III層	K15d10-II	土師器甕	才の元~亀川上層	口径14.4 器高(21.6)	外:ヨコナデ後櫛描横線文 内:ヨコナデ
1615		第III層	J15j3-I	土師器甕	才の元~亀川上層	口径(13.6) 器高(3.4)	外:ヨコナデ後櫛描横線文 内:ヨコナデ
1616		第III層	J15h7-I	土師器甕	才の町I~才の町II	口径(13.6) 器高(3.2)	外:ヨコナデ後櫛描横線文 内:ヨコナデ
1617		第V層	J15h3-II	土師器甕	下田所	口径(15.2) 器高(3.2)	外:ヨコナデ後櫛描横線文 内:ヨコナデ、ナデ
1618		第II層	K16a3-II	土師器甕	才の町II~下田所	口径(15.8) 器高(4.5)	外:ヨコナデ後櫛描横線文 内:ヨコナデ
1619		第V層	J15h5-III	土師器台付甕		くびれ部径4.3 器高(4.3)	
1620			東辺側溝	土師器甕	庄内式後半	口径(14.6) 器高(5.8)	外:ヨコナデ後沈線文 内:ヨコナデ
1621		第IV層	J15h4-IV	土師器甕	庄内式期	口径(19.0) 器高(9.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1622		第III層	J15h5-IV	土師器甕		口径13.7 器高24.7	外:ハケ後ナデ 内:板ナデ
1623		第V層	K15e10-I	土師器甕	原田布留I	口径12.8 器高23.0	外:タテハケ後ナデ 内:ヨコハケ後ナデ
1624		第V層	J15i9-II	土師器甕	庄内式後半	頸径10.6 器高(23.6)	外:タテハケ後ヨコナデ 内:ヨコハケ
1625		第V層	J15h4-IV	土師器手培形 土器		最大径20.0 器高18.0	外:ハケメ後ナデ 内:ナデ
1626		第III層	J15g5-IV	土師器有稜外反 高坏		口径14.8 器高11.4	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1627		第IV層	J15h4-II	土師器鼓形器台		くびれ部径(13.8) 器高(10.5)	
1628		第II層	J15j6-IV	須恵器蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径13.6 器高4.0	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1629		第III層	J15g2-II	須恵器蓋	中村I-2(田辺TK216)	口径(12.0) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1630		第II層	J15g2-II	須恵器蓋	中村I-3(田辺TK208)	口径12.8 器高4.5	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1631		第II層	J15g2-II	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径10.3 器高4.9	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1632		第II層	J15g2-II	須恵器坏	中村I-4~5 (田辺TK23~47)	口径(9.7) 器高(5.4)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1633		第II層	J15g2-II	須恵器坏	中村I-3(田辺TK208)	口径9.9 器高(4.5)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1634		第IV層	J14i10-I	須恵器坏	中村II-6(田辺TK217)	口径10.0 器高3.2	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1635		第0層	K16b3-III	須恵器坏B	8世紀前半	底径(15.6) 器高(2.1)	
1636		第III層	J15h8-II	須恵器有蓋高坏	中村I-1~2 (田辺TK73~216)	口径(11.4) 器高(4.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1637		第II層	J15g2-II	須恵器有蓋高坏	中村I-3(田辺TK208)	口径10.2 器高(5.2)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1638		第II層	J15g2-II	須恵器碗	中村I-2(田辺TK216)	口径(11.5) 器高(6.3)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1639		第III層	J15i10-I	須恵器筒形器台		口径(7.1) 器高(7.7)	
1640		第II層	J15g6-III	須恵器甕			

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:タテハケ後タテヘラミガキ 内:ヨコハケ後ヘラミガキ		外:にぶい橙 内:にぶい褐	～3mmの砂粒多量含む	内面煤付着 口縁打ち欠く	1601
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～6mmの砂粒多量含む		1602
		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～6mmの砂粒含む		1603
		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:暗灰黄	～2mmの砂粒含む	外面黒斑あり	1604
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ナデ		外:橙 内:淡橙	～5.5mmの砂粒含む 結晶片岩	阿波系 口縁打ち欠く	1605
外:タテハケ後ヘラミガキ 内:ナデ 穿孔4	外:タテハケ 内:板ナデ	外:にぶい橙 内:橙 断:にぶい橙	密 結晶片岩	阿波系 口縁打ち欠く 完形品	1606
外:ナデ後櫛描文3条 内:ナデ		外:暗灰黄 内:灰褐	～3mmの砂粒含む	東部瀬戸内系	1607
外:タタキ 内:ハケメ	外:タタキ 内:ハケメ	外:橙 内:橙	～2mmの砂粒多量含む		1608
外:タタキ 内:ナデ	外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい黄褐 断:黄灰	～5mmの砂粒含む	外面煤付着	1609
外:タタキ 内:板ナデ	外:タタキ、ナデ 内:板ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい赤褐	～5mmの砂粒多量含む	外面黒斑あり	1610
外:タタキ 内:ナデ	外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	～6mmの砂粒含む	生駒西麓産	1611
外:タタキ 内:ナデ	外:タタキ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰	～5mmの砂粒含む		1612
外:タタキ後タテハケ 内:ハケ後ヘラケズリ	外:タタキ後ハケメ 内:ヘラケズリ	外:黒褐 内:灰褐	～3mmの砂粒含む	完形品 外面スリップ付着	1613
外:ハケ後ヘラミガキ 内:ヘラケズリ	外:ヘラミガキ 内:ナデ	外:淡黄 内:褐灰	～4mmの砂粒含む	吉備系 内外面煤付着	1614
外:ヨコナデ 内:ヘラケズリ		外:橙 内:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	吉備系	1615
		外:にぶい橙 内:灰黄褐	～1mmの砂粒含む	吉備系	1616
		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	密	吉備系	1617
		外:浅黄橙 内:灰白	密 赤色粒	吉備系	1618
	外:ハケメ 内:爪痕、ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～4mmの砂粒含む	東海系	1619
外:ナデ後沈線文帯 内:ナデ		外:灰黄 内:灰白	密 湖東流紋岩	近江系	1620
外:ヨコハケ 内:ヘラケズリ		外:浅黄橙 内:浅黄橙	密	山陰系	1621
外:タタキ後タテハケ 内:ハケメ	外:タタキ後タテハケ 内:ハケ後ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい褐	～5mmの砂粒含む	四国系? 外面黒斑あり	1622
外:ハケメ 内:ハケメ後ヘラケズリ	外:ハケメ 内:ハケメ後ヘラケズリ	外:明褐 内:明褐	～5mmの砂粒含む	内外面煤付着	1623
外:タタキ後ハケメ 内:ハケメ 穿孔1	外:ハケメ 内:ハケメ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:灰黄褐	～3mmの砂粒含む	内外面煤付着	1624
外:ハケメ後ナデ 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:浅黄 内:黄灰 断:にぶい褐	密		1625
外:ナデ 内:ナデ	外:ヘラナデ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:黄灰	～2mmの砂粒含む	内面煤付着	1626
外:ヨコナデ 内:ナデ	外:ヨコナデ 内:ヘラケズリ	外:にぶい赤褐 内:にぶい橙	～3mmの砂粒含む		1627
外:手持ちヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	密 黒色粒		1628
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密		1629
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:褐灰	～4mmの砂粒含む	外面自然釉付着	1630
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	～2mmの砂粒含む	完形品	1631
外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ後回転ナデ 内:ナデ	外:灰 内:灰 断:紫灰	密	外面自然釉付着	1632
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰	密		1633
外:回転ヘラケズリ、不調整 内:回転ナデ	外:不調整、ヘラ切り 内:回転ナデ、ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	密 黒色粒	外面焼成前ヘラ記号	1634
	外:回転ナデ、爪痕 内:回転ナデ、ナデ	外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む 黒色粒	外面焼成前ヘラ記号	1635
外:手持ちヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:灰褐	密		1636
外:回転ヘラケズリ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰	～1mmの砂粒含む		1637
外:凸帯2条、波状文(6条)1段 内:回転ナデ	外:手持ちヘラケズリ、ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰白 断:褐灰	～2mmの砂粒含む	把手の上に球形の飾り 内面自然釉付着	1638
外:回転ナデ、波状文1条、凸帯3条、 刺突文1条 内:回転ナデ 透孔有		外:灰 内:灰	微細な砂粒多量含む		1639
外:綾杉状タタキ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	密 黒色粒		1640

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1641		第IV層	J15j2-I	須恵器甕			
1642		第III層	J16g1-I	須恵器高坏形器台		口径(32.8) 器高(13.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1643		第II層	J15g2-IV	須恵器大形鉢			外:回転ナデ 内:回転ナデ
1644			北辺側溝	須恵器鳥形土製品		頭部器高(5.8)	
1645		第III層	J15g10-III	須恵質埴状土製品		最大長(27.0) 最大幅15.5 厚み2.9	
1646		第III層	K15d9-II	須恵器イダコ壺		体部径(5.2) 器高(4.3)	
1647		第I層	K16a3-IV	須恵器圈足硯		硯部口径(12.2) 器高(7.4)	
1648		第V層	J15h3-II	縄文土器深鉢	船元式前半 (縄文時代中期前半)		
1649		第III層	J16h1-I	黒色土器A類碗	9世紀後半	口径16.4 器高(5.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1650		第III層	K15d9-IV	黒色土器A類碗	10世紀前半頃	口径15.5 器高(8.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ後ヘラミガキ
1651		第III層	J15j10-III	黒色土器A類碗		口径14.8 器高(6.0)	外:ナデ 内:ナデ後ヘラミガキ
1652			北辺側溝	青磁碗	平安京II中	底径(5.6) 器高(2.6)	
1653		第II層	J15g6-III	瓦器碗		底径(5.2) 器高(1.6)	
1654		第II層	J15h7-IV	韓式系軟質土器高坏		口径15.2 器高(5.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1655		第III・IV層	J15i4-II	韓式系軟質土器長胴甕		口径19.2 器高(34.4)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1656		第III層	J15i4-III	磨製石庖丁		最大長(10.0) 最大幅6.4 厚み0.9	
1657		第III層	J15h3-IV	磨製石庖丁		最大長(9.4) 最大幅5.2 厚み0.7	
1658		第IV層	J15g4-II	打製石剣		最大長(11.0) 最大幅3.5 厚み1.2	
1659		第IV層	J15h3-I	打製石鏃		最大長4.8 最大幅1.8 厚み0.5	
1660		第IV層	K15d10-II	不定形刃器		最大長6.4 最大幅5.5 厚み1.1	
1661		第II層	K16e1-I	緑釉単彩陶器蓋	平安京I中～I新	つまみ径3.1 器高(2.0)	
1662	II	ビット164	J15i1-IV	緑釉単彩陶器甕	平安京I中～I新		
1663		第I層	J16j2-IV	緑釉単彩陶器火舎	平安京I中～I新		
1664	III	川200	K16b2-II	緑釉陶器碗	平安京II古	底径6.2 器高(1.1)	
1665	III	川200	K16b2-II	緑釉陶器碗	平安京II古	底径5.8 器高(1.1)	
1666		第I層	J16j2-IV	緑釉陶器碗	平安京II古新相	底径(5.8) 器高(1.4)	
1667	II	ビット191	K16b4-I	緑釉陶器碗	平安京II古新相	底径(5.8) 器高(1.1)	
1668	III	川200	K16b2-II	緑釉陶器碗	平安京II古新相	底径6.4 器高(1.8)	
1669		第0層	K16a2-IV	緑釉陶器碗	平安京II古新相	底径(9.9) 器高(1.4)	
1670	II	落込み138		緑釉陶器碗	平安京II古新相	底径(7.0) 器高(1.6)	
1671	III	川719	K16f1-I	緑釉陶器皿	平安京II古新相	口径(15.0) 器高(2.7)	
1672	II	井戸565	K16e4-III	緑釉陶器碗	平安京II古新相～II 中古相	口径(12.6) 器高(5.2)	
1673	II	落込み138		緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径(6.0) 器高(3.0)	
1674	III	川200	J16g1-III	緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径5.8 器高(2.9)	
1675	III	川200	J15h10-II	緑釉陶器碗	平安京II中古相	口径(13.0) 器高(3.3)	
1676		第I層	K16a2-IV	緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径(7.0) 器高(1.5)	
1677		第I層	K16a3-III	緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径(6.2) 器高(1.9)	
1678				緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径6.3 器高(1.5)	
1679		第III層	K15e9-II	緑釉陶器碗	平安京II中古相	底径6.4 器高(1.1)	
1680	V	川410	J16g1-III	緑釉陶器碗	平安京II中古相	口径(18.4) 器高(5.8)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:綾杉状タタキ 内:ナデ		外:灰白 内:灰白 断:灰白	密 黒色粒		1641
外:波状文3条、タタキ後回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰 内:灰 断:紫灰	密	内面自然釉付着	1642
外:タタキ後回転ナデ 内:ナデ		外:黄灰 内:黄灰	～2mmの砂粒含む		1643
ヘラケズリ後ナデ		外:灰 断:灰	密	自然釉付着 装飾用?	1644
全面ナデ仕上げ		外:灰 断:灰	密	長側縁に突起あり	1645
外:ナデ 内:回転ナデ 穿孔1		外:青灰 内:青灰	密		1646
外:回転ナデ 内:ナデ	外:回転ヘラケズリ、回転ナデ 内:回転ナデ 穿孔10	外:灰白 内:青灰 断:灰白		内面線刻あり	1647
外:半截竹管文 内:調整不明		外:灰黄 内:にぶい黄	～4mmの砂粒含む		1648
外:調整不明 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:暗文	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～1mmの砂粒含む		1649
外:調整不明 内:ヘラミガキ 穿孔1	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:灰白 内:黒	密		1650
外:調整不明 内:ヘラミガキ 穿孔1	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ 穿孔1	外:にぶい黄橙 内:黒 断:灰黄	やや粗	外面一部赤色を呈する	1651
外:施釉 内:施釉	外:施釉 内:施釉	外:オリーブ黄 内:にぶい黄 断:灰黄	密	越州窯産	1652
外:ナデ 内:暗文	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:暗文	外:灰 内:灰	密	楠葉型	1653
外:ヘラミガキ 内:ヘラミガキ		外:黒 内:黒	～2mmの砂粒含む		1654
外:タタキ 内:板ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む		1655
					1656
					1657
					1658
					1659
					1660
		外:緑 内:灰白 断:灰白	密 ～1mmの砂粒含む	洛北栗栖野産 つまみ部のみ	1661
		外:浅黄 内:灰白 断:灰白	密 ～2mmの砂粒含む	洛北栗栖野産	1662
		外:浅黄 内:灰白 断:灰白	密 ～2mmの砂粒含む	洛北栗栖野産	1663
	糸切り円盤状高台(0A)	外:淡黄 内:オリーブ灰	密 ～1mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1664
	糸切り円盤状高台(0A)	外:灰オリーブ 内:淡黄 断:灰白	密 ～3mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1665
	削出し円盤状高台(1A)	外:オリーブ黄 内:浅黄	密	洛北産 軟質	1666
	削出し円盤状高台(1A)	外:淡黄 内:灰白	密 ～3mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1667
	削出し円盤状高台(1A)	外:灰白 内:灰白	密 ～2mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1668
	削出し輪高台(1Bb)	外:緑 内:灰白 断:灰白	密 ～0.5mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1669
	削出し輪高台(1Bb)	外:緑 内:緑 断:灰白	密	洛北産 軟質	1670
	削出し輪高台(1Bb)	外:淡緑 内:灰白 断:灰白	密 ～0.5mmの砂粒含む	洛北産 軟質	1671
外:釉厚い 内:－	外:－ 内:沈線1条 削出し輪高台(1Bb)	外:黒緑 内:オリーブ灰	密		1672
	削出し円盤状高台(1A)	外:緑灰 内:緑灰	密	洛北産 硬質	1673
	外:－ 内:重ね焼き痕 削出し状円盤高台(1A)	外:緑 内:緑	密	洛北産 内面トチンあり 軟質	1674
	削出し円盤状高台(1A)	外:灰黄 内:にぶい黄	密	洛北産 軟質	1675
	削出し輪高台(1Ba)	外:緑灰 内:緑灰	微細な砂粒多量含む	洛北産? 硬質	1676
	外:釉薄い 内:－ 削出し輪高台(1Ba)	外:灰オリーブ 内:灰	密 ～1mmの砂粒含む	洛北産? 硬質	1677
	削出し輪高台(1Ba)	外:浅黄橙 内:浅黄橙	密 ～1mmの砂粒多量含む	洛北産? 軟質	1678
	削出し輪高台(1Ba)	外:緑 内:緑 断:灰白	密	洛北産? 軟質	1679
	削出し輪高台(1Ba)	外:明黄褐 内:明黄褐 断:灰白	密 ～1mmの砂粒含む	洛西産 軟質	1680

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1681	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中古相	底径(7.7) 器高(3.2)	
1682	Ⅱ	溝569	J16g1-I	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中古相	底径(7.5) 器高(2.0)	
1683		第Ⅱ層	K15c9-Ⅳ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中古相	底径(8.0) 器高(2.4)	
1684		全層	西辺側溝	緑釉陶器皿	平安京Ⅱ中	口径(6.4) 器高(2.7)	
1685	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅲ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径6.8 器高(1.9)	
1686		第Ⅰ層	K16f4-I	緑釉陶器耳皿	平安京Ⅱ中	底径4.8 器高(1.3)	
1687		第Ⅲ層	K15d9-Ⅲ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径6.3 器高(1.3)	
1688	Ⅱ	井戸565	K16e4-Ⅲ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(6.3) 器高(2.2)	
1689	Ⅱ	井戸566	K16e4-Ⅲ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径5.8 器高(2.3)	
1690		第Ⅲ層	J15i10-Ⅳ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(6.1) 器高(2.3)	
1691	Ⅱ	井戸565	K16e4-Ⅲ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.1) 器高(2.8)	
1692	V	井戸414	K16d1・e1・f1	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.2) 器高(1.7)	
1693		第Ⅰ層	K15c9-Ⅳ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(6.6) 器高(3.0)	
1694	Ⅲ	川200	K16b2-I	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.8) 器高(4.8)	
1695		第Ⅲ層	K16b2-I	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	口径15.5 器高(5.5)	
1696	Ⅱ	土坑136	K16a2-Ⅳ	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	口径13.4 器高(4.5)	
1697	I	溝93	不明	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(6.0) 器高(1.5)	
1698	Ⅲ	川200	K16b1-II	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(6.9) 器高(1.7)	
1699		第0層	K16a2-II	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(6.8) 器高(2.4)	
1700	V	井戸414	K15c9-II	緑釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(7.2) 器高(1.7)	
1701	Ⅱ	落込み138	不明	緑釉陶器碗	平安京Ⅲ古~中	口径(11.0) 器高(2.5)	
1702	Ⅲ	川200	K16b2-I	緑釉陶器耳皿	平安京Ⅲ古~中	底径(4.1) 器高(2.5)	
1703		第Ⅲ層	不明	緑釉陶器碗	平安京Ⅲ古~中	底径(6.4) 器高(3.2)	
1704	Ⅱ	井戸565	K16e4-Ⅲ	緑釉陶器皿	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	口径(15.4) 器高(2.3)	
1705		第Ⅲ層	K15d9-II	緑釉陶器皿	平安京Ⅲ古~中	口径(12.4) 器高(2.9)	
1706	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅲ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中古相	底径(7.6) 器高(1.4)	
1707	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中古相	底径(8.8) 器高(1.9)	
1708		第0層	J15g10-I	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(5.9) 器高(1.5)	
1709	Ⅲ	落込み341	J15h10 J16h1	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.8) 器高(2.0)	
1710		第0層	K15e10-Ⅳ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.4) 器高(1.6)	
1711		第0層	K16d3-Ⅳ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径6.8 器高(1.3)	
1712		第Ⅱ層	K16e1-Ⅳ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(7.4) 器高(1.9)	
1713	Ⅱ	落込み138	不明	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	口径(14.4) 器高(2.6)	
1714	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅲ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中	底径(11.4) 器高(2.4)	
1715	Ⅱ	溝569	K16d1・e1・f1	灰釉陶器水瓶	平安京Ⅱ中	頸径(2.5) 器高(7.0)	
1716	V	川410	不明	灰釉陶器壺	平安京Ⅱ中~Ⅱ新	口径(10.2) 器高(7.4)	
1717		第Ⅱ層	K16e1-Ⅲ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中~Ⅱ新	底径(6.6) 器高(1.8)	
1718	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ中~Ⅱ新	底径7.5 器高(2.2)	
1719	Ⅲ	落込み330	J15g9 J15g10	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(7.6) 器高(1.9)	
1720			不明	灰釉陶器碗	平安京Ⅱ新~Ⅲ古	底径(7.0) 器高(1.8)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
	外:ー 内:重ね焼き痕 削出し輪高台(I Bb)	外:オリーブ灰 内:オリーブ灰	密	洛西産? 硬質	1681
	外:ー 内:重ね焼き痕 削出し輪高台(I Bb)	外:灰黄 内:灰白	密	洛西産? 硬質	1682
	削出し輪高台(I Bb)	外:オリーブ黄 内:灰オリーブ 断:にぶい黄橙	やや粗 ~0.5mmの砂粒含む	洛西産? 軟質	1683
	外:ー 内:重ね焼き痕 削出し円盤状高台(I A)	外:浅黄橙 内:黄灰 断:灰	密 ~1mmの砂粒含む	洛西産 硬質	1684
	削出し円盤状高台(I A)	外:淡黄 内:浅黄橙 断:浅黄橙	密 ~1mmの砂粒含む	洛西産 軟質	1685
	糸切り円盤状高台(0 A)	外:オリーブ黄 内:にぶい黄 断:淡黄	密 ~2mmの砂粒含む	洛西産 軟質	1686
	削出し輪高台(I Ba)	外:灰 内:灰 断:灰白	密	洛西産 硬質	1687
	削出し輪高台(I Ba)	外:灰 内:灰 断:灰	密	洛西産 高台楕円 硬質	1688
	外:高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Ba)	外:灰 内:灰 断:にぶい橙	密	洛西産 硬質	1689
	外:ー 内:重ね焼き痕 削出し輪高台(I Ba)	外:灰 内:灰オリーブ 断:にぶい橙	密	洛西産 硬質	1690
	外:高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Ba)	外:灰オリーブ 内:灰	密	洛西産 硬質	1691
	削出し輪高台(I Bb)	外:明オリーブ灰 内:灰	密	洛西産 硬質	1692
	削出し輪高台(I Bb)	外:灰オリーブ 内:灰オリーブ	密	洛西産 硬質	1693
	外:高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Bb)	外:オリーブ灰 内:オリーブ灰	密	洛西産 内面トチンあり 硬質	1694
	外:高台中央に施釉 内:重ね焼き痕 削出し輪高台(I Bb)	外:オリーブ灰 内:暗オリーブ 灰 断:灰白	密	篠産 硬質	1695
	削出し輪高台(I Bb)	外:緑 内:緑 断:灰白	密	篠産 硬質	1696
	外:高台施釉なし 内:重ね焼き痕 削出し輪高台(I Bb)	外:オリーブ灰 内:灰オリーブ 断:灰白	密	篠産 硬質	1697
	外:高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Bb)	外:黄緑 内:黄緑 断:灰白	密	篠産 硬質	1698
	外:高台中央に施釉 内:ー 削出し輪高台(I Bb)	外:黄緑 内:黄緑 断:灰白	密	篠産 硬質	1699
	外:高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Bb)	外:灰 内:黄緑 断:淡黄	密	篠産 内面トチン? 硬質	1700
	外:釉薄い、高台施釉なし 内:ー 削出し輪高台(I Bb)	外:灰 内:灰 断:灰	密	篠産 硬質	1701
	糸切り円盤状高台(0 A)	外:オリーブ灰 内:灰	密	硬質	1702
	外:ー 内:沈線1条 貼付け輪高台(II B)	外:若草色 内:若草色	密	東海産 硬質	1703
	削出し輪高台(I Bb)	外:深緑 内:深緑 断:赤灰	密	篠産 硬質	1704
	貼付け輪高台(II B)	外:緑 内:緑 断:灰白	密	東海産 軟質	1705
		外:灰白 内:オリーブ灰	密		1706
		外:灰白 内:明オリーブ灰	密 ~2mmの砂粒含む		1707
		外:灰白 内:灰白	密		1708
		外:灰白 内:灰白	密		1709
		外:灰白 内:灰白	密		1710
		外:灰白 内:灰白	密 ~1mmの砂粒含む		1711
		外:灰白 内:灰白	密		1712
		外:灰白 内:浅黄	密		1713
		外:灰白 内:灰白	密		1714
		外:灰 内:オリーブ灰	密		1715
		外:灰白 内:灰オリーブ	密		1716
		外:灰白 内:灰オリーブ	密		1717
		外:オリーブ灰 内:オリーブ灰	密		1718
		外:灰白 内:灰 断:灰白	密		1719
		外:灰白 内:灰黄 断:灰白	密 ~1mmの砂粒含む		1720

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1721	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿B	平城宮Ⅲ	口径(14.5) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1722	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器高坏	平城宮Ⅲ	口径(28.2) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1723	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径22.4 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1724	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器坏 or 皿	平城宮Ⅲ		
1725	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅰ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径16.6 器高3.0	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1726	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(17.0) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1727	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅰ	土師器碗A	佐藤Ⅱ古	口径13.8 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ナデ後連弧状暗文
1728	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗A	佐藤Ⅰ	口径12.8 器高(3.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1729	Ⅲ	川200	K16f1-Ⅱ	土師器皿A	佐藤Ⅱ	口径15.1 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1730	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗B	佐藤Ⅱ古~中	底径(7.4) 器高(1.2)	
1731	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅰ	土師器碗	佐藤Ⅱ		
1732	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器坏 or 皿	奈良時代		
1733	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器碗	平安時代		
1734	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器坏 or 皿	平城宮Ⅲ		
1735	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏 or 皿	奈良時代		
1736	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器坏 or 皿	奈良時代前半		
1737	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器坏 or 皿	平城宮Ⅲ		
1738	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	須恵器坏B	奈良時代後半	口径(20.4) 器高(6.1)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1739	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅰ	須恵器坏B	奈良時代後半	口径(12.7) 器高(3.8)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1740	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器坏B	奈良時代	口径13.6 器高(4.6)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1741	Ⅲ	川200	J15i4-Ⅳ	須恵器坏B	奈良時代	底径(10.0) 器高(1.2)	
1742	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器皿B	奈良時代	底径12.0 器高(2.3)	
1743	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器蓋	奈良時代前半	口径(15.2) 器高(2.0)	外:回転ナデ 内:回転ナデ
1744	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器坏B			
1745	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	須恵器蓋?			
1746	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器皿A	平城宮Ⅳ	口径15.8 器高2.5	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1747	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	須恵器坏B			
1748	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器坏 or 皿	奈良時代		
1749	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器碗 or 皿	平安時代前半		
1750	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器碗	平安時代		
1751	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器碗	平安時代		
1752	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器高坏	奈良時代前半	口径28.6 器高(2.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1753	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(22.0) 器高(2.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1754	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器坏A	平城宮Ⅲ	口径(20.0) 器高(3.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1755	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器皿A	佐藤Ⅱ古~中	口径15.4 器高(1.8)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1756	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器皿A	平城宮Ⅲ	口径(18.6) 器高(2.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1757	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	須恵器坏B	奈良時代前半	底径(12.6) 器高(4.8)	
1758	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅳ	土師器碗	平安時代		
1759	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器碗	平安時代		
1760	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器坏 or 皿	平城宮Ⅲ		

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
外:ヨコナデ後ヘラミガキ 内:放射状暗文	外:ヨコナデ 内:ラセン状暗文	外:浅黄 内:にぶい橙 断:にぶい褐	密	墨書	1721
外:ヘラケズリ 内:放射状・ラセン状暗文		外:にぶい赤褐 内:明赤褐 断:にぶい橙	密 ~1mmの砂粒含む	墨書	1722
外:ヨコナデ、ヘラケズリ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄 内:にぶい黄	密	刻書	1723
外:不調整 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄褐 内:にぶい黄褐	密	刻書	1724
外:ヨコナデ、ヘラケズリ 内:ナデ	外:ヘラケズリ 内:ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:灰黄褐	~1mmの砂粒含む	墨書	1725
外:ヨコナデ、ナデ 内:放射状暗文		外:明褐 内:にぶい黄橙	密	墨書	1726
外:不調整 内:ナデ後連弧状暗文	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	密 ~3mmの砂粒多量含む	墨書	1727
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	密	墨書	1728
外:ナデ、不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄	密 ~2mmの砂粒含む	墨書	1729
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ後連弧状暗文	外:灰黄 内:灰黄	~1mmの砂粒含む	墨書	1730
	外:ナデ 内:ナデ	外:明褐灰 内:にぶい橙 断:明褐灰	~1mm弱の砂粒含む	墨書	1731
	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	密	墨書	1732
	外:ナデ 内:ナデ	外:橙 内:橙 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	墨書	1733
	外:ヘラケズリ 内:ナデ、ラセン状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む	墨書	1734
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:灰黄褐 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	墨書	1735
	外:ナデ、木葉痕 内:ナデ後ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	密	墨書	1736
	外:ナデ 内:ナデ後ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい褐 断:にぶい褐	密	墨書	1737
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ、爪痕 内:ナデ	外:灰 内:灰	~3mmの砂粒含む	墨書	1738
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:灰白	~1.5mmの砂粒多量含む	墨書	1739
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:黄灰 断:灰白	~1.5mmの砂粒多量含む	墨書	1740
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:灰 内:暗灰黄	密	墨書	1741
	外:回転ナデ 内:ナデ	外:灰 内:暗灰黄 断:黄灰	~3mmの砂粒含む	墨書 外面自然袖付着	1742
外:回転ナデ 内:回転ナデ		外:灰白 内:灰白	~2mmの砂粒多量含む	墨書	1743
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰白 内:灰黄褐 断:灰白	密	墨書	1744
外:ナデ 内:ナデ		外:灰 内:灰 断:灰	密	墨書	1745
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	外:不調整、一部ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	~2mmの砂粒含む	墨書 完形品	1746
	外:回転ナデ 内:ナデ	外:オリーブ灰 内:灰 断:灰	~1mmの砂粒含む	墨書	1747
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	密	墨書	1748
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	墨書	1749
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:にぶい褐	~4mmの砂粒含む	墨書	1750
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄 断:灰黄	~1mmの砂粒含む	墨書	1751
外:ヘラケズリ 内:放射状暗文、 ラセン状暗文		外:にぶい橙 内:にぶい橙	~2mmの砂粒含む	墨痕	1752
外:ヨコナデ 内:放射状暗文	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	墨痕	1753
外:ヨコナデ 内:放射状暗文	外:ヘラケズリ 内:ナデ	外:にぶい赤褐 内:褐	~3mmの砂粒含む	墨痕	1754
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	外:不調整 内:連弧状暗文	外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	~3mmの砂粒含む	墨書	1755
外:ヨコナデ 内:放射状暗文	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい褐 内:黒褐 断:にぶい黄橙	密	墨書	1756
外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:回転ナデ 内:回転ナデ	外:灰 内:灰 断:灰	~1mmの砂粒含む	墨書 内面煤付着	1757
外:不調整 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:橙 断:にぶい橙	~1mmの砂粒含む	墨痕	1758
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄 内:にぶい黄橙 断:浅黄橙	~1mmの砂粒含む	墨痕	1759
外:ナデ 内:放射状暗文	外:ナデ 内:ラセン状暗文	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	密	墨痕	1760

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1761	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅳ	土師器碗B	佐藤Ⅱ	底径(7.0) 器高(0.7)	
1762	Ⅲ	川200	K16a1-Ⅳ	土師器坏 or 皿	奈良時代		
1763	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	土師器碗	平安時代		
1764	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗A	平安時代		
1765	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器皿	平安時代		
1766	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	須恵器坏	奈良時代		
1767	Ⅲ	川200	J16j3-Ⅲ	土師器碗	平安時代		
1768	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		
1769	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		
1770	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		
1771	Ⅲ	川200	K16a2-Ⅱ	土師器甕	奈良時代		
1772	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器甕C	奈良時代		
1773	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	土師器甕C	奈良時代		
1774	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器甕C	奈良時代		
1775	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		
1776	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅲ	土師器甕C	奈良時代		
1777	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		
1778	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		
1779	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代	口径(15.6) 器高(4.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1780	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1781	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1782	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ナデ
1783	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ナデ
1784	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅳ	土師器甕C	奈良時代		
1785	Ⅲ	川719	K16f1-Ⅱ	土師器甕C	奈良時代		
1786	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		
1787	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅰ	土師器甕C	奈良時代		
1788	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器皿A	佐藤Ⅰ	口径(20.8) 器高(2.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1789	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器坏A	奈良時代後半	口径(13.6) 器高(3.3)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1790	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器碗A	佐藤Ⅰ	口径(13.4) 器高(3.2)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1791	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器皿A	佐藤Ⅰ	口径(18.0) 器高(2.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1792	Ⅲ	川200	北辺側溝	土師器甕C	奈良時代		
1793	Ⅲ	川719	南辺側溝	土師器甕C	奈良時代		外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1794	Ⅰ	井戸1	J15i2-Ⅰ	土師器甕C	平城宮Ⅵ	口径13.5 器高9.6	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1795	Ⅱ	落込み138	不明	土師器坏 or 皿	奈良時代		
1796	Ⅴ	川410	J15j10-Ⅳ	土師器碗A	平安時代		
1797	Ⅱ		溝569周辺サブトレ	土師器甕C	奈良時代		
1798			側溝	須恵質用途不明品		最大長10.8 最大幅8.8 厚み3.0	
1799	Ⅱ	井戸565	K16e4-Ⅲ	黒色土器A類碗	佐藤Ⅱ古～中	口径15.4 器高4.2	外:ヨコナデ 内:ヘラミガキ
1800	Ⅱ	井戸565	K16e4-Ⅲ	黒色土器A類碗	佐藤Ⅱ古～中	底径(8.5) 器高(1.0)	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	密	墨痕	1761
	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	墨痕	1762
	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄	～0.5mmの砂粒含む	墨書	1763
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:浅黄 断:にぶい黄橙	密	墨痕	1764
	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	墨痕	1765
	外:調整不明 内:調整不明	外:灰黄 内:灰黄	密	墨痕	1766
	外:ヨコナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む 赤色粒	墨書 刻書	1767
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密	人面墨書	1768
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:灰黄 断:にぶい黄橙	密	人面墨書 外面黒斑あり	1769
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1770
外:ナデ 内:ナデ		外:浅黄 内:浅黄 断:灰	密	人面墨書	1771
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	密	人面墨書	1772
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい褐 内:にぶい橙	密	人面墨書	1773
外:ナデ 内:ナデ			～1mmの砂粒含む	人面墨書	1774
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:灰黄褐 断:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1775
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～2mmの砂粒含む	人面墨書	1776
外:ヘラケズリ後ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	人面墨書	1777
外:ナデ 内:ナデ		外:灰黄 内:にぶい褐 断:にぶい褐		人面墨書	1778
		外:にぶい褐 内:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	人面墨書(意味不明)	1779
		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～3mmの砂粒多量含む	人面墨書	1780
		外:にぶい黄 内:にぶい黄	～2.5mmの砂粒含む	人面墨書	1781
		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1782
		外:灰黄 内:灰黄	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1783
		外:灰黄褐 内:灰黄褐 断:灰黄褐	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1784
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい黄橙 内:浅黄 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	人面墨書	1785
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～2mmの砂粒少量含む	人面墨書 2種類の墨書	1786
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:橙	～3mmの砂粒多量含む	人面墨書	1787
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	外:ナデ 内:連弧状暗文	外:にぶい褐 内:にぶい褐	～1mmの砂粒含む	墨書(記号)	1788
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい褐 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	墨書(渦巻き)	1789
外:不調整 内:ナデ		外:暗灰黄 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	～2mmの砂粒少量含む	墨書(記号)	1790
外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	外:不調整 内:ナデ	外:灰黄 内:灰白	～2mmの砂粒含む	墨痕	1791
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	人面墨書	1792
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～6mmの砂粒含む	人面墨書(内面に墨痕)	1793
外:不調整 内:ナデ	外:不調整 内:ナデ	外:橙 内:にぶい橙 断:灰白	密 赤色粒	人面墨書 完形品 黒斑あり	1794
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:にぶい橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	墨書	1795
	外:不調整 内:ナデ	外:橙 内:にぶい黄橙 断:にぶい橙	～1mmの砂粒含む	墨痕	1796
外:ナデ 内:ナデ		外:にぶい橙 内:にぶい橙	～1mmの砂粒多量含む	人面墨書	1797
ナデ		外:灰 内:灰 断:灰白	～1mmの砂粒含む	刻書	1798
外:ナデ後ヘラミガキ 内:ヘラミガキ後連弧状暗文	外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:オリブ黒 内:黒	～1mmの砂粒含む	墨書 完形品	1799
	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ、暗文	外:灰黄褐 内:黒	～1mmの砂粒含む	墨書	1800

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1801	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II古~中		
1802	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II古~中		
1803	II	井戸565	K16b2-II	須恵器蓋	奈良時代前半	口径(16.0) 器高(2.0)	
1804	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗B	佐藤II古~中	口径(15.4) 器高(4.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1805	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	佐藤II古	口径(14.0) 器高(4.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1806	II	井戸565	K16e4-III	灰釉陶器皿	平安京II中	口径(15.2) 器高(2.9)	外:施釉 内:施釉
1807	II	井戸565	K16e4-III	灰釉陶器碗	平安京II中	底径(6.8) 器高(2.6)	
1808	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗 or 皿			
1809	II	井戸565	K16e4-III	黒色土器A類碗	平安時代	底径(5.0) 器高(1.0)	
1810	II	井戸565	K16e4-III	須恵器碗	平安時代	底径(7.2) 器高(1.6)	
1811	II	井戸565	K16e4-III	土師器碗A	平安時代	底径(6.0) 器高(2.0)	
1812	II	井戸566	K16e4-III	黒色土器A類碗	佐藤II古~中	底径(9.0) 器高(2.5)	
1813	II	井戸566	K16e4-III	土師器碗 or 皿			
1814	III	井戸844	J15i10-II	黒色土器A類碗	佐藤II新	口径(14.0) 器高(5.0)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ、沈線1条
1815	III	井戸844	K16e1-I	土師器碗B	佐藤II新	口径(13.0) 器高(3.7)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1816	III	井戸844	K16e1-I	土師器碗A	佐藤II新	口径(10.7) 器高(3.5)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1817	III	井戸844	K16e1-I	土師器碗B	佐藤II新	口径(12.2) 器高(3.6)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1818	III	井戸844	K16e1-I	土師器碗A	佐藤II新	口径(10.8) 器高(3.1)	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ
1819	III	ピット733	K16d1-IV	複弁8弁蓮華文軒丸瓦	奈良時代		
1820	II	溝140	K16a2-II・3-I	複弁8弁蓮華文軒丸瓦	奈良時代		
1821		第0層	J16j3-III	均正唐草文軒平瓦	平安時代		
1822		第0層	K16a2-II	均正唐草文軒平瓦	平安時代		
1823	III	土坑502	J15h8-IV	軒平瓦	奈良時代?		
1824		第III層	J15j1-I	唐草文軒平瓦	鎌倉時代		
1825		第II層	J15h5-II	半截菊花唐草文軒平瓦	室町時代		
1826	III	川200	K16a3-III	平瓦	白鳳時代	最大長16.7	
1827	III	川200	K16a3-III	平瓦	白鳳時代	最大長19.0	
1828	III	川200	K16a2-III	平瓦	奈良時代前期	最大長34.0	
1829	III	川200	K16b2-II	平瓦	奈良時代	最大長23.8	
1830	III	川200	J16j3-III	平瓦	奈良時代	最大長15.5	
1831	III	川200	K16a2-IV	平瓦	平安時代	最大長10.5	
1832	III	川200	K16a2-II	丸瓦	奈良~平安時代前期	最大長13.0	
1833	III	川200	K16a3-III	丸瓦	奈良~平安時代前期	最大長14.0	
1834	III	井戸507	J15i6-I	平瓦	平安時代	最大長13.0	
1835	III	井戸507	J15i6-I	平瓦	平安時代	最大長20.5	
1836	III	井戸507	J15i6-I	平瓦	平安時代	最大長15.0	
1837	II	落込み138		平瓦	平安時代	最大長7.5	
1838	II	ピット160	K16a3-II・IV	平瓦	平安時代	最大長8.0	
1839	III	川410	J16g1-III	丸瓦	奈良~平安時代前期	最大長42.0	
1840	III	川200	K16a3-III	石製紡錘車		最大径3.4 孔径0.7 厚み1.5	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:灰黄	密	墨書	1801
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰黄	～4mmの砂粒含む	墨書	1802
外:回転ヘラケズリ 内:ナデ		外:灰 内:灰	～0.5mmの砂粒含む	墨書	1803
外:不調整 内:ナデ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい黄褐 断:灰黄褐	～0.5mmの砂粒含む	墨書	1804
外:不調整 内:ヨコナデ	外:不調整 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい黄橙 断:にぶい褐	密	墨書	1805
外:施釉 内:施釉	外:回転ナデ 内:重ね焼き痕	外:灰オリーブ 内:灰	密	墨書 断面煤付着	1806
	外:回転ナデ、一部施釉 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	墨書	1807
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい褐 断:にぶい橙	密	墨書	1808
	外:高台ヨコナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい黄褐 内:暗灰 断:灰白	密	墨書	1809
	外:ナデ、糸切り痕 内:回転ナデ	外:灰白 内:灰白 断:灰白	～2mmの砂粒多量含む	墨書	1810
	外:ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	～2mmの砂粒含む	墨書	1811
	外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:にぶい褐 内:黒	～0.5mmの砂粒少量含む	刻書 外面煤付着	1812
	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:灰黄褐	～0.5mmの砂粒含む	墨書	1813
外:ナデ 内:ヘラミガキ	外:高台ヨコナデ、ナデ 内:ヘラミガキ	外:暗灰黄 内:黒 断:黄灰	密	墨書	1814
外:ナデ 内:ナデ、工具痕	外:高台不完全、ナデ 内:ナデ	外:にぶい黄橙 内:黄橙 断:黄橙	～1mmの砂粒少量含む	墨書	1815
外:不調整 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄褐 内:にぶい橙	～2mmの砂粒含む	墨書	1816
外:不調整 内:ナデ	外:高台不完全、ナデ 内:ナデ	外:にぶい褐 内:にぶい橙 断:にぶい黄橙	～1mmの砂粒含む	墨書	1817
外:不調整 内:ナデ	外:ナデ 内:ナデ	外:灰黄 内:灰白	～1mmの砂粒含む	墨書	1818
瓦当裏面:ヘラケズリ		瓦当:灰 瓦当裏面:灰 断:灰白	密 黒色粒	讃岐国分寺SKM03Aと同范	1819
瓦当裏面:ヘラケズリ		瓦当:灰 瓦当裏面:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む	讃岐国分寺SKM03Aと同范	1820
凹:一 凸:一		凹:灰黄褐 凸:灰黄褐	～6mmの砂粒含む	讃岐国分寺SKH09と同范	1821
凹:一 凸:一		凹:にぶい黄橙 凸:にぶい黄橙	～5.5mmの砂粒含む	讃岐国分寺SKH09と同范	1822
凹:一 凸:一		凹:にぶい黄橙 凸:褐灰	密	曲線頸	1823
凹:一 凸:一		凹:灰 凸:灰	～2mmの砂粒含む		1824
凹:一 凸:一		凹:灰白 凸:灰白	～6mmの砂粒含む	段頸	1825
凹:模骨痕、布目痕 凸:有軸綾杉文タタキ		凹:灰黄褐 凸:灰	～2mmの砂粒含む		1826
凹:模骨痕、布目痕 凸:回転ナデ		凹:灰黄 凸:灰白 断:灰白	密		1827
凹:模骨痕、布目痕 凸:縄目タタキ		凹:黄灰 凸:にぶい黄橙	～5mmの砂粒含む		1828
凹:模骨痕、布目痕 凸:縄目タタキ		凹:暗灰黄 凸:黄褐	～4mmの砂粒含む		1829
凹:模骨痕、布目痕 凸:縄目タタキ		凹:灰 凸:灰	～1mmの砂粒含む		1830
凹:布目痕 凸:縄目タタキ		凹:にぶい橙 凸:灰黄褐	～5mmの砂粒含む	1枚作り	1831
凹:布目痕 凸:ナデ		凹:灰 凸:灰 断:灰白	～2mmの砂粒含む		1832
凹:布目痕 凸:ナデ		凹:黄灰 凸:黄灰	～1mmの砂粒含む		1833
凹:布目痕 凸:縄目タタキ		凹:にぶい黄橙 凸:黄灰	～4mmの砂粒含む	1枚作り	1834
凹:布目痕 凸:縄目タタキ		凹:灰黄褐 凸:黒褐	～2mmの砂粒含む	1枚作り	1835
凹:布目痕 凸:斜格子タタキ		凹:灰 凸:灰 断:にぶい橙	～5mmの砂粒含む	1枚作り	1836
凹:布目痕 凸:縄目タタキ		凹:灰 凸:灰 断:灰白	密	1枚作り	1837
凹:布目痕 凸:縄目タタキ、 側縁に凸帯		凹:暗灰黄 凸:灰黄	～7mmの砂粒含む	1枚作り	1838
凹:布目痕、玉縁・端部を面取り 凸:縄目タタキ		凹:灰白 凸:灰白	～2mmの砂粒含む	いぶし焼風の仕上げ	1839
ナデ		黄褐 灰オリーブ			1840

番号	面	遺構・層位	地区	器種	時期	計測値 (cm)	口頸部
1841		第Ⅰ層	K16f4-I	石製紡錘車		最大径3.4 孔径0.6 厚み1.2	
1842		第Ⅱ層	K15e10-Ⅲ	石製有孔円板		最大径3.1 孔径0.15 厚み0.5	
1843	Ⅲ	落込み416	J15h7-Ⅳ	石製有孔円板		最大径3.0 孔径0.2 厚み0.3	
1844		第Ⅱ層	J15h10-Ⅲ	石製有孔円板		最大径3.5 孔径0.2 厚み0.5	
1845	Ⅲ	川719	K16d1-Ⅳ	石製有孔円板		最大径(2.5) 孔径0.2 厚み0.3	
1846	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	石製小形有孔円板		最大径2.0 孔径0.2 厚み0.4	
1847	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	石製小形有孔円板		最大径1.7 孔径0.15 厚み0.2	
1848	Ⅲ	井戸721	K16d1-Ⅱ・Ⅳ	石製円板		最大径3.7 厚み0.6	
1849	Ⅲ	川719	K16e1-I	銅製跨帯(巡方)		縦幅2.5 横幅2.8 厚み0.8	
1850	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1851	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1852	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1853	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1854	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1855	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1856	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1857	Ⅲ	川200	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1858	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1859	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1860	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1861	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1862	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1863	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1864	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1865	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1866	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1867	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1868	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1869	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1870	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1871	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1872	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1873	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1874	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1875	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1876	Ⅲ	川200	K16b3-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1877	Ⅲ	川200最下層	K16a3-Ⅲ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1878	Ⅲ	川200	K16b2-II	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1879	Ⅲ	川200	K16b2-II	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1880	Ⅲ	川200	K16b2-II	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
鋸歯文		オリーブ黄			1841
孔2ヶ所		緑灰			1842
孔1ヶ所		暗オリーブ灰			1843
孔2ヶ所 貫通しない孔1ヶ所		オリーブ灰			1844
孔2ヶ所		灰 オリーブ灰			1845
孔2ヶ所		暗オリーブ灰			1846
孔2ヶ所		暗オリーブ灰			1847
					1848
横長透孔1ヶ所		表:にぶい黄褐色 裏:黒褐 赤銅色		表面黒漆が残る	1849
表裏:研磨痕					1850
表:研磨痕 裏:研磨痕、 鋳脚が不十分					1851
表:研磨痕、湯口部分欠ける 裏:研磨痕					1852
表:研磨痕 裏:研磨痕、鋳型破損の為ゴミ付着					1853
表裏:研磨痕					1854
表裏:研磨痕なし					1855
表:研磨痕 裏:研磨痕、外縁の幅がズレる					1856
表裏:研磨痕、土圧による変形					1857
表裏:研磨痕					1858
表:研磨痕、鋳型傷あり 裏:研磨痕					1859
表裏:研磨痕					1860
表裏:研磨痕					1861
表裏:研磨痕					1862
表:研磨痕 裏:研磨痕、鋳型傷あり					1863
表裏:研磨痕					1864
表裏:研磨痕					1865
表裏:研磨痕					1866
表裏:研磨痕					1867
表裏:研磨痕、鋳型傷あり					1868
表裏:研磨痕					1869
表裏:研磨痕					1870
表:研磨痕、「和」に傷あり 裏:研磨痕					1871
表裏:研磨痕、鋳型の劣化著しい					1872
表:研磨痕、「和」に傷、「開」のなし 裏:研磨痕、鋳型の劣化著しい					1873
表:研磨痕、「和」に傷あり 裏:研磨痕					1874
表:研磨痕、 鋳型劣化の為文字太 裏:研磨痕					1875
表裏:研磨痕、 鋳不足の為2ヶ所に穴					1876
表裏:研磨痕、最も厚い					1877
表裏:研磨痕				未使用状態	1878
表裏:研磨痕				未使用状態	1879
表裏:研磨痕				未使用状態	1880

番号	面	遺構・層位	地 区	器 種	時 期	計 測 値 (cm)	口 頸 部
1881	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1882	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1883	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1884	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1885	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1886	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1887	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1888	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1889	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1890	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1891	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1892	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1893	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1894	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1895	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1896	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1897	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1898	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1899	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1900	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1901	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1902	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1903	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1904	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1905	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1906	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1907	Ⅲ	川200	K16b2-Ⅱ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1908	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1909	Ⅲ	川719	K16e1-Ⅳ	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1910	Ⅲ	川719	K16e1-I	皇朝錢(和同開珎)	初鑄和銅元年(708年)	表6参照	
1911	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(隆平永寶)	初鑄延曆15年(796年)	表6参照	
1912	Ⅲ	川719	K16d1•e1•f1	皇朝錢(隆平永寶)	初鑄延曆15年(796年)	表6参照	
1913	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(富壽神寶)	初鑄弘仁9年(818年)	表6参照	
1914	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(富壽神寶)	初鑄弘仁9年(818年)	表6参照	
1915	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(承和昌寶)	初鑄承和2年(835年)	表6参照	
1916	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(長年大寶)	初鑄嘉祥元年(848年)	表6参照	
1917	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(饒益神寶)	初鑄貞觀元年(859年)	表6参照	
1918	Ⅲ	川719	K16f1-I	皇朝錢(饒益神寶)	初鑄貞觀元年(859年)	表6参照	
1919		攪乱	J14h10-Ⅳ	虚無僧根付	19世紀中葉	最大長(5.0) 最大幅2.6	

体 部	底 部・脚 部	色 調	胎 土	備 考	番号
表裏:研磨痕				未使用状態	1881
表:研磨痕、鋳型の劣化 裏:研磨痕、鋳型傷				未使用状態	1882
表裏:研磨痕				未使用状態	1883
表裏:研磨痕				未使用状態	1884
表裏:研磨痕、鋳型傷あり				未使用状態	1885
表裏:研磨痕なし					1886
表裏:研磨痕、腐食による穴2ヶ所				未使用状態	1887
表裏:研磨痕				未使用状態	1888
表:研磨痕 裏:研磨痕、 鋳型傷あり 最も重い				未使用状態	1889
表裏:研磨痕				未使用状態	1890
表裏:研磨痕				未使用状態	1891
表裏:研磨痕なし					1892
表裏:研磨痕				未使用状態	1893
表:研磨痕、湯口跡あり 裏:研磨痕				未使用状態	1894
表裏:研磨痕				未使用状態	1895
表裏:研磨痕				未使用状態	1896
表裏:研磨痕				未使用状態	1897
表:研磨痕、外縁に傷あり 裏:研磨痕				未使用状態	1898
表裏:研磨痕				未使用状態	1899
表裏:研磨痕				未使用状態	1900
表裏:研磨痕				未使用状態	1901
表裏:研磨痕、厚みが均等でない				未使用状態	1902
表裏:研磨痕				未使用状態	1903
表:研磨痕、気泡穴あり 裏:研磨痕				未使用状態	1904
表:研磨痕、鋳型傷あり 裏:研磨痕				未使用状態	1905
表:研磨痕、鋳型傷あり 裏:研磨痕				未使用状態	1906
表裏:研磨痕				未使用状態	1907
表裏:研磨痕					1908
表裏:研磨痕					1909
表裏:研磨痕					1910
表裏:研磨痕					1911
表裏:腐食が進み残存状態悪い					1912
表: 裏:研磨痕 鋳上がり悪い					1913
					1914
表:文字不鮮明 裏:研磨痕、鋳溜まり					1915
表:文字不鮮明 裏:型ズレ 鋳上がり悪い					1916
表:文字不鮮明 裏:鋳型傷、鋳溜まり					1917
					1918
錆釉(茶)と瑠璃釉(青)の描き分け			密	肥前三川内焼	1919

Summary

This book is a report of archaeological investigations conducted at the Kozakaai site in Yao City, Osaka Prefecture, Japan. The Osaka Center for Cultural Heritage conducted archaeological excavations there in 1988. The excavations resulted in the discoveries of: 1) rice paddies dated to the middle and late Yayoi Period (second century B.C. to second century A.D.); 2) settlement of the Yayoi-Kofun transition to the middle Kofun Period (third to fifth centuries A.D.); and 3) a residence of an influential family who were involved in the erection of a Buddhist temple, dated to the Nara and early Heian Periods (eighth and ninth centuries A.D.). The Kozakaai site was first recognized as an archaeological site in 1955 when pottery was discovered during the construction of a residence. Since then, some 60 times of archaeological excavations have taken place there. The site was occupied from the middle Yayoi to medieval Periods. In particular, the site was one of the core settlements during the Yayoi-Kofun transition (third century A.D.), together with the neighboring Tōgō and Nakata sites.

Yayoi Period

Rice paddies of the middle and late Yayoi Period have been discovered. (p. 20) This suggests that small-scale settlements were situated in the neighborhood. Sherds of early types of the Yayoi pottery were discovered in a secondary deposit. The rubbed surface of the sherds indicates that the pottery was originated from somewhere distant. In the late Yayoi Period, a small river appeared, which is hereafter referred to as the Kusune River.

Yayoi-Kofun transition (Shonai Phase; third century)

Two semi-subterranean houses have been discovered on the left bank (west side) of the Kusune River. (p. 48~49) One is rectangular, 3.2 by 3.6 meters in size, and the other is nearly a square of 5.3 meters. It is likely that these houses were probably a part of the neighboring Tōgō site. In the earth filling the square house was a jar coffin. The jar was apparently brought from the Awa region of the eastern Shikoku Island. In fact, large quantities of pottery brought from other regions, such as Kibi of the northern coast of the Inland Sea, San'in of the western coast of the Sea of Japan, and Tōkai of the Pacific coast of the central Japan, are discovered in the Shōnai context during other excavations of this site and the Tōgō site.

Middle Kofun Period (fifth century)

After the early Kofun Period (fourth century), the Kusune River moved westward, and a solid dike was formed at the Kozakaai site. A settlement came to occupy the dike during the middle Kofun Period. The discovered features include a post-hole type house (supra-structure supported by pillars that are directly planted into the ground) and some pits. Large quantities of the very early types of Sue stoneware, some Haji earthenware, and Korean-type ceramics have been discovered in these pits. The pottery is all dated to the early and middle fifth century.

In the late fifth century when the Kusune River ceased to be a river, this settlement no longer flourished. Until the eighth century, the Kozakaai site did not function as a core settlement.

Nara and early Heian Periods (eighth and ninth centuries)

Prior to our excavations of 1998, it was known that a Buddhist temple (Tōgō temple site) was erected on a steady bank of the Kusune River. Although modern urbanization prevents archaeological excavations of the temple compound, archaeological discoveries of several types of eaves rooftiles in its neighborhood suggest that the temple existed from the middle seventh century to tenth century or maybe later.

Our excavations unearthed areas to the south and west of this Tōgō temple site. During the excavations, small quantities of rooftiles for this Buddhist temple have been discovered. Among those are eighth-century round eaves tiles with lotus flower design, featured by compound eight petals, and tenth-century flat eaves tiles with palm design. The round eaves tiles were made with the same mould as those for the Sanuki Provincial temple (northeastern Shikoku), and were fired at the Yamanouchi rooftile kiln in Sanuki (p. 203). The rooftiles fired at this kiln were supplied not only to the Sanuki Provincial temple but also the Hōdō-ji temple in Sanuki. The flat eaves tiles were also fired in Sanuki. These lines of evidence strongly suggest a close relationship of the Tōgō temple and Sanuki.

The discovered archaeological features include the Kusune River itself in the eighth and ninth century to the southwest of the Tōgō temple, two tenth-century post-hole type structures that were presumably a part of a mansion located to the west of the temple, and eighth-to tenth-century wells. No features have been discovered to the south of the temple. Enormous quantities of artifacts have been discovered in association with these features as well as in occupational debris.

In the earth filling the Kusune River are large quantities of eighth- and ninth-century pottery. Some of them were with ink inscriptions. These inscriptions indicated the names of structures, such as “autumn house” and “south house,” auspicious Chinese characters, and some personal names (p. 194~195). Some 80 sherds were with ink drawing of human faces, which were used for ritual (p. 198, 200). No inscriptions indicated the names of official organizations. Other artifacts that were presumably used for ritual include nine sets of ox and horse bones and six kinds of bronze coins, 69 in total. Among the bronze coins, thirty were Wadō-Kaichin (issued in 708), which were tied by a cord. The rest were Ryūhei-Eihō (796), Fujū-Shimpō (818), Jōwa-Shōhō (835), Chōnen-Taihō (848), and Nyōeki-Shimpō (859) (p. 209~213).

Among the discovered ceramics, glazed ones are very unusual. Green-glazed ceramics are dated to the beginning of the ninth century. This discovery is particularly noteworthy because the discoveries are usually limited to the sites of capitals and Dazaifu of Kyushu. Green- and gray- glazed ceramics are dated to the middle ninth and early tenth centuries. The discoveries of these glazed ceramics are extremely rare in Osaka. These suggest a rather special nature of this site.

After the Heian Period (after the eleventh century)

After the eleventh century, wells and pits are discovered in areas to the south of the temple. After the medieval period, the entire area turned into agricultural fields with irrigation ditches running north-south and east-west. This might indicate that the Tōgō temple and a family who erected it were no longer influential.

報 告 書 抄 録

ふりがな	こぞかあい いせき							
書名	小 阪 合 遺 跡							
副書名	都市基盤整備公団八尾団地建替えに伴う発掘調査報告書							
巻次	1							
シリーズ名	(財)大阪府文化財調査研究センター調査報告書							
シリーズ番号	第51集							
編著者名	駒井正明, 陣内暢子, 本間元樹, 松田留美/松田順一郎, 角南聡一郎, 立花るりこ, 安部みき子 山口誠治, 佐々木憲一/地球科学研究所, パリノ・サーヴェイ, 古環境研究所							
編集機関	(財)大阪府文化財調査研究センター							
所在地	〒536-0016 大阪府大阪市城東区蒲生2丁目11番3号 小森ビル4階 TEL06-6934-6651							
発行年月日	西暦2000年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市 町 村	遺跡番号					
こぞかあい いせき 小 阪 合 遺 跡	おおさかふ 大 阪 府 や お し 八 尾 市 わかくさちょう 若 草 町	27212	40	35° 59' 55"	135° 59' 58"	19971226~ 19981225	6.135	都市基盤整備公団八尾団地建替えに伴う事前調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物		特 記 事 項		
小 阪 合 遺 跡	水 田	弥生時代 中期~後期	畦畔					
	集 落	古墳時代 初頭	竪穴住居、井戸、 自然河川	古式土師器				
	集 落	古墳時代 中期	堀立柱建物、土坑、 落込み、自然河川	須恵器、土師器、 韓式系土器		初期須恵器		
	集 落	奈良時代	井戸、自然河川	須恵器、土師器、墨書 土器、瓦、皇朝銭、 鍔帯、動物遺体、硯		讃岐国分寺と同範軒瓦 自然河川から69枚の皇朝銭 一部は緋銭		
	集 落	平安時代 前期	堀立柱建物、井戸、 自然河川	土師器、施釉陶器、 瓦、黒色土器A類		緑釉単彩陶器		
集 落	平安時代 後期	井戸、土坑	瓦器、土師器					

(財)大阪府文化財調査研究センター調査報告書 第51集

八尾市若草町所在

小 阪 合 遺 跡

—— 都市基盤整備公団八尾団地建替えに伴う発掘調査報告書 ——

本 文 編

発行年月日 2000年3月31日

編集・発行 財団法人 大阪府文化財調査研究センター

〒536-0016 大阪府大阪市城東区蒲生2丁目11番3号

小森ビル4階 TEL 06-6934-6651 FAX 06-6934-7029

印刷・製本 明新印刷株式会社
